

参 考 資 料 集 4

(精度管理について)

- ・令和4年度京都府生活習慣病検診等管理指導協議会がん検診部会結果概要・・・・・・・・1
- ・令和4年度都道府県がん検診受診率及び順位（令和4年度国民生活基礎調査）・・・・・・・・9
- ・令和3年度都道府県がん検診受診率及び順位（令和3年度地域保健健康増進事業報告）・・11
- ・令和3年度市町村がん検診受診率（令和3年度地域保健健康増進事業報告）・・・・・・・・13
- ・令和2年度市町村がん検診プロセス指標（胃・肺・大腸・乳・子宮、年齢上限74歳以下）15
- ・令和2年度検診機関がん検診プロセス指標（年齢上限なし）・・・・・・・・・・・・27
- ・令和4年度市町村チェックリスト（市町村別・項目別）・・・・・・・・・・・・・・31
- ・令和4年度京都府チェックリスト評価結果（国立がん研究センター作成）・・・・・・・・41
- ・令和4年度検診機関チェックリスト（胃・肺・大腸・乳・子宮）・・・・・・・・・・・・79
- ・令和3年度都道府県チェックリスト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・91
- ・令和3年度都道府県チェックリスト評価結果（国立がん研究センター作成）・・・・・・・・97
- ・令和5年度市区町村におけるがん検診実施状況調査結果抜粋（令和4年度検診実施分）・103
- ・令和5年度市区町村におけるがん検診の実施状況調査結果全国集計・・・・・・・・104
- （第40回がん検診あり方に関する検討会 参考資料5）
- ・令和4年度市町村がん検診（集団）委託先検診機関一覧・・・・・・・・・・・・・・125

令和4年度京都府生活習慣病検診等管理指導協議会がん検診部会議事録

○日 時：令和5年3月13日（月）午後2時～4時

○場 所：オンライン開催

○出席者：委員7名（1名欠席）

○議事内容：下記のとおり

1 報告

（1）第3期京都府がん対策推進計画の策定について〈資料1、参考資料集1〉

- ・第2期京都府がん対策推進計画は、2018年度から2023年度の6年間となっている。
- ・すでに、第3期京都府がん対策推進計画の検討を開始しており、令和6年3月策定を予定している。次期計画は、2024年度から2029年度の6年間。

（2）京都府胃がん内視鏡検診管外受診制度について〈資料2〉

- ・令和5年度秋ごろから開始予定。
- ・京都市胃がん内視鏡検診と同様のスキームで行う。
- ・府内市町村で、胃がん内視鏡検診が導入できるよう、今後も地域毎の調整を継続。

（3）がん検診受診率向上の取組について〈資料3・4、参考資料集2〉

- ・第37回がん検診のあり方に関する検討会資料によると、受診率向上対策のうち、科学的根拠がある施策は、コール・リコールや、複数の施策を複合的に行うこととされており、各市町村が独自の工夫で取組を実施している。
- ・宇治市では、大規模実証事業の取組として、検診ガイドの見直しを実施。その結果、申込者数及び受診者数が増加。また、国が作成する好事例マニュアルに事例が掲載される予定。
- ・今後も、市町村・京都府ともに、他市町村の取組を共有しながら、効果のある受診率向上対策の取組を継続する。

【質疑応答・意見】

○部会長

- ・コール・リコールは、諸外国において、大腸がん、乳がん、子宮がん検診で古くから取り組まれており、一定のエビデンスが存在している。早期でがんを発見するには、まず、検診を受けてもらう必要がある。引き続き、受診率向上の取組を継続していただきたい。

2 協議「がん検診の実施状況及び精度管理について」

〈令和3年度がん検診受診状況について〉

- ・京都府の対策型検診における2021年度のがん検診延受診者数は、2020年度と比較して増加したが、2019年度までは戻らなかった。

- ・肺がん検診、胃がん検診の順に、受診者数の減少数が大きく、集団検診の中止が影響していると考えられる。
- ・京都府の状況は、日本対がん協会の全国調査とほぼ同様の傾向にあると考えられるが、全国と比較すると、2020年度の減少率が大きく、2021年度の増加率が小さかった。
- ・検診受診者数が戻らない原因は、受診者側の受診控えだけでなく、集団検診回数の減少等、検診体制も影響していると推測される。

<令和3年度チェックリストについて>

○市町村

- ・全体としては、全国平均よりやや低く、例年と同様の傾向。
- ・市町村により、達成率のばらつきが大きい。
- ・「検診対象者・受診者の精度管理」「検診結果・精検結果の把握と受診勧奨、受診率、要精検率の把握」は、どの検診においても達成率が高い。
- ・「検診機関の質の担保」「がん発見率、陽性反応適中度、早期がん割合等の把握」は、どの検診においても達成率が低い。

○検診機関

- ・昨年度と比較して改善傾向。
- ・精検受診率等のプロセス指標の把握は、検診機関により差が見られる。
- ・検診結果の通知（胃がん、大腸がん、肺がん）、検体が不適正との判定を受けた場合の対応（子宮頸がん）、がん発見例の過去の細胞所見の見直し（肺がん、子宮頸がん）、細胞診業務の委託機関名を仕様書に明記（子宮頸がん）等が未達成。

○都道府県

- ・昨年度と同様の傾向。
- ・「9 評価と改善策のフィードバック」が実施できていない。

<令和元年度胃がん検診のプロセス指標（京都府平均）>

【報告事項】

- ・受診率は5.1%。全国の7.0%より低く、市町村により差が大きい。
- ・市町村・エックス線（集団）では、要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度の全てにおいて許容値をクリアしている。
- ・市町村・エックス線（個別）では、要精検率、精検受診率は許容値をクリアしている。がん発見者数はゼロであり、がん発見率、陽性反応的中度は評価できない。
- ・市町村・内視鏡（個別）では、要精検率、がん発見率、陽性反応適中度は許容値をクリアしているが、精検受診率は許容値を外れている。数値の計上の問題だと推測。
- ・検診機関・エックス線（集団）では、4つの指標とも許容値をクリアしている。

【質疑応答・意見】

○委員

- ・ 胃がん検診は、現在、バリウム検査から徐々に内視鏡検査に移行しているとき。高齢者を含め、内視鏡検査を希望する人が増えていると聞いている。胃がん内視鏡検診を受診する人が増えれば、今後、胃がん検診全体の受診率も上がってくると思う。
- ・ 胃がん内視鏡検診の導入にあたっては、二重読影システムの構築が重要である。胃がん内視鏡検診を実施する医療機関は、ある程度専門性が必要だが、それを強調しすぎると、診療で多数の内視鏡検査をやっているにも関わらず、胃がん内視鏡検診への協力は控える医療機関も出る可能性がある。また、二次・三次救急の医療機関に、検診受診者が集中してしまうのも問題だと思う。地域の診療所で、通常の診療体制を崩さずに、検診にも協力していただけるような体制整備をお願いしたい。

○部会長

- ・ 内視鏡検査の導入に期待するところは大きい。京都府では、多くの診療所が、診療で内視鏡検査を実施している。診療所の協力を得て、体制整備を進めていけると良い。

<令和元年度大腸がん検診のプロセス指標（京都府平均）>

【報告事項】

- ・ 受診率は3.5%。全国の6.5%より低く、市町村により差が大きい。
- ・ 市町村（集団）では、要精検率は許容値を外れているが、精検受診率、がん発見率、陽性反応的中度は許容値をクリアしている。
- ・ 市町村（個別）でも、集団方式と同様である。がん発見者数、要精検率、がん発見率、陽性反応的中度は集団と比較して高い。
- ・ 検診機関（集団）では、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度は許容値をクリアしているが、要精検率が許容値を外れている。

【質疑応答・意見】

○委員

- ・ コール・リコールのリコールは、一度、検診を受診した人に対して、再度、受診勧奨をすることか。
→コールは検診が始まる時期等に、個別通知をすること、リコールは、コール実施後、一定期間をおいても受診をしていない方に対して、再度、個別通知をすることである。
＜事務局＞
- ・ 地域保健・健康増進事業報告の受診率算定は、40～69歳と年齢の上限が示されているが、検診対象者の年齢上限について、厚労省はどのように通知しているのか。
→検診対象者の年齢については、がん検診の指針において、「対象者は40歳以上、受診を特に勧奨する者を40歳以上69歳以下の者とする。」と記載されている。府内の市町村では、「40歳以上の住民」を対象として大腸がん検診を実施しており、年齢の上限は設けていな

い。＜事務局＞

○部会長

- ・大腸がん検診の対象年齢については、胃がん検診に内視鏡検査が導入され、対象年齢が50歳以上に変更になったことから、学会等で多くの論議がされている。推奨年齢が40～69歳となっているのは、特にこの世代の人に、しっかり受診して欲しいという意味で、国が一つの指標として示したものだだろう。大腸がん検診ガイドラインの作成検討会でも、諸外国のデータも含め、対象年齢の議論もされていた。下限については、45歳や50歳という意見もあったが、現行の40歳のままとなった。上限についても、制限という意図ではなく、74歳までの人には特にしっかり受けてもらいたいという議論はあった。対象年齢については、今後、国の審議会の了承を得て、通知されるだろう。
- ・大腸がん検診では、全大腸内視鏡検査を受けなければ、精検を受けたことにならない。バーチャルエンドスコーピーなど様々なモダリティがあるが、まだ十分に評価されていない。まずは、一次検診では便潜血検査を受診し、要精検となった場合は、精密検査で全大腸内視鏡検査を受診する、という国の考え方にに基づき、大腸がん検診を進めていけると良いだろう。

＜令和元年度肺がん検診のプロセス指標（京都府平均）＞

【報告事項】

- ・受診率は2.3%。全国の5.5%より低く、市町村により差が大きい。
- ・全市町村、集団方式のみで実施。受診率の高い市町村では、他の検診とセットで実施しているところがある。
- ・市町村（集団）では、要精検率、精検受診率、がん発見率は許容値をクリアしており、精検受診率は、他の検診と比較しても高い。陽性反応適中度は、許容値を外れている。
- ・検診機関（集団）では、すべての項目で許容値をクリアしている。

【質疑応答・意見】

○委員

- ・プロセス指標等、昨年度と大きな変化がなかった。特記すべき事項はない。

○事務局

- ・個別検診を導入すれば、受診機会が増えるため、受診率は上昇すると予測している。また、特定健診との同時実施も可能となり、利便性も高まる。その一方で、精度管理の難しさや、体制整備にかかる莫大なコストにより、まだ導入の検討は難しい状況。様々な状況を注視しながら、検討していきたい。

＜令和元年度乳がん検診のプロセス指標（京都府平均）＞

【報告事項】

- ・受診率は18.2%で全国の15.6%より高い。5つのがん検診のうち、乳がん検診のみ全国平均よ

り受診率が高い。

- ・市町村（集団）では、すべての項目で許容値をクリアしている。精検受診率は、実施している全市町村で許容値の80%以上である。
- ・市町村（個別）でも、集団と同様、すべての項目で許容値をクリアしている。一方、要精検率は市町村により大きく異なり、医療機関の多い地域で高い傾向にあるため、医療機関によってばらつきがあると考えられる。
- ・検診機関（集団）でも、すべての項目で許容値をクリアしている。

【質疑応答・意見】

○委員

- ・京都府全体の受診率は、北部の一部地域の受診率の高さにより全国平均を上回っているが、京都市を含む都市部では、全国平均よりも受診率が低く、課題である。
- ・個別検診の要精検率が高いのは、個々の医療機関で見逃しを避けたいという思いが強いことも理由の一つである。また、10年程前に、全国的にマンモグラフィ装置の導入が一気に進み、それらが更新時期を迎えている。まだ、更新をしていない医療機関では、装置の精度に不安があり、それも要精検率の高さと関係があるかもしれない。
- ・今後、プロセス指標の改定が予定されており、その指標は今よりも厳しい数値となる。乳がん検診も、許容値を外れる可能性もあるので、引き続き、丁寧に精度管理をしていきたい。

○部会長

- ・乳がん検診のプロセス指標は、全国的にも良好なので、国としてはさらに精度を高める方向だと推測する。マンモグラフィ装置の更新は必要だが、それにも大きな予算が必要である。このような状況も鑑みながら、今後も精度管理をしていただきたい。

<令和元年度子宮頸がん検診のプロセス指標>

【報告事項】

- ・受診率は10.7%で、全国の15.2%より低い。
- ・現在のプロセス指標は平成20年度のものであり、現在、前がん病変の発見を主眼としている中では、プロセス指標の評価が難しい。
- ・市町村（集団）では、精検受診率のみ許容値をクリアしており、それ以外では許容値を外れている。
- ・市町村（個別）でも、精検受診率のみ許容値をクリアしており、それ以外では許容値を外れている。
- ・検診機関（集団）でも、精検受診率のみ許容値をクリアしており、それ以外では許容値を外れている。

【質疑応答・意見】

○委員

- ・子宮頸がんは、若年層に多く、がんになるまでに発見することが重要である。特に、晩産化や少子化により、がんにかかる年齢と出産年齢が重なってきており、妊孕性の維持や子宮を温存した治療の必要性を考えると、前がん病変の時点で見つけることが重要である。そのため、要精検率が高くなる。
- ・受診率については、定期的に京都府医師会子宮頸がん委員会を開催し、京都市、京都府をはじめ行政と一緒に検討している。研修会等を活用して、今後も検討していきたい。
- ・子宮頸がんは、HPV ワクチンで一次予防、検診で二次予防というのが、世界標準である。欧米先進国やオーストラリアでは、HPV ワクチン接種がすすんでいるが、ワクチン接種が進んでいる場合、検診の受診間隔は、5年に1回で良いとも言われている。また、欧米では、検診方法についても、細胞診ではなく、HPV 検査が推奨されている。日本でも、いくつかの自治体において、HPV 検査と細胞診の併用検診が実施されている。まだ、はっきりとしたエビデンスは出ていないが、京都府内でも、HPV 検査と細胞診の併用検診を検討したいと考えている。細胞診は、以前は塗抹検体でやっていたが、今は液状検体でやっているのので、採取した液状検体の一部を使って、HPV 検査も実施できる。
- ・HPV ワクチンは、現在、2価、4価は公費接種が認められて、中学生、高校1年生での接種が可能である。また、1997年4月2日から2006年4月1日生まれで、接種機会を逃した女性は、キャッチアップ接種の機会が設けられている。なお、4月からは9価のHPV ワクチンが小学校6年生から高校1年生の女子に公費で接種できるようになる。15歳未満であれば接種回数も2回で十分な効果が得られる。厚生労働省がわかりやすい改訂版のリーフレットを作成しており、WEBサイトで確認することができる（注1）。また、日本産科婦人科学会のホームページにも、一般の方向けに「子宮頸がん HPV ワクチンに関する正しい理解のために」が掲載されているので参考にして欲しい（注2）。
- ・HPV ワクチンは婦人科で接種できるが、中学生だと小児科を受診することが多い。小児科あるいは保護者が通院している内科のクリニックで接種できるようにするなど、行政と連携して、接種を進めていきたい。

<指針外の検診>

【報告事項】

- ・胃がんリスク検診、前立腺がん検診を実施している市町村はあるが、その他の指針外の検診を実施しているところはない。

<全体を通しての意見>

【質疑応答・意見】

○委員

- ・京都府医師会では、消化器がん、肺がん、乳がん、子宮頸がん、それぞれの委員会において、検診受診率の向上や、開業医の質の担保、より多くの医療機関に協力いただける体制の構築等について協議を進めている。
- ・京都府は、コロナに感染して死亡した場合、基礎疾患が肺がん、胃がん、大腸がん等であつ

ても、コロナ死亡として計上していると思う。死因別死亡者数やがんによる死亡者数について、コロナに感染して死亡した人は、どのように計上されるのか。また、京都府の部位別がんの死亡者数は、令和2年度までは、極端な増減はないが、令和3年度以降は、どのような統計になると考えているか。

- ・超過死亡について、コロナ死亡としてまとめている限りは、がんによる超過死亡はないと考えてよいのか。

→京都府が報道発表している日々の死亡者数は、死亡原因に関わらず、コロナに感染して死亡した人は、コロナ感染による死亡として。一例一例どう判断するかについて、現時点では指標がない。諸外国では、コロナに感染して4週間以内に亡くなった場合はコロナ死亡、4週間以上たっていれば、コロナ以外の死亡とする等、様々である。〈事務局〉

○部会長

- ・主たる死亡原因が、コロナか、元疾患かは、非常に難しい部分なので、国の方針を待つしかないだろう。
- ・京都府の健康寿命とがん検診受診率については、全国順位が低く、がん検診の受診率は、特に、京都市を中心とした都市部で低い。一方、京都・乙訓医療圏は、非常に医療に恵まれた地域で、検診は未受診であっても、保険診療等で同様の検査を受けている可能性も考えられる。諸外国では、受診率調査の際、乳がん検診の受診の有無について、「マンモグラフィ検査を受けているか、受けていないか」という聞き方をしている。「乳がん検診を受けているか、受けていないか」という聞き方はしていない。国民生活基礎調査では、検査受診の有無で聞いていないため、曖昧な結果となっている可能性もある。健康寿命についても、質問の仕方が曖昧であり、本来の健康寿命を表していない可能性もある。この点に留意して、試験的に調査を行うと、別の実態が明らかになるかもしれない。

○委員

- ・日本乳癌検診学会のシンポジウムにおいて、コロナが流行し始めた頃は、受診者数の落ち込みがひどかったが、その後、医療機関が近隣にあるような地域では、受診者数が戻ってきており、むしろコロナ前よりも増えているという報告があった。一方、精検受診率については、コロナ前よりも落ち込んでいるという報告もあった。精検受診が遅れると、検診受診時は早期がんであっても、精検を受診するときには、進行がんになってしまうこともあり得る。精検受診についても、丁寧にフォローいただきたい。

○部会長

- ・精検受診については、patient delay、doctors delayがあり、精検受診までの遅れが、受診者側にあるのか、医療機関側にあるのか、精査する必要があると言われている。
- ・コロナによる受診控えで、精検受診が遅れると、本来ならば救命できたものが救命できなくなる可能性もある。一次検診を受けても、精検を受けずに、がんの発見が遅れるとすれば、府民にとって非常に不利益である。精検受診についても、丁寧にフォローいただきたい。

3 次回に向けて

- ・次年度も引き続き、各市町村、検診機関のオブザーバー出席を依頼していく。
- ・今後も、検診実施状況等を引き続き把握し、より良い取組については、関係機関で共有しながら取組を進めていく。

(注1)

厚生労働省ホームページ

「ヒトパピローマウイルス感染症～子宮頸がんと HPV ワクチン～」

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou28/>

(令和5年4月5日アクセス可能)

(注2)

公益社団法人 日本産科婦人科学会ホームページ

「子宮頸がんと HPV ワクチンに関する正しい理解のために」

https://www.jsog.or.jp/modules/jsogpolicy/index.php?content_id=4

(令和5年4月5日アクセス可能)

がん検診受診率 都道府県別順位（令和4年度国民生活基礎調査）

単位：％

胃がん（男女）			肺がん（男女）			大腸がん（男女）			乳がん（女）			子宮（頸）がん（女）		
40～69歳/過去1年間			40～69歳/過去1年間			40～69歳/過去1年間			40～69歳/過去2年間			20～69歳/過去2年間		
順位	都道府県	受診率	順位	都道府県	受診率	順位	都道府県	受診率	順位	都道府県	受診率	順位	都道府県	受診率
0	全国	41.9	0	全国	49.7	0	全国	45.9	0	全国	47.4	0	全国	43.6
1	山形	63.5	1	山形	69.0	1	山形	64.7	1	山形	61.7	1	山形	57.5
2	新潟	54.7	2	山梨	62.9	2	山梨	55.4	2	山梨	60.1	2	宮城	52.1
3	宮城	52.1	3	新潟	60.6	3	宮城	55.2	3	宮城	58.0	3	山梨	50.2
4	山梨	49.2	4	宮城	60.0	4	新潟	53.6	4	東京	55.0	4	岡山	49.4
5	福島	48.8	5	岩手	59.0	5	岩手	52.9	5	千葉	55.0	5	東京	49.2
6	長野	47.9	6	富山	58.1	6	長野	52.3	6	長野	52.8	6	大分	49.2
7	岡山	47.7	7	岡山	57.7	7	富山	52.1	7	岡山	52.7	7	香川	48.8
8	富山	47.6	8	長野	57.1	8	島根	51.2	8	大分	52.6	8	長野	48.0
9	佐賀	47.1	9	高知	56.5	9	青森	51.1	9	富山	52.5	9	新潟	47.8
10	熊本	46.6	10	鳥取	56.3	10	福島	50.5	10	香川	52.2	10	富山	47.7
11	鳥取	46.4	11	福島	55.8	11	秋田	50.3	11	熊本	51.4	11	鹿児島	47.5
12	島根	46.3	12	島根	55.8	12	東京	49.8	12	三重	51.2	12	千葉	47.5
13	高知	46.2	13	群馬	55.7	13	岡山	49.2	13	新潟	50.9	13	熊本	47.5
14	岩手	45.8	14	秋田	55.4	14	鳥取	48.6	14	岩手	50.6	14	三重	47.0
15	青森	45.3	15	青森	55.3	15	静岡	48.3	15	佐賀	50.0	15	高知	46.6
16	秋田	45.2	16	石川	54.5	16	岐阜	48.3	16	栃木	49.9	16	岩手	46.5
17	香川	45.1	17	佐賀	54.4	17	高知	48.1	17	鹿児島	49.8	17	福井	46.1
18	大分	45.0	18	静岡	54.4	18	香川	47.9	18	福井	49.3	18	秋田	45.9
19	石川	44.4	19	香川	54.0	19	熊本	47.6	19	高知	49.2	19	沖縄	45.3
20	広島	43.3	20	熊本	52.8	20	福井	47.5	20	沖縄	48.8	20	佐賀	45.3
21	静岡	43.2	21	栃木	52.4	21	金川	47.3	21	福島	48.8	21	福島	44.4
22	東京	43.2	22	千葉	52.2	22	佐賀	46.8	22	金川	48.3	22	鳥取	44.1
23	岐阜	43.1	23	岐阜	51.9	23	愛知	46.3	23	群馬	47.9	23	静岡	44.0
24	金川	42.7	24	福井	51.5	24	群馬	46.3	24	滋賀	47.2	24	金川	43.7
25	群馬	42.6	25	鹿児島	51.4	25	千葉	46.2	25	青森	47.1	25	青森	43.6
26	千葉	42.1	26	東京	50.5	26	栃木	45.7	26	岐阜	46.9	26	栃木	43.1
27	愛知	41.1	27	宮崎	50.4	27	三重	45.7	27	茨城	46.6	27	宮崎	42.7
28	三重	40.8	28	茨城	50.3	28	石川	45.5	28	秋田	46.3	28	福岡	42.6
29	鹿児島	40.6	29	金川	50.0	29	茨城	45.1	29	石川	46.2	29	石川	42.6
30	滋賀	40.5	30	大分	49.8	30	愛媛	45.1	30	宮崎	46.2	30	広島	42.5
31	茨城	40.5	31	三重	48.7	31	大分	45.0	31	静岡	45.9	31	群馬	42.5
32	沖縄	40.5	32	愛知	48.5	32	滋賀	44.8	32	鳥取	45.5	32	茨城	42.4
33	福岡	40.4	33	愛媛	48.4	33	宮崎	44.2	33	愛知	45.5	33	愛媛	42.1
34	奈良	40.1	34	広島	47.7	34	広島	44.0	34	福岡	44.7	34	岐阜	41.5
35	福井	40.0	35	滋賀	47.6	35	鹿児島	44.0	35	愛媛	44.4	35	徳島	41.1
36	宮崎	40.0	36	和歌山	46.5	36	奈良	43.3	36	島根	43.7	36	奈良	41.0
37	愛媛	39.9	37	徳島	46.4	37	兵庫	43.2	37	徳島	43.3	37	滋賀	40.7
38	栃木	39.5	38	埼玉	45.9	38	埼玉	43.0	38	京都	42.9	38	愛知	40.5
39	徳島	39.1	39	山口	45.5	39	福岡	42.1	39	兵庫	42.8	39	大阪	39.9
40	長崎	38.2	40	長崎	44.9	40	和歌山	40.6	40	広島	42.6	40	長崎	39.7
41	和歌山	38.2	41	沖縄	44.5	41	徳島	40.5	41	埼玉	42.5	41	兵庫	38.9
42	埼玉	37.6	42	福岡	44.4	42	大阪	40.3	42	大阪	42.2	42	京都	38.8
43	大阪	36.8	43	兵庫	44.2	43	京都	39.6	43	奈良	41.7	43	和歌山	38.7
44	山口	36.1	44	奈良	44.0	44	長崎	39.5	44	長崎	41.5	44	島根	38.4
45	北海道	36.1	45	大阪	42.2	45	沖縄	38.4	45	和歌山	39.5	45	埼玉	38.2
46	京都	35.9	46	京都	42.0	46	山口	38.3	46	北海道	36.9	46	北海道	37.3
47	兵庫	35.8	47	北海道	40.7	47	北海道	38.1	47	山口	34.8	47	山口	34.9

令和3年度府内市町村別がん検診受診率（令和3年度地域保健・健康増進事業報告）

単位：％

	胃がん（男女） 50-69歳/2年に1回		肺がん（男女） 40-69歳/1年に1回		大腸がん（男女） 40-69歳/1年に1回		乳がん（女） 40-69歳/2年に1回		子宮（頸）がん（女） 20-69歳/2年に1回	
	全体	(再掲)国保	全体	(再掲)国保	全体	(再掲)国保	全体	(再掲)国保	全体	(再掲)国保
全国	6.5	12.1	6	15.2	7	16	15.4	18.2	15.4	16.2
京都府	4.6	7.3	3	6.1	4.2	8.5	18.2	17.8	11	13.2
京都市	0.6	0.9	1.3	2.6	1.7	3	6.7	6.6	7.5	3.4
向日市	2.2	3.5	1.3	2.7	5.8	14.7	11.6	10.6	11.1	8.3
長岡京市	1.9	4	1.5	4.4	4.3	14.8	11.3	14	11.1	10.7
大山崎町	2.8	3.9	1.5	2.9	6.1	10.2	14.4	8.9	12.5	5.6
宇治市	1.2	2.7	1.1	3	3.5	11.5	14	15	9.8	10.4
城陽市	1.6	3.6	1.7	4.3	5.6	17.8	13.9	17.9	10.6	13.7
久御山町	2.3	5.3	2.9	7.7	4	10.7	18.4	21.3	11.7	5.9
八幡市	3.9	7.8	3.7	8.1	6.1	13.3	17.8	19.4	9.7	9.6
京田辺市	3.7	5.1	2.8	4.8	4.7	7.3	19.4	19.6	21.6	14.6
井手町	3	3.4	3	4.9	6.6	17.8	15.1	14.5	13.5	13.1
宇治田原町	4.7	8.9	4.4	8.5	5.1	9.8	16.4	1.7	11.8	11
木津川市	7.5	4.7	11.1	6.4	12.2	6.6	20.2	7.3	19.5	5.4
笠置町	5.1	6.6	6.4	8.2	10.9	16.9	29.4	28.3	26.9	26
和束町	9.3	…	12.1	…	11	…	35.9	…	26.5	…
精華町	6.3	10.6	6.1	11.6	9.3	14.1	25.2	24.2	25.4	22.7
南山城村	6.5	8.2	8.8	18.4	10.8	23.3	19.2	31.9	16.1	24.2
亀岡市	4.1	7.3	3.6	8.2	4.8	8.9	15	14.8	17.1	14
南丹市	8.3	12.7	10.6	18.5	11.1	17.1	24.4	31.2	20.9	22.7
京丹波町	10.4	12.9	17.1	33.1	17.2	30.5	29.2	32.7	26.8	28.8
福知山市	1.5	2.6	2.3	6.4	4.4	12.2	14.7	16.2	13.9	15.7
舞鶴市	7.5	13.5	6.8	17.3	9.6	22.7	26.3	25.3	22.2	16.9
綾部市	5.6	10.4	7	18	8.3	20.3	14.4	18.2	15	15
宮津市	9.2	12.6	15	27	14.5	23	27.4	27.8	23.3	22.1
京丹後市	13.3	18.4	17	33.8	18.2	32.1	34.7	38.6	25.7	29.7
伊根町	20.9	28.9	21.5	32.9	19.9	29.5	38	35.3	32.3	37.8
与謝野町	13.4	19.7	17.1	35	17.7	31.6	32.9	36.6	31.9	37.2

※対象年齢は、胃がん検診50～69歳、子宮頸がん検診20～69歳、その他検診40～69歳

※京都市胃がん、乳がん、子宮頸がんについては、2年連続受診者不詳のため、数値が公表されていないが、本資料では2年連続受診者を0として算出

市町村別胃がん検診プロセス指標の状況（令和2年度、エックス線検診、集団検診、50～74歳）

R2 胃がん検診 (エックス線) (集団検診) 50-74	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検受診者内訳							精検未受診 精検未把握	f	g	要精検率 c/b	精検 受診率 d/c	精検 未受診率 f/c	精検 未把握率 g/c	がん発見率 e/b	陽性反応適 中度 e/c	
				胃がん 異常認めず	胃がん あった者 (転移性を 含まない)	胃がんで (再掲)胃が んのうち早 期が ん	胃がんの疑 いのある者 又は未確定		胃がん以外 の疾患で あった者 (転移性の 胃がんを 含む)	精検中また は検診後に 重篤な偶発 症を確認										精密検査中 または精密 検査後に重 篤な偶発症 を確認
							胃がんが (再掲)早期 がんのうち 粘膜内がん	268												
基準値(検診間隔 1年)	b	c	d	e	f	g	c/b	d/c	f/c	g/c	e/b	e/c								
(参考) 旧許容値							11.0%以下	70.0%以上	20.0%以下	10.0%以下	0.11%以上	1.0%以上								
(参考) 旧目標値							-	90.0%以上	5.0%以下	5.0%以下	-	-								
全国	930,727	59,314	49,518	7,048	1,026	595	268	265	41,179	4,531	5,265	4	6.4%	83.5%	7.6%	8.9%	0.11%	1.7%		
京都府	13,111	794	682	63	15	7	2	12	592	63	49	0	6.1%	85.9%	7.9%	6.2%	0.11%	1.9%		
1 京都市	1,760	194	160	8	2	1	0	1	149	34	0	0	11.0%	82.5%	17.5%	0.0%	0.11%	1.0%		
2 向日市	249	8	8	0	0	0	0	0	8	0	0	0	3.2%	100.0%	0.0%	0.0%	0.00%	0.0%		
3 長岡京市	371	10	10	3	0	0	0	0	7	0	0	0	2.7%	100.0%	0.0%	0.0%	0.00%	0.0%		
4 大山崎町	124	2	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1.6%	100.0%	0.0%	0.0%	0.00%	0.0%		
5 宇治市	670	34	31	1	1	0	0	0	29	0	3	0	5.1%	91.2%	0.0%	8.8%	0.15%	2.9%		
6 城陽市	353	11	9	1	0	0	0	1	7	0	2	0	3.1%	81.8%	0.0%	18.2%	0.00%	0.0%		
7 久御山町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
8 八幡市	645	25	18	2	0	0	0	0	16	3	4	0	3.9%	72.0%	12.0%	16.0%	0.00%	0.0%		
9 京田辺市	616	49	45	0	2	1	0	0	43	3	1	0	8.0%	91.8%	6.1%	2.0%	0.32%	4.1%		
10 井手町	56	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1.8%	100.0%	0.0%	100.0%	0.00%	0.0%		
11 宇治田原町	150	11	7	0	1	1	0	0	6	4	0	0	7.3%	63.6%	36.4%	0.0%	0.67%	9.1%		
12 木津川市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
13 笠置町	14	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	7.1%	100.0%	0.0%	0.0%	0.00%	0.0%		
14 和束町	94	2	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2.1%	100.0%	0.0%	0.0%	0.00%	0.0%		
15 精華町	678	14	14	0	1	1	1	0	13	0	0	0	2.1%	100.0%	0.0%	0.0%	0.15%	7.1%		
16 南山城村	51	2	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3.9%	50.0%	0.0%	50.0%	0.00%	0.0%		
17 亀岡市	1,197	49	37	3	0	0	0	0	34	0	12	0	4.1%	75.5%	0.0%	24.5%	0.00%	0.0%		
18 南丹市	666	34	23	2	0	0	0	6	15	0	11	0	5.1%	67.6%	0.0%	32.4%	0.00%	0.0%		
19 京丹波町	74	3	2	0	0	0	0	0	2	0	1	0	4.1%	66.7%	0.0%	33.3%	0.00%	0.0%		
20 福知山市	124	9	9	0	1	1	0	0	8	0	0	0	7.3%	100.0%	0.0%	0.0%	0.81%	11.1%		
21 舞鶴市	1,518	156	144	13	1	0	0	1	129	6	6	0	10.3%	92.3%	3.8%	3.8%	0.07%	0.8%		
22 綾部市	531	36	36	5	1	0	0	0	30	0	0	0	6.8%	100.0%	0.0%	0.0%	0.19%	2.8%		
23 宮津市	395	18	18	1	0	0	0	1	16	0	0	0	4.6%	100.0%	0.0%	0.0%	0.00%	0.0%		
24 京丹後市	1,893	90	80	20	4	2	1	2	54	10	0	0	4.8%	88.9%	11.1%	0.0%	0.21%	4.4%		
25 伊根町	122	7	4	1	1	0	0	0	2	3	0	0	5.7%	57.1%	42.9%	0.0%	0.82%	14.3%		
26 与野町	760	28	21	3	0	0	0	0	18	0	7	0	3.7%	75.0%	0.0%	25.0%	0.00%	0.0%		

< 出典：令和3年度地域保健・健康増進事業報告 >

市町村別胃がん検診プロセス指標の状況（令和2年度、エックス線検診、個別検診、50～74歳）

R2胃がん検診 (エックス線) (個別検診) 50-74	受診者数	要精検者数	精検受診者 数	精検受診者内訳						精検未受診 精検未把握	精検 未把握率	精検 未受診率	精検 受診率	要精検率	精密検査中 または精密 検査後に重 篤な偶発症 を確認	検診中または 検診後に重 篤な偶発症 を確認	精検 がん発見率	陽性反応適 中度							
				胃がん 異常認めず	胃がん あった者 (転移性を 含まない)	(再掲)胃が んのうち早 期が ん	(再掲)胃が んのうち早 期(再掲)胃が んのうち早期 粘膜内がん	胃がんの疑 いのある者 又は未確定	胃がん以外 の疾患で あった者 (転移性の 胃がんを 含む)										f	g	c/b	d/c	f/c	g/c	e/b
基準値(検診間隔 1年)																									
(参考)旧許容値																									
(参考)旧目標値																									
全国	316,162	21,221	15,873	2,786	299	147	61	118	12,670	1,943	3,405	0	0	0	0	0	0	0							
京都府	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
1 京都市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
2 向日市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
3 長岡京市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
4 大山崎町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
5 宇治市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
6 城陽市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
7 久御山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
8 八幡市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
9 京田辺市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
10 井手町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
11 宇治田原町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
12 木津川市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
13 笠置町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
14 和束町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
15 精華町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
16 南山城村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
17 亀岡市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
18 南丹市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
19 京丹波町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
20 福知山市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
21 舞鶴市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
22 綾部市	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
23 宮津市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
24 京丹後市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
25 伊根町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
26 与野町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							

< 出典：令和3年度地域保健・健康増進事業報告 >

市町村別胃がん検診プロセス指標の状況（令和2年度、内視鏡検査、集団検診、50～74歳）

R2 胃がん検診 (内視鏡検査) (集団検診) 50-74	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検受診者内訳						検診時生検 未受診のうち 再検査未 受診	検診時生検 未受診のうち 再検査未 把握	精密検査中 または精密 検査後に重 篤な偶発症 を確認	要精検率	精検 受診率	精検 未受診率	精検 未把握率	がん発見率	陽性反応適 中度					
				胃がんで あった者 (転移性を 含まない)	(再掲)胃が んのうち早 期が ん	胃がんの疑 いのある者 又は未確定	胃がん以外 の疾患で あった者 (転移性の 胃がんを 含む)	検診中また は検診後に 重篤な偶発 症を確認	精密検査 後、重篤な 偶発症を 確認										c/b	d/c	f/c	g/c	e/b
基準値 (検診間隔 2年)												7.7%以下	90%以上			0.19%以上	2.5%以上						
(参考) 旧許容値												11.0%以下	70.0%以上	20.0%以下	10.0%以下	0.11%以上	1.0%以上						
(参考) 旧目標値												-	90.0%以上	5.0%以下	5.0%以下	-	-						
全国	12,824	552	444	29	19	2	10	283	57	51	0	4.3%	80.4%	10.3%	9.2%	0.23%	5.3%						
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
1 京都市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
2 向日市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
3 長岡京市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
4 大山崎町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
5 宇治市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
6 城陽市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
7 久御山町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
8 八幡市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
9 京田辺市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
10 井手町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
11 宇治田原町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
12 木津川市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
13 笠置町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
14 和束町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
15 精華町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
16 南山城村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
17 亀岡市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
18 南丹市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
19 京丹波町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
20 福知山市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
21 舞鶴市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
22 綾部市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
23 宮津市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
24 京丹後市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
25 伊根町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
26 与野町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						

< 出典：令和3年度地域保健・健康増進事業報告 >

市町村別胃がん検診プロセス指標の状況（令和2年度、内視鏡検査、個別検診、50～74歳）

R2胃がん検診 (内視鏡検査) (個別検診) 50-74	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検受診者内訳						検診時生検 未受診のうち 再検査未 受診	検診時生検 未受診のうち 再検査未 把握	精密検査中 または精密 検査後に重 篤な偶発症 を確認	要精検率	精検 受診率	精検 未把握率	がん発見率	陽性反応適 中度						
				胃がん あつた者 (転移性を 含まない)	(再掲)胃が んのうち早 期が ん	胃がんの疑 いのある者 又は未確定	胃がん以外 の疾患で あつた者 (転移性の 胃がんを 含む)	検診時生検 未受診のうち 再検査未 把握	検診中また は検診後に 重篤な偶発 症を確認									c/b	d/c	f/c	g/c	e/b	e/c
基準値(検診間隔 2年)												7.7%以下	90%以上		0.19%以上	2.5%以上							
(参考) 旧許容値												11.0%以下	70.0%以上	20.0%以下	10.0%以下	0.11%以上	1.0%以上						
(参考) 旧目標値												-	90.0%以上	5.0%以下	-	-	-						
全国	645,746	46,005	42,784	12,843	1,878	1,167	524	1,860	26,203	594	2,627	2	1	1.3%	5.7%	0.29%	4.1%						
京都府	925	43	34	15	4	2	0	1	14	6	3	0	0	4.6%	7.0%	0.43%	9.3%						
1 京都市	738	14	8	4	2	2	0	0	2	6	0	0	0	1.9%	0.0%	0.27%	14.3%						
2 向日市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
3 長岡京市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
4 大山崎町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
5 宇治市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
6 城陽市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
7 久御山町	83	14	11	2	2	0	0	0	7	0	3	0	0	16.9%	78.6%	2.41%	14.3%						
8 八幡市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
9 京田辺市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
10 井手町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
11 宇治田原町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
12 木津川市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
13 笠置町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
14 和束町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
15 精華町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
16 南山城村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
17 亀岡市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
18 南丹市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
19 京丹波町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
20 福知山市	104	15	15	9	0	0	0	1	5	0	0	0	0	14.4%	100.0%	0.0%	0.0%						
21 舞鶴市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
22 綾部市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
23 宮津市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
24 京丹後市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
25 伊根町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
26 与野町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						

< 出典：令和3年度地域保健・健康増進事業報告 >

市町村別肺がん検診プロセス指標の状況（令和2年度、集団検診、40～74歳）

R2肺がん検診 (全て・集団) 40-74	受診者数 b	要精密検査 者数 c	精密検査 数 d	精密検査受診者				未受診 f	未把握 g	検診中または 検診後に 重篤な偶発 症を確認	精密検査中 または精密 検査後に重 篤な偶発症 を確認	要精検率 c/b	精検受診率 d/c	精検未受診 率 f/c	精検未把握 率 g/c	がん発見率 e/b	陽性反応適 中度 e/c	早期がん割 合 e1/e							
				肺がん であった者 (転移性を 含まない) e	肺がん であった者 (再掲)肺が んのうち臨 床病期0～ I期 e1	肺がんの疑 いのある者 又は未確定 肺がんを含 む e1	肺がん以外 の疾患で あった者 (転移性の 肺がんを含 む) e1												精検率 c/b	精検受診率 d/c	精検未受診 率 f/c	精検未把握 率 g/c	がん発見率 e/b	陽性反応適 中度 e/c	早期がん割 合 e1/e
基準値(検診以外の肺に関 する検査の受診なし)											2.4%以下	90%以上	20.0%以下	10.0%以下	0.10% 以上	4.1%以上									
基準値(検診以外の肺に関 する検査の受診考慮)											2.3%以下	90%以上	5.0%以下	5.0%以下	0.05% 以上	2.2%以上									
(参考)旧語咨询											3.0%以下	70.0%以上	20.0%以下	10.0%以下	0.03%以上	1.3%以上									
(参考)旧日標値											-	90.0%以上	5.0%以下	5.0%以下	-	-									
全国	2,248,017	33,701	29,064	11,868	938	354	1,387	14,876	2,325	2,312	0	5	1.5%	86.2%	6.9%	0.04%	2.8%	37.7%							
京都府	33,954	823	714	296	9	4	31	378	81	28	0	0	2.4%	86.8%	9.8%	3.4%	0.03%	1.1%	44.4%						
1 京都市	6,903	234	210	96	5	4	5	104	24	0	0	0	3.4%	89.7%	10.3%	0.0%	0.07%	2.1%	80.0%						
2 向日市	426	3	3	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0.7%	100.0%	0.0%	0.0%	0.00%	0.0%	-						
3 長岡京市	733	9	9	5	0	0	1	3	0	0	0	0	1.2%	100.0%	0.0%	0.0%	0.00%	0.0%	-						
4 大山崎町	206	8	8	0	0	0	0	0	8	0	0	0	3.9%	100.0%	100.0%	0.0%	0.00%	0.0%	-						
5 宇治市	1,404	53	46	25	1	0	2	18	0	7	0	0	3.8%	86.8%	0.0%	13.2%	0.07%	1.9%	0.0%						
6 城陽市	795	19	19	6	0	0	2	11	0	0	0	0	2.4%	100.0%	0.0%	0.0%	0.00%	0.0%	-						
7 久御山町	385	7	7	1	0	0	0	6	0	0	0	0	1.8%	100.0%	0.0%	0.0%	0.00%	0.0%	-						
8 八幡市	1,421	27	23	12	0	0	0	11	4	0	0	0	1.9%	85.2%	14.8%	0.0%	0.00%	0.0%	-						
9 京田辺市	1,125	26	23	13	1	0	0	9	3	0	0	0	2.3%	88.5%	11.5%	0.0%	0.00%	3.8%	0.0%						
10 井手町	121	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.8%	100.0%	0.0%	0.0%	0.00%	0.0%	-						
11 宇治田原町	267	5	4	1	0	0	1	2	1	0	0	0	1.9%	80.0%	20.0%	0.0%	0.00%	0.0%	-						
12 木津川市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
13 笠置町	46	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2.2%	100.0%	0.0%	0.0%	0.00%	0.0%	-						
14 和束町	290	5	4	2	0	0	0	2	1	0	0	0	1.7%	80.0%	20.0%	0.0%	0.00%	0.0%	-						
15 精華町	1,270	13	13	3	0	0	1	9	0	0	0	0	1.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.00%	0.0%	-						
16 南山城村	125	6	5	5	0	0	0	0	1	0	0	0	4.8%	83.3%	16.7%	0.0%	0.00%	0.0%	-						
17 亀岡市	2,445	55	49	21	0	0	4	24	0	6	0	0	2.2%	89.1%	0.0%	10.9%	0.00%	0.0%	-						
18 南丹市	1,566	24	14	3	0	0	3	8	7	3	0	0	1.5%	58.3%	29.2%	12.5%	0.00%	0.0%	-						
19 京丹波町	966	9	9	0	1	0	0	8	0	0	0	0	0.9%	100.0%	0.0%	0.0%	0.10%	11.1%	0.0%						
20 福知山市	1,101	23	23	7	1	0	1	14	0	0	0	0	2.1%	100.0%	0.0%	0.0%	0.09%	4.3%	0.0%						
21 舞鶴市	2,870	79	60	26	0	0	3	31	11	8	0	0	2.8%	75.9%	13.9%	10.1%	0.00%	0.0%	-						
22 綾部市	1,107	38	36	10	0	0	5	21	0	2	0	0	3.4%	94.7%	0.0%	5.3%	0.00%	0.0%	-						
23 宮津市	1,400	14	11	6	0	0	0	5	3	0	0	0	1.0%	78.6%	21.4%	0.0%	0.00%	0.0%	-						
24 京丹後市	4,721	143	127	48	0	0	3	76	16	0	0	0	3.0%	88.8%	11.2%	0.0%	0.00%	0.0%	-						
25 伊根町	243	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0.8%	0.0%	100.0%	100.0%	0.00%	0.0%	-						
26 与野町	2,018	19	17	4	0	0	0	13	2	0	0	0	0.9%	89.5%	10.5%	0.0%	0.00%	0.0%	-						

< 出典：令和3年度地域保健・健康増進事業報告 >

市町村別肺がん検診プロセス指標の状況（令和2年度、個別検診、40～74歳）

R2肺がん検診（全て・個別） 40-74	受診者数 b	要精密検査者数 c	精密検査受診者数 d	精密検査受診者				未受診 f	未把握 g	検診中または検診後は検査後に重篤な偶発症を 確認	精密検査中または検査後に重篤な偶発症を 確認	要精検率 c/b	精検受診率 d/c	精検未受診率 f/c	精検未把握率 g/c	がん発見率 e/b	陽性反応適中度 e/c	早期がん割合 e1/e				
				肺がんであった者 (転移性を含まない) e	(再掲)肺がんのうち臨床病期0～I期 e1	肺がんの疑いのある者 又は未確定 e2	肺がん以外の疾患であった者 (転移性の肺がんを含む) e3												精検受診率 90%以上	精検未受診率 20.0%以下	精検未把握率 10.0%以下	がん発見率 0.10%以上
基準値（検診以外の肺に関する検査の受診なし）											2.4%以下	90%以上			0.10%以上	4.1%以上						
基準値（検診以外の肺に関する検査の受診考慮）											2.3%以下	90%以上			0.05%以上	2.2%以上						
(参考) 旧許容値											3.0%以下	70.0%以上	20.0%以下	10.0%以下	0.03%以上	1.3%以上	-					
(参考) 旧目標値											-	90.0%以上	5.0%以下	5.0%以下	-	-	-					
全国	2,111,989	42,788	34,743	16,641	826	227	1,747	15,528	2,128	5,917	1	2	2.0%	81.2%	5.0%	13.8%	0.04%	1.9%	27.5%			
京都府	222	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	0.00%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!			
1 京都市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
2 向日市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
3 長岡京市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
4 大山崎町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
5 宇治市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
6 城陽市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
7 久御山町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
8 八幡市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
9 京田辺市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
10 井手町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
11 宇治田原町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
12 木津川市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
13 笠置町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
14 和束町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
15 精華町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
16 南山城村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
17 亀岡市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
18 南丹市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
19 京丹波町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
20 福知山市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
21 舞鶴市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
22 綾部市	222	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	-	-	0.00%	-	-	-			
23 宮津市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
24 京丹後市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
25 伊根町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
26 与野町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			

< 出典：令和3年度地域保健・健康増進事業報告 >

市町村別大腸がん検診プロセス指標の状況（令和2年度、集団検診、40～74歳）

R2大腸がん 検診（集団） 40-74	受診者数 b	要精密検 査者数 c	精密検 査者数 d	異常認め ず e	精密検査受診者の内訳						偶発症の 有無別人 数	要精検率 c/b	精検受診率 d/c	精検未把握 率 g/c	がん発見率 e/b	陽性反応適 中度 e/c			
					大腸がん であった 者(転移性 を含まな い) e	(再掲)大 腸がんの うち早期 がん f	(再掲)早 期がんの うち粘膜 内がん g	大腸がん の疑いの ある者又 は未確定 h	大腸がん 及び腺腫 以外の疾 患であっ た者(転移 性の大腸 がん) i	未受診 者 j							未把握 者 k		
																		大腸がん 受診者 l	精検受診者 m
基準値											6.8%以下	90%以上		0.21%以上	3.0%以上				
(参考) 旧許谷値											7.0%以下	70.0%以上	10.0%以下	0.13%以上	1.9%以上				
(参考) 旧目標値											-	90.0%以上	5.0%以下	-	-				
全国	2,094,094	122,796	93,212	25,263	3,391	1,828	902	506	37,551	15,850	13,734	21	5.9%	75.9%	12.9%	11.2%	0.16%	2.8%	
京都府	29,305	2,097	1,596	401	58	23	12	13	403	311	190	0	7.2%	76.1%	14.8%	9.1%	0.20%	2.8%	
1 京都市	8,786	652	492	85	24	3	0	4	0	160	0	0	7.4%	75.5%	24.5%	0.0%	0.27%	3.7%	
2 向日市	170	8	4	3	0	0	0	0	1	0	4	0	4.7%	50.0%	0.0%	50.0%	0.00%	0.0%	
3 長岡京市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4 大山崎町	116	6	6	2	0	0	0	0	4	0	0	0	5.2%	100.0%	0.0%	0.0%	0.00%	0.0%	
5 宇治市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6 城陽市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7 久御山町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8 八幡市	246	25	17	2	1	1	0	0	10	4	4	0	10.2%	68.0%	16.0%	16.0%	0.41%	4.0%	
9 京田辺市	971	59	50	7	1	0	0	0	25	17	7	2	6.1%	84.7%	11.9%	3.4%	0.10%	1.7%	
10 井手町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11 宇治田原町	304	35	19	1	0	0	0	1	7	10	16	0	11.5%	54.3%	45.7%	0.0%	0.00%	0.0%	
12 木津川市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13 笠置町	33	5	2	2	0	0	0	0	0	2	1	0	15.2%	40.0%	40.0%	20.0%	0.00%	0.0%	
14 和束町	96	11	8	3	1	1	1	0	0	4	2	1	11.5%	72.7%	18.2%	9.1%	1.04%	9.1%	
15 精華町	1,620	87	75	35	2	1	1	0	18	20	6	0	5.4%	86.2%	6.9%	6.9%	0.12%	2.3%	
16 南山城村	91	5	3	1	0	0	0	0	2	2	0	0	5.5%	60.0%	40.0%	0.0%	0.00%	0.0%	
17 亀岡市	2,958	222	170	19	3	2	1	0	148	0	52	0	7.5%	76.6%	0.0%	23.4%	0.10%	1.4%	
18 南丹市	1,598	125	75	21	4	3	1	1	39	10	41	0	7.8%	60.0%	7.2%	32.8%	0.25%	3.2%	
19 京丹波町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20 福知山市	711	57	52	13	1	1	1	0	27	11	5	0	8.0%	91.2%	8.8%	0.0%	0.14%	1.8%	
21 舞鶴市	2,046	131	115	33	4	3	1	1	51	26	8	0	6.4%	87.8%	6.1%	6.1%	0.20%	3.1%	
22 綾部市	994	63	49	31	1	0	0	0	14	3	14	0	6.3%	77.8%	0.0%	22.2%	0.10%	1.6%	
23 宮津市	1,372	72	72	22	2	0	0	0	14	34	0	0	5.2%	100.0%	0.0%	0.0%	0.15%	2.8%	
24 京丹後市	4,870	348	258	74	8	6	4	4	138	34	75	15	7.1%	74.1%	21.6%	4.3%	0.16%	2.3%	
25 伊根町	235	21	11	3	2	2	2	0	6	4	6	4	8.9%	52.4%	28.6%	19.0%	0.85%	9.5%	
26 与野町	2,088	165	118	44	4	0	0	2	49	9	38	0	7.9%	71.5%	5.5%	23.0%	0.19%	2.4%	

< 出典：令和3年度地域保健・健康増進事業報告 >

市町村別大腸がん検診プロセス指標の状況（令和2年度、個別検診、40～74歳）

R2大腸がん 検診（個別） 40-74	受診者数 b	要精密検 査者数 c	精密検査 者数 d	大腸がん 異常認め ず e	精密検査受診者の内訳						偶発症の 有無別人 数	要精検率 c/b	精検受診率 d/c	精検未受診 率 f/c	精検未把握 率 g/c	がん発見率 e/b	陽性反応適 中度 e/c			
					大腸がん であった 者(転移性 を含まな い) e	(再掲)大 腸がんの うち早期 がん f	(再掲)早 期がんの うち粘膜 内がん g	大腸がん の疑いの ある者又 は未確定 h	腺腫の あった者 i	大腸がん 及び腺腫 以外の疾 患であっ た者(転移 性の大腸 がん) j								未受診 者 k	未把握 者 l	
																				6.8%以下
基準値																				
(参考) 旧許容値																				
(参考) 旧目標値																				
全国	2,920,678	207,028	142,195	37,575	6,426	3,130	1,719	1,095	52,419	44,680	25,927	38,906	19	7.1%	68.7%	12.5%	18.8%	0.22%	3.1%	
京都府	25,214	1,882	1,358	329	68	46	12	5	548	408	258	266	1	7.5%	72.2%	13.7%	14.1%	0.27%	3.6%	
1 京都市	3,528	278	185	42	12	10	0	0	0	131	93	0	0	7.9%	66.5%	33.5%	0.0%	0.34%	4.5%	
2 向日市	2,124	126	99	25	7	5	0	0	53	14	0	27	0	5.9%	78.6%	0.0%	21.4%	0.33%	5.6%	
3 長岡京市	2,557	154	103	23	10	10	0	0	47	23	47	4	0	6.0%	66.9%	30.5%	2.6%	0.39%	6.5%	
4 大山崎町	568	40	36	14	1	1	0	0	16	5	4	0	0	7.0%	90.0%	10.0%	0.0%	0.18%	2.5%	
5 宇治市	4,571	341	261	60	7	5	3	0	137	57	25	55	0	7.5%	76.5%	7.3%	16.1%	0.15%	2.1%	
6 城陽市	3,515	261	201	39	10	7	6	0	113	39	0	60	0	7.4%	77.0%	0.0%	23.0%	0.28%	3.8%	
7 久御山町	519	32	22	7	0	0	0	0	10	5	0	10	0	6.2%	68.8%	0.0%	31.3%	0.00%	0.0%	
8 八幡市	1,983	158	100	18	5	1	0	2	39	36	19	39	0	8.0%	63.3%	12.0%	24.7%	0.25%	3.2%	
9 京田辺市	834	49	38	11	2	1	0	0	9	16	10	1	0	5.9%	77.6%	20.4%	2.0%	0.24%	4.1%	
10 井手町	340	30	24	10	0	0	0	0	7	7	3	3	1	8.8%	80.0%	10.0%	10.0%	0.00%	0.0%	
11 宇治田原町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12 木津川市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13 笠置町	42	4	1	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	9.5%	25.0%	75.0%	0.0%	0.00%	0.0%	
14 和束町	237	24	13	2	0	0	0	1	3	7	11	0	0	10.1%	54.2%	45.8%	0.0%	0.00%	0.0%	
15 精華町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16 南山城村	70	8	6	6	0	0	0	0	0	0	1	1	0	11.4%	75.0%	12.5%	12.5%	0.00%	0.0%	
17 亀岡市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18 南丹市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19 京丹波町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20 福知山市	1,307	105	90	22	6	2	2	0	47	15	15	0	0	8.0%	85.7%	14.3%	0.0%	0.46%	5.7%	
21 舞鶴市	2,418	215	167	43	5	4	1	2	66	51	27	21	0	8.9%	77.7%	12.6%	9.8%	0.21%	2.3%	
22 綾部市	601	57	12	6	3	0	0	0	1	2	0	45	0	9.5%	21.1%	0.0%	78.9%	0.50%	5.5%	
23 宮津市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24 京丹後市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25 伊根町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
26 与野町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

< 出典：令和3年度地域保健・健康増進事業報告 >

市町村別乳がん検診プロセス指標の状況（令和2年度、集団検診、40～74歳）

R2乳がん検診 (集団検診) 40-74	b	2年連続 受診者数	c	d	精密検査受診の内訳						g	f/c	d/c	e/b	e/c	e1/e										
					異常認め ず	乳がんて あった者 (転移性を 含まない)	乳がんの うち非浸 潤がん	乳がんの 疑いのあ る者又は 未確定	乳がん以 外の疾患 であった 者(転移性 の乳がん を含む)	精密検査 未受診							精密検査 未把握	検診中ま たは検診 後に重篤 な偶発症 を確認	精密検査 中または 精密検査 後に重篤 な偶発症 を確認	c/b	d/c	f/c	g/c	e/b	e/c	e1/e
基準値(全ての受診者の検 診間隔が2年間隔)												90.0%以上	0.4%以上	6.1%以上												
基準値(連続受診者がいる ことを考慮)												90.0%以上	0.31%以上	4.8%以上												
(参考) 旧許谷値												10.0%以下	0.23%以下	2.5%以上												
(参考) 旧目標値												90.0%以上	5.0%以下	5.0%以下												
全国	971,278	260,544	44,797	41,015	17,438	2,775	1,431	361	733	20,064	1,359	2,423	5	0	3	4.6%	91.6%	3.0%	5.4%	0.29%	6.2%	51.6%				
京都府	12,925	302	538	508	246	29	7	1	13	220	25	5	0	0	0	4.2%	94.4%	4.6%	0.9%	0.22%	5.4%	24.1%				
1 京都市	5,489	0	293	276	125	17	0	0	3	131	17	0	0	0	0	5.3%	94.2%	5.8%	0.0%	0.31%	5.8%	0.0%				
2 向日市	541	0	21	21	8	1	0	0	0	12	0	0	0	0	0	3.9%	100.0%	0.0%	0.0%	0.18%	4.8%	0.0%				
3 長岡京市	267	10	19	18	6	0	0	0	0	12	1	0	0	0	0	7.1%	94.7%	5.3%	0.0%	0.00%	4.0%	0.0%				
4 大山崎町	243	2	11	9	4	0	0	0	0	5	2	0	0	0	0	4.5%	81.8%	18.2%	0.0%	0.00%	0.0%	0.0%				
5 宇治市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
6 城陽市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
7 久御山町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
8 八幡市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
9 京田辺市	125	0	9	8	4	0	0	0	0	4	1	0	0	0	0	7.2%	88.9%	11.1%	0.0%	0.00%	0.0%	0.0%				
10 井手町	40	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	-	-	-	0.00%	-	-				
11 宇治田原町	283	0	5	4	3	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1.8%	80.0%	20.0%	0.0%	0.00%	0.0%	0.0%				
12 木津川市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
13 笠置町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
14 和束町	170	133	3	3	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1.8%	100.0%	0.0%	0.0%	0.00%	0.0%	0.0%				
15 精華町	179	7	6	6	4	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3.4%	100.0%	0.0%	0.0%	0.00%	0.0%	0.0%				
16 南山城村	75	48	4	4	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5.3%	100.0%	0.0%	0.0%	0.00%	0.0%	0.0%				
17 亀岡市	950	6	26	23	10	0	0	0	2	11	0	3	0	0	0	2.7%	88.5%	0.0%	11.5%	0.00%	0.0%	0.0%				
18 南丹市	462	0	16	14	10	0	0	0	0	4	0	2	0	0	0	3.5%	87.5%	0.0%	12.5%	0.00%	0.0%	0.0%				
19 京丹波町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
20 福知山市	413	75	19	18	10	1	1	0	0	7	1	0	0	0	0	4.6%	94.7%	5.3%	0.0%	0.24%	5.3%	100.0%				
21 舞鶴市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
22 綾部市	363	20	16	16	10	1	1	1	0	5	0	0	0	0	0	4.5%	100.0%	0.0%	0.0%	0.28%	6.3%	100.0%				
23 宮津市	363	0	9	9	5	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2.5%	100.0%	0.0%	0.0%	0.55%	22.2%	100.0%				
24 京丹后市	2,077	0	55	55	30	7	3	0	4	14	0	0	0	0	0	2.6%	100.0%	0.0%	0.0%	0.34%	12.7%	42.9%				
25 伊根町	70	0	3	3	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4.3%	100.0%	0.0%	0.0%	0.00%	0.0%	0.0%				
26 与野町	825	0	23	21	11	0	0	0	3	7	2	0	0	0	0	2.8%	91.3%	8.7%	0.0%	0.00%	0.0%	0.0%				

< 出典：令和3年度地域保健・健康増進事業報告 >

市町村別乳がん検診プロセス指標の状況（令和2年度、個別検診、40～74歳）

R2乳がん検診 (個別検診) 40-74	b	2年連続 受診者数	c	精密検査 要検査者数	精密検査 受診者数	精密検査受診の内訳						g	d/c	f/c	g/c	e/b	e/c	e1/e												
						異常認め ず	乳がんて あった者 (転移性を 含まない)	e1	(再掲)乳 がんのうち 早期が うち非浸 潤がん		乳がんの 疑いのあ る者又は 未確定								乳がん以 外の疾患 であった 者(転移性 の乳がん を含む)	精密検査 未受診	精密検査 未把握	検診中ま たは検診 後に重篤 な偶発症 を確認	精密検査 中または 精密検査 後に重篤 な偶発症 を確認	c/b	精密検査 率	精密検査 未受診 率	精密検査未把握率	がん発見 率	陽性反応 適中度	早期がん 割合
									f	f																				
基準値(全ての受診者の検 診間隔が2年間隔)													90.0%以上			0.4%以上	6.1%以上													
基準値(連続受診者がいる ことを考慮)													90.0%以上			0.31%以上	4.8%以上													
(参考) 旧許谷値													10.0%以下	10.0%以下	0.23%以上	2.5%以上	-													
(参考) 旧目標値													90.0%以上	5.0%以下	-	-	-													
全国	1,343,651	172,140	94,347	84,333	34,366	4,752	2,421	641	3,414	41,801	2,534	7,480	89.4%	2.7%	0.35%	7.9%	5.0%	50.9%												
1 京都府	20,147	1,010	1,376	1,307	514	63	35	11	8	722	55	14	95.0%	4.0%	0.31%	1.0%	4.6%	55.6%												
2 向江市	4,392	0	439	398	169	12	3	3	1	216	41	0	10.0%	9.3%	0.27%	0.0%	2.7%	25.0%												
3 向日市	193	2	29	28	7	0	0	0	0	21	0	1	15.0%	96.6%	0.00%	3.4%	0.0%	-												
4 長岡京市	720	26	66	61	20	4	0	0	0	37	5	0	9.2%	92.4%	0.0%	0.0%	0.56%	6.1%	0.0%											
5 大山崎町	13	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	7.7%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-												
6 宇治市	2,763	42	196	192	75	8	6	0	0	109	0	4	0	0.0%	98.0%	0.0%	2.0%	4.1%	75.0%											
7 城陽市	1,197	25	58	57	21	2	1	1	0	34	0	1	0	0.0%	98.3%	0.0%	1.7%	3.4%	50.0%											
8 久御山町	301	4	9	8	5	0	0	0	0	3	0	1	0	3.0%	88.9%	0.0%	11.1%	0.0%	-											
9 八幡市	1,867	225	138	127	68	6	4	0	0	53	6	5	0	7.4%	92.0%	4.3%	3.6%	0.32%	4.3%	66.7%										
10 京田辺市	1,300	36	79	77	26	2	1	0	0	49	1	1	0	6.1%	97.5%	1.3%	1.3%	0.15%	2.5%	50.0%										
11 井手町	86	0	6	6	4	0	0	0	0	2	0	0	0	7.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-											
12 宇治田原町	17	0	8	6	1	0	0	0	0	5	2	0	0	47.1%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	-											
13 木津川市	1,746	129	97	97	27	2	2	1	2	66	0	0	0	5.6%	100.0%	0.0%	0.0%	0.11%	2.1%	100.0%										
14 笠置町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-											
15 和束町	34	22	2	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	5.9%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-											
16 精華町	932	55	69	68	31	3	3	1	0	34	0	1	0	7.4%	98.6%	0.0%	1.4%	0.32%	4.3%	100.0%										
17 南山城村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-											
18 亀岡市	620	3	25	25	12	3	1	0	0	10	0	0	0	4.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.48%	12.0%	33.3%										
19 南丹市	146	0	11	11	5	1	0	0	1	4	0	0	0	7.5%	100.0%	0.0%	0.0%	0.68%	9.1%	0.0%										
20 京丹波町	72	0	7	7	5	0	0	0	0	2	0	0	0	9.7%	100.0%	0.0%	0.0%	0.00%	0.0%	-										
21 福知山市	1,065	283	33	33	19	3	3	0	1	10	0	0	0	3.1%	100.0%	0.0%	0.0%	0.28%	9.1%	100.0%										
22 舞鶴市	2,434	90	100	100	18	17	11	5	3	62	0	0	0	4.1%	100.0%	0.0%	0.0%	0.70%	17.0%	64.7%										
23 綾部市	181	68	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.6%	100.0%	0.0%	0.0%	0.00%	0.0%	-										
24 宮津市	68	0	2	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2.9%	100.0%	0.0%	0.0%	0.00%	0.0%	-										
25 京丹後市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-											
26 伊根町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-											
27 与野町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-											

< 出典：令和3年度地域保健・健康増進事業報告 >

市町村別子宮頸がん検診プロセス指標の状況(令和2年度、集団検診、20~74歳) ※修正後※

R2子宮頸がん検診 (集団) 20-74	受診者数 b	2年連続 受診者数	要精密検 査者数 c	検診受診 者数 d	異常認め ず	精密検査受診者内訳 異常を認める						未受診 f	未把握 g	検診中ま たは検診 後に重篤 な偶発症 を確定 した者 h	要精密検 査 c/b	精密検査率 d/c	検診未受診 率 f/c	検診未把握 率 g/c	がん発見率 ※CIN3以上 (e+h)/b	陽性反応過 半数 ※CIN3以上 (e+h)/c	早期がんの 割合 e1/e		
						がん、A IS及び CIN以 下であ った者 i	CIN3 であ った者 j	CIN2 であ った者 k	CIN1 であ った者 l	CIN3 又は CIN2 であ った者 m	CIN3 又は CIN2 であ った者 n											がんの疑 いのある 者又は未 確定 者 o	がん、A IS及び CIN以 下であ った者 p
基準値																			0.15%以上	5.9%以上			
(参考) 旧許谷値																			0.05%以上	4.0%以上	-		
(参考) 旧目標値																			-	-	-		
全国	762,143	317,688	10,713	9,046	2,591	23	29	672	754	73	2,203	1,171	1,423	596	1,071	1	0	1.4%	84.4%	10.0%	0.11%	7.8%	17.0%
京都府	6,119	1,018	188	166	112	2	1	0	15	4	0	10	8	11	11	0	0	3.1%	88.3%	5.9%	0.28%	9.0%	50.0%
1 京都市	1,756	366	40	34	25	0	0	3	2	0	4	0	0	6	0	0	0	2.3%	85.0%	15.0%	0.17%	7.5%	-
2 向日市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3 長岡京市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4 大山崎町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5 宇治市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6 槇幡市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7 久御山町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8 八幡市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9 京田辺市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10 井手町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11 宇治田原町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12 木津川市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13 笠置町	27	24	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3.7%	100.0%	0.0%	0.00%	0.0%	-
14 和束町	103	89	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.0%	100.0%	0.0%	0.00%	0.0%	-
15 精華町	89	3	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.2%	100.0%	0.0%	0.00%	0.0%	-
16 南山城村	57	43	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5%	100.0%	0.0%	0.00%	0.0%	-
17 亀岡市	669	372	20	17	8	0	0	9	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3.0%	85.0%	15.0%	1.35%	45.0%	-
18 南丹市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19 京丹波町	69	0	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	4.3%	66.7%	33.3%	0.00%	0.0%	-
20 福知山市	227	109	6	6	4	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2.6%	100.0%	0.0%	0.00%	0.0%	-
21 舞鶴市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22 綾部市	318	12	14	14	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4.4%	100.0%	0.0%	0.00%	0.0%	-
23 宮津市	247	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	-	-	0.00%	-	-
24 京丹後市	2,002	0	77	65	42	1	0	2	2	0	8	7	3	5	7	0	0	3.8%	84.4%	6.5%	0.15%	3.9%	0.0%
25 伊根町	74	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.7%	100.0%	0.0%	0.00%	0.0%	-
26 与野町	481	0	20	20	11	1	1	0	1	0	3	2	2	0	0	0	0	4.2%	100.0%	0.0%	0.42%	10.0%	100.0%

< 出典：令和3年度地域保健・健康増進事業報告 >

R2年度検診機関別プロセス指標（対象年齢上限なし）

①-1胃がん（胃部エックス線検査）

	受診者数		要精密検査者数		精密検査受診者数		がんの人数(人) D	がん発見率(%) D/A	陽性反応適中度(%) D/B
	人数(人) A	人数(人) B	人数(人) B/A	要精検率(%) B/A	人数(人) C	精検受診率(%) C/B			
新基準値 ※74歳以下				7.6%以下		90%以上		0.11%以上	1.5%以上
(参考) 旧許容値				11.0%以下		70%以上		0.11%以上	1.0%以上
28年度	A	29,493	2,121	7.2%	1,738	81.9%	51	0.17%	2.4%
	B	1,713	46	2.7%	-	-	-	-	-
29年度	A	27,017	2,011	7.4%	1,677	83.4%	46	0.17%	2.3%
	B	1,643	66	4.0%	-	-	-	-	-
30年度	A	24,686	1,789	7.2%	1,385	77.4%	39	0.16%	2.2%
	B	4,721	152	3.2%	-	-	-	-	-
R1年度	A	21,596	1,566	7.3%	1,096	70.0%	51	0.24%	3.3%
	B	2,667	133	5.0%	-	-	-	-	-
R2年度	A	12,485	754	6.0%	594	78.8%	29	0.23%	3.8%
	B	10,340	375	3.6%	-	-	-	-	-

①-2胃がん（胃内視鏡検査）

	受診者数		要精密検査者数		精密検査受診者数		がんの人数(人) D	がん発見率(%) D/A	陽性反応適中度(%) D/B
	人数(人) A	人数(人) B	人数(人) B/A	要精検率(%) B/A	人数(人) C	精検受診率(%) C/B			
新基準値 ※74歳以下				7.7%以下		90%以上		0.19%以上	2.5%以上
(参考) 旧許容値				11.0%以下		70%以上		0.11%以上	1.0%以上
R1年度	京都府医師会	1,881	151	8.0%	112	74.2%	9	0.48%	6.0%
R2年度	京都府医師会	999	147	14.7%	146	99.3%	3	0.30%	2.0%

②大腸がん

	受診者数		要精密検査者数		精密検査受診者数		がんの人数(人) D	がん発見率(%) D/A	陽性反応適中度(%) D/B
	人数(人) A	人数(人) B	人数(人) B/A	要精検率(%) B/A	人数(人) C	精検受診率(%) C/B			
新基準値 ※74歳以下				6.8%以下		90%以上		0.21%以上	3.0%以上
(参考) 旧許容値				7.0%以下		70%以上		0.13%以上	1.9%以上
28年度	A	60,631	4,363	7.2%	3,127	71.7%	108	0.18%	2.5%
	B	5,308	362	6.8%	-	-	-	-	-
29年度	A	51,605	3,865	7.5%	2,753	71.2%	91	0.18%	2.4%
	B	5,683	416	7.3%	-	-	-	-	-
30年度	A	55,275	3,923	7.1%	2,683	68.4%	121	0.22%	3.1%
	B	6,567	366	5.6%	-	-	-	-	-
R1年度	A	61,842	5,124	8.3%	3,605	70.4%	125	0.20%	2.4%
	B	5,021	374	7.4%	-	-	-	-	-
R2年度	A	31,759	2,863	9.0%	2,010	70.2%	56	0.18%	2.0%
	B	21,946	1,299	5.9%	-	-	-	-	-

③肺がん

	受診者数		要精密検査者数		精密検査受診者数		がんの人数(人) D	がん発見率(%) D/A	陽性反応適中 度(%) D/B	
	人数(人) A		人数(人) B	要精密検査率(%) B/A	人数(人) C	精検受診率(%) C/B				
新基準値(検診以外の肺に関する検査の受診なし)※74歳以下				2.4%以下		90%以上		0.10%以上	4.1%以上	
新基準値(検診以外の肺に関する検査の受診考慮)※74歳以下				2.3%以下		90%以上		0.05%以上	2.2%以上	
(参考)旧許容値				3.0%以下		70%以上		0.03%以上	1.3%以上	
28年度	A	総受診者	49,752	1,435	2.9%	1,310	91.3%	32	0.06%	2.2%
	B	総受診者	2,477	66	2.7%	—	—	—	—	—
29年度	A	胸部X線検査	51,568	1,529	3.0%	1,337	87.4%	25	0.05%	1.6%
		喀痰細胞診	2,926	10	0.3%	7	70.0%	0	0.00%	0.0%
	B	胸部X線検査	2,476	70	2.8%	—	—	—	—	—
		喀痰細胞診	95	1	1.1%	—	—	—	—	—
30年度	A	胸部X線検査	48,987	1,289	2.6%	1,168	90.6%	37	0.08%	2.9%
		喀痰細胞診	2,741	12	0.4%	5	41.7%	1	0.04%	8.3%
	B	胸部X線検査	4,543	158	3.5%	—	—	—	—	—
		喀痰細胞診	169	1	0.6%	—	—	—	—	—
R1年度	A	胸部X線検査	52,333	1,407	2.7%	1,267	90.0%	46	0.09%	3.3%
		喀痰細胞診	2,004	13	0.6%	12	92.3%	2	0.10%	15.4%
	B	胸部X線検査	4,207	127	3.0%	—	—	—	—	—
		喀痰細胞診	84	0	0.0%	—	—	—	—	—
R2年度	A	胸部X線検査	30,490	977	3.2%	808	82.7%	59	0.19%	6.0%
		喀痰細胞診	984	0	0.0%	0	—	0	0.00%	—
	B	胸部X線検査	59,980	477	0.8%	—	—	—	—	—
		喀痰細胞診	73	0	0.0%	—	—	—	—	—
	D	胸部X線検査	43,649	1270	2.9%	1132	89.1%	26	0.06%	2.0%
		喀痰細胞診	1440	0	0.0%	0	—	0	0.00%	—

④乳がん

	受診者数		要精密検査者数		精密検査受診者数		がんの人数(人) D	がん発見率(%) D/A	陽性反応適中 度(%) D/B	
	人数(人) A		人数(人) B	要精密検査率(%) B/A	人数(人) C	精検受診率(%) C/B				
新基準値(全ての受診者の検診間隔が2年間隔)※74歳以下				2.4%以下		90%以上		0.10%以上	4.1%以上	
新基準値(連続受診者がいることを考慮)※74歳以下				2.3%以下		90%以上		0.05%以上	2.2%以上	
(参考)旧許容値				11.0%以下		80%以上		0.23%以上	2.5%以上	
28年度	A	マンモグラフィ単独	947	35	3.7%	35	100.0%	2	0.21%	5.7%
		マンモグラフィと視触診併用	21,418	1,161	5.4%	1,090	93.9%	56	0.26%	4.8%
29年度	A	マンモグラフィ単独	1,414	51	3.6%	50	98.0%	9	0.64%	17.6%
		マンモグラフィと視触診併用	19,689	1,006	5.1%	949	94.3%	56	0.28%	5.6%
30年度	A	マンモグラフィ単独	17,295	930	5.4%	845	90.9%	62	0.36%	6.7%
		マンモグラフィと視触診併用	285	9	3.2%	9	100.0%	1	0.35%	11.1%
R1年度	A	マンモグラフィ単独	19,390	867	4.5%	750	86.5%	56	0.29%	6.5%
		マンモグラフィと視触診併用	102	4	3.9%	4	100.0%	0	0.00%	0.0%
R2年度	A	マンモグラフィ単独	14,090	613	4.4%	564	92.0%	21	0.15%	3.4%

⑤子宮頸がん

		受診者数	要精密検査者数		精密検査受診者数		がんの人数(人) D	がん発見率(%) D/A	陽性反応適中度 (%) D/B
		人数(人) A	人数(人) B	要精検率(%) B/A	人数(人) C	精検受診率(%) C/B			
新基準値 ※74歳以下				2.5%以下		90%以上		0.15%以上	5.9%以上
(参考) 旧許容値				1.4%以下		70%以上		0.05%以上	4.0%以上
28年度	A	9,099	101	1.1%	91	90.1%	3	0.03%	3.0%
29年度	A	10,786	110	1.0%	91	82.7%	4	0.04%	3.6%
30年度	A	11,873	225	1.9%	203	90.2%	3	0.03%	1.3%
R1年度	A	8,850	244	2.8%	186	76.2%	2	0.02%	0.8%
R2年度	A	6,307	192	3.0%	145	75.5%	0	0.00%	0.0%

令和4年度市区町村チェックリスト 市区町村別達成率

実施体制 種別	集団										個別									
	胃(X線)		大腸		肺		乳		子宮		胃(X線)		胃(内視鏡)		大腸		乳		子宮	
	達成率	達成数	達成率	達成数	達成率	達成数	達成率	達成数	達成率	達成数	達成率	達成数	達成率	達成数	達成率	達成数	達成率	達成数	達成率	達成数
項目数	52 (調査1:26 査2:26)	36	52 (調査1:26 査2:26)	36	51 (調査1:26 調査2:25)	35	55 (調査1:26 査2:29)	39	55 (調査1:26 査2:29)	38	52 (調査1:26 査2:26)	36	52 (調査1:26 調査2:26)	36	55 (調査1:26 査2:29)	39	55 (調査1:26 査2:29)	39	55 (調査1:26 査2:29)	38
京都市	69.2%	36	69.2%	36	68.6%	35	70.9%	39	69.1%	38	0.0%	0	69.2%	36	70.9%	39	69.1%	39	69.1%	38
向日市	57.7%	30	59.6%	31	58.8%	30	58.2%	32	0.0%	0	0.0%	0	57.7%	30	58.2%	32	58.2%	32	54.5%	30
長岡京市	98.1%	51	0.0%	0	98.0%	50	98.2%	54	0.0%	0	0.0%	0	98.1%	51	98.2%	54	98.2%	54	98.2%	54
大山崎町	94.2%	49	94.2%	49	94.1%	48	94.5%	52	0.0%	0	0.0%	0	94.2%	49	94.5%	52	94.5%	52	94.5%	52
宇治市	86.5%	45	0.0%	0	86.3%	44	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	86.5%	45	81.8%	45	81.8%	45	87.3%	48
城陽市	96.2%	50	0.0%	0	88.2%	45	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	88.5%	46	89.1%	49	89.1%	49	83.6%	46
久御山町	0.0%	0	0.0%	0	88.2%	45	0.0%	0	0.0%	0	15.4%	8	76.9%	40	78.2%	43	78.2%	43	81.8%	45
八幡市	92.3%	48	86.5%	45	86.3%	44	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	82.7%	43	83.6%	46	83.6%	46	83.6%	46
京田辺市	88.5%	46	88.5%	46	88.2%	45	52.7%	29	0.0%	0	0.0%	0	84.6%	44	85.5%	47	85.5%	47	81.8%	45
井手町	51.9%	27	0.0%	0	52.9%	27	49.1%	27	0.0%	0	0.0%	0	40.4%	21	41.8%	23	41.8%	23	41.8%	23
宇治田原町	71.2%	37	71.2%	37	70.6%	36	72.7%	40	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	72.7%	40	72.7%	40	70.9%	39
木津川市	65.4%	17	65.4%	17	65.4%	17	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	69.1%	38	69.1%	38	76.4%	42
笠置町	67.3%	35	67.3%	35	66.7%	34	0.0%	0	60.0%	33	0.0%	0	61.5%	32	0.0%	0	0.0%	0	60.0%	33
和束町	71.2%	37	73.1%	38	74.5%	38	74.5%	41	65.5%	36	0.0%	0	44.2%	23	69.1%	38	69.1%	38	41.8%	23
精華町	75.0%	39	75.0%	39	74.5%	38	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	72.7%	40	72.7%	40	70.9%	39
南山城村	19.2%	10	19.2%	10	19.6%	10	18.2%	10	18.2%	10	0.0%	0	13.5%	7	16.4%	9	16.4%	9	14.5%	8
亀岡市	92.3%	48	94.2%	49	94.1%	48	94.5%	52	94.5%	52	0.0%	0	0.0%	0	94.5%	52	94.5%	52	90.9%	50
南丹市	92.3%	48	92.3%	48	92.2%	47	92.7%	51	40.0%	22	0.0%	0	0.0%	0	87.3%	48	87.3%	48	83.6%	46
京丹波町	86.5%	45	76.9%	20	92.2%	47	40.0%	22	89.1%	49	0.0%	0	0.0%	0	83.6%	46	83.6%	46	87.3%	48
福知山市	53.8%	28	53.8%	28	90.2%	46	56.4%	31	80.8%	21	0.0%	0	32.7%	17	32.7%	17	32.7%	18	27.3%	15
舞鶴市	92.3%	48	90.4%	47	92.2%	47	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	84.6%	44	89.1%	49	89.1%	49	87.3%	48
綾部市	76.9%	40	71.2%	37	72.5%	37	67.3%	37	78.2%	43	0.0%	0	75.0%	39	63.6%	35	63.6%	35	65.5%	36
宮津市	80.8%	42	78.8%	41	78.4%	40	83.6%	46	80.0%	44	0.0%	0	0.0%	0	69.1%	38	69.1%	38	67.3%	37
京丹後市	84.6%	44	82.7%	43	82.4%	42	85.5%	47	80.0%	44	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
伊根町	36.5%	19	36.5%	19	39.2%	20	34.5%	19	34.5%	19	0.0%	0	0.0%	0	29.1%	16	29.1%	16	27.3%	15
与論野町	46.2%	24	46.2%	24	45.1%	23	43.6%	24	47.3%	26	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	47.3%	26
京都府平均	73.8%		71.1%		75.4%		66.0%		64.4%		15.4%		59.6%		68.1%		70.9%		67.8%	

注：調査1又は調査2のみ回答の場合は、その達成率

種別	集団方式									
	胃(エックス線)		大腸		肺		乳		子宮	
	達成率	達成市町村数	達成率	達成市町村数	達成率	達成市町村数	達成率	達成市町村数	達成率	達成市町村数
対象市町村数(検診実施している市町村数) ※プロセス指標についてはR②で集計	R④25市町村		R④21市町村		R④26市町村		R④17市町村		R④13市町村	
	R②24市町村		R②19市町村		R②25市町村		R②17市町村		R②12市町村	
達成率、達成市町村数及び全国達成率 (※実施予定△も実施として算出)	達成率	達成市町村数	達成率	達成市町村数	達成率	達成市町村数	達成率	達成市町村数	達成率	達成市町村数
検査対象者・受診者の精度管理	96.0%	24	95.2%	20	96.2%	25	100.0%	17	92.3%	12
対象者全員の氏名を記載した名簿を、住民台帳などに基づいて作成したか	97.3%		97.0%		97.5%		97.4%		97.4%	
対象者全員に、個別に受診勧奨したか	53.4%	10	47.6%	10	38.5%	10	47.1%	8	55.3%	8
未受診者全員に対して再度個人毎に受診勧奨したか	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
対象者数(推計含む)を把握したか	100.0%	25	100.0%	21	100.0%	26	100.0%	17	100.0%	13
個人別の受診(記録)台帳またはデータベースを作成したか	96.0%	24	95.8%	20	96.2%	25	95.4%	17	92.3%	12
過去5年間の受診歴を記録したか	88.0%	22	85.6%	18	88.5%	23	95.2%	15	76.9%	10
受診勧奨時に受診者への説明が全項目記載された資料を、全員に個別配布したか	88.0%	22	81.1%	18	88.5%	23	78.3%	14	76.9%	10
要精検者全員に対し、精密検査医療機関名の一覧表を提示したか	84.0%	21	65.7%	18	92.3%	24	67.7%	16	71.3%	10
Q3-2-1 Q3-2の一覧に掲載したすべての医療機関には、あらかじめ精密検査結果の報告を依頼したか	64.0%	16	55.8%	13	73.1%	19	57.4%	13	59.9%	6
精密検査の検査方法及び結果を把握したか	100.0%	25	100.0%	21	96.2%	25	97.0%	17	100.0%	13
検査方法及び結果が不明者について、本人もしくは医療機関への照会による結果を確認したか	84.0%	21	91.8%	17	84.6%	22	91.0%	14	69.2%	9
個人毎の精密検査方法及び結果を市区町村、検診機関(医療機関)、精密検査機関が共有したか	76.0%	19	86.6%	10	65.4%	17	85.7%	13	38.5%	5
過去5年間の精密検査方法及び、精密検査(治療)結果を記録したか	92.0%	23	89.7%	19	92.3%	24	89.3%	16	84.6%	11
精密検査未受診者と精密検査結果未把握を定額に従って区別し、精密検査未受診者を特定したか	88.0%	22	86.5%	18	88.5%	23	86.3%	15	76.9%	10
精密検査未受診者に精密検査の受診勧奨を実施したか	88.0%	22	86.4%	17	88.5%	23	85.9%	15	76.9%	10
がん検診の集計の最終報告(令和元年度地域保健・健康増進事業報告)を実施したか	100.0%	25	99.9%	21	100.0%	26	99.9%	17	100.0%	13
がん検診結果について地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるよう委託先(検診機関、医師会等)に報告を求めたか	96.0%	24	97.1%	20	96.2%	25	97.1%	16	92.3%	12
がん検診結果について委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めたか	92.0%	23	95.6%	19	88.5%	23	95.3%	15	84.6%	11
精密検査結果について地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるよう委託先(検診機関、医師会等)に報告を求めたか	92.0%	23	95.1%	18	88.5%	23	94.6%	14	84.6%	11
精密検査結果について委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めたか	84.0%	21	93.6%	16	76.9%	20	92.9%	12	69.2%	9
地域保健・健康増進事業報告										

種別	集団方式														
	胃(エックス線)			大腸			肺			乳			子宮		
	京都市府	達成率	市町村数	京都市府	達成率	市町村数	京都市府	達成率	市町村数	京都市府	達成率	市町村数	京都市府	達成率	市町村数
対象市町村数(検診実施している市町村数) ※プロセス指標についてはR②で集計	R④25市町村			R④21市町村			R④26市町村			R④17市町村			R④13市町村		
	R②24市町村			R②19市町村			R②25市町村			R②17市町村			R②12市町村		
	全国			全国			全国			全国			全国		
達成率、達成市町村数及び全国達成率 (※実施予定△も実施として算出)	京都市府	達成率	市町村数	京都市府	達成率	市町村数	京都市府	達成率	市町村数	京都市府	達成率	市町村数	京都市府	達成率	市町村数
Q6-1	委託先検診機関(医療機関)を、仕様書の内容に基づいて選定したか	76.0%	19	86.4%	71.4%	15	83.1%	76.9%	20	76.5%	13	86.9%	61.5%	8	86.7%
Q6-1-1	仕様書の内容に、明記すべき必要最低限の精度管理項目を満たしていたか	60.0%	15	78.9%	57.1%	12	76.8%	53.8%	14	70.6%	12	78.5%	53.8%	7	79.8%
Q6-1-2	検診終了後に、委託先検診機関(医療機関)で仕様書の内容が遵守されたことを確認したか	56.0%	14	56.8%	52.4%	11	56.3%	50.0%	13	58.8%	10	57.3%	46.2%	6	57.6%
Q6-2	検診機関(医療機関)に精度管理評価を個別にフィードバックしたか	60.0%	15	37.3%	57.1%	12	36.6%	61.5%	16	64.7%	11	37.1%	53.8%	7	37.3%
Q6-2-1	「検診機関用チェックリスト」の遵守状況をフィードバックしたか	48.0%	12	33.7%	38.1%	8	33.0%	46.2%	12	52.9%	9	32.9%	38.5%	5	33.3%
Q6-2-2	検診機関(医療機関)毎のプロセス指標値を集計してフィードバックしたか	32.0%	8	29.9%	28.6%	6	29.2%	38.5%	10	41.2%	7	29.7%	38.5%	5	29.7%
Q6-2-3	上記の結果をふまえて、課題のある検診機関(医療機関)に改善策をフィードバックしたか	24.0%	6	27.5%	14.3%	3	26.9%	26.9%	7	29.4%	5	27.3%	23.1%	3	27.7%
Q7-1	受診率を集計したか	100.0%	24	97.8%	94.7%	18	97.6%	100.0%	25	100.0%	17	97.6%	91.7%	11	97.6%
Q7-1-1	受診率を性別・年齢・年齢階級別に集計したか	87.5%	21	93.5%	84.2%	16	93.1%	92.0%	23	88.2%	15	93.5%	75.0%	9	93.2%
Q7-1-2	受診率を検診機関別に集計したか	100.0%	24	95.4%	94.7%	18	94.9%	100.0%	25	100.0%	17	95.2%	91.7%	11	94.8%
Q7-1-3	受診率を検診実施別(初回・非初回)に集計したか	75.0%	18	90.9%	68.4%	13	90.4%	80.0%	20	70.6%	12	91.0%	66.7%	8	90.9%
Q8-1	「肺がん検診受診者中の高危険群割合」、「高危険群中の喀痰容器配布割合」、「喀痰容器配布中の回収率」、「肺がん検診受診者中の喀痰容器回収率」の集計														
Q8-1-1	「肺がん検診受診者中の高危険群割合」、「高危険群中の喀痰容器配布割合」、「喀痰容器配布中の回収率」、「肺がん検診受診者中の喀痰容器回収率」の集計														
Q8-1-2	「肺がん検診受診者中の高危険群割合」、「高危険群中の喀痰容器配布割合」、「肺がん検診受診者中の喀痰容器回収率」を検診機関別に集計														
Q8-1-3	「肺がん検診受診者中の高危険群割合」、「高危険群中の喀痰容器配布割合」、「喀痰容器配布中の回収率」、「肺がん検診受診者中の喀痰容器回収率」を検診実施別に集計														
Q9-1	要精検率を集計したか	91.7%	22	96.3%	94.7%	18	96.0%	92.0%	23	82.4%	14	96.1%	83.3%	10	96.0%
Q9-1-1	要精検率を性別・年齢・年齢階級別に集計したか	83.3%	20	92.1%	84.2%	16	91.6%	88.0%	22	76.5%	13	92.0%	75.0%	9	91.4%
Q9-1-2	要精検率を検診機関別に集計したか	87.5%	21	91.3%	89.5%	17	91.0%	88.0%	22	76.5%	13	91.1%	83.3%	10	91.0%
Q9-1-3	要精検率を検診実施別に集計したか	70.8%	17	87.2%	68.4%	13	86.3%	76.0%	19	58.8%	10	86.8%	66.7%	8	86.6%

種別	集団方式														
	胃(エックス線)			大腸			肺			乳			子宮		
	対象市町村数(検診実施している市町村数) ※プロセス指標についてはR②で集計	R④25市町村	R②21市町村	R④21市町村	R②19市町村	R②25市町村	R④26市町村	R②25市町村	R④17市町村	R②17市町村	R④13市町村	R②12市町村			
達成率、達成市町村数及び全国達成率 (※実施予定△も実施として算出)	京都市府	全国	京都市府	全国	京都市府	全国	京都市府	全国	京都市府	全国	京都市府	全国			
	達成率	達成市町村数	達成率	達成市町村数	達成率	達成市町村数	達成率	達成市町村数	達成率	達成市町村数	達成率	達成市町村数			
精検受診率	91.7%	22	94.7%	18	94.8%	23	92.0%	23	82.4%	14	83.3%	10			
精検受診率を性別・年齢5歳階級別に集計したか	83.3%	20	84.2%	16	90.4%	22	83.0%	22	76.5%	13	75.0%	9			
精検受診率を性別・年齢5歳階級別に集計したか	83.3%	20	84.2%	16	89.5%	21	84.0%	21	70.6%	12	75.0%	9			
精検受診率を検診機関別に集計したか	70.8%	17	68.4%	13	84.7%	19	76.0%	19	58.8%	10	66.7%	8			
精検受診率を検診履歴別に集計したか	87.5%	21	89.5%	17	89.5%	22	88.0%	22	76.5%	13	75.0%	9			
精検未受診率	79.2%	19	78.9%	15	91.3%	21	84.0%	21	70.6%	12	66.7%	8			
精検未受診率を集計したか	70.8%	17	68.4%	13	86.9%	19	76.0%	19	64.7%	11	58.3%	7			
がん発見率	66.7%	16	63.2%	12	85.0%	18	72.0%	18	58.8%	10	58.3%	7			
がん発見率を性別・年齢5歳階級別に集計したか	62.5%	15	63.2%	12	81.3%	17	68.0%	17	52.9%	9	58.3%	7			
がん発見率を検診機関別に集計したか															
がん発見率を検診履歴別に集計したか															
がん発見率を検査方法別に集計したか															
陽性反応適中度の集計	75.0%	18	78.9%	15	80.6%	20	80.0%	20	70.6%	12	66.7%	8			
陽性反応適中度を集計したか	58.3%	14	52.6%	10	76.8%	16	64.0%	16	47.1%	8	41.7%	5			
陽性反応適中度を性別・年齢5歳階級別に集計したか	62.5%	15	63.2%	12	76.4%	17	68.0%	17	52.9%	9	50.0%	6			
陽性反応適中度を検診機関別に集計したか	58.3%	14	52.6%	10	73.0%	16	64.0%	16	47.1%	8	50.0%	6			
陽性反応適中度を検診履歴別に集計したか															
陽性反応適中度を検査方法別に集計したか															

種別	集団方式											
	胃(エックス線)		大腸		肺		乳		子宮			
	達成率	達成市町村数	達成率	達成市町村数	達成率	達成市町村数	達成率	達成市町村数	達成率	達成市町村数		
対象市町村数(検診実施している市町村数)	R④25市町村		R④21市町村		R④26市町村		R④17市町村		R④13市町村			
※プロセセス指標についてはR②で集計	R②24市町村		R②19市町村		R②25市町村		R②17市町村		R②12市町村			
達成率、達成市町村数及び全国達成率 (※実施予定△も実施として算出)	全国	達成市町村数	全国	達成市町村数	全国	達成市町村数	全国	達成市町村数	全国	達成市町村数		
Q13-1 早期がん(肺がん)では臨床病期0~I期)割合を集計したか	70.8%	17	85.5%	13	84.0%	18	83.7%	10	84.6%			
Q13-1-1 早期がん割合を性別・年齢5歳階級別に集計したか	66.7%	16	84.3%	12	82.7%	17	82.4%	9	83.3%			
Q13-1-2 早期がん割合を検診機関別に集計したか	62.5%	15	81.5%	11	79.9%	16	79.8%	9	80.1%			
Q13-1-3 早期がん割合を検診受診歴別に集計したか	58.3%	14	79.4%	10	77.6%	15	77.9%	8	78.3%			
Q13-1-4 早期がん割合を件方法別に集計したか												
Q14-1 (胃、大腸がん)粘膜内がん、(乳がん)非浸潤がんを集計したか	70.8%	17	83.8%	14	82.3%			12	83.5%			
Q15-1 上皮内病変(CINなど)数の区分毎の集計												
Q15-1-1 上皮内病変(CINなど)数の年齢5歳階級別の集計										88.0%		
Q15-1-2 上皮内病変(CINなど)数の検診機関別の集計										87.2%		
Q15-1-3 上皮内病変(CINなど)数の検診受診歴別の集計										83.6%		
Q15-2 微小浸潤がん(臨床進行期 I A期のがん)割合の集計										82.3%		
Q15-2-1 微小浸潤がん割合を性別・年齢5歳階級別に集計										41.7%		
Q15-2-2 微小浸潤がん割合を検診機関別に集計										41.7%		
Q15-2-3 微小浸潤がん割合を検診受診歴別に集計										33.3%		
Q15-2-3 微小浸潤がん割合を検診受診歴別に集計										33.3%		

種別	個別方式																
	胃(エックス線)		胃(内視鏡検査)		大腸		乳		子宮								
	京都市府	全国	京都市府	全国	京都市府	全国	京都市府	全国	京都市府	全国							
達成率	達成市町村数	達成率	達成市町村数	達成率	達成市町村数	達成率	達成市町村数	達成率	達成市町村数	達成率	達成市町村数						
検診対象者の受診者の精度管理	対象市町村数(検診実施している市町村数) ※プロセス指標についてはR②で集計																
	達成率・達成市町村数及び全国達成率 (※実施予定△も実施として算出)																
	Q1-1	100.0%	1	96.5%	3	96.5%	93.8%	15	96.7%	15	96.7%	100.0%	23	97.3%	96.0%	24	97.2%
	Q1-2	0.0%	0	46.4%	0	51.8%	18.8%	3	46.0%	3	46.0%	0.0%	9	54.4%	40.0%	10	54.9%
	Q1-2-1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	8.0%	2	
Q1-3	100.0%	1	95.9%	3	96.8%	100.0%	16	96.5%	16	96.5%	100.0%	23	97.4%	100.0%	25	97.4%	
Q2-1	100.0%	1	94.9%	3	95.5%	93.8%	15	95.4%	15	95.4%	100.0%	23	95.7%	96.0%	24	95.4%	
Q2-2	100.0%	1	89.0%	2	78.8%	87.5%	14	90.8%	14	90.8%	91.3%	21	93.4%	88.0%	22	93.6%	
Q3-1	100.0%	1	69.4%	3	71.8%	75.0%	12	69.5%	12	69.5%	73.9%	17	68.9%	68.0%	17	69.6%	
Q3-2	100.0%	1	46.9%	3	50.8%	81.3%	13	53.3%	13	53.3%	91.3%	21	56.4%	64.0%	16	54.0%	
Q3-2-1	100.0%	1	39.1%	3	44.2%	81.3%	13	45.4%	13	45.4%	69.6%	16	47.6%	52.0%	13	47.0%	
Q4-1	0.0%	0	90.6%	2	93.5%	87.5%	14	91.6%	14	91.6%	95.7%	22	91.8%	92.0%	23	92.3%	
Q4-2	0.0%	0	84.8%	2	87.4%	81.3%	13	85.6%	13	85.6%	87.0%	20	86.1%	84.0%	21	86.8%	
Q4-3	0.0%	0	69.3%	2	76.0%	75.0%	12	70.2%	12	70.2%	69.6%	16	72.5%	60.0%	15	73.3%	
Q4-4	100.0%	1	80.2%	2	72.1%	87.5%	14	83.0%	14	83.0%	91.3%	21	85.8%	88.0%	22	86.2%	
Q4-5	0.0%	0	80.2%	2	82.0%	81.3%	13	80.8%	13	80.8%	91.3%	21	81.8%	88.0%	22	82.3%	
Q4-6	0.0%	0	74.4%	3	75.3%	75.0%	12	76.0%	12	76.0%	87.0%	20	76.6%	80.0%	20	77.6%	
Q5-1	0.0%	0	99.3%	3	98.6%	100.0%	16	99.4%	16	99.4%	100.0%	23	99.5%	100.0%	25	99.4%	
Q5-2	0.0%	0	94.6%	3	95.8%	93.8%	15	94.7%	15	94.7%	95.7%	22	94.1%	96.0%	24	94.5%	
Q5-3	0.0%	0	93.0%	2	93.9%	87.5%	14	92.7%	14	92.7%	91.3%	21	92.4%	92.0%	23	92.8%	
Q5-4	0.0%	0	88.6%	2	92.1%	81.3%	13	89.2%	13	89.2%	82.6%	19	89.2%	92.0%	23	90.1%	
Q5-5	0.0%	0	86.7%	2	90.9%	81.3%	13	87.2%	13	87.2%	78.3%	18	87.6%	84.0%	21	88.6%	
地域保健・健康増進事業報告	がん検診の集計の最終報告(令和元年度地域保健・健康増進事業報告)を実施したか																
	がん検診結果について地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるよう委託先(検診機関・医師会等)に報告を求めたか																
	がん検診結果について委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めたか																
	精密検査結果について地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるよう委託先(検診機関・医師会等)に報告を求めたか																
	精密検査結果について委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めたか																

種別	個別方式											
	胃(エックス線)		胃(内視鏡検査)		大腸		乳		子宮			
	京都市府	全国	京都市府	全国	京都市府	全国	京都市府	全国	京都市府	全国		
達成率	達成市町村数	達成率	達成市町村数	達成率	達成市町村数	達成率	達成市町村数	達成率	達成市町村数	達成率	達成市町村数	
対象市町村数(検診実施している市町村数)	R④1市町村	R④3市町村	R④16市町村	R④23市町村	R④25市町村	R④25市町村	R④25市町村	R④25市町村	R④25市町村	R④25市町村	R④25市町村	R④25市町村
※プロセス指標についてはR②で集計	R②1市町村	R②3市町村	R②16市町村	R②22市町村	R②25市町村	R②25市町村	R②25市町村	R②25市町村	R②25市町村	R②25市町村	R②25市町村	R②25市町村
達成率、達成市町村数及び全国達成率 (※実施予定△も実施として算出)	京都市府	全国	京都市府	全国	京都市府	全国	京都市府	全国	京都市府	全国	京都市府	全国
Q6-1 委託先検診機関(医療機関)を、仕様書の内容に基づいて選定したか	0.0%	74.4%	33.3%	81.2%	50.0%	75.7%	69.6%	77.2%	72.0%	78.1%	18	78.1%
Q6-1-1 仕様書の内容に、明記すべき必要最低限の精度管理項目を満たしていたか	0.0%	59.0%	33.3%	68.6%	25.0%	60.3%	47.8%	62.8%	52.0%	65.2%	13	65.2%
Q6-1-2 検診終了後に、委託先検診機関(医療機関)で仕様書の内容が遵守されたことを確認したか	0.0%	30.7%	0.0%	39.3%	25.0%	32.6%	39.1%	37.8%	44.0%	39.7%	11	39.7%
Q6-2 検診機関(医療機関)に精放管理評価を個別にフィードバックしたか	0.0%	21.1%	0.0%	27.1%	18.8%	21.2%	39.1%	23.6%	24.0%	24.1%	6	24.1%
Q6-2-1 「検診機関用チェックリスト」の遵守状況をフィードバックしたか	0.0%	16.3%	0.0%	20.4%	18.8%	16.0%	26.1%	18.6%	16.0%	19.7%	4	19.7%
Q6-2-2 検診機関(医療機関)毎のプロセス指標値を集計してフィードバックしたか	0.0%	16.5%	0.0%	20.4%	6.3%	15.7%	13.0%	17.5%	8.0%	17.8%	2	17.8%
Q6-2-3 上記の結果をふまえ、課題のある検診機関(医療機関)に改善策をフィードバックしたか	0.0%	12.6%	0.0%	16.9%	6.3%	12.8%	8.7%	14.7%	4.0%	15.1%	1	15.1%
Q7-1 受診率を集計したか	0.0%	94.4%	66.7%	94.9%	87.5%	95.1%	95.5%	95.7%	92.0%	95.9%	23	95.9%
Q7-1-1 受診率を性別・年齢・年齢階級別に集計したか	0.0%	89.6%	66.7%	91.8%	87.5%	90.4%	90.9%	91.0%	84.0%	91.4%	21	91.4%
Q7-1-2 受診率を検診機関別に集計したか	0.0%	88.4%	66.7%	88.3%	81.3%	87.9%	86.4%	88.5%	80.0%	88.4%	20	88.4%
Q7-1-3 受診率を検診施設別(初回・非初回)に集計したか	0.0%	85.2%	33.3%	88.0%	75.0%	86.5%	77.3%	87.1%	80.0%	87.9%	20	87.9%
Q8-1 「肺がん検診受診者中の高危険群割合」、「高危険群中の喀痰容器配布割合」、「喀痰容器配布中の回収率」、「肺がん検診受診者中の喀痰容器回収率」の集計												
Q8-1-1 「肺がん検診受診者中の高危険群割合」、「高危険群中の喀痰容器配布割合」、「喀痰容器配布中の回収率」、「肺がん検診受診者中の喀痰容器回収率」性別・年齢・年齢階級別に集計												
Q8-1-2 「肺がん検診受診者中の高危険群割合」、「高危険群中の喀痰容器配布割合」、「喀痰容器配布中の回収率」、「肺がん検診受診者中の喀痰容器回収率」を検診機関別に集計												
Q8-1-3 「肺がん検診受診者中の高危険群割合」、「高危険群中の喀痰容器配布割合」、「喀痰容器配布中の回収率」、「肺がん検診受診者中の喀痰容器回収率」を検診施設別に集計												
Q9-1 要精検率を集計したか	0.0%	92.1%	66.7%	92.7%	87.5%	92.7%	86.4%	93.4%	88.0%	93.5%	22	93.5%
Q9-1-1 要精検率を性別・年齢・年齢階級別に集計したか	0.0%	87.3%	66.7%	89.6%	87.5%	88.2%	86.4%	89.3%	88.0%	89.6%	22	89.6%
Q9-1-2 要精検率を検診機関別に集計したか	0.0%	77.3%	66.7%	78.5%	75.0%	77.6%	81.8%	79.7%	76.0%	78.7%	19	78.7%
Q9-1-3 要精検率を検診施設別に集計したか	0.0%	80.0%	33.3%	84.6%	75.0%	81.3%	72.7%	83.2%	76.0%	84.2%	19	84.2%

種別		個別方式											
		胃(エックス線)		胃(内視鏡検査)		大腸		乳		子宮			
対象市区町村数(検診実施している市区町村数) ※プロセス指標についてはR②で集計		R④1市町村		R④3市町村		R④16市町村		R④23市町村		R④25市町村			
		達成率	達成市町村数	達成率	達成市町村数	達成率	達成市町村数	達成率	達成市町村数	達成率	達成市町村数		
精検受診率	精検受診率を集計したか	0.0%	0	66.7%	2	87.5%	14	86.4%	19	88.0%	22	91.6%	91.6%
精検未受診率	精検未受診率を性別・年齢5歳階級別に集計したか	0.0%	0	66.7%	2	87.5%	14	86.4%	19	84.0%	21	87.6%	87.6%
精検未受診率の集計	精検未受診率を検診機関別に集計したか	0.0%	0	66.7%	2	81.3%	13	77.3%	17	76.0%	19	77.0%	77.0%
がん発見率の集計	Q10-1-1	0.0%	0	33.3%	1	75.0%	12	72.7%	16	76.0%	19	81.8%	81.8%
	Q10-1-2	0.0%	0	66.7%	2	85.9%	14	86.4%	19	84.0%	21	85.4%	85.4%
	Q10-1-3	0.0%	0	66.7%	2	87.2%	12	86.5%	19	87.1%	19	87.1%	87.1%
	Q10-2	0.0%	0	66.7%	2	84.3%	12	82.0%	18	83.1%	18	83.4%	83.4%
陽性反応適中度の集計	Q11-1	0.0%	0	66.7%	2	71.9%	11	71.1%	16	73.3%	16	72.5%	72.5%
	Q11-1-1	0.0%	0	66.7%	2	78.5%	10	74.9%	15	77.1%	15	78.0%	78.0%
	Q11-1-2	0.0%	0	66.7%	2	76.3%	11	76.3%	18	76.1%	18	76.7%	76.7%
	Q11-1-3	0.0%	0	66.7%	2	73.0%	10	72.0%	14	72.4%	14	73.3%	73.3%
陽性反応適中度の集計	Q12-1	0.0%	0	66.7%	2	63.7%	10	64.2%	14	64.9%	14	64.7%	64.7%
	Q12-1-1	0.0%	0	33.3%	1	68.8%	9	66.7%	13	67.8%	13	69.2%	69.2%
	Q12-1-2	0.0%	0	64.6%	0	68.8%	0	68.8%	15	71.4%	15	71.4%	71.4%
	Q12-1-3	0.0%	0	64.6%	0	68.8%	0	68.8%	15	71.4%	15	71.4%	71.4%
Q12-1-4	0.0%	0	64.6%	0	68.8%	0	68.8%	15	71.4%	15	71.4%	71.4%	

種別	個別方式											
	胃(エックス線)		胃(内視鏡検査)		大腸		乳		子宮			
	京都市府	全国	京都市府	全国	京都市府	全国	京都市府	全国	京都市府	全国		
対象市区町村数(検診実施している市区町村数)	R④1市区町村	R④3市区町村	R④16市区町村	R④23市区町村	R②1市区町村	R②3市区町村	R②16市区町村	R②22市区町村	R④25市区町村	R②25市区町村		
※プロセス指標についてはR②で集計												
達成率、達成市区町村数及び全国達成率 (※実施予定△も実施として算出)												
Q13-1 早期がん(肺がん)では臨床病期0~I期)割合を集計したか	0.0%	76.1%	66.7%	80.3%	0	2	68.8%	77.9%	68.2%	15	77.1%	
Q13-1-1 早期がん割合を性別・年齢5歳階級別に集計したか	0.0%	75.0%	66.7%	79.0%	0	2	68.8%	76.5%	68.2%	15	75.4%	
Q13-1-2 早期がん割合を検診機関別に集計したか	0.0%	63.1%	66.7%	65.6%	0	2	68.8%	64.0%	59.1%	13	65.5%	
Q13-1-3 早期がん割合を検診受診歴別に集計したか	0.0%	69.0%	33.3%	73.5%	0	1	62.5%	70.6%	54.5%	12	70.3%	
Q13-1-4 早期がん割合を件方法別に集計したか												
Q14-1 (胃、大腸がん)粘膜内がん、(乳がん)非浸潤がんを集計したか	0.0%	73.7%	66.7%	77.3%	0	2	62.5%	75.1%	72.7%	16	74.9%	
Q15-1 上皮内病変(CINなど)数の区分毎の集計												76.0%
Q15-1-1 上皮内病変(CINなど)数の年齢5歳階級別の集計												76.0%
Q15-1-2 上皮内病変(CINなど)数の検診機関別の集計												64.0%
Q15-1-3 上皮内病変(CINなど)数の検診受診歴別の集計												60.0%
Q15-2 微小浸潤がん(臨床進行期 I A期のがん)割合の集計												60.0%
Q15-2-1 微小浸潤がん割合を性別・年齢5歳階級別に集計												60.0%
Q15-2-2 微小浸潤がん割合を検診機関別に集計												52.0%
Q15-2-3 微小浸潤がん割合を検診受診歴別に集計												48.0%

令和4年度「市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」結果報告

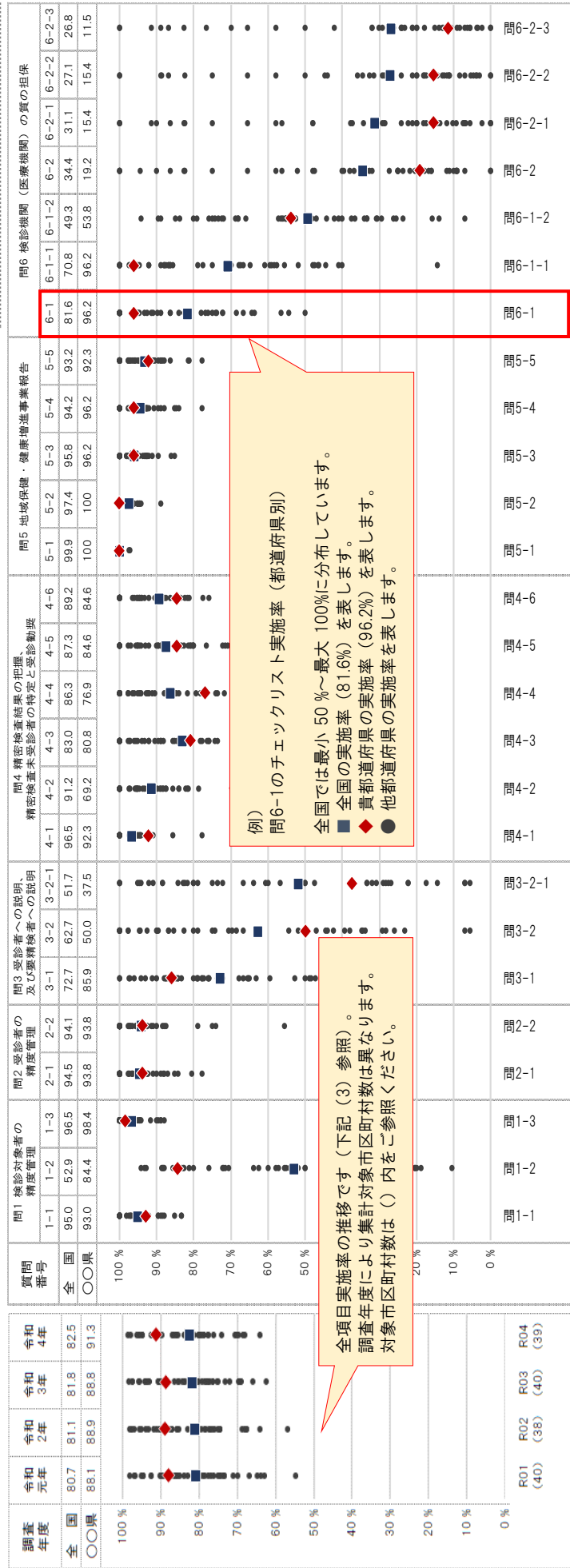
京都市府 がん検診事業評価結果（集団・個別検診）

内 容	ページ
説明資料1	1
説明資料2	2
資料1-1	3, 4
資料1-2	5, 6
資料1-3	7
資料2-1	8, 9
資料2-2	10, 11
資料2-3	12
資料3-1	13, 14
資料3-2	15, 16
資料3-3	17
資料4-1	18, 19
資料4-2	20, 21
資料4-3	22
資料5-1	23, 24
資料5-2	25, 26
資料5-3	27
資料6-1	28, 29
資料6-2	30, 31
資料6-3	32
参考資料	33

説明資料1： 市区町村チエックリスト実施率のご説明

(1) 評価シートの見方

① 全項目実施率(%)推移



(2) チエックリスト実施率の算出方法

- チエックリスト実施率(全項目)
 算出方法 「〇」の合計数/集計対象市区町村数 × 100 (%)
 集計対象市区町村 質問1、質問3の両方に「実施」と回答した市区町村
- チエックリスト実施率(項目別) 調査1
 算出方法 「〇」の合計数/集計対象市区町村数 × 100 (%)
 集計対象市区町村 質問1^{※3}に「実施」と回答した市区町村
- チエックリスト実施率(項目別) 調査2
 算出方法 「〇」の合計数/集計対象市区町村数 × 100 (%)
 集計対象市区町村 質問3^{※3}に「実施」と回答した市区町村

※1 回答は「〇(実施した)」「×(実施していない)」「△(実施予定はあるが回答時点でまだ実施していない)」から選択。当調査結果のチエックリスト実施率には「〇」のみ集計し「△」は含みません。未回答は「×」とみなします。
 ※2 部位により異なります。詳細は「(3) チエックリスト実施率の集計対象項目」参照。
 ※3 質問1：令和4年度に各がん検診(指針に記載の検査方法)を実施しましたが質問3：令和2年度に各がん検診を実施しましたか

(3) チエックリスト実施率の集計対象項目

チエックリスト実施率(全項目)は、平成28年4月改訂の「事業評価のためのチエックリスト」と同じ項目で算出しています。当調査で独自に追加した項目^{※4}はチエックリスト実施率(全項目)に含みません。該当項目については、結果報告書別添をご参照ください。

事業評価のためのチエックリスト全項目数

項目	令和4年度調査
胃がん検診(エックス線)	52
胃がん検診(内視鏡)	52
大腸がん検診	52
肺がん検診	51 ^{※5}
乳がん検診	55
子宮頸がん検診	55

※4 (5がん共通) 問1-2-1
 ※5 事業評価のためのチエックリスト(肺がん検診)は54項目ありますが、喫煙細胞診を実施していない市区町村もあるため、問8-1~問8-1-3の喫煙細胞診に関する項目(4項目)を除いています。

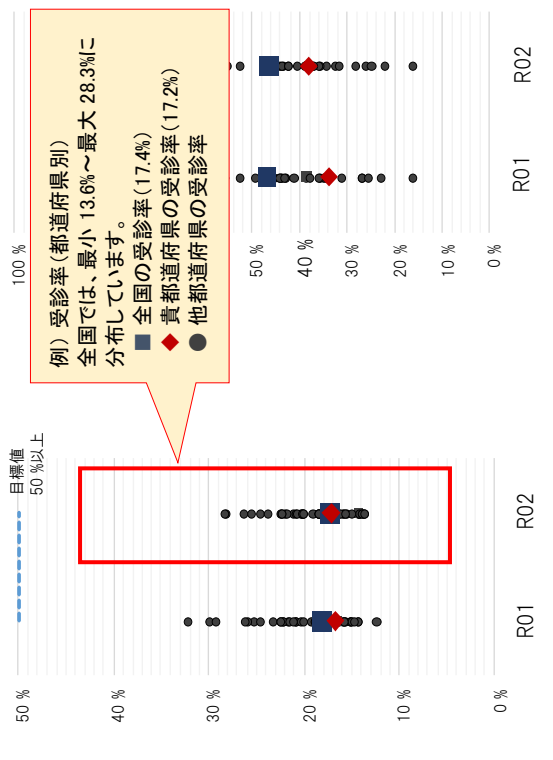
説明資料2： プロセス指標値のご説明

(1) 評価シートの見方

①-1 受診率(%)

	令和元年度	令和2年度
全国	18.2	17.4
〇〇県	16.8	17.2

50% 目標値 50%以上



①-2 集団検診受診者の割合(%)

	令和元年度	令和2年度
全国	47.0	46.6
〇〇県	33.9	38.2

(2) 出典

e-Stat(政府統計の総合窓口) <http://www.e-stat.go.jp/>

■ 令和元年度地域保健・健康増進事業報告

胃がん	受診率(エックス線及び内視鏡)：第20-2表 集団検診受診者の割合：第15-1表(エックス線) 第15-4表(内視鏡) 胃がん検診における内視鏡受診者の割合：第15-1表/第15-4表
大腸がん	受診率：第20-1表、集団検診受診者の割合：第17-1表
肺がん	受診率：第20-1表、集団検診受診者の割合：第16-1表
乳がん	受診率：第20-4表、集団検診受診者の割合：第19-1表
子宮頸がん	受診率：第20-3表、集団検診受診者の割合：第18-1表

■ 令和2年度地域保健・健康増進事業報告

胃がん	受診率(エックス線及び内視鏡)：第20-2表 集団検診受診者の割合：第15-1表(エックス線) 第15-4表(内視鏡) 胃がん検診における内視鏡受診者の割合：第15-1表/第15-4表 プロセス指標(エックス線)：第21-1表/第21-2表/第22-1表/第22-2表/第22-5表 プロセス指標(内視鏡)：第23-1表/第23-2表/第23-5表/第24-1表/第24-2表/第24-5表
大腸がん	受診率：第20-1表、集団検診受診者の割合：第17-1表 プロセス指標：第25-1表/第25-2表/第25-5表/第26-1表/第26-2表/第26-5表
肺がん	受診率：第20-1表、集団検診受診者の割合：第16-1表 プロセス指標：第27-1表/第27-2表/第28-1表/第28-2表/第28-5表
乳がん	受診率：第20-4表、集団検診受診者の割合：第19-1表 プロセス指標：第34-1表/第34-2表/第34-5表
子宮頸がん	受診率：第20-3表、集団検診受診者の割合：第18-1表 プロセス指標：第33-1表/第33-2表/第33-5表

(3) 算出方法

(3-1) 受診状況

がん検診受診率は地域保健・健康増進事業報告の報告値を使用しています。
集団検診受診者の割合は下記の算出方法で当センターが集計しました。

指標	算出方法
受診率	検診受診者数※/検診対象者数 × 100 (%) ※ 胃がん、乳がん、子宮頸がんの検診受診者数 = 当該年度受診者数+前年度受診者数-2年連続受診者数
集団検診受診者の割合	集団検診の受診者数※/受診者数 × 100 (%) ※ 胃がん検診、乳がん検診、子宮頸がん検診では、当該年度受診者数を用いて算出しました。
内視鏡検診者の割合	内視鏡検診の受診者/胃がん検診(エックス線、内視鏡)の受診者数 × 100 (%)

【対象年齢】胃がん検診は50～69歳。大腸がん、肺がん、乳がん検診は40～69歳。子宮頸がん検診は20～69歳。

(3-2) プロセス指標

厚生労働省委員会報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について(平成20年3月)」『別添4 がん検診の事業評価における主要指標について』の定義に基づき算出しています。

指標	算出方法
要精検率	要精検者数 / 受診者数 × 100 (%)
精検受診率	精検受診者数 / 要精検者数 × 100 (%) (精検受診者数 = 要精検者数 - 精検未把握者数 - 精検未受診者数)
精検未受診率	精検未受診者数 / 要精検者数 × 100 (%)
精検未把握率	精検未把握者数 / 要精検者数 × 100 (%)
がん発見率	がんであった者の数 / 検診受診者数 × 100 (%)
陽性反応適中度	がんであった者の数 / 要精検者数 × 100 (%)

【対象年齢】胃がん検診は50～74歳。大腸がん、肺がん、乳がん検診は40～74歳。子宮頸がん検診は20～74歳。

なお、都道府県別のデータは、事業報告の公表値をそのまま使用しています。
公表値の「計数なし」につきましては、下記の通り対応しています。

- (a) 受診者数が「計数なし」の場合、指標値はグラフに表示されません。
- (b) 要精検者数が「計数なし」の場合(要精検率=0%)、その他の指標値はグラフに表示されません。

資料1-1: 胃がん検診(集団検診・エックス線) 市区町村エックス線実施率

① 全項目実施率(%)/推移

調査年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	全国	京都府	全国	京都府	全国	京都府	全国	京都府
全国	80.7	79.7	81.1	77.4	81.8	77.5	82.5	74.2
京都府	96.0	96.0	95.8	92.0	95.6	88.0	88.0	84.0

② 調査1(令和4年度の検診実施体制) 項目別実施率(%)

質問番号	問1 検診対象者の精度管理		問2 受診者の精度管理		問3 受診者への説明、及び要精検者への説明		問4 精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨						問5 地域保健・健康増進事業報告						問6 検診機関(医療機関)の質の担保							
	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	3-1	3-2	3-2-1	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5	4-6	5-1	5-2	5-3	5-4	5-5	6-1	6-1-1	6-1-2	6-2	6-2-1	6-2-2	6-2-3
全国	97.3	53.4	97.6	95.8	95.6	81.1	65.7	55.8	97.4	91.8	86.6	89.7	86.5	86.4	99.9	97.1	95.6	95.1	93.6	86.4	78.9	56.8	37.3	33.7	29.9	27.5
京都府	96.0	40.0	100	92.0	88.0	88.0	84.0	64.0	100	80.0	68.0	92.0	80.0	80.0	100	96.0	92.0	88.0	80.0	76.0	60.0	48.0	48.0	36.0	28.0	20.0

集計対象市区町村: () 内記載

調査1 質問内容

- 【問1】 検診対象者の情報管理
 - 問1-1 対象者全員の氏名を記載した名簿を、住民台帳などに基づいて作成しましたか
 - 問1-2 対象者全員に個別に受診勧奨を行いましたか
 - 問1-3 対象者数(推計でも可)を把握しましたか
- 【問2】 受診者の情報管理
 - 問2-1 受診者の受診(記録)台帳またはデータベースを作成しましたか
 - 問2-2 過去5年間の受診履歴を記録していますか
- 【問3】 受診者への説明、及び要精検者への説明
 - 問3-1 受診勧奨時に、「検診機関用エックス線 1.受診者への説明」が全項目記載された資料を、全員に個別配布しましたか
 - 問3-2 要精検者全員に対し、受診可能な精密検査機関名(医療機関名)の一覧を提示しましたか
 - 問3-2-1 上記【問3-2】の一覧に掲載したすべての精密検査機関には、あらかじめ精密検査結果の報告を依頼しましたか
- 【問4】 精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨
 - 問4-1 精密検査結果及び、精密検査(治療)結果を把握しましたか
 - 問4-2 精密検査方法及び、精密検査(治療)結果が不明の者については、本人もしくは精密検査機関への照会等により、結果を確認しましたか
- 【問5】 地域保健・健康増進事業報告
 - 問5-1 がん検診結果や精密検査結果の最終報告(令和3年度地域保健・健康増進事業報告)を行いましたか
 - 問5-2 がん検診の結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるよう、委託先(検診機関(医療機関)、医師会など)に報告を求めましたか
 - 問5-3 がん検診の結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めましたか
 - 問5-4 精密検査結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるように、委託先(検診機関(医療機関)、精密検査機関、医師会など)に報告を求めましたか
 - 問5-5 精密検査結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めましたか
- 【問6】 検診機関(医療機関)の質の担保
 - 問6-1 委託先検診機関(医療機関)を、仕様書の内容に基づいて選定しましたが仕様書(もしくは要追加要綱)の内容は、「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を満たしていますか
 - 問6-1-1* 仕様書(もしくは要追加要綱)の内容は、「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を満たしていますか
 - 問6-1-2* 検診終了後に、委託先検診機関(医療機関)で仕様書(もしくは要追加要綱)の内容が遵守されたことを確認しましたか
 - 問6-2 検診機関(医療機関)に精度管理評価を個別にフィードバックしましたか
 - 問6-2-1* 「検診機関用エックス線」の遵守状況をフィードバックしましたがバックしましたか
 - 問6-2-2* 検診機関(医療機関)毎のプロセス指標値を集計してフィードバックしましたか
 - 問6-2-3* 上記の結果をふまえ、課題のある検診機関(医療機関)に改善策をフィードバックしましたか

* 大項目(問6-1、問6-2)が×の場合、この項目は×です。

資料1-1： 胃がん検診（集団検診・エックス線） 市区町村チエックリスト実施率

◆ 京都府 ■ 全国 ● その他の県

③ 調査2（令和2年度プロセス指標の集計） 項目別実施率(%)

質問番号	問7 受診率（受診者数）の集計			問9 要精検率の集計			問10 精検受診率、精検未受診率の集計			問11 がん発見率の集計			問12 陽性反応適中度の集計			問13 早期がん割合の集計			問14 粘膜炎がんの集計							
	7-1	7-1-1	7-1-2	7-1-3	9-1	9-1-1	9-1-2	9-1-3	10-1	10-1-1	10-1-2	10-1-3	10-1-4	11-1	11-1-1	11-1-2	11-1-3	12-1	12-1-1	12-1-2	12-1-3	13-1	13-1-1	13-1-2	13-1-3	14-1
全国	97.8	93.5	95.4	90.9	96.3	92.1	91.3	87.2	95.5	91.1	90.2	85.8	90.2	92.1	87.8	86.4	82.6	82.0	78.4	78.0	74.8	85.5	84.3	81.5	79.4	83.8
京都府	100	83.3	95.8	70.8	87.5	79.2	83.3	66.7	87.5	79.2	79.2	66.7	83.3	79.2	70.8	66.7	62.5	75.0	58.3	62.5	58.3	70.8	66.7	62.5	58.3	70.8
100%	[Dot plot showing data points for 100%]																									
90%	[Dot plot showing data points for 90%]																									
80%	[Dot plot showing data points for 80%]																									
70%	[Dot plot showing data points for 70%]																									
60%	[Dot plot showing data points for 60%]																									
50%	[Dot plot showing data points for 50%]																									
40%	[Dot plot showing data points for 40%]																									
30%	[Dot plot showing data points for 30%]																									
20%	[Dot plot showing data points for 20%]																									
10%	[Dot plot showing data points for 10%]																									
0%	[Dot plot showing data points for 0%]																									
	問7-1	問7-1-1	問7-1-2	問7-1-3	問9-1	問9-1-1	問9-1-2	問9-1-3	問10-1	問10-1-1	問10-1-2	問10-1-3	問10-1-4	問11-1	問11-1-1	問11-1-2	問11-1-3	問12-1	問12-1-1	問12-1-2	問12-1-3	問13-1	問13-1-1	問13-1-2	問13-1-3	問14-1

集計対象市区町村数（調査2）：24

チエックリスト実施率の算出方法

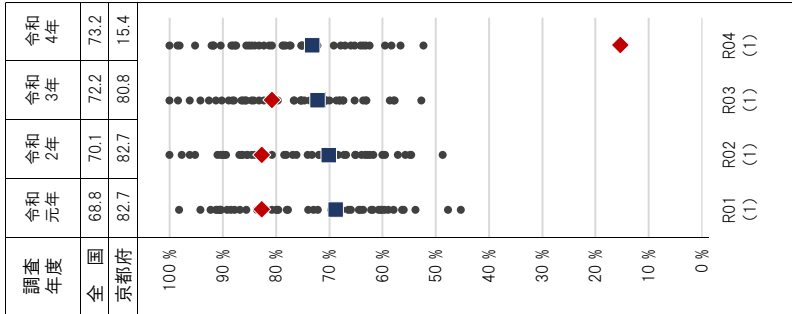
- チエックリスト実施率（全項目）
 - 算出方法：「O」※1の合計数÷集計対象市区町村数×100（%）
 - 集計対象市区町村：質問1、質問3※3の両方に「実施」と回答した市区町村
 - チエックリスト実施率（項目別） 調査1
 - 算出方法：「O」※1の合計数÷集計対象市区町村数×100（%）
 - 集計対象市区町村：質問1※3に「実施」と回答した市区町村
 - チエックリスト実施率（項目別） 調査2
 - 算出方法：「O」※1の合計数÷集計対象市区町村数×100（%）
 - 集計対象市区町村：質問3※3に「実施」と回答した市区町村
- ※1 回答は「O（実施した）」、「×（実施していない）」、「△（実施予定はあるが回答時点でまだ実施していない）」から選択。当調査結果のチエックリスト実施率には「O」のみ集計し「△」は含みません。
- ※2 胃がん検診では5項目。詳細は説明資料1「(3) チエックリスト実施率の集計対象項目」参照。
- ※3 質問1：令和4年度に各がん検診（指針に記載の検査方法）を実施しましたか
質問3：令和2年度に各がん検診を実施しましたか

調査2 質問内容

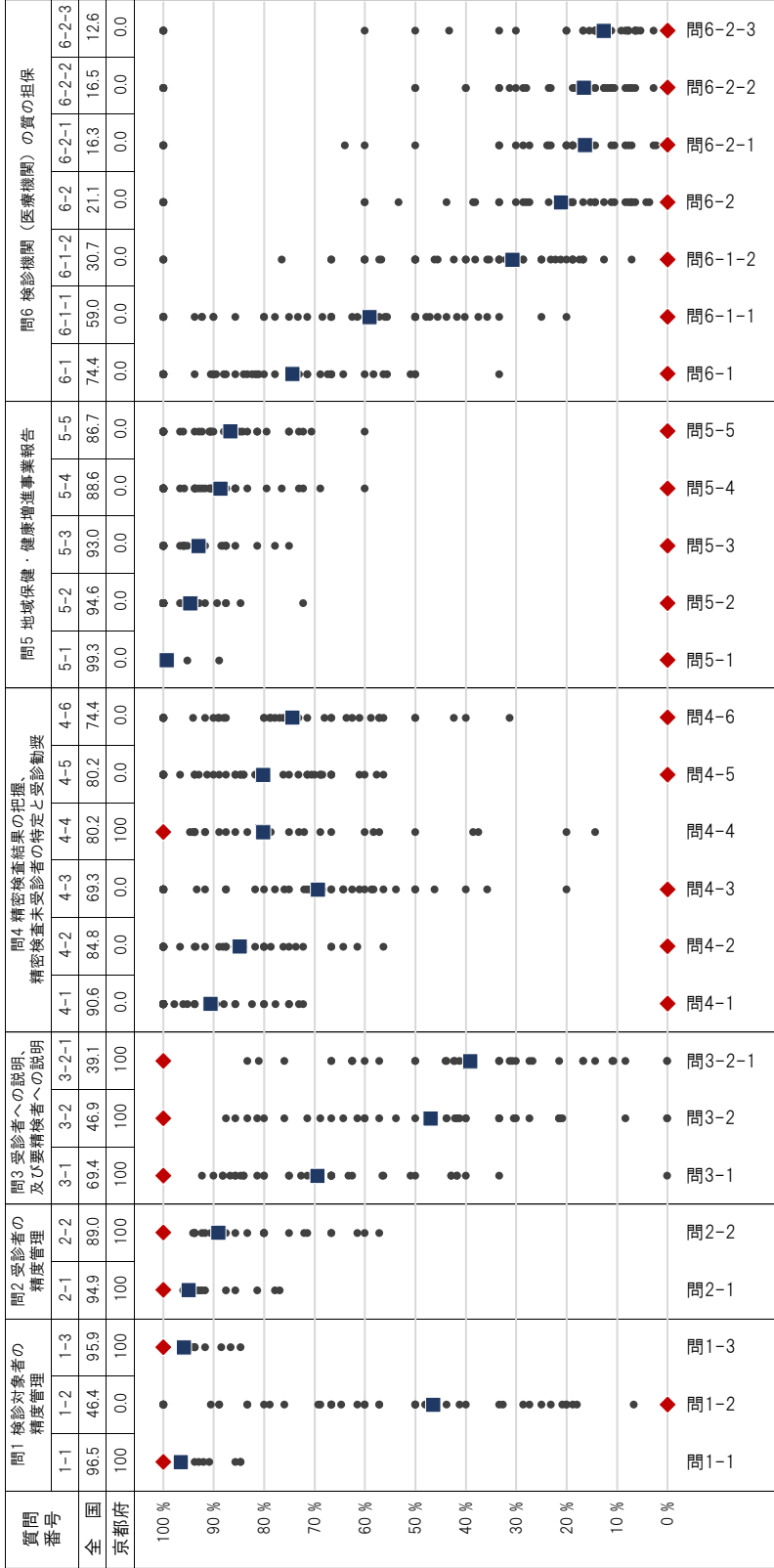
- * 大項目（問7-1、問9-1、問10-1、問11-1、問12-1、問13-1）が×の場合、この項目は×です。
- 【問7】 受診率（受診者数）の集計
 - 問7-1 受診率を算出しましたか
 - 問7-1-1* 受診率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 - 問7-1-2* 受診者数を検診機関別に集計しましたか
 - 問7-1-3* 受診者数を検診受診歴別に集計しましたか
 - 【問9】 要精検率の集計
 - 問9-1 要精検率を算出しましたか
 - 問9-1-1* 要精検率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 - 問9-1-2* 要精検率を検診機関別に集計しましたか
 - 問9-1-3* 要精検率を検診受診歴別に集計しましたか
 - 【問10】 精検受診率・未受診率の集計
 - 問10-1 精検受診率を算出しましたか
 - 問10-1-1* 精検受診率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 - 問10-1-2* 精検受診率を検診機関別に集計しましたか
 - 問10-1-3* 精検受診率を検診受診歴別に集計しましたか
 - 問10-1-4* 精検未受診率を算出しましたか
 - 【問11】 がん発見率の集計
 - 問11-1 がん発見率を算出しましたか
 - 問11-1-1* がん発見率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 - 問11-1-2* がん発見率を検診機関別に集計しましたか
 - 問11-1-3* がん発見率を検診受診歴別に集計しましたか
 - 【問12】 陽性反応適中度の集計
 - 問12-1 陽性反応適中度を集計しましたか
 - 問12-1-1* 陽性反応適中度を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 - 問12-1-2* 陽性反応適中度を検診機関別に集計しましたか
 - 問12-1-3* 陽性反応適中度を検診受診歴別に集計しましたか
 - 【問13】 早期がん割合の集計
 - 問13-1 早期がん割合を集計しましたか
 - 問13-1-1* 早期がん割合を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 - 問13-1-2* 早期がん割合を検診機関別に集計しましたか
 - 問13-1-3* 早期がん割合を検診受診歴別に集計しましたか
 - 【問14】 粘膜炎がんの集計
 - 問14-1 粘膜炎がんを集計しましたか

資料1-2： 胃がん検診（個別検診・エックス線） 市区町村エックス線 市区町村エックス線実施率

① 全項目実施率(%)推移



② 調査1（令和4年度の検診実施体制） 項目別実施率(%)



集計対象市区町村：（○）内記載

調査1 質問内容

- 【問1】 検診対象者の情報管理
 - 問1-1 対象者全員の氏名を記録した名簿を、住民台帳などに基づいて作成しましたか
 - 問1-2 対象者全員に個別に受診勧奨を行いましたか
 - 問1-3 対象者数（推計でも可）を把握しましたか
- 【問2】 受診者の情報管理
 - 問2-1 個人の受診（記録）台帳またはデータベースを作成しましたか
 - 問2-2 過去5年間の受診履歴を記録していますか
- 【問3】 受診者への説明、及び要精検者への説明
 - 問3-1 受診勧奨時に、「検診機関用エックス線 1.受診者への説明」が全項目記載された資料を、全員に個別配布しましたか
 - 問3-2 要精検者全員に対し、受診可能な精密検査機関名（医療機関名）の一覧を提示しましたか
 - 問3-2-1 上記【問3-2】の一覧に掲載したすべての精密検査機関には、あらかじめ精密検査結果の報告を依頼しましたか
- 【問4】 精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨
 - 問4-1 精密検査結果及び、精密検査（治療）結果を把握しましたか
 - 問4-2 精密検査方法及び、精密検査（治療）結果が不明の者については、本人もしくは精密検査機関への照会等により、結果を確認しましたか
- 【問5】 地域保健・健康増進事業報告
 - 問5-1 がん検診結果や精密検査結果の最終報告（令和3年度地域保健・健康増進事業報告）を行いましたか
 - 問5-2 がん検診の結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるように、委託先（検診機関（医療機関）、医師会など）に報告を求めましたか
 - 問5-3 がん検診の結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めましたか
 - 問5-4 精密検査結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるように、委託先（検診機関（医療機関）、精密検査機関、医師会など）に報告を求めましたか
 - 問5-5 精密検査結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めましたか
- 【問6】 検診機関（医療機関）の質の担保
 - 問6-1 委託先検診機関（医療機関）を、仕様書の内容に基づいて選定しましたが仕様書（もしくは要加要綱）の内容は、「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を満たしていますか
 - 問6-1-1* 検診終了後、委託先検診機関（医療機関）で仕様書（もしくは要加要綱）の内容が遵守されたことを確認しましたか
 - 問6-1-2* 検診機関（医療機関）に精度管理評価を個別にフィードバックしましたか
 - 問6-2 「検診機関用エックス線」の遵守状況をフィードバックしましたが問6-2-2* 上記の結果をふまえ、課題のある検診機関（医療機関）に改善策をフィードバックしましたか
 - 問6-2-1* 上記の結果をふまえ、課題のある検診機関（医療機関）に改善策をフィードバックしましたか
 - 問6-2-2* 上記の結果をふまえ、課題のある検診機関（医療機関）に改善策をフィードバックしましたか
 - 問6-2-3* 上記の結果をふまえ、課題のある検診機関（医療機関）に改善策をフィードバックしましたか

* 大項目（問6-1、問6-2）が×の場合、この項目は×です。

資料1-2： 胃がん検診（個別検診・エックス線） 市区町村チェックリスト実施率

③ 調査2（令和2年度プロセス指標の集計） 項目別実施率(%)

質問番号	問7 受診率（受診者数）の集計			問9 要精検率の集計			問10 精検受診率、精検未受診率の集計			問11 がん発見率の集計			問12 陽性反応適中度の集計			問13 早期がん割合の集計			問14 粘膜炎がんの集計																																
	7-1	7-1-1	7-1-2	7-1-3	9-1	9-1-1	9-1-2	9-1-3	10-1	10-1-1	10-1-2	10-1-3	10-1-4	11-1	11-1-1	11-1-2	11-1-3	12-1	12-1-1	12-1-2	12-1-3	13-1	13-1-1	13-1-2	13-1-3	14-1																									
全国	94.4	89.6	88.4	85.2	92.1	87.3	77.3	80.0	90.8	84.9	75.6	77.8	82.9	80.3	84.9	80.3	72.8	74.1	70.0	62.8	64.6	76.1	75.0	63.1	69.0	73.7																									
京都府	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																									
100%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																								
90%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																								
80%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																								
70%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																								
60%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																								
50%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																								
40%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																								
30%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																								
20%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																								
10%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																								
0%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																								
問7-1	◆	問7-1-1	◆	問7-1-2	◆	問7-1-3	◆	問9-1	◆	問9-1-1	◆	問9-1-2	◆	問9-1-3	◆	問10-1	◆	問10-1-1	◆	問10-1-2	◆	問10-1-3	◆	問10-1-4	◆	問11-1	◆	問11-1-1	◆	問11-1-2	◆	問11-1-3	◆	問12-1	◆	問12-1-1	◆	問12-1-2	◆	問12-1-3	◆	問13-1	◆	問13-1-1	◆	問13-1-2	◆	問13-1-3	◆	問14-1	◆

長 ←

チェックリスト実施率の算出方法

① チェックリスト実施率（全項目）

算出方法	$\frac{「○」^{※1}の合計数}{集計対象市区町村数} \times 項目数^{※2} \times 100$ (%)
集計対象市区町村	質問1、質問3 ^{※3} の両方に「実施」と回答した市区町村

② チェックリスト実施率（項目別） 調査1

算出方法	$\frac{「○」^{※1}の合計数}{集計対象市区町村数} \times 100$ (%)
集計対象市区町村	質問1 ^{※3} に「実施」と回答した市区町村

③ チェックリスト実施率（項目別） 調査2

算出方法	$\frac{「○」^{※1}の合計数}{集計対象市区町村数} \times 100$ (%)
集計対象市区町村	質問3 ^{※3} に「実施」と回答した市区町村

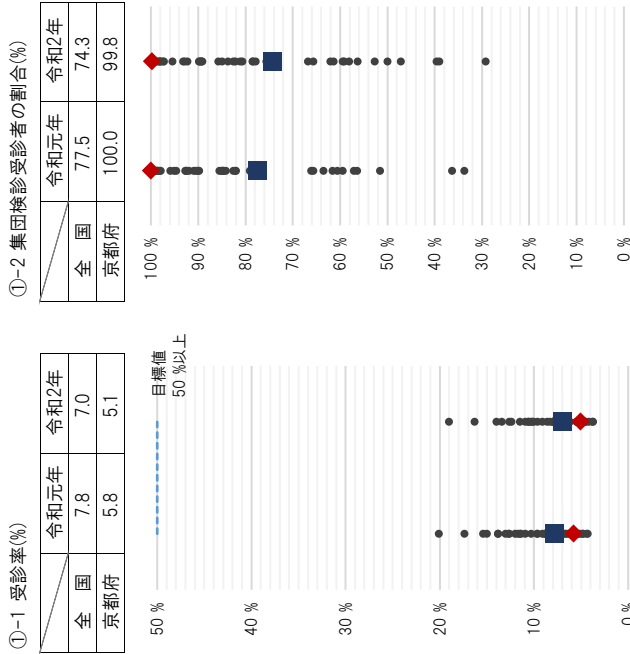
※1 回答は「○（実施した）」、「×（実施していない）」、「△（実施予定はあるが回答時点ですべて実施していない）」から選択。当調査結果のチェックリスト実施率には「○」のみ集計し「△」は含みません。
 ※2 胃がん検診では52項目。詳細は説明資料1「(3) チェックリスト実施率の集計対象項目」参照。
 ※3 質問1：令和4年度に各がん検診（指針に記載の検査方法）を実施しましたか
 質問3：令和2年度に各がん検診を実施しましたか

調査2 質問内容

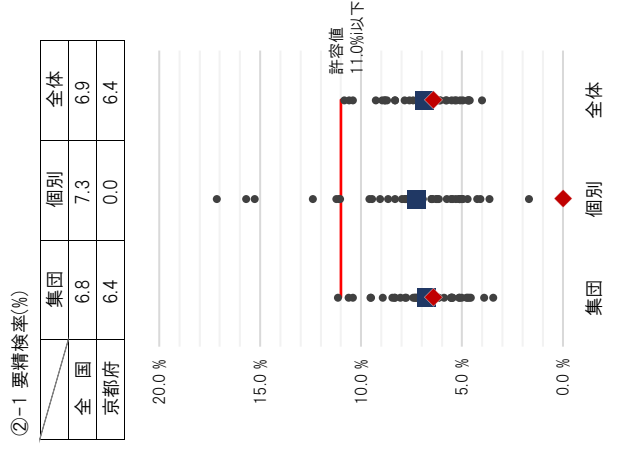
* 大項目（問7-1、問9-1、問10-1、問11-1、問12-1、問13-1）が×の場合、この項目は×です。
 【問7】 受診率（受診者数）の集計
 問7-1 受診率を集計しましたか
 問7-1-1* 受診率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問7-1-2* 受診者数を検診機関別に集計しましたか
 問7-1-3* 受診者数を検診受診歴別に集計しましたか
 【問9】 要精検率の集計
 問9-1 要精検率を集計しましたか
 問9-1-1* 要精検率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問9-1-2* 要精検率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問9-1-3* 要精検率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 【問10】 精検受診率・未受診率の集計
 問10-1 精検受診率を集計しましたか
 問10-1-1* 精検受診率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問10-1-2* 精検受診率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問10-1-3* 精検受診率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問10-1-4* 精検未受診率を集計しましたか
 【問11】 がん発見率の集計
 問11-1 がん発見率を集計しましたか
 問11-1-1* がん発見率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問11-1-2* がん発見率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問11-1-3* がん発見率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 【問12】 陽性反応適中度の集計
 問12-1 陽性反応適中度を集計しましたか
 問12-1-1* 陽性反応適中度を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問12-1-2* 陽性反応適中度を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問12-1-3* 陽性反応適中度を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 【問13】 早期がん割合の集計
 問13-1 早期がん割合を集計しましたか
 問13-1-1* 早期がん割合を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問13-1-2* 早期がん割合を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問13-1-3* 早期がん割合を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 【問14】 粘膜炎がんの集計
 問14-1 粘膜炎がんを集計しましたか

資料1-3: 胃がん検診(エックス線) 都道府県別プロセス指標値

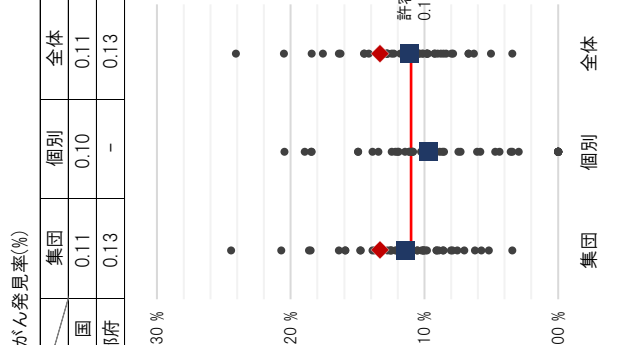
① 受診状況(令和元・令和2年度、50~69歳、男女計)



② プロセス指標(令和元年度、50~74歳、男女計)



③ 検診結果(令和元年度、50~74歳、男女計)



目標値・許容値※

・受診率の目標値
 ・がん対策推進基本計画(平成30年3月)個別目標より

・プロセス指標値の許容値・目標値
 厚生労働省がん検診事業評価委員会報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について(平成20年3月)」別添6掲載『事業評価指標とそれぞれの許容値及び目標値』より

留意点

要精検率、がん発見率、陽性反応適中度は、受診者の年齢構成や検診受診歴(初回・非初回)等の影響を大きく受けるため、指標数値の高低だけで比較評価はできません。
 詳細は参考資料「プロセス指標の意味と活用方法」をご参照ください。

出典

令和元年度地域保健・健康増進事業報告
 令和2年度地域保健・健康増進事業報告
 算出方法等の詳細は説明資料2をご参照ください。

※令和5年度にはがん対策推進基本計画の改正(第4期)及び厚生労働省報告書の改訂が予定されており、数値目標の変更が検討されています。

資料2-1： 胃がん検診（集団検診・内視鏡） 市区町村チェックリスト実施率

① 全項目実施率(%)推移

調査年度	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
	全国	74.2	73.6	76.0
京都府	-	-	-	-

質問番号	問1 検診対象者の精度管理					問2 受診者の精度管理					問3 受診者への説明、及び要精検者への説明						問4 精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨						問5 地域保健・健康増進事業報告						問6 検診機関（医療機関）の質の担保					
	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	3-1	3-2	3-2-1	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5	4-6	5-1	5-2	5-3	5-4	5-5	6-1	6-1-1	6-1-2	6-2	6-2-1	6-2-2	6-2-3								
全国	91.9	56.8	89.2	83.2	78.4	75.7	52.7	45.9	90.5	81.1	81.1	73.0	81.1	82.4	98.6	95.9	90.5	89.2	87.8	78.4	70.3	48.6	29.7	24.3	21.6	16.2								
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-								

② 調査1（令和4年度の検診実施体制） 項目別実施率(%)

質問番号	問1 検診対象者の精度管理			問2 受診者の精度管理			問3 受診者への説明、及び要精検者への説明						問4 精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨						問5 地域保健・健康増進事業報告						問6 検診機関（医療機関）の質の担保					
	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	3-1	3-2	3-2-1	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5	4-6	5-1	5-2	5-3	5-4	5-5	6-1	6-1-1	6-1-2	6-2	6-2-1	6-2-2	6-2-3				
全国	91.9	56.8	89.2	83.2	78.4	75.7	52.7	45.9	90.5	81.1	81.1	73.0	81.1	82.4	98.6	95.9	90.5	89.2	87.8	78.4	70.3	48.6	29.7	24.3	21.6	16.2				
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

集計対象市区町村：（○）内記載

調査1 質問内容

- 【問1】 検診対象者の情報管理
 - 問1-1 対象者全員の氏名を記載した名簿を、住民台帳などに基づいて作成しましたか
 - 問1-2 対象者全員に個別に受診勧奨を行いましたか
 - 問1-3 対象者数（推計でも可）を把握しましたか
- 【問2】 受診者の情報管理
 - 問2-1 個人別の受診（記録）台帳またはデータベースを作成しましたか
 - 問2-2 過去5年間の受診履歴を記録していますか
- 【問3】 受診者への説明、及び要精検者への説明
 - 問3-1 受診勧奨時に、「検診機関用チェックリスト 1.受診者への説明」が全項目記載された資料を、全員に個別配布しましたか
 - 問3-2 要精検者全員に対し、受診可能な精密検査機関名（医療機関名）の一覧を提示しましたか
 - 問3-2-1 上記【問3-2】の一覧に掲載したすべての精密検査機関には、あらかじめ精密検査結果の報告を依頼しましたか
- 【問4】 精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨
 - 問4-1 精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を把握しましたか
 - 問4-2 精密検査方法及び、精密検査（治療）結果が不明の者については、本人もしくは精密検査機関への照会等により、結果を確認しましたか

- 問4-3 個人毎の精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を、市区町村、検診機関（医療機関）、精密検査機関が共有しましたか
- 問4-4 過去5年間の精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を記録していますか
- 問4-5 精密検査未受診と精密検査結果未把握を定義に従って区別し、精密検査未受診者を特定しましたか
- 問4-6 精密検査未受診者に精密検査の受診勧奨を行いましたか
- 【問5】 地域保健・健康増進事業報告
 - 問5-1 がん検診結果や精密検査結果の最終報告（令和3年度地域保健・健康増進事業報告）を行いましたか
 - 問5-2 がん検診の結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるよう、委託先（検診機関（医療機関）、医師会など）に報告を求めましたか
 - 問5-3 がん検診の結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めましたか
 - 問5-4 精密検査結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるように、委託先（検診機関（医療機関）、精密検査機関、医師会など）に報告を求めましたか
 - 問5-5 精密検査結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めましたか

- 【問6】 検診機関（医療機関）の質の担保
 - 問6-1 委託先検診機関（医療機関）を、仕様書の内容に基づいて選定しましたが仕様書（もしくは要実施要綱）の内容は、「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を満たしていますか
 - 問6-1-1* 検診終了後に、委託先検診機関（医療機関）に精度管理評価を個別にフィードバックしましたか
 - 問6-1-2 検診機関（医療機関）毎のプロセス指標値を算出してフィードバックしましたか
 - 問6-2 検診機関（医療機関）に精度管理評価を個別にフィードバックしましたか
 - 問6-2-1* 「検診機関用チェックリスト」の遵守状況をフィードバックしましたか
 - 問6-2-2* 検診機関（医療機関）毎のプロセス指標値を算出してフィードバックしましたか
 - 問6-2-3* 上記の結果をふまえ、課題のある検診機関（医療機関）に改善策をフィードバックしましたか

* 大項目（問6-1、問6-2）が×の場合、この項目は×です。



資料2-1： 胃がん検診（集団検診・内視鏡） 市区町村チエックリスト実施率

③ 調査2（令和2年度プロセス指標の集計） 項目別実施率(%)

質問番号	問7 受診率（受診者数）の集計			問9 要精検率の集計			問10 精検受診率、精検未受診率の集計			問11 がん発見率の集計			問12 陽性反応適中度の集計			問13 早期がん割合の集計			問14 粘膜炎がんの集計								
	7-1	7-1-1	7-1-2	7-1-3	9-1	9-1-1	9-1-2	9-1-3	10-1	10-1-1	10-1-2	10-1-3	10-1-4	11-1	11-1-1	11-1-2	11-1-3	12-1		12-1-1	12-1-2	12-1-3	13-1	13-1-1	13-1-2	13-1-3	14-1
全 国	94.8	90.6	91.7	87.5	90.6	85.4	79.2	84.4	83.3	84.4	83.3	78.1	83.3	88.5	84.4	81.3	77.1	729	729	719	688	750	729	719	708	75.0	
京都市府	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
100%	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
90%	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
80%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
70%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
60%	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
50%	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
40%	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
30%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
0%	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	問7-1	問7-1-1	問7-1-2	問7-1-3	問9-1	問9-1-1	問9-1-2	問9-1-3	問10-1	問10-1-1	問10-1-2	問10-1-3	問10-1-4	問11-1	問11-1-1	問11-1-2	問11-1-3	問12-1	問12-1-1	問12-1-2	問12-1-3	問13-1	問13-1-1	問13-1-2	問13-1-3	問14-1	

長 ←

チエックリスト実施率の算出方法

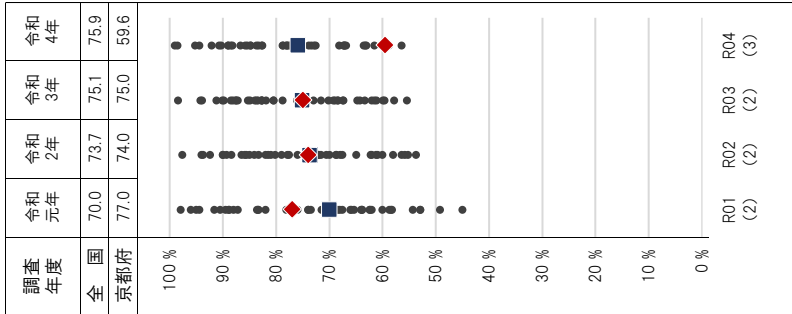
- チエックリスト実施率（全項目）
 - 算出方法：「O」※1の合計数÷集計対象市区町村数×100（%）
 - 集計対象市区町村：質問1、質問3※3の両方に「実施」と回答した市区町村
 - チエックリスト実施率（項目別） 調査1
 - 算出方法：「O」※1の合計数÷集計対象市区町村数×100（%）
 - 集計対象市区町村：質問1※3に「実施」と回答した市区町村
 - チエックリスト実施率（項目別） 調査2
 - 算出方法：「O」※1の合計数÷集計対象市区町村数×100（%）
 - 集計対象市区町村：質問3※3に「実施」と回答した市区町村
- ※1 回答は「O（実施した）」、「×（実施していない）」、「△（実施予定はあるが回答時点では実施していません）」から選択。当調査結果のチエックリスト実施率には「O」のみ集計し「△」は含みません。
- ※2 胃がん検診では5項目。詳細は説明資料1「(3) チエックリスト実施率の集計対象項目」参照。
- ※3 質問1：令和4年度に各がん検診（指針に記載の検査方法）を実施しましたか
質問3：令和2年度に各がん検診を実施しましたか

調査2 質問内容

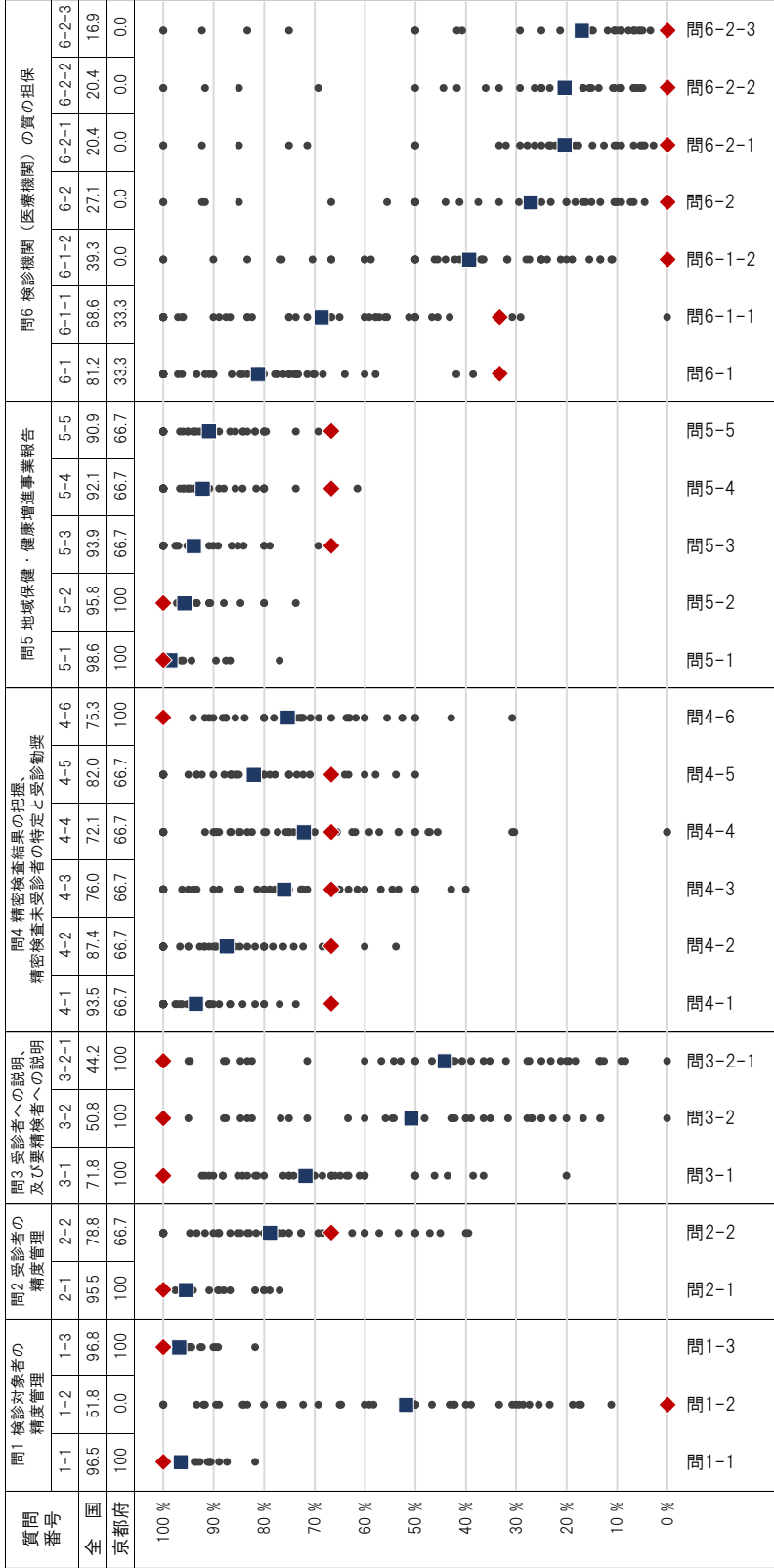
- * 大項目（問7-1、問9-1、問10-1、問11-1、問12-1、問13-1）が×の場合、この項目は×です。
- 【問7】 受診率（受診者数）の集計
 問7-1 受診者数を集計しましたか
 問7-1-1* 受診率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問7-1-2* 受診者数を検診機関別に集計しましたか
 問7-1-3* 受診者数を検診受診歴別に集計しましたか
- 【問9】 要精検率の集計
 問9-1 要精検率を集計しましたか
 問9-1-1* 要精検率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問9-1-2* 要精検率を検診機関別に集計しましたか
 問9-1-3* 要精検率を検診受診歴別に集計しましたか
- 【問10】 精検受診率・未受診率の集計
 問10-1 精検受診率を集計しましたか
 問10-1-1* 精検受診率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問10-1-2* 精検受診率を検診機関別に集計しましたか
 問10-1-3* 精検受診率を検診受診歴別に集計しましたか
 問10-1-4* 精検未受診率を集計しましたか
- 【問11】 がん発見率の集計
 問11-1 がん発見率を集計しましたか
 問11-1-1* がん発見率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問11-1-2* がん発見率を検診機関別に集計しましたか
 問11-1-3* がん発見率を検診受診歴別に集計しましたか
- 【問12】 陽性反応適中度の集計
 問12-1 陽性反応適中度を集計しましたか
 問12-1-1* 陽性反応適中度を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問12-1-2* 陽性反応適中度を検診機関別に集計しましたか
 問12-1-3* 陽性反応適中度を検診受診歴別に集計しましたか
- 【問13】 早期がん割合の集計
 問13-1 早期がん割合を集計しましたか
 問13-1-1* 早期がん割合を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問13-1-2* 早期がん割合を検診機関別に集計しましたか
 問13-1-3* 早期がん割合を検診受診歴別に集計しましたか
- 【問14】 粘膜炎がんの集計
 問14-1 粘膜炎がんを集計しましたか

資料2-2： 胃がん検診（個別検診・内視鏡） 市区町村チェックリスト実施率

① 全項目実施率(%)推移



② 調査1（令和4年度の検診実施体制） 項目別実施率(%)



集計対象市区町村：（○）内記載

調査1 質問内容

- 【問1】 検診対象者の情報管理
 - 問1-1 対象者全員の氏名を記載した名簿を、住民台帳などに基づいて作成しましたか
 - 問1-2 対象者全員に個別に受診勧奨を行いましたか
 - 問1-3 対象者数（推計でも可）を把握しましたか
- 【問2】 受診者の情報管理
 - 問2-1 受診者の受診（記録）台帳またはデータベースを作成しましたか
 - 問2-2 過去5年間の受診履歴を記録していますか
- 【問3】 受診者への説明、及び要精検者への説明
 - 問3-1 受診勧奨時に、「検診機関用チェックリスト 1.受診者への説明」が全項目記載された資料を、全員に個別配布しましたか
 - 問3-2 要精検者全員に対し、受診可能な精密検査機関名（医療機関名）の一覧を提示しましたか
 - 問3-2-1 上記【問3-2】の一覧に掲載したすべての精密検査機関には、あらかじめ精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨
- 【問4】 精密検査結果の把握、精密検査（治療）結果を把握しましたか
 - 問4-1 精密検査方法及び、精密検査（治療）結果が不明の者については、本人もしくは精密検査機関への照会等により、結果を確認しましたか

- 問4-3 個人毎の精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を、市区町村、検診機関（医療機関）、精密検査機関が共有しましたか
- 問4-4 過去5年間の精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を記録していますか
- 問4-5 精密検査未受診と精密検査結果未把握を定義に従って区別し、精密検査未受診者を特定しましたか
- 問4-6 精密検査未受診者に精密検査の受診勧奨を行いましたか
- 【問5】 地域保健・健康増進事業報告
 - 問5-1 がん検診結果や精密検査結果の最終報告（令和3年度地域保健・健康増進事業報告）を行いましたか
 - 問5-2 がん検診の結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるよう、委託先（検診機関（医療機関）、医師会など）に報告を求めましたか
 - 問5-3 がん検診の結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めましたか
 - 問5-4 精密検査結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるよう、委託先（検診機関（医療機関）、精密検査機関、医師会など）に報告を求めましたか
 - 問5-5 精密検査結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めましたか

- 【問6】 検診機関（医療機関）の質の担保
 - 問6-1 委託先検診機関（医療機関）を、仕様書の内容に基づいて選定しましたが仕様書（もしくは要加要綱）の内容は、「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を満たしていますか
 - 問6-1-1* 仕様書（もしくは要加要綱）の内容は、「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を満たしていますか
 - 問6-1-2* 検診終了後に、委託先検診機関（医療機関）で仕様書（もしくは要加要綱）の内容が遵守されたことを確認しましたか
 - 問6-2 検診機関（医療機関）に精度管理評価を個別にフィードバックしましたか
 - 問6-2-1* 「検診機関用チェックリスト」の遵守状況をフィードバックしましたか
 - 問6-2-2* 検診機関（医療機関）毎のプロセス指標値を算出してフィードバックしましたか
 - 問6-2-3* 上記の結果をふまえ、課題のある検診機関（医療機関）に改善策をフィードバックしましたか

* 大項目（問6-1、問6-2）が×の場合、この項目は×です。

資料2-2：胃がん検診（個別検診・内視鏡）市区町村チェックリスト実施率

③ 調査2（令和2年度プロセス指標の集計） 項目別実施率(%)

質問番号	問7 受診率（受診者数）の集計			問9 要精検率の集計			問10 精検受診率、精検未受診率の集計			問11 がん発見率の集計			問12 陽性反応適中度の集計			問13 早期がん割合の集計			問14 粘膜炎がんの集計									
	7-1	7-1-1	7-1-2	7-1-3	9-1	9-1-1	9-1-2	9-1-3	10-1	10-1-1	10-1-2	10-1-3	10-1-4	11-1	11-1-1	11-1-2	11-1-3	12-1		12-1-1	12-1-2	12-1-3	13-1	13-1-1	13-1-2	13-1-3	14-1	
全国	94.9	91.8	88.3	88.0	92.7	89.6	78.5	84.6	91.6	88.0	76.5	82.8	85.9	87.2	84.3	71.9	78.5	76.3	73.0	68.8	68.8	80.3	79.0	65.6	73.5	77.3		
京都府	66.7	66.7	66.7	33.3	66.7	66.7	66.7	33.3	66.7	66.7	66.7	33.3	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	33.3	66.7	
100%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
90%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
80%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
70%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
60%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
50%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
40%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
30%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
20%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
10%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
0%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	問7-1	問7-1-1	問7-1-2	問7-1-3	問9-1	問9-1-1	問9-1-2	問9-1-3	問10-1	問10-1-1	問10-1-2	問10-1-3	問10-1-4	問11-1	問11-1-1	問11-1-2	問11-1-3	問12-1	問12-1-1	問12-1-2	問12-1-3	問13-1	問13-1-1	問13-1-2	問13-1-3	問14-1		

長 ←

◆ 京都府 ■ 全国 ● その他の県

チェックリスト実施率の算出方法

- ① チェックリスト実施率（全項目）
 - 算出方法 「O」の合計数/集計対象市区町村数×項目数^{※2} × 100 (%)
 - 集計対象市区町村 質問1、質問3^{※3}の両方に「実施」と回答した市区町村
 - ② チェックリスト実施率（項目別） 調査1
 - 算出方法 「O」^{※1}の合計数/集計対象市区町村数 × 100 (%)
 - 集計対象市区町村 質問1^{※3}に「実施」と回答した市区町村
 - ③ チェックリスト実施率（項目別） 調査2
 - 算出方法 「O」^{※1}の合計数/集計対象市区町村数 × 100 (%)
 - 集計対象市区町村 質問3^{※3}に「実施」と回答した市区町村
- ※1 回答は「O（実施した）」、「×（実施していない）」、「△（実施予定はあるが回答時点でまだ実施していない）」から選択。当調査結果のチェックリスト実施率には「O」のみ集計し「△」は含みません。
 ※2 胃がん検診では52項目。詳細は説明資料1「(3) チェックリスト実施率の集計対象項目」参照。
 ※3 質問1：令和4年度に各がん検診（指針に記載の検査方法）を実施しましたか
 質問3：令和2年度に各がん検診を実施しましたか

調査2 質問内容

- * 大項目（問7-1、問9-1、問10-1、問11-1、問12-1、問13-1）が×の場合、この項目は×です。
- 【問7】 受診率（受診者数）の集計
 問7-1 受診率を集計しましたか
 問7-1-1* 受診率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問7-1-2* 受診者数を検診機関別に集計しましたか
 問7-1-3* 受診者数を検診受診歴別に集計しましたか
- 【問9】 要精検率の集計
 問9-1 要精検率を集計しましたか
 問9-1-1* 要精検率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問9-1-2* 要精検率を検診機関別に集計しましたか
 問9-1-3* 要精検率を検診受診歴別に集計しましたか
- 【問10】 精検受診率・未受診率の集計
 問10-1 精検受診率を集計しましたか
 問10-1-1* 精検受診率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問10-1-2* 精検受診率を検診機関別に集計しましたか
 問10-1-3* 精検受診率を検診受診歴別に集計しましたか
 問10-1-4* 精検未受診率を集計しましたか
- 【問11】 がん発見率の集計
 問11-1 がん発見率を集計しましたか
 問11-1-1* がん発見率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問11-1-2* がん発見率を検診機関別に集計しましたか
 問11-1-3* がん発見率を検診受診歴別に集計しましたか
- 【問12】 陽性反応適中度の集計
 問12-1 陽性反応適中度を集計しましたか
 問12-1-1* 陽性反応適中度を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問12-1-2* 陽性反応適中度を検診機関別に集計しましたか
 問12-1-3* 陽性反応適中度を検診受診歴別に集計しましたか
- 【問13】 早期がん割合の集計
 問13-1 早期がん割合を集計しましたか
 問13-1-1* 早期がん割合を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問13-1-2* 早期がん割合を検診機関別に集計しましたか
 問13-1-3* 早期がん割合を検診受診歴別に集計しましたか
- 【問14】 粘膜炎がんの集計
 問14-1 粘膜炎がんを集計しましたか

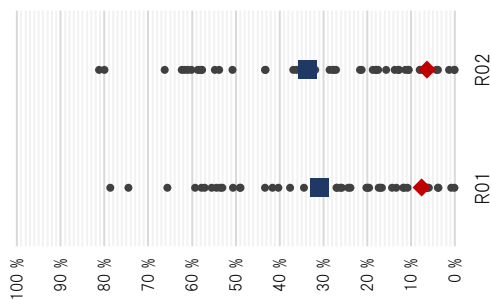
資料2-3： 胃がん検診（内視鏡） 都道府県別プロセス指標値

胃がん内視鏡検診における各指標値は取集の定義が自治体によって統一されていないことが予想されるうえ、国の基準値も設定されていません。本シートでは参考値として、他部位と同様の方法で算出した値を示しています。

① 受診状況（令和元年度、50～69歳、男女計）

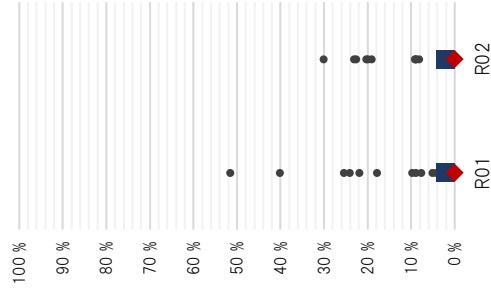
①-1 胃がん検診における内視鏡受診者の割合(%)

	令和元年	令和2年
全国	30.8	33.6
京都府	7.5	6.4



①-2 胃がん内視鏡検診の集団検診受診者の割合(%)

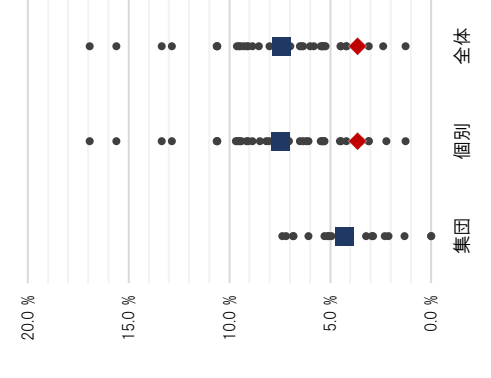
	令和元年	令和2年
全国	2.1	2.0
京都府	0.0	0.0



② プロセス指標（令和元年度、50～74歳、男女計）

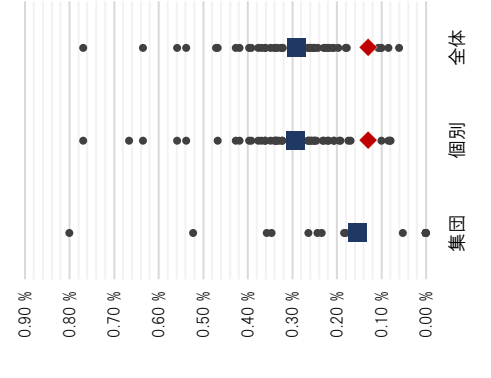
②-1 要精検率(%)

	集団	個別	全体
全国	4.3	7.5	7.4
京都府	-	3.7	3.7



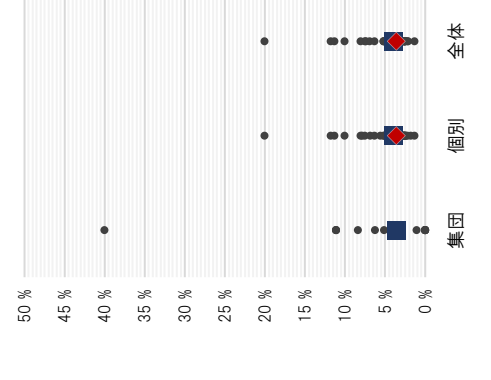
②-2 がん発見率(%)

	集団	個別	全体
全国	0.15	0.29	0.29
京都府	-	0.13	0.13



②-3 陽性反応適中度(%)

	集団	個別	全体
全国	3.6	3.9	3.9
京都府	-	3.6	3.6



胃がん内視鏡検診の問題点

胃がん内視鏡検診については、精密検査に用いられる検査であるという特徴から、他の検診とプロセス指標の定義が異なります。
現時点で「地域保健・健康増進事業報告」に報告されている値については、下記の要精検者、精検受診者の定義が十分に統一されていないため、プロセス指標はまだ評価できません。

・内視鏡検診における要精密検査者の定義

- 1) 検診時生検受診者
内視鏡検診受診時にがんの疑いがある場合にそのまま生検を実施される者
- 2) 検診時生検未受診のうち要再検査者
検査時には生検を実施しなかったが、ダブルチェックにより再検査が必要となった者
これら1)と2)を合わせた者が内視鏡検診の要精密検査者数となる

・内視鏡検診における精密検査受診者の定義（上記要精密検査者の種類別）

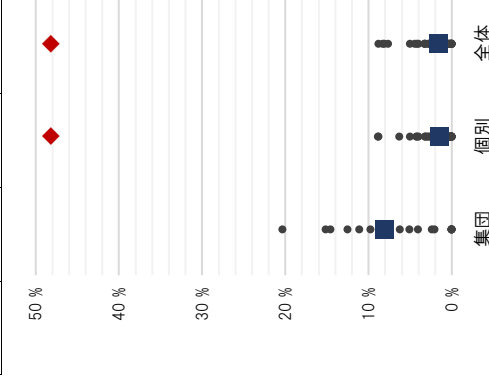
- 1) 検診時生検受診者の精検受診者
検診時生検の結果の報告があった者
- 2) 検診時生検未受診のうち要再検査者の精検受診者
再検査の結果の報告があった者（対象者から受診日、再検査実施機関、検査方法及び検査結果の報告があった者を含む）

出典

令和元年度地域保健・健康増進事業報告
令和2年度地域保健・健康増進事業報告
算出方法等の詳細は説明資料2をご参照ください。

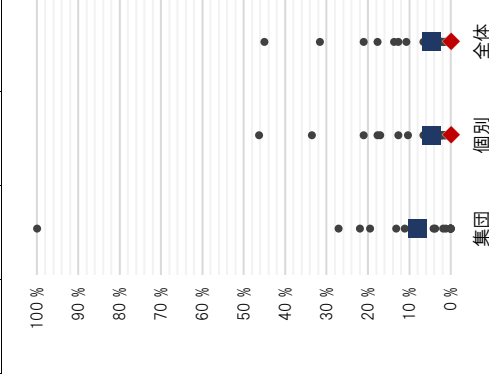
②-5 精検未受診率(%)

	集団	個別	全体
全国	8.1	1.5	1.5
京都府	-	48.2	48.2



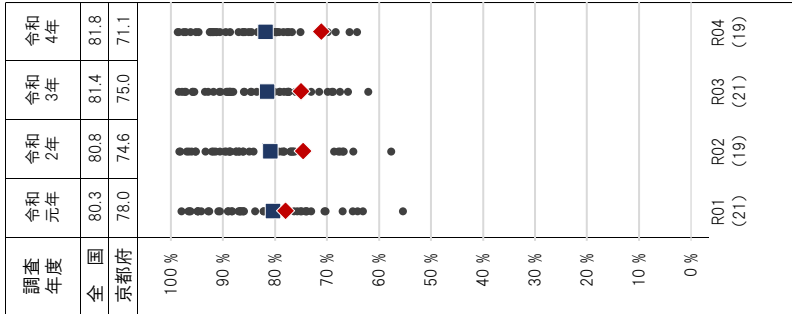
②-6 精検未把握率(%)

	集団	個別	全体
全国	8.1	4.6	4.6
京都府	-	0.0	0.0

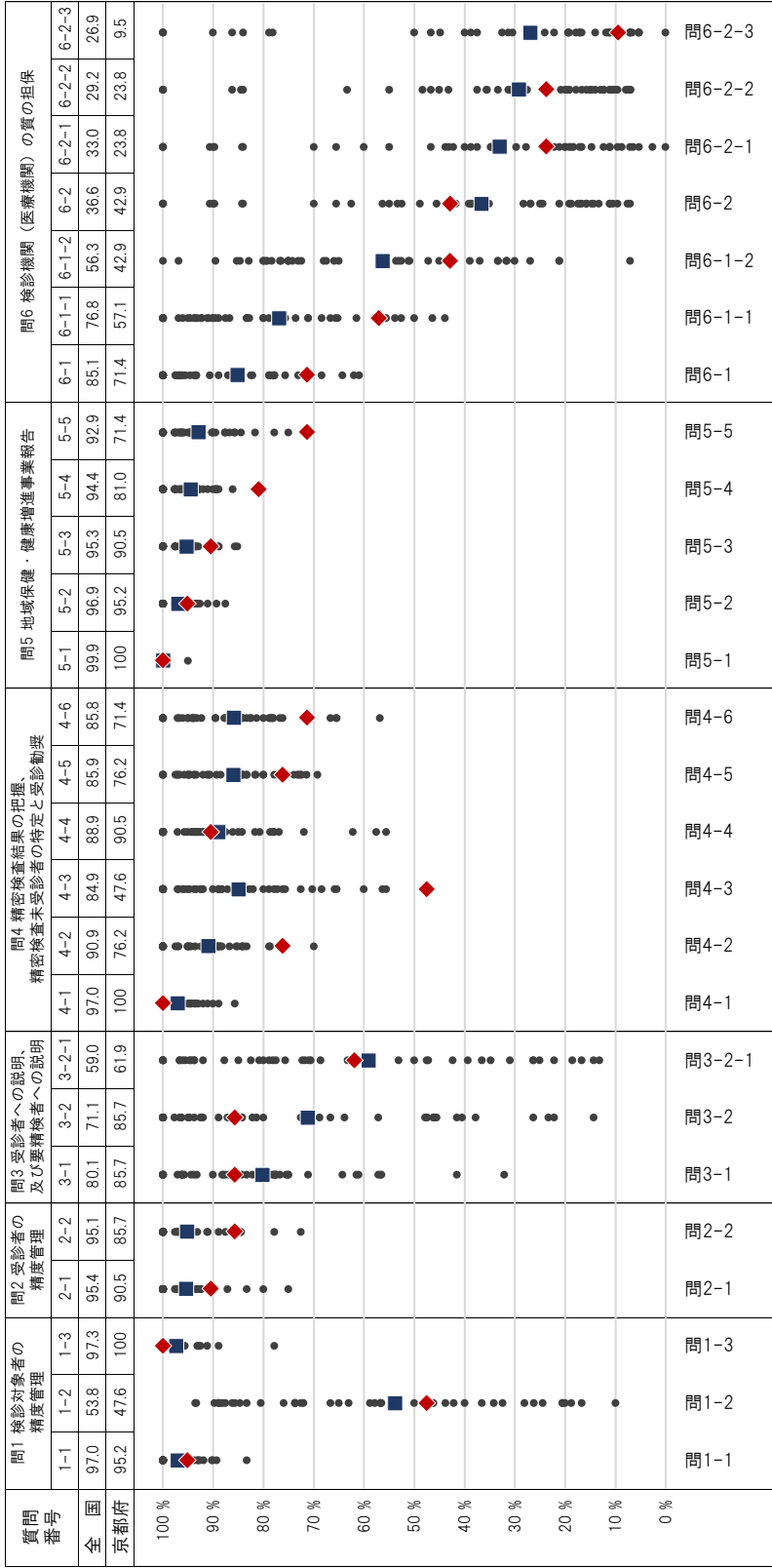


資料3-1： 大腸がん検診（集団検診） 市区町村子エックリス ト実施率

① 全項目実施率(%)推移



② 調査1（令和4年度の検診実施体制） 項目別実施率(%)



集計対象市区町村：（）内記載

調査1 質問内容

- 【問1】 検診対象者の情報管理
問1-1 対象者全員の氏名を記載した名簿を、住民台帳などに基づいて作成しましたか
問1-2 対象者全員に個別に受診勧奨を行いましたか
問1-3 対象者数（推計でも可）を把握しましたか
- 【問2】 受診者の情報管理
問2-1 個人別の受診（記録）台帳またはデータベースを作成しましたか
問2-2 過去5年間の受診履歴を記録していますか
- 【問3】 受診者への説明、及び要精検者への説明
問3-1 受診勧奨時に、「検診機関用子エックリス ト 1.受診者への説明」が全項目記載された資料を、全員に個別配布しましたか
問3-2 要精検者全員に対し、受診可能な精密検査機関名（医療機関名）の一覧を提示しましたか
問3-2-1 上記【問3-2】の一覧に掲載したすべての精密検査機関には、あらかじめ精密検査結果の報告を依頼しましたか
- 【問4】 精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨
問4-1 精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を把握しましたか
問4-2 精密検査方法及び、精密検査（治療）結果が不明の者については、本人もしくは精密検査機関への照会等により、結果を確認しましたか
- 【問5】 地域保健・健康増進事業報告
問5-1 がん検診結果や精密検査結果の最終報告（令和3年度地域保健・健康増進事業報告）を行いましたか
問5-2 がん検診の結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるよう、委託先（検診機関（医療機関）、医師会など）に報告を求めましたか
問5-3 がん検診の結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めましたか
問5-4 精密検査結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるように、委託先（検診機関（医療機関）、精密検査機関、医師会など）に報告を求めましたか
- 【問6】 検診機関（医療機関）の質の担保
問6-1 委託先検診機関（医療機関）を、仕様書の内容に基づいて選定しましたが仕様書（もしくは要加要綱）の内容は、「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を満たしていますか
問6-1-1* 検診終了後、委託先検診機関（医療機関）に精度管理評価を個別にフィードバックしましたか
問6-1-2 「検診機関用子エックリス ト」の遵守状況をフィードバックしましたが
問6-2 検診機関（医療機関）毎のプロセス指標値を算出してフィードバックしましたか
問6-2-1* 「検診機関用子エックリス ト」の遵守状況をフィードバックしましたか
問6-2-2* 検診機関（医療機関）の精度管理評価を算出してフィードバックしましたか
問6-2-3* 上記の結果をふまえ、課題のある検診機関（医療機関）に改善策をフィードバックしましたか

* 大項目（問6-1、問6-2）が×の場合、この項目は×です。

資料3-1： 大腸がん検診（集団検診） 市区町村チェックリスト実施率

③ 調査2（令和2年度プロセス指標の集計） 項目別実施率(%)

質問番号	問7 受診率（受診者数）の集計		問9 要精検率の集計			問10 精検受診率、精検未受診率の集計			問11 がん発見率の集計			問12 陽性反応適中度の集計				問13 早期がん割合の集計				問14 粘膜炎がんの集計						
	7-1	7-1-1	7-1-2	7-1-3	9-1	9-1-1	9-1-2	9-1-3	10-1	10-1-1	10-1-2	10-1-3	10-1-4	11-1	11-1-1	11-1-2	11-1-3	12-1	12-1-1	12-1-2	12-1-3	13-1	13-1-1	13-1-2	13-1-3	14-1
全国	97.6	93.1	94.9	90.4	96.0	91.6	91.0	86.3	94.8	90.4	89.5	84.7	89.5	91.3	86.9	85.0	81.3	80.6	76.8	76.4	73.0	84.0	82.7	79.9	77.6	82.3
京都府	94.7	78.9	89.5	63.2	89.5	78.9	84.2	63.2	89.5	78.9	78.9	63.2	84.2	78.9	68.4	63.2	63.2	78.9	52.6	63.2	52.6	68.4	63.2	57.9	52.6	73.7

集計対象市区町村数（調査2）：19

チェックリスト実施率の算出方法

- ① チェックリスト実施率（全項目）

算出方法 「O」^{※1}の合計数/集計対象市区町村数×項目数^{※2} × 100（%）

集計対象市区町村 質問1、質問3^{※3}の両方に「実施」と回答した市区町村
- ② チェックリスト実施率（項目別） 調査1

算出方法 「O」^{※1}の合計数/集計対象市区町村数 × 100（%）

集計対象市区町村 質問1^{※3}に「実施」と回答した市区町村
- ③ チェックリスト実施率（項目別） 調査2

算出方法 「O」^{※1}の合計数/集計対象市区町村数 × 100（%）

集計対象市区町村 質問3^{※3}に「実施」と回答した市区町村

※1 回答は「O（実施した）」、「×（実施していない）」、「△（実施予定はあるが回答時点でまだ実施していない）」から選択。当調査結果のチェックリスト実施率には「O」のみ集計し「△」は含みません。

※2 大腸がん検診では52項目。詳細は説明資料1「(3) チェックリスト実施率の集計対象項目」参照。

※3 質問1： 令和4年度に各がん検診（指針に記載の検査方法）を実施しましたか
質問3： 令和2年度に各がん検診を実施しましたか

調査2 質問内容

* 大項目（問7-1、問9-1、問10-1、問11-1、問12-1、問13-1）が×の場合は、この項目は×です。

【問7】 受診率（受診者数）の集計 【問11】 がん発見率の集計

問7-1 受診率を集計しましたか
 問7-1-1* 受診率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問7-1-2* 受診者数を検診機関別に集計しましたか
 問7-1-3* 受診者数を検診受診歴別に集計しましたか

【問9】 要精検率の集計

問9-1 要精検率を集計しましたか
 問9-1-1* 要精検率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問9-1-2* 要精検率を検診機関別に集計しましたか
 問9-1-3* 要精検率を検診受診歴別に集計しましたか

【問10】 精検受診率・未受診率の集計

問10-1 精検受診率を集計しましたか
 問10-1-1* 精検受診率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問10-1-2* 精検受診率を検診機関別に集計しましたか
 問10-1-3* 精検受診率を検診受診歴別に集計しましたか
 問10-1-4* 精検未受診率を集計しましたか

【問12】 陽性反応適中度の集計

問12-1 陽性反応適中度を集計しましたか
 問12-1-1* 陽性反応適中度を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問12-1-2* 陽性反応適中度を検診機関別に集計しましたか
 問12-1-3* 陽性反応適中度を検診受診歴別に集計しましたか

【問13】 早期がん割合の集計

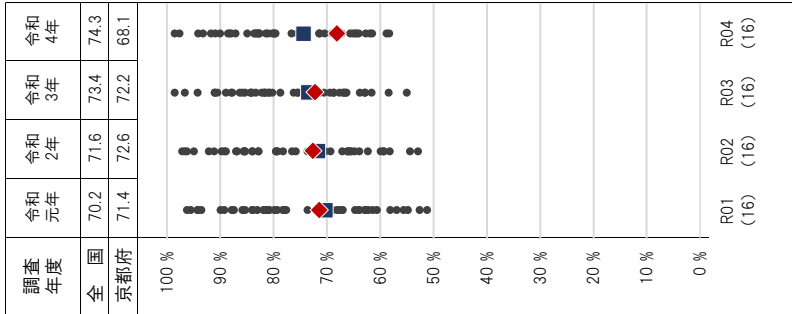
問13-1 早期がん割合を集計しましたか
 問13-1-1* 早期がん割合を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問13-1-2* 早期がん割合を検診機関別に集計しましたか
 問13-1-3* 早期がん割合を検診受診歴別に集計しましたか

【問14】 粘膜炎がんの集計

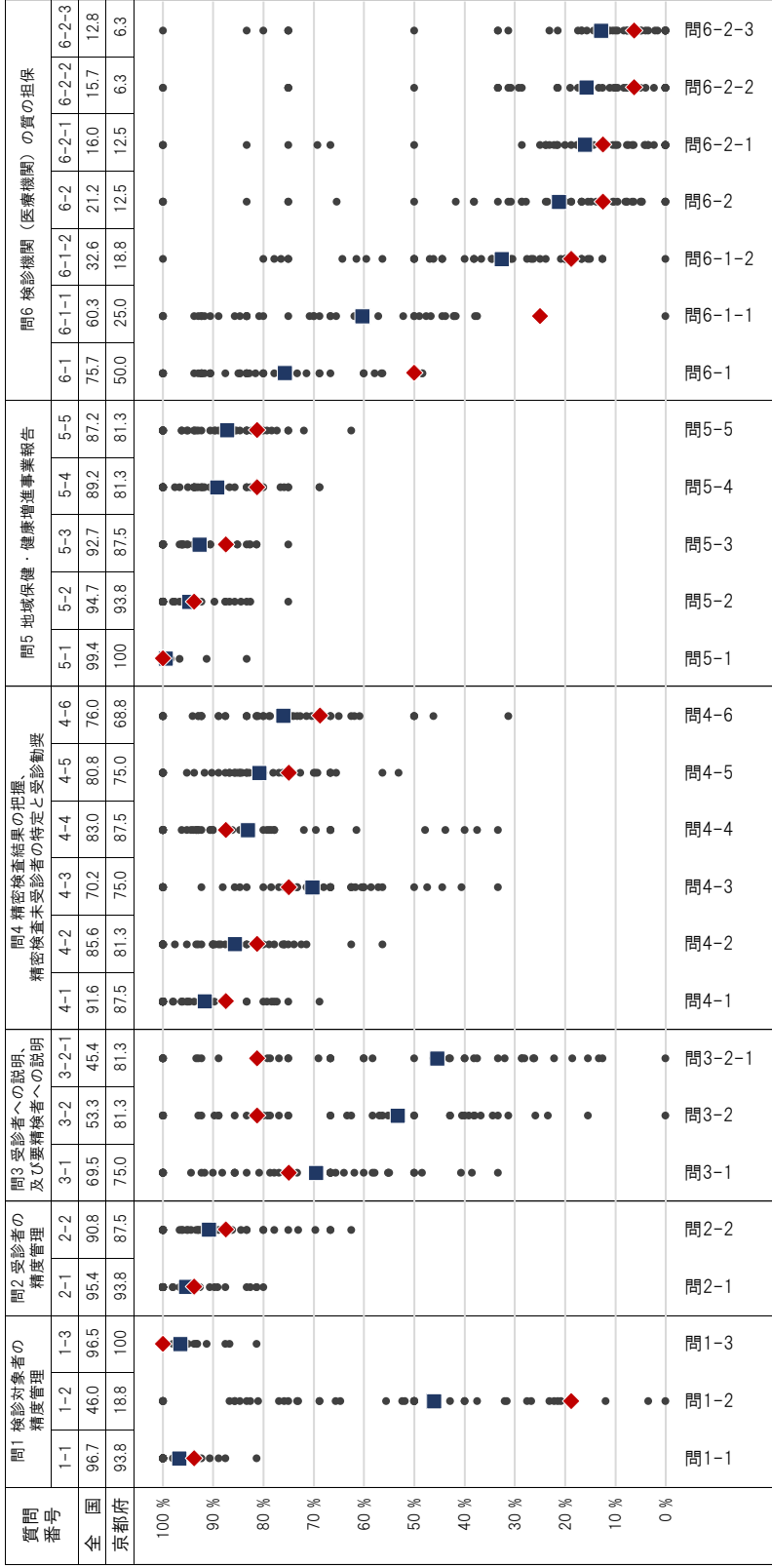
問14-1 粘膜炎がんを集計しましたか

資料3-2： 大腸がん検診（個別検診） 市区町村子エックリス ト実施率

① 全項目実施率(%)推移



② 調査1（令和4年度の検診実施体制） 項目別実施率(%)



集計対象市区町村：() 内記載 集計対象市区町村数 (調査1)：16

調査1 質問内容

- 【問1】 検診対象者の情報管理
 - 問1-1 対象者全員の氏名を記載した名簿を、住民台帳などに基づいて作成しましたか
 - 問1-2 対象者全員に個別に受診勧奨を行いましたか
 - 問1-3 対象者数(推計でも可)を把握しましたか
- 【問2】 受診者の情報管理
 - 問2-1 受診者の受診(記録)台帳またはデータベースを作成しましたか
 - 問2-2 過去5年間の受診履歴を記録していますか
- 【問3】 受診者への説明、及び要精検者への説明
 - 問3-1 受診勧奨時に、「検診機関用子エックリス ト 1.受診者への説明」が全項目記載された資料を、全員に個別配布しましたか
 - 問3-2 要精検者全員に対し、受診可能な精密検査機関名(医療機関名)の一覧を提示しましたか
 - 問3-2-1 上記【問3-2】の一覧に掲載したすべての精密検査機関には、あらかじめ精密検査結果の報告を依頼しましたか
- 【問4】 精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨
 - 問4-1 精密検査方法及び、精密検査(治療)結果を把握しましたか
 - 問4-2 精密検査方法及び、精密検査(治療)結果が不明の者については、本人もしくは精密検査機関への照会等により、結果を確認しましたか

- 問4-3 個人毎の精密検査方法及び、精密検査(治療)結果を、市区町村、検診機関(医療機関)、精密検査方法及び、精密検査(治療)結果を記録していますか
- 問4-4 精密検査未受診と精密検査結果未把握を定義に従って区別し、精密検査未受診者を特定しましたか
- 問4-5 精密検査未受診者に精密検査の受診勧奨を行いましたか
- 問4-6 地域保健・健康増進事業報告(令和3年度地域保健・健康増進事業報告)を行い、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できると、委託先(検診機関(医療機関)、医師会など)に報告を求めましたか
- 問5-1 がん検診の結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めましたか
- 問5-2 がん検診の結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めましたか
- 問5-3 精密検査結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できると、委託先(検診機関(医療機関)、精密検査機関、医師会など)に報告を求めましたか
- 問5-4 がん検診の結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めましたか
- 問5-5 精密検査結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めましたか

- 【問6】 検診機関 (医療機関) の質の担保
 - 問6-1 委託先検診機関(医療機関)を、仕様書の内容に基づいて選定しましたが仕様書(もしくは要実施要綱)の内容は、「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を満たしていますか
 - 問6-1-1* 検診終了後、委託先検診機関(医療機関)に精度管理評価を個別にフィードバックしましたか
 - 問6-1-2* 検診終了後、委託先検診機関(医療機関)に精度管理評価を個別にフィードバックしましたか
 - 問6-2 検診機関(医療機関)毎のプロセス指標値を算出してフィードバックしましたか
 - 問6-2-1* 「検診機関用子エックリス ト」の遵守状況をフィードバックしましたか
 - 問6-2-2* 検診機関(医療機関)毎のプロセス指標値を算出してフィードバックしましたか
 - 問6-2-3* 上記の結果をふまえ、課題のある検診機関(医療機関)に改善策をフィードバックしましたか

* 大項目(問6-1、問6-2)が×の場合、この項目は×です。

資料3-2： 大腸がん検診（個別検診） 市区町村チェックリスト実施率

③ 調査2（令和2年度プロセス指標の集計） 項目別実施率(%)

質問番号	問7 受診率（受診者数）の集計			問9 要精検率の集計			問10 精検受診率、精検未受診率の集計			問11 がん発見率の集計			問12 陽性反応適中度の集計			問13 早期がん割合の集計				問14 粘膜炎がんの集計							
	7-1	7-1-1	7-1-2	7-1-3	9-1	9-1-1	9-1-2	9-1-3	10-1	10-1-1	10-1-2	10-1-3	10-1-4	11-1	11-1-1	11-1-2	11-1-3	12-1	12-1-1	12-1-2	12-1-3	13-1	13-1-1	13-1-2	13-1-3	14-1	
全 国	95.1	90.4	87.9	86.5	92.7	88.2	77.6	81.3	91.8	86.7	76.4	79.7	84.6	86.5	82.0	71.1	74.9	76.3	720	64.2	66.7	66.7	77.9	76.5	64.0	70.6	75.1
京都市府	87.5	81.3	75.0	68.8	81.3	81.3	68.8	68.8	81.3	81.3	75.0	68.8	81.3	75.0	68.8	68.8	62.5	68.8	62.5	62.5	56.3	68.8	68.8	68.8	62.5	62.5	62.5
100%																											
90%																											
80%																											
70%																											
60%																											
50%																											
40%																											
30%																											
20%																											
10%																											
0%																											
	問7-1	問7-1-1	問7-1-2	問7-1-3	問9-1	問9-1-1	問9-1-2	問9-1-3	問10-1	問10-1-1	問10-1-2	問10-1-3	問10-1-4	問11-1	問11-1-1	問11-1-2	問11-1-3	問12-1	問12-1-1	問12-1-2	問12-1-3	問13-1	問13-1-1	問13-1-2	問13-1-3	問14-1	

長 ←

◆ 京都市府 ■ 全 国 ● その他の県

チェックリスト実施率の算出方法

- ① チェックリスト実施率（全項目）
算出方法 「O」※1の合計数/集計対象市区町村数×項目数※2 × 100（%）
集計対象市区町村 質問1、質問3※3の両方に「実施」と回答した市区町村
 - ② チェックリスト実施率（項目別） 調査1
算出方法 「O」※1の合計数/集計対象市区町村数 × 100（%）
集計対象市区町村 質問1※3と回答した市区町村
 - ③ チェックリスト実施率（項目別） 調査2
算出方法 「O」※1の合計数/集計対象市区町村数 × 100（%）
集計対象市区町村 質問3※3に「実施」と回答した市区町村
- ※1 回答は「O（実施した）」、「×（実施していない）」、「△（実施予定はあるが回答時点でまだ実施していない）」から選択。当調査結果のチェックリスト実施率には「O」のみ集計し「△」は含みません。
 ※2 大腸がん検診では52項目。詳細は説明資料1「(3) チェックリスト実施率の集計対象項目」参照。
 ※3 質問1：令和4年度に各がん検診（指針に記載の検査方法）を実施しましたか
 質問3：令和2年度に各がん検診を実施しましたか

調査2 質問内容

- 【問7】 受診率（受診者数）の集計 *大項目（問7-1、問9-1、問10-1、問11-1、問12-1、問13-1）が×の場合、この項目は×です。
 問7-1 受診率を集計しましたか
 問7-1-1* 受診者を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問7-1-2* 受診者数を検診機関別に集計しましたか
 問7-1-3* 受診者数を検診受診歴別に集計しましたか
- 【問9】 要精検率の集計
 問9-1 要精検率を集計しましたか
 問9-1-1* 要精検率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問9-1-2* 要精検率を検診機関別に集計しましたか
 問9-1-3* 要精検率を検診受診歴別に集計しましたか
- 【問10】 精検受診率・未受診率の集計
 問10-1 精検受診率を集計しましたか
 問10-1-1* 精検受診率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問10-1-2* 精検受診率を検診機関別に集計しましたか
 問10-1-3* 精検受診率を検診受診歴別に集計しましたか
 問10-1-4* 精検未受診率を集計しましたか
- 【問11】 がん発見率の集計
 問11-1 がん発見率を集計しましたか
 問11-1-1 がん発見率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問11-1-2 がん発見率を検診機関別に集計しましたか
 問11-1-3 がん発見率を検診受診歴別に集計しましたか
- 【問12】 陽性反応適中度の集計
 問12-1 陽性反応適中度を集計しましたか
 問12-1-1 陽性反応適中度を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問12-1-2 陽性反応適中度を検診機関別に集計しましたか
 問12-1-3 陽性反応適中度を検診受診歴別に集計しましたか
- 【問13】 早期がん割合の集計
 問13-1 早期がん割合を集計しましたか
 問13-1-1 早期がん割合を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問13-1-2 早期がん割合を検診機関別に集計しましたか
 問13-1-3 早期がん割合を検診受診歴別に集計しましたか
- 【問14】 粘膜炎がんの集計
 問14-1 粘膜炎がんを集計しましたか

資料3-3： 大腸がん検診 都道府県別プロセス指標値

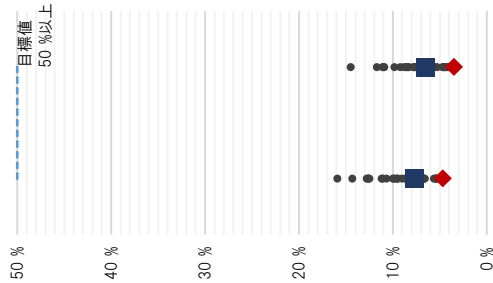
① 受診状況（令和元・令和2年度、40～69歳、男女計）

①-1 受診率(%)

	令和元年	令和2年
全国	7.7	6.5
京都府	4.7	3.5

①-2 集団検診受診者の割合(%)

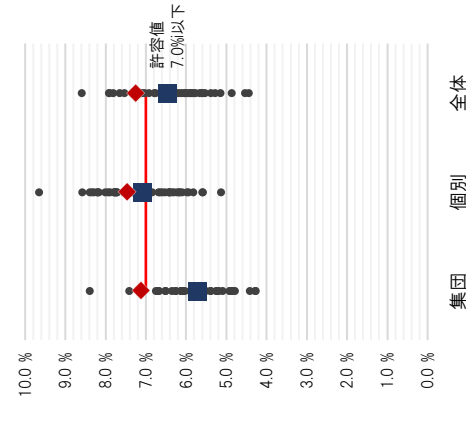
	令和元年	令和2年
全国	47.7	43.8
京都府	66.3	58.5



② プロセス指標（令和元年度、40～74歳、男女計）

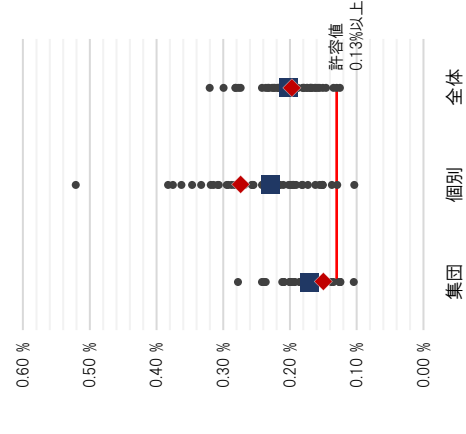
②-1 要精検率(%)

	集団	個別	全体
全国	5.7	7.1	6.5
京都府	7.1	7.5	7.3



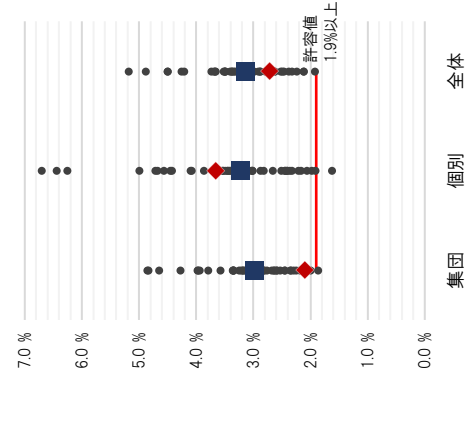
②-2 がん発見率(%)

	集団	個別	全体
全国	0.17	0.23	0.20
京都府	0.15	0.27	0.20



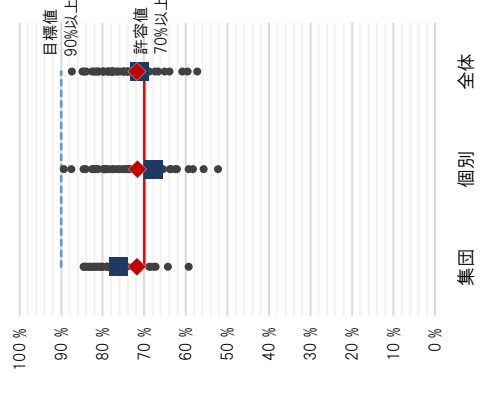
②-3 陽性反応適中度(%)

	集団	個別	全体
全国	3.0	3.2	3.1
京都府	2.1	3.7	2.7



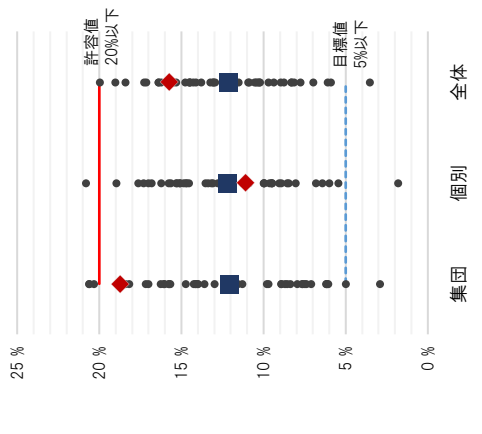
②-4 精検受診率(%)

	集団	個別	全体
全国	76.2	67.7	71.1
京都府	71.8	71.6	71.7



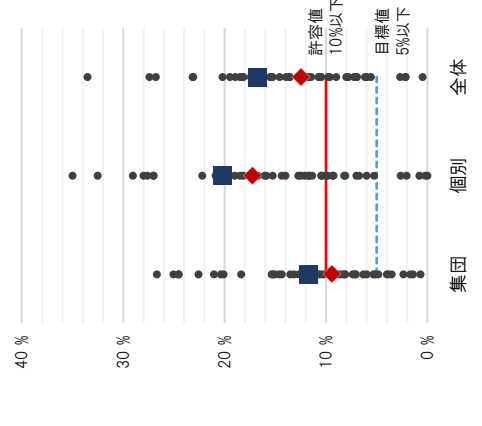
②-5 精検未受診率(%)

	集団	個別	全体
全国	12.1	12.1	12.1
京都府	18.7	11.1	15.7



②-6 精検未把握率(%)

	集団	個別	全体
全国	11.7	20.2	16.8
京都府	9.4	17.3	12.5



目標値・許容値※

・受診率の目標値
がん対策推進基本計画（平成30年3月）個別目標より

・プロセス指標値の許容値・目標値
厚生労働省がん検診事業評価委員会報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について（平成20年3月）」別添6掲載『事業評価指標とそれぞれの許容値及び目標値』より

留意点

要精検率、がん発見率、陽性反応適中度は、受診者の年齢構成や検診受診歴（初回・非初回）等の影響を大きく受けるため、指標数値の高低だけで比較・評価はできません。
詳細は参考資料「プロセス指標の意味と活用方法」をご参照ください。

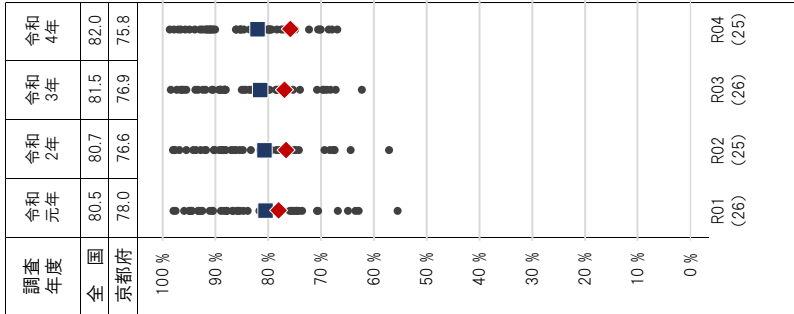
出典

令和元年度地域保健・健康増進事業報告
令和2年度地域保健・健康増進事業報告
算出方法等の詳細は説明資料2をご参照ください。

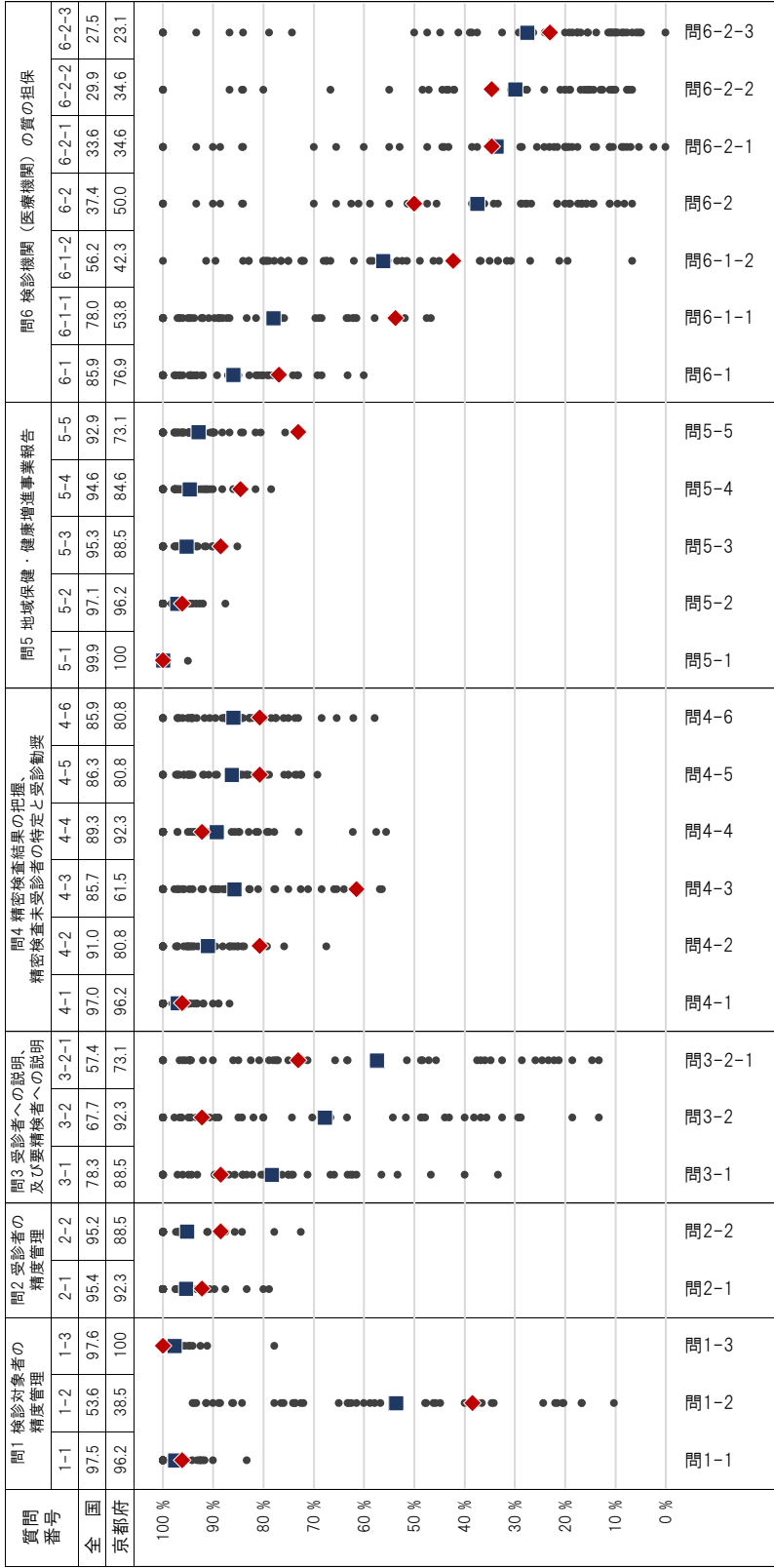
※令和5年度にはがん対策推進基本計画の改正（第4期）及び厚生労働省報告書の改訂が予定されており、数値目標の変更が検討されています。

資料4-1： 肺がん検診（集団検診） 市区町村チエックリスト実施率

① 全項目実施率(%)推移



② 調査1（令和4年度の検診実施体制） 項目別実施率(%)



集計対象市区町村：（）内記載

調査1 質問内容

- 【問1】 検診対象者の情報管理 ……
- 問1-1 対象者全員の氏名を記載した名簿を、住民台帳などに基づいて作成しましたか
 - 問1-2 対象者全員に個別に受診勧奨を行いましたか
 - 問1-3 対象者数（推計でも可）を把握しましたか
- 【問2】 受診者の情報管理 ……
- 問2-1 受診者の受診（記録）台帳またはデータベースを作成しましたか
 - 問2-2 過去5年間の受診履歴を記録していますか
- 【問3】 受診者への説明、及び要精検者への説明 ……
- 問3-1 受診勧奨時に、「検診機関用チエックリスト 1.受診者への説明」が全項目記載された資料を、全員に個別配布しましたか
 - 問3-2 要精検者全員に対し、受診可能な精密検査機関名（医療機関名）の一覧を提示しましたか
 - 問3-2-1 上記【問3-2】の一覧に掲載したすべての精密検査機関には、あらかじめ精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨
- 【問4】 精密検査結果の把握、精密検査（治療）結果を把握しましたか
- 問4-1 精密検査方法及び、精密検査（治療）結果が不明の者については、本人もしくは精密検査機関への照会等により、結果を確認しましたか
- 【問5】 地域保健・健康増進事業報告 ……
- 問5-1 がん検診結果や精密検査結果の最終報告（令和3年度地域保健・健康増進事業報告）を行いましたか
 - 問5-2 がん検診の結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるよう、委託先（検診機関（医療機関）、医師会など）に報告を求めましたか
 - 問5-3 がん検診の結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めましたか
 - 問5-4 精密検査結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるよう、委託先（検診機関（医療機関）、精密検査機関、医師会など）に報告を求めましたか
 - 問5-5 精密検査結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めましたか
- 【問6】 検診機関（医療機関）の質の担保 ……
- 問6-1 委託先検診機関（医療機関）を、仕様書の内容に基づいて選定しましたが仕様書（もしくは要追加要綱）の内容は、「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を満たしていますか
 - 問6-1-1* 仕様書（もしくは要追加要綱）の内容は、「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を満たしていますか
 - 問6-1-2* 検診終了後、委託先検診機関（医療機関）の精度管理評価を個別にフィードバックしましたか
 - 問6-2 検診機関（医療機関）に精度管理評価を個別にフィードバックしましたか
 - 問6-2-1* 「検診機関用チエックリスト」の遵守状況をフィードバックしましたか
 - 問6-2-2* 検診機関（医療機関）毎のプロセス指標値を算出してフィードバックしましたか
 - 問6-2-3* 上記の結果をふまえ、課題のある検診機関（医療機関）に改善策をフィードバックしましたか
- * 大項目（問6-1、問6-2）が×の場合、この項目は×です。

資料4-1： 肺がん検診（集団検診） 市区町村チェックリスト実施率

③ 調査2（令和2年度プロセス指標の集計） 項目別実施率(%)

質問番号	問7 受診率（受診者数）の集計			問9 要精検率の集計			問10 精検受診率、精検未受診率の集計			問11 がん発見率の集計			問12 陽性反応適中度の集計			問13 臨床病期0～I期のがん割合の集計									
	7-1	7-1-1	7-1-2	7-1-3	9-1	9-1-1	9-1-2	9-1-3	10-1	10-1-1	10-1-2	10-1-3	10-1-4	11-1	11-1-1	11-1-2	11-1-3	12-1	12-1-1	12-1-2	12-1-3	13-1	13-1-1	13-1-2	13-1-3
全 国	97.8	93.5	95.3	91.1	96.0	91.8	91.2	86.7	94.9	90.5	89.7	85.2	89.5	91.6	87.1	85.7	81.7	81.2	77.6	77.3	73.7	83.7	82.4	79.8	77.9
京都市府	100	88.0	96.0	76.0	88.0	84.0	84.0	72.0	88.0	84.0	80.0	72.0	84.0	84.0	76.0	72.0	68.0	80.0	64.0	68.0	64.0	72.0	68.0	64.0	60.0
100%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
90%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
80%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
70%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
60%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
50%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
40%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
30%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
20%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
10%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
0%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	問7-1	問7-1-1	問7-1-2	問7-1-3	問9-1	問9-1-1	問9-1-2	問9-1-3	問10-1	問10-1-1	問10-1-2	問10-1-3	問10-1-4	問11-1	問11-1-1	問11-1-2	問11-1-3	問12-1	問12-1-1	問12-1-2	問12-1-3	問13-1	問13-1-1	問13-1-2	問13-1-3

長 ←

チェックリスト実施率の算出方法

- ① チェックリスト実施率（全項目）

算出方法	「O」※1の合計数÷集計対象市区町村数×項目数※2 × 100（%）
集計対象市区町村	質問1、質問3※3の両方に「実施」と回答した市区町村
 - ② チェックリスト実施率（項目別） 調査1

算出方法	「O」※1の合計数÷集計対象市区町村数 × 100（%）
集計対象市区町村	質問1※3に「実施」と回答した市区町村
 - ③ チェックリスト実施率（項目別） 調査2

算出方法	「O」※1の合計数÷集計対象市区町村数 × 100（%）
集計対象市区町村	質問3※3に「実施」と回答した市区町村
- ※1 回答は「O（実施した）」、「×（実施していない）」、「△（実施予定はあるが回答時点でまだ実施していない）」から選択。当調査結果のチェックリスト実施率には「O」のみ集計し「△」は含みません。
 ※2 肺がん検診では5項目。詳細は説明資料1「(3) チェックリスト実施率の集計対象項目」参照。
 ※3 質問1：令和4年度に各がん検診（指針に記載の検査方法）を実施しましたか
 質問3：令和2年度に各がん検診を実施しましたか

調査2 質問内容

- * 大項目（問7-1、問9-1、問10-1、問11-1、問12-1、問13-1）が×の場合、この項目は×です。
- 【問7】 受診率（受診者数）の集計
- 問7-1 受診率を集計しましたか
 - 問7-1-1* 受診率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 - 問7-1-2* 受診者数を検診機関別に集計しましたか
 - 問7-1-3* 受診者数を検診受診歴別に集計しましたか
- 【問9】 要精検率の集計
- 問9-1 要精検率を集計しましたか
 - 問9-1-1* 要精検率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 - 問9-1-2* 要精検率を検診機関別に集計しましたか
 - 問9-1-3* 要精検率を検診受診歴別に集計しましたか
- 【問10】 精検受診率・未受診率の集計
- 問10-1 精検受診率を集計しましたか
 - 問10-1-1* 精検受診率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 - 問10-1-2* 精検受診率を検診機関別に集計しましたか
 - 問10-1-3* 精検受診率を検診受診歴別に集計しましたか
 - 問10-1-4* 精検未受診率を集計しましたか
- 【問11】 がん発見率の集計
- 問11-1 がん発見率を集計しましたか
 - 問11-1-1* がん発見率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 - 問11-1-2* がん発見率を検診機関別に集計しましたか
 - 問11-1-3* がん発見率を検診受診歴別に集計しましたか
- 【問12】 陽性反応適中度の集計
- 問12-1 陽性反応適中度を集計しましたか
 - 問12-1-1 陽性反応適中度を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 - 問12-1-2 陽性反応適中度を検診機関別に集計しましたか
 - 問12-1-3 陽性反応適中度を検診受診歴別に集計しましたか
- 【問13】 臨床病期0～I期のがん割合の集計
- 問13-1 臨床病期0～I期のがん割合の集計を集計しましたか
 - 問13-1-1 臨床病期0～I期のがん割合の集計を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 - 問13-1-2 臨床病期0～I期のがん割合の集計を検診機関別に集計しましたか
 - 問13-1-3 臨床病期0～I期のがん割合の集計を検診受診歴別に集計しましたか

資料4-2： 肺がん検診（個別検診） 市区町村チエックリスト実施率

① 全項目実施率(%)推移

調査年度	全項目実施率(%)推移			
	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
全国	68.4	69.9	71.7	72.7
京都府	-	-	-	-

② 調査1（令和4年度の検診実施体制） 項目別実施率(%)

質問番号	問1 検診対象者の情報管理		問2 受診者の精度管理		問3 受診者への説明、及び要精検者への説明						問4 精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨						問5 地域保健・健康増進事業報告						問6 検診機関（医療機関）の質の担保					
	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	3-1	3-2	3-2-1	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5	4-6	5-1	5-2	5-3	5-4	5-5	6-1	6-1-1	6-1-2	6-2	6-2-1	6-2-2	6-2-3		
	96.7	46.9	95.3	95.2	88.0	66.1	46.9	39.0	89.3	83.0	69.7	78.8	79.4	73.0	99.0	94.6	92.5	89.2	87.6	74.3	58.6	32.1	22.3	16.7	16.9	13.4		
全国	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
京都府	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
100%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
90%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
80%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
70%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
60%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
50%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
40%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
30%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
20%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
10%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
0%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		

集計対象市区町村：（○）内記載

調査1 質問内容

- 【問1】 検診対象者の情報管理 ……
- 問1-1 対象者全員の氏名を記載した名簿を、住民台帳などに基づいて作成しましたか
 - 問1-2 対象者全員に個別に受診勧奨を行いましたか
 - 問1-3 対象者数（推計でも可）を把握しましたか
- 【問2】 受診者の情報管理 ……
- 問2-1 受診者の受診（記録）台帳またはデータベースを作成しましたか
 - 問2-2 過去5年間の受診履歴を記録していますか
- 【問3】 受診者への説明、及び要精検者への説明 ……
- 問3-1 受診勧奨時に、「検診機関用チエックリスト 1.受診者への説明」が全項目記載された資料を、全員に個別配布しましたか
 - 問3-2 要精検者全員に対し、受診可能な精密検査機関名（医療機関名）の一覧を提示しましたか
 - 問3-2-1 上記【問3-2】の一覧に掲載したすべての精密検査機関には、あらかじめ精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨
- 【問4】 精密検査結果の把握、精密検査（治療）結果を把握しましたか
- 問4-1 精密検査方法及び、精密検査（治療）結果が不明の者については、本人もしくは精密検査機関への照会等により、結果を確認しましたか
- 【問5】 地域保健・健康増進事業報告 ……
- 問5-1 がん検診結果や精密検査結果の最終報告（令和3年度地域保健・健康増進事業報告）を行いましたか
 - 問5-2 がん検診の結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるよう、委託先（検診機関（医療機関）、医師会など）に報告を求めましたか
 - 問5-3 がん検診の結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めましたか
 - 問5-4 精密検査結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるよう、委託先（検診機関（医療機関）、精密検査機関、医師会など）に報告を求めましたか
 - 問5-5 精密検査結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めましたか
- 【問6】 検診機関（医療機関）の質の担保 ……
- 問6-1 委託先検診機関（医療機関）を、仕様書の内容に基づいて選定しましたが仕様書（もしくは要加要綱）の内容は、「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を満たしていますか
 - 問6-1-1* 仕様書（もしくは要加要綱）の内容は、「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を満たしていますか
 - 問6-1-2* 検診終了後に、委託先検診機関（医療機関）で仕様書（もしくは要加要綱）の内容が遵守されたことを確認しましたか
 - 問6-2 検診機関（医療機関）に精度管理評価を個別にフィードバックしましたか
 - 問6-2-1* 「検診機関用チエックリスト」の遵守状況をフィードバックしましたがバックしましたか
 - 問6-2-2* 検診機関（医療機関）毎のプロセス指標値を算出してフィードバックしましたか
 - 問6-2-3* 上記の結果をふまえ、課題のある検診機関（医療機関）に改善策をフィードバックしましたか
- * 大項目（問6-1、問6-2）が×の場合、この項目は×です。

資料4-2： 肺がん検診（個別検診） 市区町村チェックリスト実施率

③ 調査2（令和2年度プロセス指標の集計） 項目別実施率(%)

質問番号	問7 受診率（受診者数）の集計			問9 要精検率の集計			問10 精検受診率、精検未受診率の集計			問11 がん発見率の集計			問12 陽性反応適中度の集計			問13 臨床病期0～I期のがん割合の集計										
	7-1	7-1-1	7-1-2	7-1-3	9-1	9-1-1	9-1-2	9-1-3	10-1	10-1-1	10-1-2	10-1-3	10-1-4	11-1	11-1-1	11-1-2	11-1-3	12-1	12-1-1	12-1-2	12-1-3	13-1	13-1-1	13-1-2	13-1-3	
全国	93.7	88.8	86.9	84.8	90.7	86.1	77.2	79.4	89.1	83.9	75.2	77.4	82.2	84.7	80.1	70.2	72.6	73.7	69.5	62.0	63.5	74.7	73.7	62.6	67.4	
京都府	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
100%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
90%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
80%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
70%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
60%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
50%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
40%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
30%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
20%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
10%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
0%	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
	問7-1	問7-1-1	問7-1-2	問7-1-3	問9-1	問9-1-1	問9-1-2	問9-1-3	問10-1	問10-1-1	問10-1-2	問10-1-3	問10-1-4	問11-1	問11-1-1	問11-1-2	問11-1-3	問12-1	問12-1-1	問12-1-2	問12-1-3	問13-1	問13-1-1	問13-1-2	問13-1-3	

良 ←

チェックリスト実施率の算出方法

- ① チェックリスト実施率（全項目）

算出方法	「○」※1の合計数÷集計対象市区町村数×項目数※2 × 100（%）
集計対象市区町村	質問1、質問3※3の両方に「実施」と回答した市区町村
- ② チェックリスト実施率（項目別） 調査1

算出方法	「○」※1の合計数÷集計対象市区町村数 × 100（%）
集計対象市区町村	質問1※3に「実施」と回答した市区町村
- ③ チェックリスト実施率（項目別） 調査2

算出方法	「○」※1の合計数÷集計対象市区町村数 × 100（%）
集計対象市区町村	質問3※3に「実施」と回答した市区町村

※1 回答は「○（実施した）」、「×（実施していない）」、「△（実施予定はあるが回答時点まで実施していない）」から選択。当調査結果の子チェックリスト実施率には「○」のみ集計し「△」は含みません。
 ※2 肺がん検診では51項目。詳細は説明資料1「(3) チェックリスト実施率の集計対象項目」参照。
 ※3 質問1：令和4年度に各がん検診（指針に記載の検査方法）を実施しましたか
 質問3：令和2年度に各がん検診を実施しましたか

調査2 質問内容

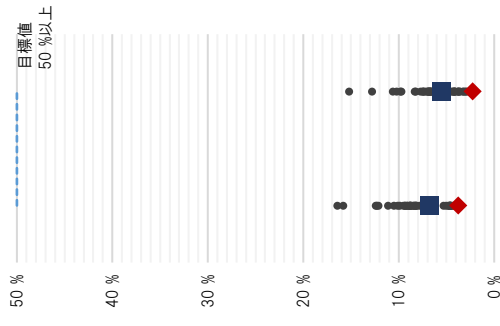
- * 本項目（問7-1、問9-1、問10-1、問11-1、問12-1、問13-1）が×の場合、この項目は×です。
- 【問7】 受診率（受診者数）の集計
 問7-1 受診率を集計しましたか
 問7-1-1* 受診率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問7-1-2* 受診者数を検診機関別に集計しましたか
 問7-1-3* 受診者数を検診受診歴別に集計しましたか
- 【問9】 要精検率の集計
 問9-1 要精検率を集計しましたか
 問9-1-1* 要精検率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問9-1-2* 要精検率を検診機関別に集計しましたか
 問9-1-3* 要精検率を検診受診歴別に集計しましたか
- 【問10】 精検受診率・未受診率の集計
 問10-1 精検受診率を集計しましたか
 問10-1-1* 精検受診率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問10-1-2* 精検受診率を検診機関別に集計しましたか
 問10-1-3* 精検受診率を検診受診歴別に集計しましたか
 問10-1-4* 精検未受診率を集計しましたか
- 【問11】 がん発見率の集計
 問11-1 がん発見率を集計しましたか
 問11-1-1* がん発見率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問11-1-2* がん発見率を検診機関別に集計しましたか
 問11-1-3* がん発見率を検診受診歴別に集計しましたか
- 【問12】 陽性反応適中度の集計
 問12-1 陽性反応適中度を集計しましたか
 問12-1-1* 陽性反応適中度を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問12-1-2* 陽性反応適中度を検診機関別に集計しましたか
 問12-1-3* 陽性反応適中度を検診受診歴別に集計しましたか
- 【問13】 臨床病期0～I期のがん割合の集計
 問13-1 臨床病期0～I期のがん割合の集計を集計しましたか
 問13-1-1* 臨床病期0～I期のがん割合の集計を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか
 問13-1-2* 臨床病期0～I期のがん割合の集計を検診機関別に集計しましたか
 問13-1-3* 臨床病期0～I期のがん割合の集計を検診受診歴別に集計しましたか

資料4-3： 肺がん検診 都道府県別プロセス指標値

① 受診状況（令和元・令和2年度、40～69歳、男女計）

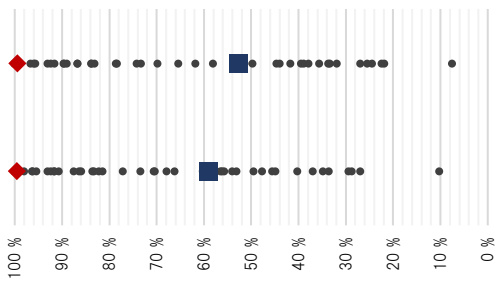
①-1 受診率(%)

	令和元年	令和2年
全国	6.8	5.5
京都府	3.8	2.3



①-2 集団検診受診者の割合(%)

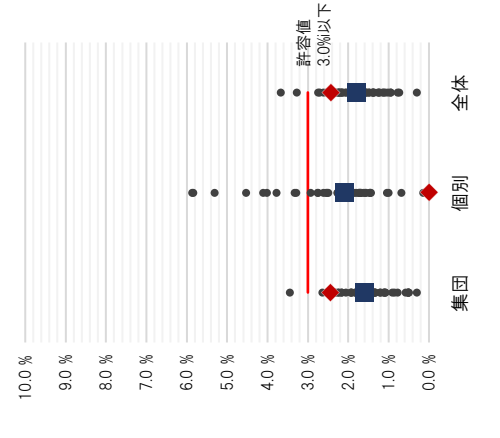
	令和元年	令和2年
全国	59.1	52.8
京都府	99.5	99.4



② プロセス指標（令和元年度、40～74歳、男女計）

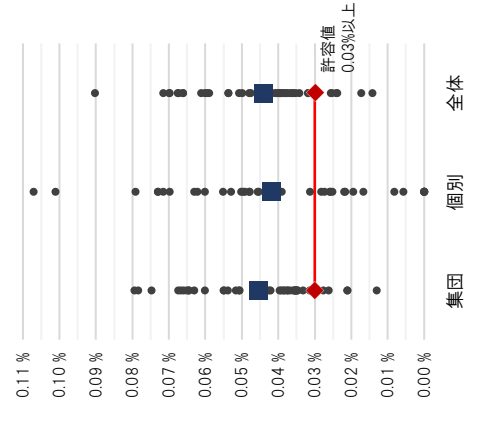
②-1 要精検率(%)

	集団	個別	全体
全国	1.6	2.1	1.8
京都府	2.4	0.0	2.4



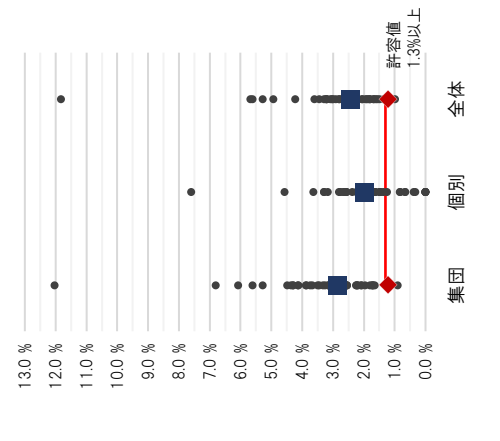
②-2 がん発見率(%)

	集団	個別	全体
全国	0.05	0.04	0.04
京都府	0.03	-	0.03



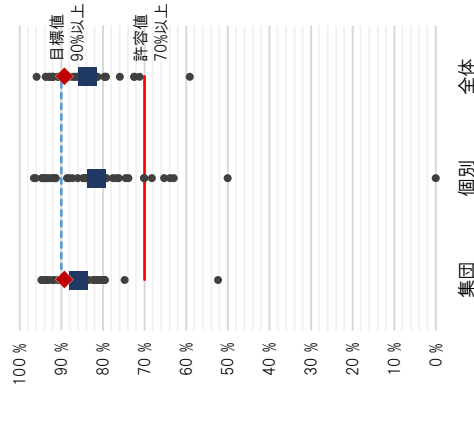
②-3 陽性反応適中度(%)

	集団	個別	全体
全国	2.9	2.0	2.4
京都府	1.2	-	1.2



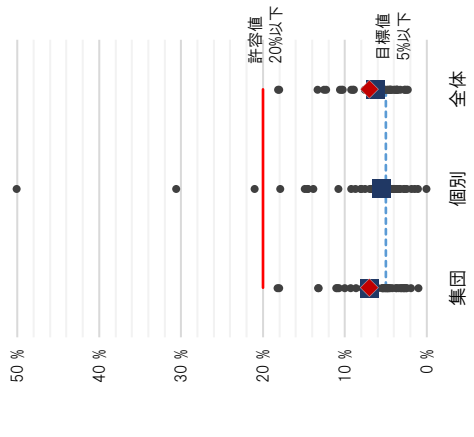
②-4 精検受診率(%)

	集団	個別	全体
全国	85.8	81.5	83.7
京都府	89.2	-	89.2



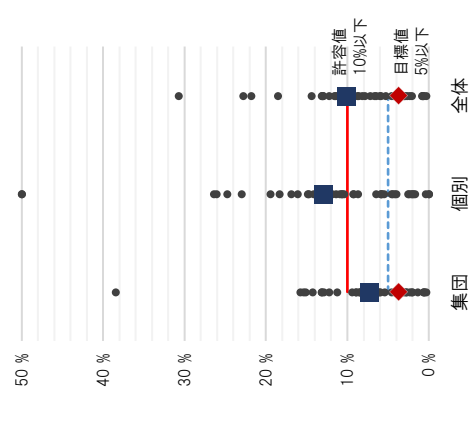
②-5 精検未受診率(%)

	集団	個別	全体
全国	6.9	5.5	6.2
京都府	7.0	-	7.0



②-6 精検未把握率(%)

	集団	個別	全体
全国	7.2	13.0	10.0
京都府	3.8	-	3.8



目標値・許容値※

・受診率の目標値
 がん対策推進基本計画（平成30年3月）個別目標より
 ・プロセス指標値の許容値・目標値
 厚生労働省がん検診事業評価委員会報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について（平成20年3月）」別添6掲載『事業評価指標とそれぞれの許容値及び目標値』より

留意点

要精検率、がん発見率、陽性反応適中度は、受診者の年齢構成や検診受診歴（初回・非初回）等の影響を大きく受けるため、指標数値の高低だけで比較・評価はできません。
 詳細は参考資料「プロセス指標の意味と活用方法」をご参照ください。

出典

令和元年度地域保健・健康増進事業報告
 令和2年度地域保健・健康増進事業報告
 算出方法等の詳細は説明資料2をご参照ください。

※令和5年度にはがん対策推進基本計画の改正（第4期）及び厚生労働省報告書の改訂が予定されており、数値目標の変更が検討されています。

資料5-1： 乳がん検診（集団検診） 市区町村チエックリスト実施率

① 全項目実施率(%)推移

調査年度	令和元年		令和2年		令和3年		令和4年	
	全国	京都府	全国	京都府	全国	京都府	全国	京都府
全国	80.9	79.0	81.5	74.1	82.0	74.2	82.4	68.4
京都府	97.4	100	95.5	94.1	95.3	88.2	97.0	100

② 調査1（令和4年度の検診実施体制） 項目別実施率(%)

質問番号	問1 検診対象者の精度管理		問2 受診者の精度管理		問3 受診者への説明、及び要精検者への説明		問4 精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨					問5 地域保健・健康増進事業報告					問6 検診機関（医療機関）の質の担保									
	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	3-1	3-2	3-2-1	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5	4-6	5-1	5-2	5-3	5-4	5-5	6-1	6-1-1	6-1-2	6-2	6-2-1	6-2-2	6-2-3
全国	97.4	55.3	97.6	95.5	95.3	80.8	71.3	59.9	97.0	91.4	86.3	89.4	86.4	85.9	99.9	97.2	95.7	94.8	93.3	86.9	78.5	57.3	37.1	32.9	29.7	27.3
京都府	100	47.1	100	94.1	88.2	82.4	94.1	76.5	100	76.5	70.6	94.1	82.4	82.4	100	94.1	88.2	76.5	64.7	76.5	70.6	47.1	47.1	35.3	35.3	23.5

集計対象市区町村：（）内記載

調査1 質問内容

- 【問1】 検診対象者の情報管理 ……
- 問1-1 対象者全員の氏名を記載した名簿を、住民台帳などに基づいて作成しましたか
 - 問1-2 対象者全員に個別に受診勧奨を行いましたか
 - 問1-3 対象者数（推計でも可）を把握しましたか
- 【問2】 受診者の情報管理 ……
- 問2-1 受診者の受診（記録）台帳またはデータベースを作成しましたか
 - 問2-2 過去5年間の受診履歴を記録していますか
- 【問3】 受診者への説明、及び要精検者への説明 ……
- 問3-1 受診勧奨時に、「検診機関用チエックリスト 1.受診者への説明」が全項目記載された資料を、全員に個別配布しましたか
 - 問3-2 要精検者全員に対し、受診可能な精密検査機関名（医療機関名）の一覧を提示しましたか
 - 問3-2-1 上記【問3-2】の一覧に掲載したすべての精密検査機関には、あらかじめ精密検査結果の報告を依頼しましたか
- 【問4】 精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨 ……
- 問4-1 精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を把握しましたか
 - 問4-2 精密検査方法及び、精密検査（治療）結果が不明の者については、本人もしくは精密検査機関への照会等により、結果を確認しましたか
- 【問5】 地域保健・健康増進事業報告 ……
- 問5-1 個人毎の精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を、市区町村、検診機関（医療機関）、精密検査機関が共有しましたか
 - 問5-2 過去5年間の精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を記録していますか
 - 問5-3 精密検査未受診と精密検査結果未把握を定義に従って区別し、精密検査未受診者を特定しましたか
 - 問5-4 精密検査未受診者に精密検査の受診勧奨を行いましたか
 - 問5-5 地域保健・健康増進事業報告（令和3年度地域保健・健康増進事業報告）を行い、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できると、委託先（検診機関（医療機関）、医師会など）に報告を求めましたか
 - 問5-6 がん検診の結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めましたか
- 【問6】 検診機関（医療機関）の質の担保 ……
- 問6-1 委託先検診機関（医療機関）を、仕様書の内容に基づいて選定しましたが仕様書（もしくは要追加要綱）の内容は、「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を満たしていますか
 - 問6-1-1* 検診終了後に、委託先検診機関（医療機関）で仕様書（もしくは実施要綱）の内容が遵守されたことを確認しましたか
 - 問6-1-2* 検診機関（医療機関）に精度管理評価を個別にフィードバックしましたか
 - 問6-2 「検診機関用チエックリスト」の遵守状況をフィードバックしましたがバックしましたか
 - 問6-2-1* 検診機関（医療機関）毎のプロセス指標値を算出してフィードバックしましたか
 - 問6-2-2* 上記の結果をふまえ、課題のある検診機関（医療機関）に改善策をフィードバックしましたか

* 大項目（問6-1、問6-2）が×の場合、この項目は×です。

資料5-1： 乳がん検診（集団検診） 市区町村チエックリスト実施率

③ 調査2（令和2年度プロセス指標の集計） 項目別実施率(%)

質問番号	問7 受診率（受診者数）の集計			問9 要精検率の集計			問10 精検受診率、精検未受診率の集計			問11 がん発見率の集計				問12 陽性反応適中度の集計				問13 早期がん割合の集計				問14 非浸潤がんの集計								
	7-1	7-1-1	7-1-2	7-1-3	9-1	9-1-1	9-1-2	9-1-3	10-1	10-1-1	10-1-2	10-1-3	10-1-4	11-1	11-1-1	11-1-2	11-1-3	11-1-4	12-1	12-1-1	12-1-2	12-1-3	12-1-4	13-1	13-1-1	13-1-2	13-1-3	13-1-4	14-1	
全国	97.6	93.5	95.2	91.0	96.1	92.0	91.1	86.8	95.3	91.0	90.0	85.3	90.0	91.9	87.7	86.0	82.5	87.7	81.6	78.0	77.6	74.1	78.2	84.6	83.3	80.1	78.3	80.5	83.5	
京都府	100	82.4	94.1	64.7	76.5	70.6	52.9	64.7	76.5	70.6	64.7	52.9	70.6	70.6	64.7	58.8	52.9	70.6	70.6	47.1	52.9	47.1	70.6	58.8	52.9	47.1	58.8	47.1	58.8	70.6
100%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
90%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
80%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
70%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
60%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
50%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
40%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
30%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
20%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
10%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
0%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

集計対象市区町村数（調査2）：17

チエックリスト実施率の算出方法

① チエックリスト実施率（全項目）

算出方法	「O」の合計数/集計対象市区町村数×項目数 ^{※2} × 100 (%)
集計対象市区町村	質問1、質問3 ^{※3} の両方に「実施」と回答した市区町村

② チエックリスト実施率（項目別） 調査1

算出方法	「O」の合計数/集計対象市区町村数 × 100 (%)
集計対象市区町村	質問1 ^{※3} に「実施」と回答した市区町村

③ チエックリスト実施率（項目別） 調査2

算出方法	「O」の合計数/集計対象市区町村数 × 100 (%)
集計対象市区町村	質問3 ^{※3} に「実施」と回答した市区町村

※1 回答は「O（実施した）」、「X（実施していない）」、「△（実施予定はあるが回答時点ではまだ実施していない）」から選択。当調査結果のチエックリスト実施率には「O」のみ集計し「△」は含まれません。

※2 乳がん検診では55項目。詳細は説明資料「(3) チエックリスト実施率の集計対象項目」参照。

※3 質問1：令和4年度に各がん検診（指針に記載の検査方法）を実施しましたか
質問3：令和2年度に各がん検診を実施しましたか

調査2 質問内容

※ 大項目（問7-1、問9-1、問10-1、問11-1、問12-1、問13-1）が×の場合、この項目は×です。
※※ マンモグラフィ単独、マンモグラフィ及び超音波の併用

【問7】 受診率（受診者数）の集計
問7-1 受診率を集計しましたか
問7-1-1* 受診率を年齢5歳階級別に集計しましたか
問7-1-2* 受診者数を検診機関別に集計しましたか
問7-1-3* 受診者数を検診受診歴別に集計しましたか

【問9】 要精検率の集計
問9-1 要精検率を集計しましたか
問9-1-1* 要精検率を年齢5歳階級別に集計しましたか
問9-1-2* 要精検率を検診機関別に集計しましたか
問9-1-3* 要精検率を検診受診歴別に集計しましたか

【問10】 精検受診率・未受診率の集計
問10-1 精検受診率を集計しましたか
問10-1-1* 精検受診率を年齢5歳階級別に集計しましたか
問10-1-2* 精検受診率を検診機関別に集計しましたか
問10-1-3* 精検受診率を検診受診歴別に集計しましたか
問10-1-4* 精検未受診率を集計しましたか

【問11】 がん発見率の集計
問11-1 がん発見率を集計しましたか
問11-1-1* がん発見率を年齢5歳階級別に集計しましたか
問11-1-2* がん発見率を検診機関別に集計しましたか
問11-1-3* がん発見率を検診受診歴別に集計しましたか
問11-1-4* がん発見率を検査方法別に集計しましたか

【問12】 陽性反応適中度の集計
問12-1 陽性反応適中度を集計しましたか
問12-1-1* 陽性反応適中度を年齢5歳階級別に集計しましたか
問12-1-2* 陽性反応適中度を検診機関別に集計しましたか
問12-1-3* 陽性反応適中度を検診受診歴別に集計しましたか
問12-1-4* 陽性反応適中度を検査方法別に集計しましたか

【問13】 早期がん割合の集計
問13-1 早期がん割合を集計しましたか
問13-1-1* 早期がん割合を年齢5歳階級別に集計しましたか
問13-1-2* 早期がん割合を検診機関別に集計しましたか
問13-1-3* 早期がん割合を検診受診歴別に集計しましたか
問13-1-4* 早期がん割合を検査方法別に集計しましたか

【問14】 非浸潤がんの集計
問14-1 非浸潤がんを集計しましたか



◆ 京都府 ■ 全国 ● その他の県

資料5-2： 乳がん検診（個別検診） 市区町村チエックリスト実施率

① 全項目実施率(%)推移 ② 調査1（令和4年度の検診実施体制） 項目別実施率(%)

調査年度	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	3-1	3-2	3-2-1	4-1	4-2	4-3	4-4
全国	97.3	54.4	97.4	95.7	93.4	68.9	56.4	47.6	91.8	86.1	72.5	85.8
京都府	100	39.1	100	95.7	91.3	69.6	91.3	69.6	95.7	87.0	69.6	91.3

質問番号	問1 検診対象者の精度管理			問2 受診者の精度管理			問3 受診者への説明、及び要精検者への説明			問4 精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨			問5 地域保健・健康増進事業報告						問6 検診機関（医療機関）の質の担保							
	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	3-1	3-2	3-2-1	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5	4-6	5-1	5-2	5-3	5-4	5-5	6-1	6-1-1	6-1-2	6-2	6-2-1	6-2-2	6-2-3
全国	97.3	54.4	97.4	95.7	93.4	68.9	56.4	47.6	91.8	86.1	72.5	85.8	81.8	76.6	99.5	94.1	92.4	89.2	87.6	77.2	62.8	37.8	23.6	18.6	17.5	14.7
京都府	100	39.1	100	95.7	91.3	69.6	91.3	69.6	95.7	87.0	69.6	91.3	87.0	82.6	100	95.7	91.3	78.3	73.9	69.6	47.8	30.4	26.1	13.0	8.7	4.3

集計対象市区町村：（）内記載

調査1 質問内容

- 【問1】 検診対象者の情報管理
問1-1 対象者全員の氏名を記載した名簿を、住民台帳などに基づいて作成しましたか
問1-2 対象者全員に個別に受診勧奨を行いましたか
問1-3 対象者数（推計でも可）を把握しましたか
- 【問2】 受診者の情報管理
問2-1 受診者の受診（記録）台帳またはデータベースを作成しましたか
問2-2 過去5年間の受診履歴を記録していますか
- 【問3】 受診者への説明、及び要精検者への説明
問3-1 受診勧奨時に、「検診機関用チエックリスト 1.受診者への説明」が全項目記載された資料を、全員に個別配布しましたか
問3-2 要精検者全員に対し、受診可能な精密検査機関名（医療機関名）の一覧を提示しましたか
問3-2-1 上記【問3-2】の一覧に掲載したすべての精密検査機関には、あらかじめ精密検査結果の報告を依頼しましたか
- 【問4】 精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨
問4-1 精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を把握しましたか
問4-2 精密検査方法及び、精密検査（治療）結果が不明の者については、本人もしくは精密検査機関への照会等により、結果を確認しましたか
- 【問5】 地域保健・健康増進事業報告
問5-1 がん検診結果や精密検査結果の最終報告（令和3年度地域保健・健康増進事業報告）を行いましたか
問5-2 がん検診の結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できよう、委託先（検診機関（医療機関）、医師会など）に報告を求めましたか
問5-3 がん検診の結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めましたか
問5-4 精密検査結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるよう、委託先（検診機関（医療機関）、精密検査機関、医師会など）に報告を求めましたか
- 【問6】 検診機関（医療機関）の質の担保
問6-1 委託先検診機関（医療機関）を、仕様書の内容に基づいて選定しましたが仕様書（もしくは要加要綱）の内容は、「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を満たしていますか
問6-1-1* 仕様書（もしくは要加要綱）の内容は、「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を満たしていますか
問6-1-2* 検診終了後に、委託先検診機関（医療機関）に精度管理評価を個別にフィードバックしましたか
問6-2 検診機関（医療機関）毎のプロセス指標を算出してフィードバックしましたか
問6-2-1* 「検診機関用チエックリスト」の遵守状況をフィードバックしましたか
問6-2-2* 検診機関（医療機関）の遵守状況をフィードバックしましたか
問6-2-3* 上記の結果をふまえ、課題のある検診機関（医療機関）に改善策をフィードバックしましたか
- * 大項目（問6-1、問6-2）が×の場合、この項目は×です。

資料5-2： 乳がん検診（個別検診） 市区町村チエックリスト実施率

③ 調査2（令和2年度プロセス指標の集計） 項目別実施率(%)

質問番号	問7 受診率（受診者数）の集計			問9 要精検率の集計			問10 精検受診率、精検未受診率の集計			問11 がん発見率の集計				問12 陽性反応適中度の集計				問13 早期がん割合の集計				問14 非浸潤がんの集計								
	7-1	7-1-1	7-1-2	7-1-3	9-1	9-1-1	9-1-2	9-1-3	10-1	10-1-1	10-1-2	10-1-3	10-1-4	11-1	11-1-1	11-1-2	11-1-3	11-1-4	12-1	12-1-1	12-1-2	12-1-3	12-1-4	13-1	13-1-1	13-1-2	13-1-3	13-1-4	14-1	
全国	95.7	91.0	88.5	87.1	93.4	89.3	79.7	83.2	91.3	87.1	77.8	81.2	85.3	87.1	83.1	73.3	77.1	81.6	76.1	72.4	64.9	67.8	71.4	77.1	75.4	65.5	70.3	72.4	74.9	
京都府	95.5	90.9	86.4	77.3	86.4	86.4	81.8	72.7	86.4	86.4	77.3	72.7	86.4	86.4	81.8	72.7	68.2	77.3	81.8	63.6	63.6	59.1	68.2	68.2	68.2	59.1	54.5	54.5	72.7	
100%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
90%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
80%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
70%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
60%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
50%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
40%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
30%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
20%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
10%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
0%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
問7-1	問7-1	問7-1-1	問7-1-2	問7-1-3	問9-1	問9-1	問9-1-1	問9-1-2	問9-1-3	問10-1	問10-1-1	問10-1-2	問10-1-3	問10-1-4	問11-1	問11-1-1	問11-1-2	問11-1-3	問11-1-4	問12-1	問12-1-1	問12-1-2	問12-1-3	問12-1-4	問13-1	問13-1-1	問13-1-2	問13-1-3	問13-1-4	問14-1

集計対象市区町村数（調査2）：22

チエックリスト実施率の算出方法

① チエックリスト実施率（全項目）

算出方法	$[\text{O}]^{※1}$ の合計数 / 集計対象市区町村数 × 100 (%)
集計対象市区町村	質問1、質問3 ^{※3} の両方に「実施」と回答した市区町村

② チエックリスト実施率（項目別） 調査1

算出方法	$[\text{O}]^{※1}$ の合計数 / 集計対象市区町村数 × 100 (%)
集計対象市区町村	質問1 ^{※3} に「実施」と回答した市区町村

③ チエックリスト実施率（項目別） 調査2

算出方法	$[\text{O}]^{※1}$ の合計数 / 集計対象市区町村数 × 100 (%)
集計対象市区町村	質問3 ^{※3} に「実施」と回答した市区町村

※1 回答は「O（実施した）」、「X（実施していない）」、「△（実施予定はあるが回答時点でまだ実施していない）」から選択。当調査結果のチエックリスト実施率には「O」のみ集計し「△」は含まれません。

※2 乳がん検診では55項目。詳細は説明資料「(3) チエックリスト実施率の集計対象項目」参照。

※3 質問1：令和4年度に各がん検診（指針に記載の検査方法）を実施しましたか

質問3：令和2年度に各がん検診を実施しましたか

調査2 質問内容

【問7】 受診率（受診者数）の集計

- 問7-1 受診率を集計しましたか
- 問7-1-1* 受診率を年齢5歳階級別に集計しましたか
- 問7-1-2* 受診者数を検診機関別に集計しましたか
- 問7-1-3* 受診者数を検診受診歴別に集計しましたか

* 大項目（問7-1、問9-1、問10-1、問11-1、問12-1、問13-1）がXの場合、この項目はXです。

** マンモグラフィ単独、マンモグラフィ及び超音波の併用

- 【問11】 がん発見率の集計
 - 問11-1 がん発見率を集計しましたか
 - 問11-1-1* がん発見率を年齢5歳階級別に集計しましたか
 - 問11-1-2* がん発見率を検診機関別に集計しましたか
 - 問11-1-3* がん発見率を検診受診歴別に集計しましたか
 - 問11-1-4* がん発見率を検査方法別に集計しましたか
- 【問12】 陽性反応適中度の集計
 - 問12-1 陽性反応適中度を集計しましたか
 - 問12-1-1* 陽性反応適中度を年齢5歳階級別に集計しましたか
 - 問12-1-2* 陽性反応適中度を検診機関別に集計しましたか
 - 問12-1-3* 陽性反応適中度を検診受診歴別に集計しましたか
 - 問12-1-4* 陽性反応適中度を検査方法別に集計しましたか
- 【問13】 早期がん割合の集計
 - 問13-1 早期がん割合を集計しましたか
 - 問13-1-1* 早期がん割合を年齢5歳階級別に集計しましたか
 - 問13-1-2* 早期がん割合を検診機関別に集計しましたか
 - 問13-1-3* 早期がん割合を検診受診歴別に集計しましたか
 - 問13-1-4* 早期がん割合を検査方法別に集計しましたか
- 【問14】 非浸潤がんの集計
 - 問14-1 非浸潤がんを集計しましたか

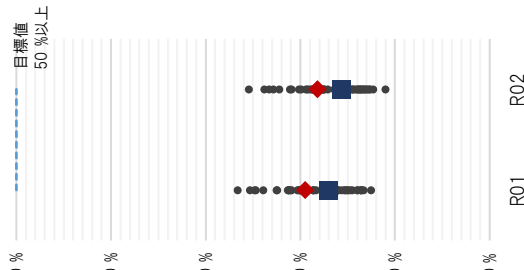


資料5-3： 乳がん検診 都道府県別プロセス指標値

① 受診状況（令和元・令和2年度、40～69歳、女）

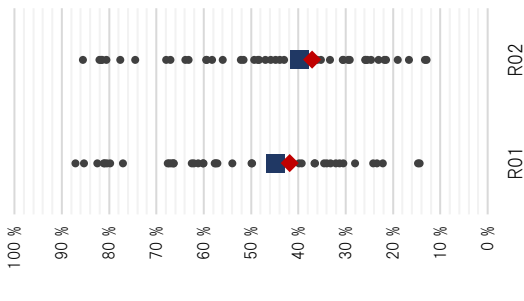
①-1 受診率(%)

	令和元年	令和2年
全国	17.0	15.6
京都府	19.5	18.2



①-2 集団検診受診者の割合(%)

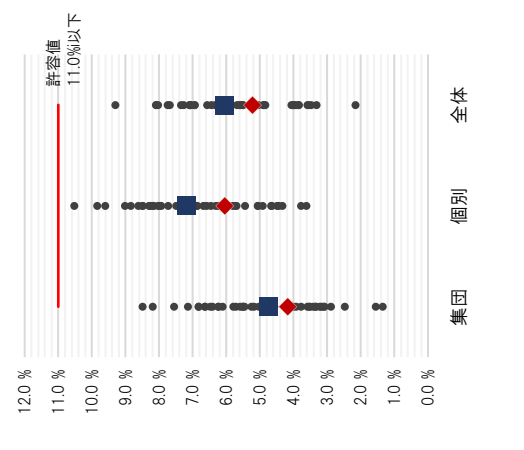
	令和元年	令和2年
全国	44.7	39.9
京都府	41.9	37.1



② プロセス指標（令和元年度、40～74歳、女）

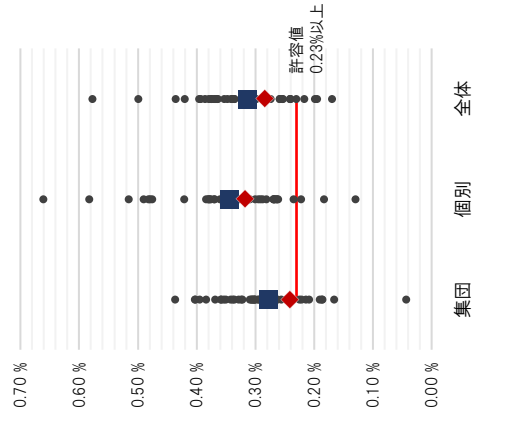
②-1 要精検率(%)

	集団	個別	全体
全国	4.7	7.2	6.0
京都府	4.2	6.0	5.2



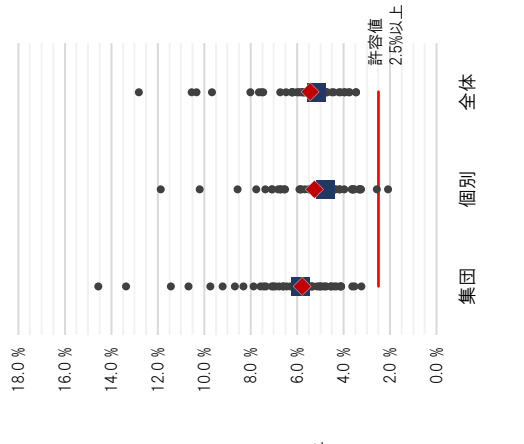
②-2 がん発見率(%)

	集団	個別	全体
全国	0.28	0.34	0.31
京都府	0.24	0.32	0.28



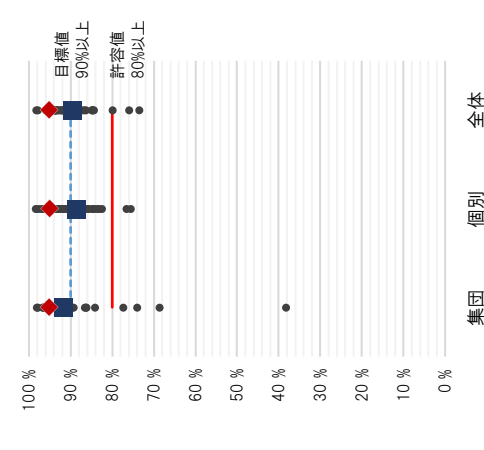
②-3 陽性反応適中率(%)

	集団	個別	全体
全国	5.8	4.8	5.2
京都府	5.8	5.2	5.4



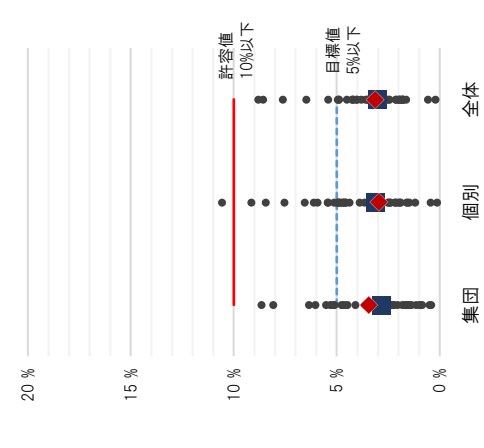
②-4 精検受診率(%)

	集団	個別	全体
全国	91.6	88.3	89.5
京都府	95.2	95.0	95.1



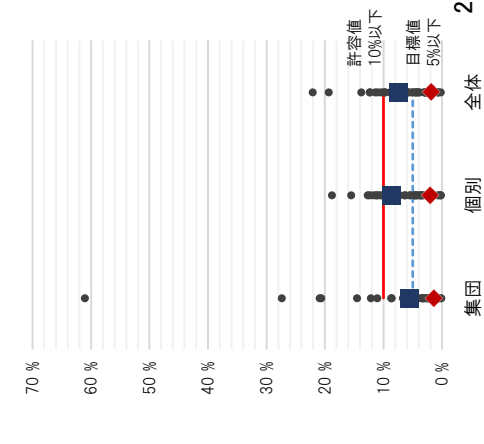
②-5 精検未受診率(%)

	集団	個別	全体
全国	2.8	3.1	3.0
京都府	3.4	3.0	3.1



②-6 精検未把握率(%)

	集団	個別	全体
全国	5.5	8.5	7.4
京都府	1.4	2.0	1.8



目標値・許容値※

・受診率の目標値
がんと対策推進基本計画（平成30年3月）個別目標より

・プロセス指標値の許容値・目標値
厚生労働省がん検診事業評価委員会報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について（平成20年3月）」別添6掲載『事業評価指標とそれぞれの許容値及び目標値』より

留意点

要精検率、がん発見率、陽性反応適中度は、受診者の年齢構成や検診受診歴（初回・非初回）等の影響を大きく受けるため、指標数値の高低だけで比較・評価はできません。
詳細は参考資料「プロセス指標の意味と活用方法」をご参照ください。

出典

令和元年度地域保健・健康増進事業報告
令和2年度地域保健・健康増進事業報告
算出方法等の詳細は説明資料2をご参照ください。

※令和5年度にはがん対策推進基本計画の改正（第4期）及び厚生労働省報告書の改訂が予定されており、数値目標の変更が検討されています。

資料6-1：子宮頸がん検診（集団検診）市区町村チェックリスト実施率

① 全項目実施率(%)推移

調査年度	全項目実施率(%)推移			
	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
全国	80.5	81.3	81.7	82.2
京都府	71.8	65.0	69.7	62.9

② 調査1（令和4年度の検診実施体制）項目別実施率(%)

質問番号	問1 検診対象者の精度管理		問2 受診者の精度管理		問3 受診者への説明、及び要精検者への説明						問4 精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨						問5 地域保健・健康増進事業報告						問6 検診機関（医療機関）の質の担保					
	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	3-1	3-2	3-2-1	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5	4-6	5-1	5-2	5-3	5-4	5-5	6-1	6-1-1	6-1-2	6-2	6-2-1	6-2-2	6-2-3		
全国	97.2	56.0	97.2	95.3	94.9	81.4	66.6	56.5	96.9	91.2	86.5	88.6	86.2	85.5	99.8	97.0	95.4	95.2	93.5	86.7	79.8	57.6	37.3	33.3	29.7	27.7		
京都府	92.3	61.5	100	92.3	76.9	76.9	46.2	100	61.5	38.5	84.6	69.2	69.2	69.2	100	92.3	84.6	84.6	69.2	61.5	53.8	46.2	38.5	23.1	30.8	15.4		

集計対象市区町村：（）内記載

調査1 質問内容

- 【問1】 検診対象者の情報管理 ……
- 問1-1 対象者全員の氏名を記載した名簿を、住民台帳などに基づいて作成しましたか
 - 問1-2 対象者全員に個別に受診勧奨を行いましたか
 - 問1-3 対象者数（推計でも可）を把握しましたか
- 【問2】 受診者の情報管理 ……
- 問2-1 個人別の受診（記録）台帳またはデータベースを作成しましたか
 - 問2-2 過去5年間の受診履歴を記録していますか
- 【問3】 受診者への説明、及び要精検者への説明 ……
- 問3-1 受診勧奨時に、「検診機関用チェックリスト 1.受診者への説明」が全項目記載された資料を、全員に個別配布しましたか
 - 問3-2 要精検者全員に対し、受診可能な精密検査機関名（医療機関名）の一覧を提示しましたか
 - 問3-2-1 上記【問3-2】の一覧に掲載したすべての精密検査機関には、あらかじめ精密検査結果の報告を依頼していますか
- 【問4】 精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨 ……
- 問4-1 精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を把握しましたか
 - 問4-2 精密検査方法及び、精密検査（治療）結果が不明の者については、本人もしくは精密検査機関への照会等により、結果を確認しましたか
- 【問5】 地域保健・健康増進事業報告 ……
- 問5-1 がん検診結果や精密検査結果の最終報告（令和3年度地域保健・健康増進事業報告）を行いましたか
 - 問5-2 がん検診の結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できよう、委託先（検診機関（医療機関）、医師会など）に報告を求めましたか
 - 問5-3 がん検診の結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めましたか
 - 問5-4 精密検査結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるよう、委託先（検診機関（医療機関）、精密検査機関、医師会など）に報告を求めましたか
 - 問5-5 精密検査結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めましたか
- 【問6】 検診機関（医療機関）の質の担保 ……
- 問6-1 委託先検診機関（医療機関）を、仕様書の内容に基づいて選定しましたが仕様書（もしくは要実施要綱）の内容は、「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を満たしていますか
 - 問6-1-1* 検診終了後、委託先検診機関（医療機関）に精度管理評価を個別にフィードバックしましたか
 - 問6-1-2* 検診終了後、委託先検診機関（医療機関）に精度管理評価を個別にフィードバックしましたか
 - 問6-2 検診機関（医療機関）毎のプロセス指標値を算出してフィードバックしましたか
 - 問6-2-1* 「検診機関用チェックリスト」の遵守状況をフィードバックしましたか
 - 問6-2-2* 検診機関（医療機関）の遵守状況をフィードバックしましたか
 - 問6-2-3* 上記の結果をふまえ、課題のある検診機関（医療機関）に改善策をフィードバックしましたか
- * 大項目（問6-1、問6-2）が×の場合、この項目は×です。

資料6-1：子宮頸がん検診（集団検診）市区町村チエックリスト実施率

③ 調査2（令和2年度プロセス指標の集計）項目別実施率(%)

質問番号	問7 受診率（受診者数）の集計			問9 要精検率の集計			問10 精検受診率、精検未受診率の集計			問11 がん発見率の集計			問12 陽性反応適中度の集計					問15 上皮内病変（CIN・AISなど）数の区分毎の集計、進行度がA期のがん割合の集計												
	7-1	7-1-1	7-1-2	7-1-3	9-1	9-1-1	9-1-2	9-1-3	10-1	10-1-1	10-1-2	10-1-3	10-1-4	11-1	11-1-1	11-1-2	11-1-3	12-1	12-1-1	12-1-2	12-1-3	15-1	15-1-1	15-1-2	15-1-3	15-2	15-2-1	15-2-2	15-2-3	
全国	97.6	93.2	94.8	90.9	96.0	91.4	91.0	86.6	94.8	90.3	89.5	84.9	89.8	91.4	86.8	85.3	81.5	81.2	77.4	76.9	73.6	88.0	87.2	83.6	82.3	82.3	81.7	78.8	77.7	
京都府	91.7	66.7	83.3	58.3	75.0	66.7	75.0	58.3	66.7	66.7	66.7	58.3	66.7	58.3	58.3	58.3	66.7	66.7	41.7	50.0	50.0	66.7	66.7	58.3	50.0	41.7	41.7	33.3	33.3	
	100%																													
	90%																													
	80%																													
	70%																													
	60%																													
	50%																													
	40%																													
	30%																													
	20%																													
	10%																													
	0%																													
		問7-1	問7-1-1	問7-1-2	問7-1-3	問9-1	問9-1-1	問9-1-2	問9-1-3	問10-1	問10-1-1	問10-1-2	問10-1-3	問10-1-4	問11-1	問11-1-1	問11-1-2	問11-1-3	問12-1	問12-1-1	問12-1-2	問12-1-3	問15-1	問15-1-1	問15-1-2	問15-1-3	問15-2	問15-2-1	問15-2-2	問15-2-3

集計対象市区町村数（調査2）：12

チエックリスト実施率の算出方法

① チエックリスト実施率（全項目）

算出方法	「○」の合計数／集計対象市区町村数×項目数 ^{※2} × 100 (%)
集計対象市区町村	質問1、質問3 ^{※3} の両方に「実施」と回答した市区町村

② チエックリスト実施率（項目別） 調査1

算出方法	「○」の合計数／集計対象市区町村数 × 100 (%)
集計対象市区町村	質問1 ^{※3} に「実施」と回答した市区町村

③ チエックリスト実施率（項目別） 調査2

算出方法	「○」の合計数／集計対象市区町村数 × 100 (%)
集計対象市区町村	質問3 ^{※3} に「実施」と回答した市区町村

※1 回答は「○（実施した）」「×（実施していない）」「△（実施予定はあるが回答時点でまだ実施していない）」から選択。当調査結果のチエックリスト実施率には「○」のみ集計し「△」は含みません。
 ※2 子宮頸がん検診では55項目。詳細は説明資料「(3) チエックリスト実施率の集計対象項目」参照。
 ※3 質問1：令和4年度に各がん検診（指針に記載の検査方法）を実施しましたか
 質問3：令和2年度に各がん検診を実施しましたか

調査2 質問内容

- 【問7】 受診率（受診者数）の集計
 - 問7-1 受診率を集計しましたか
 - 問7-1-1* 受診率を年齢5歳階級別に集計しましたか
 - 問7-1-2* 受診者数を検診機関別に集計しましたか
 - 問7-1-3* 受診者数を検診受診歴別に集計しましたか
- 【問9】 要精検率の集計
 - 問9-1 要精検率を集計しましたか
 - 問9-1-1* 要精検率を年齢5歳階級別に集計しましたか
 - 問9-1-2* 要精検率を検診機関別に集計しましたか
 - 問9-1-3* 要精検率を検診受診歴別に集計しましたか
- 【問10】 精検受診率、未受診率の集計
 - 問10-1 精検受診率を集計しましたか
 - 問10-1-1* 精検受診率を年齢5歳階級別に集計しましたか
 - 問10-1-2* 精検受診率を検診機関別に集計しましたか
 - 問10-1-3* 精検受診率を検診受診歴別に集計しましたか
 - 問10-1-4* 精検未受診率を集計しましたか
- 【問11】 がん発見率の集計
 - 問11-1 がん発見率を集計しましたか
 - 問11-1-1* がん発見率を年齢5歳階級別に集計しましたか
 - 問11-1-2* がん発見率を検診機関別に集計しましたか
 - 問11-1-3* がん発見率を検診受診歴別に集計しましたか
- 【問12】 陽性反応適中度の集計
 - 問12-1 陽性反応適中度を集計しましたか
 - 問12-1-1* 陽性反応適中度を年齢5歳階級別に集計しましたか
 - 問12-1-2* 陽性反応適中度を検診機関別に集計しましたか
 - 問12-1-3* 陽性反応適中度を検診受診歴別に集計しましたか
- 【問15】 上皮内病変（CIN・AISなど）数の区分毎の集計、進行度がA期のがん割合の集計
 - 問15-1 上皮内病変（CIN・AISなど）を集計しましたか
 - 問15-1-1* 上皮内病変（CIN・AISなど）を年齢5歳階級別に集計しましたか
 - 問15-1-2* 上皮内病変（CIN・AISなど）を検診機関別に集計しましたか
 - 問15-1-3* 上皮内病変（CIN・AISなど）を検診受診歴別に集計しましたか
 - 問15-2 上皮内病変（CIN・AISなど）を集計しましたか
 - 問15-2-1* 上皮内病変（CIN・AISなど）を年齢5歳階級別に集計しましたか
 - 問15-2-2* 上皮内病変（CIN・AISなど）を検診機関別に集計しましたか
 - 問15-2-3* 上皮内病変（CIN・AISなど）を検診受診歴別に集計しましたか

* 大項目（問7-1、問9-1、問10-1、問11-1、問12-1、問15-1、問15-2）が×の場合、この項目は×です。
 ** 区分：①ASの数 ②CN3の数 ③CN2の数 ④CN1の数



◆ 京都府 ■ 全国 ● その他の県

資料6-2：子宮頸がん検診（個別検診）市区町村チェックリスト実施率

① 全項目実施率(%)推移

調査年度	全項目実施率(%)推移			
	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
全国	72.0	73.5	74.8	75.7
京都府	64.8	67.1	68.9	67.8

② 調査1（令和4年度の検診実施体制）項目別実施率(%)

質問番号	問1 検診対象者の精度管理		問2 受診者の精度管理		問3 受診者への説明、及び要精検者への説明						問4 精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨						問5 地域保健・健康増進事業報告						問6 検診機関（医療機関）の質の担保					
	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	3-1	3-2	3-2-1	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5	4-6	5-1	5-2	5-3	5-4	5-5	6-1	6-1-1	6-1-2	6-2	6-2-1	6-2-2	6-2-3		
全国	97.2	54.9	97.4	95.4	93.6	69.6	54.0	47.0	92.3	86.8	73.3	86.2	82.3	77.6	99.4	94.5	92.8	90.1	88.6	78.1	65.2	39.7	24.1	19.7	17.8	15.1		
京都府	96.0	40.0	100	92.0	88.0	64.0	64.0	52.0	92.0	76.0	56.0	88.0	76.0	76.0	100	96.0	92.0	88.0	80.0	72.0	52.0	32.0	16.0	12.0	4.0	4.0		

集計対象市区町村：○内記載

調査1 質問内容

- 【問1】 検診対象者の情報管理
 - 問1-1 対象者全員の氏名を記載した名簿を、住民台帳などに基づいて作成しましたか
 - 問1-2 対象者全員に個別に受診勧奨を行いましたか
 - 問1-3 対象者数（推計でも可）を把握しましたか
- 【問2】 受診者の情報管理
 - 問2-1 個人別の受診（記録）台帳またはデータベースを作成しましたか
 - 問2-2 過去5年間の受診履歴を記録していますか
- 【問3】 受診者への説明、及び要精検者への説明
 - 問3-1 受診勧奨時に、「検診機関用チェックリスト 1.受診者への説明」が全項目記載された資料を、全員に個別配布しましたか
 - 問3-2 要精検者全員に対し、受診可能な精密検査機関名（医療機関名）の一覧を提示しましたか
 - 問3-2-1 上記【問3-2】の一覧に掲載したすべての精密検査機関には、あらかじめ精密検査結果の報告を依頼しましたか
- 【問4】 精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨
 - 問4-1 精密検査結果及び、精密検査（治療）結果を把握しましたか
 - 問4-2 精密検査方法及び、精密検査（治療）結果が不明の者については、本人もしくは精密検査機関への照会等により、結果を確認しましたか

- 問4-3 個人毎の精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を、市区町村、検診機関（医療機関）、精密検査機関が共有しましたか
- 問4-4 過去5年間の精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を記録していますか
- 問4-5 精密検査未受診と精密検査結果未把握を定義に従って区別し、精密検査未受診者を特定しましたか
- 問4-6 精密検査未受診者に精密検査の受診勧奨を行いましたか
- 【問5】 地域保健・健康増進事業報告
 - 問5-1 がん検診結果や精密検査結果の最終報告（令和3年度地域保健・健康増進事業報告）を行いましたか
 - 問5-2 がん検診の結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるよう、委託先（検診機関（医療機関）、医師会など）に報告を求めましたか
 - 問5-3 がん検診の結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めましたか
 - 問5-4 精密検査結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるように、委託先（検診機関（医療機関）、精密検査機関、医師会など）に報告を求めましたか
 - 問5-5 精密検査結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めましたか

- 【問6】 検診機関（医療機関）の質の担保
 - 問6-1 委託先検診機関（医療機関）を、仕様書の内容に基づいて選定しましたが仕様書（もしくは要実施要綱）の内容は、「仕様書に明記すべき最低限の精度管理項目」を満たしていますか
 - 問6-1-1* 検診終了後に、委託先検診機関（医療機関）で仕様書（もしくは実施要綱）の内容が遵守されたことを確認しましたか
 - 問6-1-2* 検診機関（医療機関）に精度管理評価を個別にフィードバックしましたか
 - 問6-2 「検診機関用チェックリスト」の遵守状況をフィードバックしましたがバックしましたか
 - 問6-2-1* 検診機関（医療機関）毎のプロセス指標を算出してフィードバックしましたか
 - 問6-2-2* 上記の結果をふまえ、課題のある検診機関（医療機関）に改善策をフィードバックしましたか

* 大項目（問6-1、問6-2）が×の場合、この項目は×です。

資料6-2： 子宮頸がん検診（個別検診） 市区町村チエックリスト実施率

③ 調査2（令和2年度プロセス指標の集計） 項目別実施率(%)

質問番号	問7 受診率（受診者数）の集計			問9 要精検率の集計			問10 精検受診率、精検未受診率の集計			問11 がん発見率の集計			問12 陽性反応適中度の集計			問15 上皮内病変（CIN・AISなど）数の区分毎の集計、進行度がIA期のがん割合の集計														
	7-1	7-1-1	7-1-2	7-1-3	9-1	9-1-1	9-1-2	9-1-3	10-1	10-1-1	10-1-2	10-1-3	10-1-4	11-1	11-1-1	11-1-2	11-1-3	12-1	12-1-1	12-1-2	12-1-3	15-1	15-1-1	15-1-2	15-1-3	15-2	15-2-1	15-2-2	15-2-3	
全国	95.9	91.4	88.4	87.9	84.2	84.2	84.2	84.2	91.6	87.6	77.0	81.8	85.4	87.1	83.4	72.5	78.0	76.7	73.3	64.7	69.2	81.9	80.9	67.8	75.8	75.6	75.0	64.0	70.9	
京都府	92.0	80.0	76.0	72.0	84.0	80.0	72.0	80.0	84.0	80.0	72.0	72.0	80.0	76.0	72.0	64.0	60.0	68.0	56.0	56.0	52.0	76.0	76.0	64.0	60.0	60.0	60.0	60.0	52.0	48.0
	100%																													
	問7-1	問7-1-1	問7-1-2	問7-1-3	問9-1	問9-1-1	問9-1-2	問9-1-3	問10-1	問10-1-1	問10-1-2	問10-1-3	問10-1-4	問11-1	問11-1-1	問11-1-2	問11-1-3	問12-1	問12-1-1	問12-1-2	問12-1-3	問15-1	問15-1-1	問15-1-2	問15-1-3	問15-2	問15-2-1	問15-2-2	問15-2-3	

集計対象市区町村数（調査2）：25

チエックリスト実施率の算出方法

① チエックリスト実施率（全項目）

算出方法	「○」の合計数/集計対象市区町村数×項目数 ^{※2} × 100 (%)
集計対象市区町村	質問1、質問3 ^{※3} の両方に「実施」と回答した市区町村

② チエックリスト実施率（項目別） 調査1

算出方法	「○」の合計数/集計対象市区町村数 × 100 (%)
集計対象市区町村	質問1に「実施」と回答した市区町村

③ チエックリスト実施率（項目別） 調査2

算出方法	「○」の合計数/集計対象市区町村数 × 100 (%)
集計対象市区町村	質問3 ^{※3} に「実施」と回答した市区町村

※1 回答は「○（実施した）」「×（実施していない）」「△（実施予定はあるが回答時点でまだ実施していない）」から選択。当調査結果のチエックリスト実施率には「○」のみ集計し「△」は含みません。
 ※2 子宮頸がん検診では55項目。詳細は説明資料1「(3) チエックリスト実施率の集計対象項目」参照。
 ※3 質問1：令和4年度に各がん検診（指針に記載の検査方法）を実施しましたか
 質問3：令和2年度に各がん検診を実施しましたか

調査2 質問内容

【問7】 受診率（受診者数）の集計
 問7-1 受診率を集計しましたか
 問7-1-1* 受診率を年齢5歳階級別に集計しましたか
 問7-1-2* 受診者数を検診機関別に集計しましたか
 問7-1-3* 受診者数を検診受診歴別に集計しましたか

【問9】 要精検率の集計
 問9-1 要精検率を集計しましたか
 問9-1-1* 要精検率を年齢5歳階級別に集計しましたか
 問9-1-2* 要精検率を検診機関別に集計しましたか
 問9-1-3* 要精検率を検診受診歴別に集計しましたか

【問10】 精検受診率、未受診率の集計
 問10-1 精検受診率を集計しましたか
 問10-1-1* 精検受診率を年齢5歳階級別に集計しましたか
 問10-1-2* 精検受診率を検診機関別に集計しましたか
 問10-1-3* 精検受診率を検診受診歴別に集計しましたか
 問10-1-4* 精検未受診率を集計しましたか

【問11】 がん発見率の集計
 問11-1 がん発見率を集計しましたか
 問11-1-1* がん発見率を年齢5歳階級別に集計しましたか
 問11-1-2* がん発見率を検診機関別に集計しましたか
 問11-1-3* がん発見率を検診受診歴別に集計しましたか

【問12】 陽性反応適中度の集計
 問12-1 陽性反応適中度を集計しましたか
 問12-1-1* 陽性反応適中度を年齢5歳階級別に集計しましたか
 問12-1-2* 陽性反応適中度を検診機関別に集計しましたか
 問12-1-3* 陽性反応適中度を検診受診歴別に集計しましたか

【問15】 上皮内病変（CIN・AISなど）数の区分毎の集計、進行度がIA期のがん割合の集計
 問15-1 上皮内病変（CIN・AISなど）を集計しましたか（区分毎）**
 問15-1-1* 上皮内病変（CIN・AISなど）を年齢5歳階級別に集計しましたか（区分毎）**
 問15-1-2* 上皮内病変（CIN・AISなど）を検診機関別に集計しましたか（区分毎）**
 問15-1-3* 上皮内病変（CIN・AISなど）を検診受診歴別に集計しましたか（区分毎）**
 問15-2 進行度がIA期のがん割合を集計しましたか
 問15-2-1* 進行度がIA期のがん割合を年齢5歳階級別に集計しましたか
 問15-2-2* 進行度がIA期のがん割合を検診機関別に集計しましたか
 問15-2-3* 進行度がIA期のがん割合を検診受診歴別に集計しましたか

* 大項目（問7-1、問9-1、問10-1、問11-1、問12-1、問15-1、問15-2）が×の場合、この項目は×です。
 ** 区分：①AISの数 ②CIN3の数 ③CIN2の数 ④CIN1の数

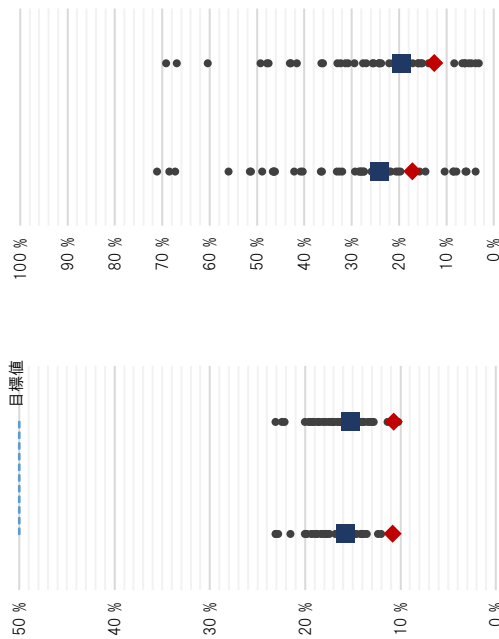
良 ←

◆ 京都府 ■ 全国 ● その他の県

資料6-3： 子宮頸がん検診 都道府県別プロセス指標値

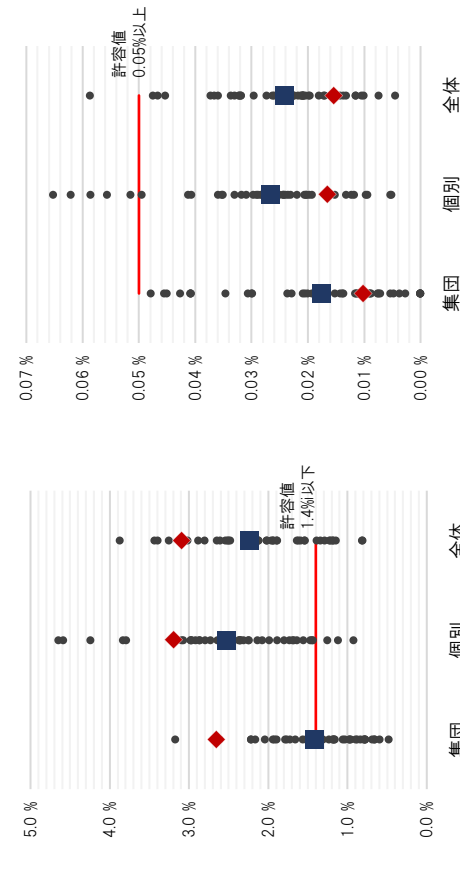
① 受診状況（令和元・令和2年度、20～69歳、女）

①-1 受診率(%)		①-2 集団検診受診者の割合(%)		
	令和元年	令和2年	令和元年	令和2年
全国	15.7	15.2	24.1	19.4
京都府	10.8	10.7	17.1	12.5

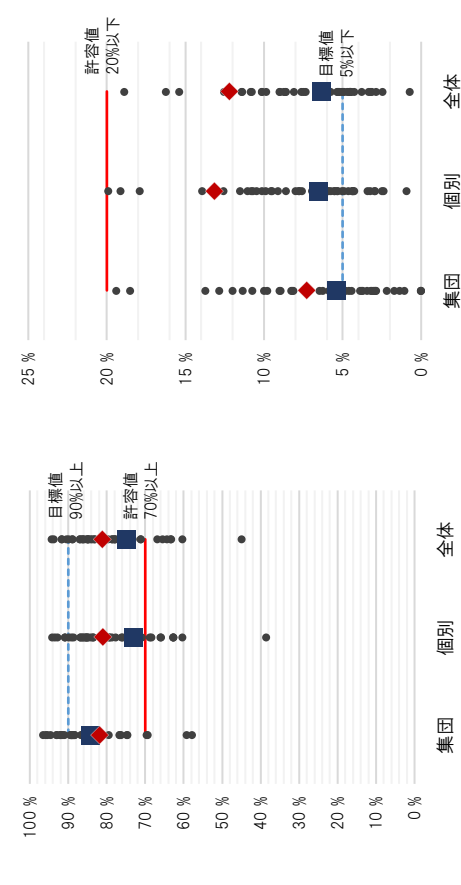


② プロセス指標（令和元年度、20～74歳、女）

②-1 要精検率(%)		②-2 がん発見率(%)		②-3 陽性反応適中率(%)	
	集団	個別	集団	個別	全体
全国	1.4	2.5	0.02	0.03	1.2
京都府	2.7	3.2	0.01	0.02	0.4



②-4 精検受診率(%)		②-5 精検未受診率(%)		②-6 精検未把握率(%)	
	集団	個別	集団	個別	全体
全国	84.4	72.9	5.4	6.5	10.2
京都府	81.9	81.0	7.3	13.2	10.8



③ 留意点

留意点
要精検率、がん発見率、陽性反応適中度は、受診者の年齢構成や検診受診歴（初回・非初回）等の影響を大きく受けるため、指標数値の高低だけで比較評価はできません。
詳細は参考資料「プロセス指標の意味と活用方法」をご参照ください。

出典

令和元年度地域保健・健康増進事業報告
令和2年度地域保健・健康増進事業報告
算出方法等の詳細は説明資料2をご参照ください。

子宮頸がん検診の近年の要精検率について

子宮頸がん検診の要精検率は近年増加傾向にあり、国の許容値を満たしていない都道府県が増えています。要精検率増加の一因として、国の補助事業である無料クーポン券導入（2009年）の影響が考えられ、この事業の開始後に若年の受診者が増えるようになっています。このことから、近年罹患率の高い集団が多く受診するようになり、その結果、要精検率が増加傾向にあることが考えられます。ただし、要精検率増加の原因はまだ明確に特定されておらず、今後の検討課題です。今後検討結果をふまえて国の許容値の見直しが行われる予定です。

※令和5年度にはがん対策推進基本計画の改正（第4期）及び厚生労働省報告書の改訂が予定されており、数値目標の変更が検討されています。

子宮頸がん検診の近年のがん発見率・陽性反応適中率について
「地域保健・健康増進事業報告」の様式が改訂され、平成25年度までの報告では「上皮内がん」として「がんであった者」として「がん内がん」として計上され、平成26年度以降の報告では「ON3」として計上されるようになりました。そのため、以前と比較してがん発見率と陽性反応適中率が減少しています。このような背景をふまえて、今後の許容値の見直しが行われる見込みです。

参考資料：プロセス指標の意味と活用方法

(令和5年3月更新)

プロセス指標	各指標の意味【算出方法】		数値目標 ^{*1}		各指標値の評価		値が適正でない場合の検討事項	
	許容値	目標値	高値	低値	高値	低値	予想される原因	検討内容
受診率	検診を受けるべき対象者が、実際に検診を受けたかを測る指標 【受診者数/対象者数×100】	全て50%以上	高いことが望ましい		①対象者を把握していない(対象者の名簿が作成されていない) ②受診勧奨を実施していない ③検診の提供体制が不十分(キャパシティ、アクセス)	①対象者を全員を把握できているか ②対象者全員に受診勧奨を実施しているか/未受診者に再受診勧奨を実施しているか/検診の重要性を十分に伝えているか ③受診者の利便性(休日夜間の検診、バス送迎等)	①対象者を全員を把握できているか ②対象者全員に受診勧奨を実施しているか/未受診者に再受診勧奨を実施しているか/検診の重要性を十分に伝えているか ③受診者の利便性(休日夜間の検診、バス送迎等)	
要精検率	検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標 【要精検者数/受診者数×100】	—	対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要		①受診者が有病率の高い集団に偏っている ②偽陽性が多い	①有症状者が検診を受けていないか(有症状者は診療を受けるよう指導する) ②各検診機関の要精検の判定基準は適切か(陽性反応適中度が低い場合、本来は精検を要精検と判定している可能性がある) ③有症状の低い年齢層に偏っていないか(年齢層、受診歴等) ④各検診機関の要精検の判定基準、検査手技、読影等は適切か	①有症状者が検診を受けていないか(有症状者は診療を受けるよう指導する) ②各検診機関の要精検の判定基準は適切か(陽性反応適中度が低い場合、本来は精検を要精検と判定している可能性がある) ③有症状の低い年齢層に偏っていないか(年齢層、受診歴等) ④各検診機関の要精検の判定基準、検査手技、読影等は適切か	
精検受診率	要精検者が実際に精密検査を受診したかを測る指標 【精検受診者数/要精検者数×100】	胃(エックス線):11.0%以下 大腸:7.0%以下 肺:3.0%以下 乳:11.0%以下 子宮頸部:1.4%以下 ^{*3}	高いことが望ましい(精検受診率が100%近くなければ、がん発見率や陽性反応適中度を適切に評価できない)		①精検受診の有無について未把握が多い ②精検結果の未把握が多い(もし精検を受診しても、その結果が把握できない場合は「精検受診」にカウントされない) ③精検の受診勧奨が適切でない ④精検の提供体制が不十分(キャパシティ、アクセス)	①精検受診の有無を確実に把握できる体制が出来ているか(精検結果の報告・回収ルール) ②受診者に予め「要精検の場合は必ず精検を受けること」を伝え、かつ、全ての要精検者に精検の重要性を十分に伝えているか ③精検受診者の利便性	①精検受診の有無を確実に把握できる体制が出来ているか(精検結果の報告・回収ルール) ②受診者に予め「要精検の場合は必ず精検を受けること」を伝え、かつ、全ての要精検者に精検の重要性を十分に伝えているか ③精検受診者の利便性	
精検未受診率	要精検者が実際に精密検査を受診したかを測る指標 【未受診者数/要精検者数×100】	全て5%以下	低いことが望ましい(精検受診率が100%近くなければ、がん発見率や陽性反応適中度を適切に評価できない)		①精検の受診勧奨が適切でない ②精検の提供体制が不十分(キャパシティ、アクセス)	①精検の受診勧奨が適切でない ②精検の提供体制が不十分(キャパシティ、アクセス)	①受診者に予め「要精検の場合は必ず精検を受けること」を伝え、かつ、全ての要精検者に精検の重要性を十分に伝えているか ②精検受診者の利便性	
精検未把握率	精検受診の有無や精検結果が、適切に把握されたかを測る指標 【未把握者数/要精検者数×100】	全て5%以下 全て10%以下	低いことが望ましい(精検受診の有無や結果がほぼ100%把握できなければ、精検受診率、未受診率、がん発見率、陽性反応適中度を適切に評価できない)		①精検受診の有無について未把握が多い ②精検結果の未把握が多い(もし精検を受診しても、その結果が把握できない場合は「精検受診」にカウントされない)	①精検受診の有無について未把握が多い ②精検結果の未把握が多い(もし精検を受診しても、その結果が把握できない場合は「精検受診」にカウントされない)	①精検受診の有無を確実に把握できる体制が出来ているか(精検結果の報告・回収ルール) ②精検結果を確実に把握できる体制が出来ているか(精検結果の報告・回収ルール)	
がん発見率	その検診において、適正な頻度でがんを見つけたかを測る指標 【がんであった者/受診者数×100】	胃(エックス線):0.11%以上 大腸:0.13%以上 肺:0.03%以上 乳:0.23%以上 子宮頸部:0.05%以上 ^{*4}	基本的に高いことが望ましいが、極端に高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要		受診者が有病率の高い集団に偏っている	①受診者が有病率の高い集団に偏っている ②偽陰性が多い	①有症状者が検診を受けていないか(有症状者は診療を受けるよう指導する)、有病率の高い年齢層、有病率の高い初回受診者に偏っていないか ①有病率の低い年齢層に偏っていないか(年齢層、受診歴等) ②各検診機関の要精検の判定基準、検査手技、読影等は適切か	
陽性反応適中度	その検診において、効率ががんが発見されたかを測る指標(検診の精度を測る指標) 【がんであった者/要精検者数×100】	胃(エックス線):1.0%以上 大腸:1.9%以上 肺:1.3%以上 乳:2.5%以上 子宮頸部:4.0%以上 ^{*4}	基本的に高いことが望ましいが、極端に高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要		受診者が有病率の高い集団に偏っている	①受診者が有病率の高い集団に偏っている ②偽陰性が多い	①有症状者が検診を受けていないか(有症状者は診療を受けるよう指導する)、有病率の高い年齢層、有病率の高い初回受診者に偏っていないか ①有病率の低い年齢層に偏っていないか(年齢層、受診歴等) ②各検診機関の要精検の判定基準、検査手技、読影等は適切か 高い場合、本来は精検が不要な者を要精検と判定している可能性がある	

※1 出典：厚生労働省「がん検診事業の評価に関する委員会報告書」(今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について(平成20年3月))。ただし、受診率の目標値については、厚生労働省が「がん検診推進基本計画(平成30年3月)」
なお、胃がん内視鏡検診においては実時時点(目標値・許容値)は示されておりません。

※2 令和5年度にはがん対策推進基本計画の改正(第4期)及び厚生労働省報告書の改訂が予定されており、数値目標の変更が検討されています。

※3 がん検診による死亡数を減少させるためには、検診の質を高く保つことが第一の条件です。その上で受診率を上げていく必要があります。つまり、受診率を上げることも重要ですが、それ以上にその他の指標(特に精検受診率)の改善が重要です。

※4 子宮頸がん検診の要精検率は近年増加傾向にあり、国の許容値を満たしていない自治体が増えています。要精検率増加の一因として、国の補助事業である無料クーポン券導入(2009年)の影響が考えられます。無料クーポン券の配布対象は原則はじめて受診する人で、この事業の開始後に若年の受診者が増えていることから、近年罹患率の高い集団が多く受診するようになり、その結果、要精検率が増加傾向にあることが考えられます。

※5 「地域保健・健康増進事業報告」の様式が改訂され、平成25年度までの報告では「上皮内がん」として計上されていたものが、平成26年度以降の報告では「CIN3」として計上されるようになりました。

そのため、以前と比較してがん発見率と陽性反応適中度が減少しています。このような背景をふまえて、今後検診結果をふまえて、今後国の許容値の見直しが行われる予定です。

※6 陽性反応適中度とがん発見率は、「精検受診率が低い場合」、「自治体の精検結果の把握状況に偏りがある場合」は正確に評価できません。

令和4年度がん検診市区町村子エックリス(CL)の全項目※の実施率(都道府県順位表)集団検診

胃がん検診 エックス線検査 (52項目)			胃がん検診 内視鏡検査 (52項目)			大腸がん検診 (52項目)			肺がん検診 (51項目)			乳がん検診 (55項目)			子宮頸がん検診 (55項目)		
順位	都道府県名	CL実施率 (%)	順位	都道府県名	CL実施率 (%)	順位	都道府県名	CL実施率 (%)	順位	都道府県名	CL実施率 (%)	順位	都道府県名	CL実施率 (%)	順位	都道府県名	CL実施率 (%)
-	全国	74.2	-	全国	81.8	-	全国	82.0	-	全国	82.4	-	全国	82.2	-	全国	82.2
1	三重県	94.2	1	石川県	98.6	1	福井県	98.6	1	石川県	99.2	1	福井県	98.5	1	福井県	98.5
2	山形県	92.9	2	福井県	98.4	2	新潟県	97.8	2	福井県	99.0	2	新潟県	98.0	2	新潟県	98.0
3	香川県	90.4	3	新潟県	97.5	3	石川県	97.0	3	新潟県	97.8	3	新潟県	96.6	3	栃木県	96.6
4	長野県	89.4	4	山形県	97.1	4	栃木県	96.5	4	山形県	96.8	4	山形県	96.4	4	山形県	96.4
5	秋田県	88.5	5	秋田県	96.2	5	山形県	95.7	5	山形県	96.7	5	石川県	96.4	4	石川県	96.4
6	宮城県	88.5	6	香川県	95.1	6	香川県	94.9	6	香川県	95.4	6	香川県	95.4	6	香川県	95.4
7	岐阜県	86.8	7	宮城県	94.6	7	宮城県	93.9	7	宮城県	93.4	7	徳島県	93.4	7	徳島県	93.4
8	福岡県	86.5	8	宮城県	92.5	8	滋賀県	92.8	8	滋賀県	92.9	8	宮城県	92.6	8	宮城県	92.6
9	大分県	86.5	9	徳島県	92.3	9	佐賀県	92.4	9	佐賀県	92.6	9	茨城県	92.2	9	茨城県	92.2
10	埼玉県	80.8	10	徳島県	92.3	10	徳島県	91.9	10	宮城県	92.2	10	佐賀県	92.2	9	佐賀県	92.2
11	埼玉県	80.8	11	滋賀県	92.0	11	茨城県	91.5	11	茨城県	92.1	11	宮城県	91.9	11	宮城県	91.9
12	東京都	74.2	12	和歌山県	91.9	12	和歌山県	91.5	12	和歌山県	91.9	12	和歌山県	91.8	12	和歌山県	91.8
13	和歌山県	65.4	13	茨城県	91.7	13	青森県	91.0	13	青森県	91.9	13	群馬県	91.5	13	群馬県	91.5
14	山梨県	63.5	14	群馬県	91.2	14	宮城県	91.0	14	群馬県	91.7	14	滋賀県	91.2	14	滋賀県	91.2
15	富山県	61.5	15	青森県	91.1	15	高知県	90.9	15	青森県	91.1	15	青森県	90.8	15	青森県	90.8
16	熊本県	57.5	16	熊本県	90.5	16	群馬県	90.5	16	高知県	90.9	16	高知県	90.6	16	愛媛県	90.6
17	北海道	56.5	17	愛媛県	89.4	17	愛媛県	90.4	17	愛媛県	90.6	17	愛媛県	90.3	17	高知県	90.3
18	北海道	50.0	18	沖縄県	88.6	18	鳥取県	90.0	18	鳥取県	90.0	18	鳥取県	89.5	18	鳥取県	89.5
19	千葉県	-	19	鳥取県	86.9	19	鹿児島県	86.1	19	鹿児島県	87.6	19	秋田県	87.2	19	秋田県	87.2
20	千葉県	-	20	岐阜県	86.1	20	岐阜県	86.0	20	岐阜県	87.2	20	岐阜県	86.4	20	岐阜県	86.4
21	千葉県	-	21	宮城県	86.0	21	岩手県	85.3	21	岐阜県	86.9	21	岡山県	86.0	21	岡山県	86.0
22	千葉県	-	22	岡山県	85.7	22	岡山県	85.3	22	大阪府	86.4	22	鹿児島県	86.0	21	鹿児島県	86.0
23	千葉県	-	23	千葉県	85.0	23	千葉県	85.1	23	鹿児島県	86.1	23	岩手県	85.8	23	岩手県	85.8
24	千葉県	-	24	鹿児島県	84.5	24	岩手県	84.6	24	岩手県	86.0	24	岩手県	85.8	23	大阪府	85.8
25	千葉県	-	25	秋田県	83.2	25	奈良県	83.6	25	奈良県	85.9	25	千葉県	84.1	25	奈良県	84.1
26	千葉県	-	26	奈良県	83.2	26	秋田県	82.6	26	秋田県	83.5	26	千葉県	83.5	26	千葉県	83.5
27	千葉県	-	27	岡山県	81.2	27	東京都	80.9	27	静岡県	82.8	27	静岡県	82.4	27	静岡県	82.4
28	千葉県	-	28	埼玉県	80.6	28	静岡県	80.8	28	埼玉県	82.1	28	愛知県	81.6	28	愛知県	81.6
29	千葉県	-	29	東京都	80.0	29	広島県	80.1	29	東京都	81.4	29	広島県	81.5	29	広島県	81.5
30	千葉県	-	30	三重県	79.8	30	長崎県	80.0	30	愛知県	81.3	30	三重県	81.2	30	三重県	81.2
31	千葉県	-	31	愛知県	79.7	31	愛知県	79.7	31	愛知県	81.0	31	長崎県	81.1	31	長崎県	81.1
32	千葉県	-	32	大分県	79.6	32	埼玉県	79.6	32	埼玉県	80.8	32	埼玉県	80.5	32	埼玉県	80.5
33	千葉県	-	33	静岡県	79.5	33	静岡県	79.6	33	三重県	80.3	33	鳥取県	80.5	32	鳥取県	80.5
34	千葉県	-	34	長崎県	79.1	34	大分県	79.3	34	大分県	80.0	34	大分県	80.3	34	大分県	80.3
35	千葉県	-	35	鳥取県	78.3	35	鳥取県	78.3	35	鳥取県	78.9	35	長野県	77.8	35	長野県	77.8
36	千葉県	-	36	福岡県	77.6	36	兵庫県	77.5	36	兵庫県	77.5	36	兵庫県	77.8	35	福岡県	77.8
37	千葉県	-	37	兵庫県	77.3	37	福岡県	77.1	37	兵庫県	77.4	37	兵庫県	77.6	35	福岡県	77.6
38	千葉県	-	38	長野県	76.7	38	京都府	75.8	38	福岡県	77.3	38	熊本県	74.5	37	熊本県	74.5
39	千葉県	-	39	熊本県	75.0	39	長野県	75.6	39	熊本県	74.3	39	東京都	73.1	38	熊本県	73.1
40	千葉県	-	40	京都府	71.1	40	熊本県	74.9	40	熊本県	74.3	39	東京都	73.1	39	東京都	73.1
41	千葉県	-	41	山口県	70.6	41	熊本県	74.9	40	山口県	71.6	40	山梨県	72.7	40	山梨県	72.7
42	千葉県	-	42	北海道	70.3	42	山口県	72.2	41	山口県	71.4	41	北海道	72.4	41	山口県	72.4
43	千葉県	-	43	山梨県	70.2	43	北海道	70.5	42	北海道	69.9	42	北海道	71.9	42	北海道	71.9
44	千葉県	-	44	福島県	69.8	44	山梨県	70.2	43	山梨県	68.7	43	福島県	71.6	43	福島県	71.6
45	千葉県	-	45	福島県	68.3	45	福島県	70.0	44	福島県	68.4	44	富山県	69.1	44	富山県	69.1
46	千葉県	-	46	富山県	68.3	46	富山県	68.5	45	富山県	68.5	45	富山県	68.2	45	富山県	68.2
47	千葉県	-	47	沖縄県	65.6	47	沖縄県	67.9	46	神奈川県	68.9	46	神奈川県	65.8	46	沖縄県	65.8
47	千葉県	-	47	神奈川県	64.2	47	神奈川県	66.9	47	沖縄県	66.9	47	沖縄県	65.6	47	京都府	62.9

順位	都道府県名	CL実施率 (%)
-	全国	82.5
1	福井県	98.6
2	新潟県	97.9
3	石川県	96.2
4	山形県	95.9
5	香川県	94.9
6	宮城県	94.9
7	岐阜県	94.8
8	滋賀県	92.5
9	滋賀県	92.3
10	埼玉県	80.8
11	佐賀県	80.8
12	和歌山県	74.2
13	青森県	65.4
14	群馬県	63.5
15	愛媛県	61.5
16	高知県	57.5
17	徳島県	56.5
18	鳥取県	89.8
19	鹿児島県	87.0
20	千葉県	86.9
21	千葉県	86.1
22	大阪府	86.1
24	岡山県	85.8
25	東京都	85.6
26	千葉県	83.9
27	秋田県	83.2
28	静岡県	81.8
29	埼玉県	81.6
30	広島県	81.3
31	長崎県	80.3
32	愛知県	80.0
33	大分県	79.8
34	三重県	79.6
35	長野県	78.8
35	鳥取県	78.8
37	兵庫県	77.7
38	福岡県	77.6
39	熊本県	76.2
40	京都府	74.2
41	山梨県	70.7
42	北海道	70.5
43	山口県	70.1
44	福島県	69.6
45	富山県	68.6
46	沖縄県	68.1
47	神奈川県	64.1

順位	都道府県名	CL実施率 (%)
-	全国	82.0
1	福井県	98.6
2	新潟県	97.8
3	石川県	97.0
4	山形県	96.5
5	秋田県	95.7
6	香川県	94.9
7	宮城県	93.9
8	滋賀県	92.8
9	佐賀県	92.4
10	徳島県	91.9
11	茨城県	91.5
12	和歌山県	91.5
13	青森県	91.0
14	群馬県	91.0
15	高知県	90.9
16	群馬県	90.5
17	愛媛県	90.4
18	鳥取県	90.0
19	鹿児島県	86.1
20	岐阜県	86.0
21	大阪府	85.3
21	岡山県	85.3
23	千葉県	85.1
24	岩手県	84.6
25	奈良県	84.6
26	秋田県	82.6
27	東京都	80.9
28	静岡県	80.8
29	広島県	80.1
30	長崎県	80.0
31	愛知県	79.7
32	埼玉県	79.6
32	三重県	79.6
34	大分県	79.3
35	鳥取県	78.3
36	兵庫県	77.5
37	福岡県	77.1
38	京都府	75.8
39	長野県	75.6
40	熊本県	74.9
41	山口県	72.2
42	北海道	70.5
43	山梨県	70.2
44	福島県	70.0
45	富山県	68.5
46	神奈川県	67.9
47	沖縄県	66.9

順位	都道府県名	CL実施率 (%)
-	全国	82.5
1	福井県	98.6
2	新潟県	97.9
3	石川県	96.2
4	山形県	95.9
5	香川県	94.9
6	宮城県	94.9
7	岐阜県	94.8
8	滋賀県	92.5
9	滋賀県	92.3
10	埼玉県	80.8
11	佐賀県	80.8
12	和歌山県	74.2
13	青森県	65.4
14	群馬県	63.5
15	愛媛県	61.5
16	高知県	57.5
17	徳島県	56.5
18	鳥取県	89.8
19	鹿児島県	87.0
20	千葉県	86.9
21	千葉県	86.1
22	大阪府	86.1
24	岡山県	85.8
25	東京都	85.6
26	千葉県	83.9
27	秋田県	83.2
28	静岡県	81.8
29	埼玉県	81.6
30	広島県	81.3
31	長崎県	80.3
32	愛知県	80.0
33	大分県	79.8
34	三重県	79.6
35	長野県	78.8
35	鳥取県	78.8
37	兵庫県	77.7
38	福岡県	77.6
39	熊本県	76.2
40	京都府	74.2
41	山梨県	70.7
42	北海道	70.5
43	山口県	70.1
44	福島県	69.6
45	富山県	68.6
46	沖縄県	68.1
47	神奈川県	64.1

順位	都道府県名	CL実施率 (%)
-	全国	82.0
1	福井県	98.6
2	新潟県	97.8
3	石川県	97.0
4	山形県	96.5
5	秋田県	95.7
6	香川県	94.9
7	宮城県	93.9
8	滋賀県	92.8
9	佐賀県	92.4
10	徳島県	91.9
11	茨城県	91.5
12	和歌山県	91.5
13	青森県	91.0
14	群馬県	91.0
15	高知県	90.9
16	群馬県	90.5
17	愛媛県	90.4
18	鳥取県	90.0
19	鹿児島県	86.1
20	岐阜県	86.0
21	大阪府	85.3
21	岡山県	85.3
23	千葉県	85.1
24	岩手県	84.6
25	奈良県	84.6
26	秋田県	82.6
27	東京都	80.9

令和4年度がん検診市区町村子エックリス(CI)の全項目※の実施率(都道府県順位表)個別検診

胃がん検診 エックス線検査 (52項目)			胃がん検診 内視鏡検査 (52項目)			大腸がん検診 (52項目)		
順位	都道府県名	CI実施率 (%)	順位	都道府県名	CI実施率 (%)	順位	都道府県名	CI実施率 (%)
-	全国	73.2	-	全国	74.3	-	全国	72.7
1	宮城県	100	1	宮城県	98.5	1	福井県	98.5
2	福井県	98.5	2	福井県	97.6	2	石川県	95.1
3	新潟県	98.1	3	新潟県	94.1	3	香川県	93.6
4	石川県	95.2	4	香川県	93.2	4	滋賀県	90.8
5	香川県	92.1	5	群馬県	91.7	5	鳥根県	90.7
6	滋賀県	91.8	6	徳島県	90.9	6	徳島県	90.7
7	群馬県	91.7	7	高知県	90.0	7	群馬県	89.7
8	高知県	90.4	8	宮城県	88.5	8	和歌山県	88.0
9	和歌山県	88.4	9	徳島県	89.0	9	高知県	85.8
10	山形県	88.1	10	愛媛県	88.2	10	佐賀県	85.6
11	徳島県	87.7	11	高知県	87.1	11	大阪府	85.1
12	宮城県	87.5	12	山形県	84.9	12	滋賀県	84.9
13	東京都	85.6	13	大阪府	83.6	13	山形県	84.0
14	岐阜県	85.4	14	岐阜県	83.4	14	岐阜県	83.5
15	大阪府	84.6	15	鹿児島県	83.1	15	青森県	83.4
16	鳥根県	84.0	16	岡山県	82.9	16	岡山県	82.7
17	茨城県	83.2	17	鳥根県	82.7	17	鹿児島県	82.0
18	岡山県	82.3	18	東京都	82.6	18	千葉県	80.0
19	長崎県	81.3	19	山形県	81.4	19	茨城県	79.7
20	鹿児島県	80.8	20	茨城県	81.0	20	静岡県	80.9
21	青森県	78.8	21	青森県	78.8	21	福岡県	77.8
22	静岡県	78.6	22	奈良県	78.7	22	静岡県	77.0
23	千葉県	78.2	23	長崎県	78.1	23	宮城県	76.5
24	福岡県	77.5	24	大分県	78.0	24	愛知県	76.5
25	愛知県	77.3	25	宮城県	77.7	25	埼玉県	76.6
26	奈良県	75.3	26	静岡県	77.3	26	鳥取県	75.1
27	鳥取県	75.2	27	愛知県	76.5	27	奈良県	74.7
28	大分県	75.0	28	埼玉県	73.9	28	兵庫県	72.4
29	佐賀県	74.0	29	広島県	73.4	29	広島県	71.4
30	栃木県	73.7	30	兵庫県	72.9	30	岩手県	70.6
31	広島県	72.8	31	鳥取県	72.6	31	大分県	70.3
32	埼玉県	72.3	32	福岡県	68.1	32	三重県	69.7
33	兵庫県	72.3	33	青森県	67.3	33	神奈川県	66.7
34	岩手県	69.2	34	三重県	67.1	34	福島県	65.9
35	三重県	67.8	35	福岡県	67.1	35	京都府	64.4
36	秋田県	67	36	長野県	66.8	36	大分県	67.6
37	長野県	65.9	37	富山県	63.5	37	神奈川県	67.2
38	神奈川県	65.2	38	山口県	63.2	38	長野県	65.6
39	福島県	64.1	39	沖縄県	63.0	39	北海道	65.1
40	山口県	63.6	40	栃木県	61.5	40	富山県	64.7
41	富山県	63.1	41	北海道	60.1	41	山口県	64.4
42	沖縄県	62.4	42	神奈川県	59.9	42	福島県	64.0
43	北海道	59.5	43	京都府	58.6	43	熊本県	62.7
44	山梨県	58.3	44	熊本県	58.8	44	愛媛県	61.9
45	熊本県	56.6	45	山梨県	58.4	45	秋田県	61.5
46	愛媛県	52.3	46	岩手県	-	46	京都府	-
47	京都府	15.4	47	秋田県	-	47	山梨県	58.3

乳がん検診 (55項目)		
順位	都道府県名	CI実施率 (%)
-	全国	75.3
1	福井県	98.8
2	新潟県	97.8
3	佐賀県	97.3
4	石川県	96.0
5	山形県	91.6
6	香川県	91.2
7	群馬県	91.0
8	徳島県	89.9
9	宮城県	89.2
10	和歌山県	88.7
11	高知県	88.3
12	滋賀県	87.7
13	東京都	84.4
14	茨城県	84.3
14	鳥根県	84.3
16	大阪府	84.0
17	岡山県	83.9
18	岐阜県	83.8
19	青森県	83.6
20	静岡県	80.9
21	岩手県	80.2
22	千葉県	80.0
23	鹿児島県	79.7
24	青森県	79.2
25	長崎県	78.5
26	秋田県	78.3
27	栃木県	77.5
28	奈良県	77.5
29	愛知県	77.3
30	愛媛県	75.9
31	埼玉県	75.8
32	京都府	73.4
33	鳥取県	72.6
34	兵庫県	71.6
35	山梨県	71.5
36	三重県	68.3
37	山口県	66.7
38	沖縄県	66.0
39	福島県	65.5
40	大分県	64.9
41	神奈川県	63.9
42	福岡県	63.3
43	富山県	62.6
44	長野県	61.9
45	山梨県	61.4
46	熊本県	60.3
47	北海道	59.2

子宮頸がん検診 (55項目)		
順位	都道府県名	CI実施率 (%)
-	全国	75.7
1	福井県	98.5
2	新潟県	97.6
3	石川県	94.5
4	宮城県	92.9
5	佐賀県	92.2
6	香川県	91.4
7	山形県	91.0
8	徳島県	90.2
9	群馬県	89.5
10	和歌山県	88.9
11	高知県	88.1
12	滋賀県	86.5
13	茨城県	86.4
14	岩手県	84.0
15	岡山県	83.3
16	大阪府	82.9
17	鳥根県	82.5
18	東京都	82.1
19	青森県	82.0
20	岐阜県	82.0
21	宮城県	81.6
22	静岡県	80.4
23	鹿児島県	79.8
24	長崎県	78.5
25	千葉県	78.4
26	秋田県	77.5
27	栃木県	77.5
28	奈良県	77.5
29	愛知県	76.4
30	埼玉県	75.6
31	鳥取県	73.4
32	兵庫県	72.3
33	愛媛県	71.9
34	山梨県	71.1
35	山梨県	70.7
36	三重県	70.2
37	京都府	67.8
38	福島県	67.0
39	沖縄県	66.0
40	長野県	65.4
41	大分県	65.1
42	富山県	64.7
43	山口県	64.4
44	神奈川県	62.9
45	福岡県	62.4
46	熊本県	61.4
47	北海道	58.9

※「説明シート」参照

R4 検診機関別がん検診チェックリスト調査票〈胃がん検診〉

1. 受診者への説明(検診の際、あるいはそれに先立って受診者全員に対して行う説明)	R2年度		R3年度			R4年度		
	A	B	A	B	D	A	B	D
(1) 要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があることを明確に説明しましたか	○	○	○	○	-	○	○	-
(2) 精密検査の方法について説明しましたか (胃部エックス線検査の精密検査としては胃内視鏡検査を行うこと、及び胃内視鏡検査の概要など。胃内視鏡検査の精密検査としては生検または胃内視鏡検査の再検査を行うこと、及び生検の概要など)	○	○	○	○	-	○	○	-
(3) 精密検査結果は市区町村等へ報告すること、また他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、検診機関がその結果を共有することを説明しましたか [※] <small>※精密検査結果は、個人の同意がなくても、市区町村や検診機関に対して提供可能(個人情報保護法の例外事項として認められています)</small>	○	○	○	○	-	○	○	-
(4) 検診の有効性(胃部エックス線検査および胃内視鏡検査による胃がん検診は、死亡率減少効果があること)に加えて、がん検診で必ずがんを見つげられるわけではないこと(偽陰性)、がんがなくてもがん検診の結果が「陽性」となる場合もあること(偽陽性)など、がん検診の欠点について説明しましたか	○	○	○	○	-	○	○	-
(5) 検診受診の継続(隔年 [※])が重要であること、また、症状がある場合は医療機関の受診が重要であることを説明しましたか <small>※ただし当分の間、胃部エックス線検査については、年1回受診しても差し支えありません。</small>	○	○	○	○	-	○	○	-
(6) 胃がんがわが国のがん死亡の上位に位置することを説明しましたか	○	○	○	○	-	○	○	-

2. 問診、胃部エックス線撮影の精度管理	R2年度		R3年度			R4年度		
	A	B	A	B	D	A	B	D
(1) 検診項目は、問診に加え、胃部エックス線検査 [※] としましたか <small>※受診者が、胃部エックス線検査または胃内視鏡検査のうち、胃部エックス線検査を選択した場合</small>	○	○	○	○	○	○	○	○
(2) 問診は現在の症状、既往歴、家族歴、過去の検診の受診状況等を聴取しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○
(3) 問診記録は少なくとも5年間は保存していますか	○	○	○	○	○	○	○	○
(4) 胃部エックス線撮影の機器の種類を仕様書 [※] で明らかにし、撮影機械の基準は日本消化器がん検診学会の定める仕様基準 ^{注1} を満たしていましたか <small>※仕様書とは委託元市区町村との契約時に提出する書類のことで(仕様書以外でも何らかの形で委託元市区町村に報告していればよい)。</small>	○	○	○	○	-	○	○	-
(5) 胃部エックス線撮影の枚数は最低8枚 [※] とし、仕様書にも撮影枚数を明記していましたか ^{※※} <small>※7枚の場合は本調査では×と回答してください。 ※※貴施設(もしくは医師会等)が仕様書に最低8枚と明記し、かつ、貴施設が仕様書内容を遵守している場合に○と回答してください。</small>	○	○	○	○	-	○	○	-
(6) 胃部エックス線撮影の体位及び方法は日本消化器がん検診学会の方式 ^{注1} によるものとし、仕様書に体位及び方法を明記していましたか <small>※貴施設(もしくは医師会等)が仕様書に明記した撮影方法・体位が学会方式に準じており、かつ、貴施設が仕様書内容を遵守している場合に○と回答してください。</small>	○	○	○	○	-	○	○	-
(7) 胃部エックス線撮影において、造影剤の使用に当たっては、その濃度を適切に(180~220W/√%の高濃度バリウム、120~150mlとする)保つとともに、副作用等の事故に注意していましたか <small>※造影剤の濃度管理及び副作用防止体制整備の両方が実施されていれば○と回答してください。</small>	○	○	○	○	-	○	○	-
(8) 胃部エックス線撮影に携わった技師は、日本消化器がん検診学会が認定する胃がん検診専門技師の資格を取得していましたか [※] <small>※撮影技師が不在で医師が撮影している場合は回答不要です。回答欄にハイフン(-)を入力してください(空欄にしないでください)。</small>	○	○	○	○	-	○	○	-
(9) 自治体や医師会等から求められた場合、胃部エックス線撮影に携わった技師の全数と日本消化器がん検診学会認定技師数を報告しましたか [※] <small>※撮影技師が不在で、医師が撮影している場合、また今年度特に報告を求められなかった場合は回答不要です。回答欄にハイフン(-)を入力してください(空欄にしないでください)。</small>	○	○	○	○	-	○	○	-
(10) 胃内視鏡検査の機器や医師・技師の条件は、日本消化器がん検診学会による胃内視鏡検診 マニュアル ^{注2} を参考にし、仕様書に明記しているか	-	-	-	-	○	-	-	○

3. 胃部エックス線読影の精度管理	R2年度		R3年度			R4年度		
	A	B	A	B	D	A	B	D
(1)自治体や医師会等から求められた場合、読影医全数と日本消化器がん検診学会認定医数もしくは総合認定医数を報告しましたか	○	○	○	○	-	○	○	-
(2)読影は二重読影とし、原則として判定医の一人は日本消化器がん検診学会認定医もしくは総合認定医でしたか	○	○	○	○	-	○	○	-
(3)必要に応じて過去に撮影したエックス線写真と比較読影していましたか	○	○	○	○	-	○	○	-
(4)胃部エックス線画像は少なくとも5年間は保存していますか	○	○	○	○	-	○	○	-
(5)胃部エックス線による検診結果は少なくとも5年間は保存していますか	○	○	○	○	-	○	○	-

4. 胃内視鏡画像の読影の精度管理	R2年度		R3年度			R4年度		
	A	B	A	B	D	A	B	D
(1)胃内視鏡画像の読影に当たっては、日本消化器がん検診学会による胃内視鏡検診マニュアル ^{注2} を参考にしているか	-	-	-	-	x	-	-	○
(2)胃内視鏡検診運営委員会(仮称)、もしくはそれに相当する組織が設置する読影委員会により、ダブルチェック [※] を行っているか ※ダブルチェックとは、内視鏡検査以外の読影委員会のメンバーが内視鏡画像のチェックを行うことである。ただし、専門医 [※] が複数勤務する医療機関で検診を行う場合には、施設内での相互チェックをダブルチェックの代替方法とすることができる ^{注2} ※専門医の条件(資格)は下記(3)を参照	-	-	-	-	○	-	-	○
(3)読影委員会のメンバーは、日本消化器がん検診学会認定医、あるいは日本消化器内視鏡学会専門医の資格を取得しているか	-	-	-	-	○	-	-	○
(4)胃内視鏡画像は少なくとも5年間は保存しているか	-	-	-	-	x	-	-	○
(5)胃内視鏡検査による検診結果は少なくとも5年間は保存しているか	-	-	-	-	○	-	-	○

5. システムとしての精度管理(プロセス指標値の解説は別紙解説資料をご参照ください)	R2年度		R3年度			R4年度		
	A	B	A	B	D	A	B	D
(1)受診者への結果の通知・説明、またはそのための市区町村への結果報告は、遅くとも検診受診後4週間以内 [※] になされましたか ※市区町村を介して受診者に結果を通知する場合は、市区町村に遅くとも4週間以内に通知していれば○です。	○	○	○	○	○	○	○	○
(2)がん検診の結果及びそれに関わる情報 [※] について、市区町村や医師会等から求められた項目を全て報告しましたか ※地域保健・健康増進事業報告(注2)に必要な情報を指します。	○	○	○	○	○	○	○	○
(3)精密検査方法及び、精密検査(治療)結果 [※] (内視鏡診断や生検結果、内視鏡的治療または外科手術所見と病理組織検査結果など)について、市区町村や医師会から求められた項目 [※] の積極的な把握に努めましたか ※地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を指します。 ※本調査では、令和元年度中に依頼された項目について、把握したかどうかを回答してください。	○	○	○	○	○	○	○	○
(4)撮影や読影向上のための検討会や委員会 [※] (自施設以外の胃がん専門家 [※] を交えた会)を設置していますか。もしくは、市区町村や医師会等が設置した検討会や委員会に参加しましたか ※胃内視鏡では、胃内視鏡検診運営委員会(仮称)、もしくはそれに相当する組織を指します。 ※当該検診機関に雇用されていない胃がん検診専門家を指します。	○	○	○	○	○	○	○	○
(5)自施設の検診結果について、要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度等のプロセス指標値を把握しましたか [※] ※貴施設単独で算出できない指標値は、自治体等と連携して把握してください。また自治体等が集計した指標値を後から把握することも可能です。	○	x	○	x	-	○	○	-
(6)プロセス指標値やチェックリストの遵守状況に基づいて、自施設の精度管理状況を評価し、改善に向けた検討を行っていますか。あるいは、都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会、市区町村、医師会等から指導・助言等があった場合は、それを参考にして改善に努めましたか	○	○	○	○	-	○	○	-

注1 胃部エックス線撮影法及び撮影機器の基準は、日本消化器がん検診学会発行「新・胃X線撮影法ガイドライン改訂版(2011)」を参照

注2 日本消化器がん検診学会発行「対策型検診のための胃内視鏡検診マニュアル2017年度版」を参照

R4検診機関別がん検診チェックリスト調査票＜肺がん検診＞

1. 受診者への説明(検診の際、あるいはそれに先立って受診者全員に対して行う説明)	R2年度			R3年度			R4年度		
	A	B	D	A	B	D	A	B	D
(1)要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があること(喀痰細胞診で要精密検査となった場合は、喀痰細胞診の再検は不適切であることなど)を明確に説明しましたか	○	○	-	○	○	-	○	○	-
(2)精密検査の方法について説明しましたか (精密検査はCT検査や気管支鏡検査により行うこと、及びこれらの検査の概要など)	○	○	-	○	○	-	○	○	-
(3)精密検査結果は市区町村等へ報告すること、また他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、検診機関がその結果を共有することを説明しましたか※ ※精密検査結果は、個人の同意がなくても、市区町村や検診機関に対して提供可能(個人情報保護法の例外事項として認められています)	○	○	-	○	○	-	○	○	-
(4)検診の有効性(胸部エックス線検査及び喫煙者への喀痰細胞診による肺がん検診は、死亡率減少効果があること)に加えて、がん検診で必ずがんが見つけれられるわけではないこと(偽陰性)、がんがなくてもがん検診の結果が「陽性」となる場合もあること(偽陽性)など、がん検診の欠点について説明しましたか	○	○	-	○	○	-	○	○	-
(5)検診受診の継続(毎年)が重要であること、また、症状がある場合は医療機関の受診が重要であることを説明しましたか	○	○	-	○	○	-	○	○	-
(6)肺がんがわが国のがん死亡の上位に位置することを説明しましたか	○	○	-	○	○	-	○	○	-
(7)禁煙及び防煙指導等、肺がんに関する正しい知識の啓発普及を行いましたか	○	○	-	○	○	-	○	○	-

2. 質問(問診)、及び撮影の精度管理	R2年度			R3年度			R4年度		
	A	B	D	A	B	D	A	B	D
(1)検診項目は、質問(医師が自ら対面で行う場合は問診)、胸部エックス線検査、及び質問の結果、50歳以上で喫煙指数(1日本数×年数)が600以上だった者(過去における喫煙者を含む)への喀痰細胞診としましたか※ ※質問は必ずしも対面による聴取で実施する必要はなく、受診者に自記式の質問用紙を記載させることをもって代えることができます。	○	○	-	○	○	-	○	○	-
(2)質問(問診)では喫煙歴、妊娠の可能性の有無を必ず聴取し、かつ、過去の検診の受診状況等を聴取しましたか。また最近6ヶ月以内の血痰など自覚症状のある場合には、検診ではなくすみやかに専門機関を受診し、精査を行うように勧めましたか※ ※有症状者がいなかった場合は、診療へ誘導するルールが予めあれば○と回答してください。	○	○	-	○	○	-	○	○	-
(3)質問(問診)記録は少なくとも5年間は保存していますか	○	○	-	○	○	-	○	○	-
(4)肺がん検診に適切な胸部エックス線撮影、すなわち、放射線科医または肺病診療に携わる医師による胸部エックス線の画質の評価と、それに基づく指導を行いましたか※ ²¹	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(5)撮影機器の種類(直接・間接撮影、デジタル方式※)、フィルムサイズ、モニタ読影の有無を仕様書※に明記し、日本肺癌学会が定める、肺がん検診として適切な撮影機器・撮影方法で撮影しましたか※ ²² ※デジタル撮影の場合、日本肺癌学会が定める画像処理法を用いることを指します。 ※※仕様書とは委託元市区町村との契約時に提出する書類のことを指します。(仕様書以外でも何らかの形で委託元市区町村に報告していればよい) ・真施設(もしくは医師会等)が仕様書に明記した撮影機器・撮影方法が学会の方針に準じており、かつ、真施設が仕様書内容を遵守している場合に○と回答してください。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(6)胸部エックス線検査に係る必要な機器及び設備を整備するとともに、機器の日常点検等の管理体制を整備しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(7)集団検診を実施する検診機関は、1日あたりの実施可能人数を仕様書等に明記しましたか※ ※個別検診及び集団検診において病院や診療所が会場に指定されている場合は不要	○	○	-	○	○	-	○	○	-
(8)事前に胸部エックス線写真撮影を行う診療放射線技師に対して指示をする責任医師、及び緊急時や必要時に対応する医師などを明示した計画書を作成し、市区町村に提出しましたか※ ※個別検診では回答不要です。 また集団検診においても、医師の立ち会いの下で撮影している場合や、医師が撮影している場合は回答不要です。 回答欄にハイフン(-)を入力してください(空欄にしないでください)。	○	-	-	○	-	-	○	-	-
(9)緊急時や必要時に医師に連絡できる体制を整備していましたか※ ※個別検診では回答不要です。 また集団検診においても、医師立ち会いの下で撮影している場合や、医師が撮影している場合は回答不要です。 回答欄にハイフン(-)を入力してください(空欄にしないでください)。	○	-	-	○	-	-	○	-	-
(10)胸部エックス線写真撮影時や緊急時のマニュアルを整備していましたか※ ※個別検診では回答不要です。 また集団検診においても、医師立ち会いの下で撮影している場合や、医師が撮影している場合は回答不要です。 回答欄にハイフン(-)を入力してください(空欄にしないでください)。	○	-	-	○	-	-	○	-	-
(11)検診に従事する診療放射線技師が必要な教育・研修を受ける機会を確保しましたか※ ※個別検診では回答不要です。 また集団検診においても、医師立ち会いの下で撮影している場合や、医師が撮影している場合は回答不要です。 回答欄にハイフン(-)を入力してください(空欄にしないでください)。	○	-	-	○	-	-	○	-	-

3. 胸部エックス線読影の精度管理	R2年度			R3年度			R4年度		
	A	B	D	A	B	D	A	B	D
(1) 自治体や医師会から求められた場合、読影医の実態(読影医の氏名、生年、所属機関名、専門とする診療科目、呼吸器内科・呼吸器外科・放射線科医師の場合には専門科医師としての経年数、肺癌検診に従事した年数、「肺癌検診に関する症例検討会や読影講習会 ²³⁾ 」の受講の有無等)を報告しましたか				○	○	○	○	○	○
(2) 読影は二重読影を行い、読影に従事する医師は下記の要件 [*] を満たしていますか <small>※読影医の要件 ・第一読影医: 検診機関などで開催される「肺癌検診に関する症例検討会や読影講習会²³⁾」に年1回以上参加していること ・第二読影医: 下記の1)、2)のいずれかを満たすこと 1) 3年間以上の肺癌検診読影経験があり、かつ検診機関などで開催される「肺癌検診に関する症例検討会や読影講習会²³⁾」に年1回以上参加している 2) 5年間以上の呼吸器内科医、呼吸器外科医、放射線科医のいずれかとしての経験があり、かつ検診機関などで開催される「肺癌検診に関する症例検討会や読影講習会²³⁾」に年1回以上参加している</small>				○	○	×	○	○	×
(3) 2名のうちどちらかが「要比較読影」としたものは、過去に撮影した胸部エックス線写真と比較読影しましたか <small>※二重読影の結果、「肺癌検診の手引き」(日本肺癌学会肺癌検診委員会編)の「肺癌検診における胸部X線検査の判定基準と指導区分」の「d」「e」に該当するものを指します。</small>	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(4) 比較読影の方法は、「読影委員会等を設置して読影する(あるいは読影委員会等に委託する)」、「二重読影を行った医師がそれぞれ読影する」、「二重読影を行った医師のうち指導的立場の医師が読影する」のいずれかにより行いましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(5) シャウカステン・読影用モニターなどの機器に関しては、日本肺癌学会が定めた基準等に従いましたか ²²⁾ <small>※モニター読影を行っていない場合は回答不要です。回答欄にハイフン(-)を入力してください(空欄にしないでください)。</small>	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(6) 読影結果の判定は「肺癌検診の手引き」(日本肺癌学会肺癌検診委員会編)の「肺癌検診における胸部X線検査の判定基準と指導区分」によって行いましたか <small>※地域保健・健康増進事業報告の要精査者はE判定のみです。</small>	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(7) 胸部エックス線画像は少なくとも5年間は保存していますか	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(8) 胸部エックス線検査による検診結果は少なくとも5年間は保存していますか	○	○	○	○	○	○	○	○	○

4. 喀痰細胞診の精度管理	R2年度			R3年度			R4年度		
	A	B	D	A	B	D	A	B	D
(1) 細胞診の業務を委託する場合 [*] は、その委託機関(施設名)を仕様書等 ^{**} に明記しましたか <small>※業務を委託していない場合は回答不要です。回答欄にハイフン(-)を入力してください(空欄にしないでください)。 ※仕様書以外でも何らかの形で委託元市区町村に報告していれば可です。 医師会が仕様書を作成している場合は、医師会の仕様書を確認して回答してください。</small>	-	-	○	○	-	○	○	-	○
(2) 採取した喀痰は、2枚以上のスライドに塗抹し、湿固定の上、パパンニコロウ染色を行いましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(3) 固定標本の顕微鏡検査は、公益社団法人日本臨床細胞学会の認定を受けた細胞診専門医と細胞検査士が連携して行いましたか ²⁴⁾	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(4) 同一検体から作成された2枚以上のスライドは、2名以上の技師によりスクリーニングしましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(5) がん発見例は、過去の細胞所見の見直しを行いましたか ^{**} <small>※がん発見例については必ず見直しを実施してください。またがん発見例が無い場合でも、見直し体制があれば○と回答してください。</small>	○	○	○	○	○	×	○	○	×
(6) 標本は少なくとも5年間は保存していますか	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(7) 喀痰細胞診検査結果は少なくとも5年間は保存していますか	○	○	○	○	○	○	○	○	○

5. システムとしての精度管理	R2年度			R3年度			R4年度		
	A	B	D	A	B	D	A	B	D
(1) 受診者への結果の通知・説明、またはそのための市区町村への結果報告は、遅くとも検診受診後4週間以内※になされたか ※市区町村を介して受診者に結果を通知する場合は、市区町村に遅くとも4週間以内に通知していれば○です。	△ (医師会)	○	×	○	○	×	○	○	×
(2) がん検診の結果及びそれに関わる情報※について、市区町村や医師会等から求められた項目を全て報告しましたか ※地域保健・健康増進事業報告(注4)に必要な情報を指します。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(3) 精密検査方法及び、精密検査(治療)結果※(内視鏡診断や生検結果、内視鏡的治療または外科手術所見と病理組織検査結果など)について、市区町村や医師会等から求められた項目※の積極的な把握に努めましたか ※地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を指します。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(4) 検診に従事する医師の胸部画像読影力向上のために「肺がん検診に関する症例検討会や読影講習会※3」を年1回以上開催していますか。もしくは、他施設や都道府県単位、あるいは日本肺癌学会等が主催する胸部画像の読影に関するセミナー・講習会※3を年に1回以上受講させていますか				○	○	○	○	○	○
(5) 内部精度管理として、検診実施体制や検診結果の把握・集計・分析のための委員会(自施設以外の専門家※を交えた会)を年に1回以上開催していますか。もしくは、市区町村や医師会等が設置した同様の委員会に年に1回以上参加していますか ※当該検診機関に雇用されていないがん検診の専門家や肺がん検診の専門家などを指します。				○	○	○	○	○	○
(6) 自施設の検診結果について、要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度等のプロセス指標値を把握しましたか※ ※当該施設単独で算出できない指標値は、自治体等と連携して把握してください。また自治体等が集計した指標値を後から把握することも可能です。	○	×	○	○	×	○	○	×	○
(7) プロセス指標値やチェックリストの遵守状況に基づいて、自施設の精度管理状況を評価し、改善に向けた検討を行っていますか。あるいは、都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会、市区町村、医師会等から指導・助言等があった場合は、それを参考にして改善に努めていますか	○	○	○	○	○	○	○	○	○

注1 肺がん診断に適切な胸部エックス線撮影：日本肺癌学会編、肺癌取扱い規約 改訂第8版(肺がん検診の手引き2020年改訂版)より
背腹二方向撮影を原則とする。適切な胸部エックス線写真は、肺炎、肺野外側縁、横隔膜、肋骨横隔膜角などを含むように正しく位置づけられ、適度な濃度とコントラストおよび良好な鮮鋭度をもち、中心陰影に重なった気管、主気管支の透光像ならびに心陰影及び横隔膜に重なった肺血管が観察できるもの

注2 日本肺癌学会編、肺癌取扱い規約 改訂第8版(肺がん検診の手引き2020年改訂版)より
1: 間接撮影の場合は、100mmミラーカメラと、定格出力150kV以上の撮影装置を用いて、120kV以上の管電圧により撮影する。やむを得ず定格出力125kVの撮影装置を用いる場合は、110kV以上の管電圧による撮影を行い縦隔部の感度を肺野部に対して高めるため、希土類(フラーセン型)蛍光板を用いる。定格出力125kV未満の撮影装置は用いない。
2: 直接撮影(スクリーンフィルム系)の場合は、被検者-管球間距離を150cm以上とし、定格出力150kV以上の撮影装置を用い、120kV以上の管電圧及び希土類システム(希土類増感紙+オルソタイプフィルム)を用いる。
3: 直接撮影(デジタル画像撮影)の場合は、X線検出器として、輝度性蛍光体を塗布したイメージングプレート(IP)を用いたCRシステム、管球検出器間距離(撮影距離)150cm以上、X線管電圧120~140kV、撮影mAs値4mAs程度以下、入射表面線量0.3mGy以下、グリッド比8:1以上、の条件下で撮影されることが望ましい
4: 撮影機器、画像処理、読影用モニタの条件については、下記のサイト(日本肺癌学会ホームページ、肺がん検診について)に掲載された最新情報を参照すること
https://www.haigan.gr.jp/modules/important/index.php?content_id=120

注3 下記講習会の具体的な内容は、日本肺癌学会ホームページ(肺がん検診について)を参照すること https://www.haigan.gr.jp/modules/lcscr/index.php?content_id=1
「肺癌取扱い規約 第8版、肺がん検診の手引き改訂について」、「肺癌取扱い規約第8版「肺がん検診の手引き」改訂に関するQ&A」
・「肺がん検診に関する症例検討会や読影講習会」
・「他施設や都道府県単位、あるいは日本肺癌学会等が主催する胸部画像の読影に関するセミナー・講習会」

注4 喀痰の処理法・染色法:
日本臨床細胞学会、細胞検査士会編「細胞診標本作製マニュアル」参照 http://www.intercyto.com/lecture/manual/resp_manual.pdf
細胞診判定：肺癌取扱い規約、日本肺癌学会ホームページ(肺がん検診について)「肺癌検診における喀痰細胞診の判定区分別標準的細胞」参照 https://www.haigan.gr.jp/modules/important/index.php?content_id=120

注5 地域保健・健康増進事業報告
全国の保健所及び市区町村は、毎年1回回りにがん検診の結果を報告します。この報告書では、受診者数、要精検者数、精検受診者数、発見者数を性・年齢階級/受診歴別に報告することになっており、国や地域の保健施策上、大変重要な基礎資料となります。

R4検診機関別がん検診チェックリスト調査票〈大腸がん検診〉

大腸がん検診

1. 受診者への説明(検診の際、あるいはそれに先立って受診者全員に対して行う説明)	R2年度		R3年度		R4年度	
	A	B	A	B	A	B
(1) 便潜血検査陽性で要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があること(便潜血検査の再検は不適切であること)を説明しましたか	○	○	○	○	○	○
(2) 精密検査の方法について説明しましたか(検査の概要や、精密検査の第一選択は全大腸内視鏡検査であること、また全大腸内視鏡検査が困難な場合はS状結腸内視鏡検査と注腸エックス線検査の併用となること)	○	○	○	○	○	○
(3) 精密検査結果は市区町村等へ報告すること、また他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、検診機関がその結果を共有することを説明しましたか※ ※精密検査結果は、個人の同意がなくても、市区町村や検診機関に対して提供可能(個人情報保護法の例外事項として認められています)	○	○	○	○	○	○
(4) 検診の有効性(便潜血検査による大腸がん検診には死亡率減少効果があること)に加えて、がん検診で必ずがんが見つかるわけではないこと(偽陰性)、がんがなくてもがん検診の結果が「陽性」となる場合もあること(偽陽性)など、がん検診の欠点について説明しましたか	○	○	○	○	○	○
(5) 検診受診の継続(毎年)が重要であること、また、症状がある場合は医療機関の受診が重要であることを説明しましたか	○	○	○	○	○	○
(6) 大腸がんがわが国のがん死亡の上位に位置することを説明しましたか	○	○	○	○	○	○

2. 検査の精度管理	R2年度		R3年度		R4年度	
	A	B	A	B	A	B
(1) 検査は、免疫便潜血検査2日法を行いましたか	○	○	○	○	○	○
(2) 便潜血検査キットのキット名、測定方法(的手法もしくは自動分析装置法)、カットオフ値(定性法の場合は検出感度)を仕様書にすべて明記しましたか※ ※仕様書とは委託元地区町村との契約時に提出する書類のことです。(仕様書以外でも何らかの形で委託元市区町村に報告していただければよい) 貴施設(もしくは医師会等)が仕様書にキット名、測定方法、カットオフ値の全てを明記した場合に○と回答してください。	○	○	○	○	○	○
(3) 大腸がん検診マニュアル(2013年日本消化器がん検診学会刊行)に記載された方法に準拠して行いましたか※ ※測定原理により様々な検査キットがあり、判定は機械による自動判定の他に目視判定があります。 検査キットの使用期限を守ると共に、日々、機器及び測定系の精度管理に務める必要があります。	○	○	○	○	○	○

3. 検体の取り扱い	R2年度		R3年度		R4年度	
	A	B	A	B	A	B
(1) 採便方法についてチラシやリーフレット(採便キットの説明書など)を用いて受診者に説明しましたか	○	○	○	○	○	○
(2) 採便後即日(2日目)回収を原則としましたか(離島や遠隔地は例外とします)	○	○	○	○	○	○
(3) 採便後は検体を冷蔵庫あるいは冷所に保存するよう受診者に指導しましたか	○	○	○	○	○	○
(4) 受診者から検体を回収してから自施設で検査を行うまでの間あるいは検査施設へ引き渡すまでの間、冷蔵保存しましたか	○	○	○	○	○	○
(5) 検査施設では検体を受領後冷蔵保存しましたか	○	○	○	○	○	○
(6) 検体回収後原則として24時間以内に測定しましたか(検査機器の不調、検査提出数が想定以上に多かった場合を除きます)	○	○	○	○	○	○
(7) 検診結果は少なくとも5年間は保存していますか	○	○	○	○	○	○

4. システムとしての精度管理(プロセス指標値の解説は別紙解説資料をご参照ください)	R2年度		R3年度		R4年度	
	A	B	A	B	A	B
(1) 受診者への結果の通知・説明、またはそのための市区町村への結果報告は、検体回収後2週間以内 [※] に行いましたか <small>※市区町村を介して受診者に結果を通知する場合は、市区町村に遅くとも2週間以内に通知していれば○です。</small>	×	○	×	○	○	○
(2) がん検診の結果及びそれに関わる情報 [※] について、市区町村や医師会等から求められた項目を全て報告しましたか、もしくは外注先が全て報告したことを確認しましたか <small>※地域保健・健康増進事業報告(注1)に必要な情報を指します。</small>	○	○	○	○	○	○
(3) 精密検査方法及び、精密検査(治療)結果 [※] (内視鏡診断や生検結果、内視鏡的治療または外科手術所見と病理組織検査結果など)について、市区町村や医師会から求められた項目 [※] の積極的な把握に努めましたか <small>※地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を指します。</small>	○	○	○	○	○	○
(4) 自施設の検診結果について、要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度等のプロセス指標値を把握しましたか [※] <small>※自施設単独で算出できない指標値は、自治体等と連携して把握してください。また自治体等が集計した指標値を後から把握することも可です。</small>	○	×	○	×	○	○
(5) プロセス指標値やチェックリストの遵守状況に基づいて、自施設の精度管理状況を評価し、改善に向けた検討を行っていますか。あるいは、都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会、市区町村、医師会等から指導・助言等があった場合は、それを参考にして改善に努めましたか	○	○	○	○	○	○

R4検診機関別がん検診チェックリスト調査票〈乳がん検診〉

1. 受診者への説明(検診の際、あるいはそれに先立って受診者全員に対して行う説明)	R2年度		R3年度		R4年度	
	A	D	A	D	A	D
(1)要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があることを明確に説明しましたか	○	-	○	-	○	-
(2)精密検査の方法について説明しましたか (精密検査はマンモグラフィの追加撮影や超音波検査、穿刺吸引細胞診や針生検等により行うこと、及びこれらの検査の概要など)	○	-	○	-	○	-
(3)精密検査結果は市区町村等へ報告すること、また他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、検診機関がその結果を共有することを説明しましたか [※] <small>※精密検査結果は、個人の同意がなくても、市区町村や検診機関に対して提供可能(個人情報保護法の例外事項として認められています)。</small>	○	-	○	-	○	-
(4)検診の有効性(マンモグラフィ検診には死亡率減少効果があること)に加えて、がん検診で必ずがんを見つけられるわけではないこと(偽陰性)、がんがなくてもがん検診の結果が「陽性」となる場合もあること(偽陽性)など、がん検診の欠点について説明しましたか	○	-	○	-	○	-
(5)検診受診の継続(隔年)が重要であること、プレスト・アウェアネス(乳房を意識する生活習慣)、症状がある場合は医療機関の受診が重要であることを説明しましたか	○	-	○	-	○	-
(6)乳がんがわが国の女性におけるがん死亡の上位に位置することを説明しましたか	○	-	○	-	○	-

2. 問診及び撮影の精度管理	R2年度		R3年度		R4年度	
	A	D	A	D	A	D
(1)検査項目は、問診及び乳房エックス線検査(マンモグラフィ)としましたか [※] <small>※視触診は推奨しないが、仮に実施する場合は、マンモグラフィと併せて実施してください。</small>	○	○	○	○	○	○
(2)問診記録は少なくとも5年間は保存しているか	○	○	○	○	○	○
(3)問診では現在の症状、月経及び妊娠等に関する事項を必ず聴取し、かつ、既往歴、家族歴、過去の受診状況、マンモグラフィの実施可否にかかる事項等を聴取しましたか <small>※質問は必ずしも対面による聴取で実施する必要はなく、受診者に自記式の質問用紙を記載されることをもって代えることができる。</small>	○	○	○	○	○	○
(4)乳房エックス線装置の種類を仕様書 [※] に明記し、日本医学放射線学会の定める仕様基準 ^{注1} を満たしていましたか <small>※仕様書とは委託元市区町村との契約時に提出する書類のことを指します(仕様書以外でも何らかの形で委託元市区町村に報告していればよい)。 ※※真施設(もしくは医師会等)が仕様書に明記した仕様基準が学会の方針に準じており、かつ、真施設が仕様書内容を遵守している場合に○と回答してください。</small>	○	○	○	○	○	○
(5)マンモグラフィに係る必要な機器及び設備を準備するとともに、機器の日常点検等の管理体制を整備しましたか	/	/	/	/	○	○
(6)両側乳房について内外斜位方向撮影を行っていますか。また40歳以上50歳未満の受診者に対しては、内外斜位方向・頭尾方向の2方向を撮影していましたか	○	○	○	○	○	○
(7)乳房エックス線撮影における線量及び写真の画質について、日本乳がん検診精度管理中央機構(旧マンモグラフィ検診精度管理中央委員会)の行う施設画像評価を受け、AまたはBの評価を受けていますか [※] <small>※評価DまたはE、施設画像評価を受けていない場合は至急改善すること。</small>	○	○	○	○	○	○
(8)撮影を行う撮影技師、医師は、乳房エックス線撮影、読影及び精度管理に関する基本講習プログラムに準じた講習会 ^{注2} を修了し、その評価試験でAまたはBの評価を受けていますか [※] <small>※上記の評価試験でCまたはD評価、講習会未受講の場合は至急改善すること。</small>	○	○	○	○	○	○
(9)事前に乳房エックス線撮影を行う診療放射線技師に対して指示する責任医師及び緊急時や必要時に対応する医師などを明示した計画書を作成し、市区町村に提出しましたか	/	/	/	/	○	○
(10)緊急時や必要時に医師に連絡できる体制を整備しましたか	/	/	/	/	○	○
(11)乳房エックス線写真撮影時や緊急時のマニュアルを整備しましたか	/	/	/	/	○	○
(12)検診に従事する診療放射線技師が必要な教育・研修を受ける機会を確保しましたか	/	/	/	/	○	○

3. 乳房エックス線読影の精度管理	R2年度		R3年度		R4年度	
	A	D	A	D	A	D
(1) 読影は二重読影を行い、読影に従事する医師のうち少なくとも一人は乳房エックス線写真読影に関する適切な講習会 ^{※2} を修了し、その評価試験でAまたはBの評価を受けていますか [※] ※上記の評価試験でCまたはD評価、講習会未受講の場合は至急改善すること。	○	○	○	○	○	○
(2) 二重読影の所見に応じて、過去に撮影した乳房エックス線写真と比較読影しましたか	○	○	○	○	○	○
(3) 乳房エックス線画像は少なくとも5年間は保存していますか	○	○	○	○	○	○
(4) 検診結果は少なくとも5年間は保存していますか	○	○	○	○	○	○

4. システムとしての精度管理	R2年度		R3年度		R4年度	
	A	D	A	D	A	D
(1) 受診者への結果の通知・説明、またはそのための市区町村への結果報告は、遅くとも検診受診後4週間以内 [※] になされましたか ※市区町村を介して受診者に結果を通知する場合は、市区町村に遅くとも4週間以内に通知していれば○です。	○	○	○	○	○	○
(2) がん検診の結果及びそれに関わる情報 [※] について、市区町村や医師会等から求められた項目を全て報告しましたか ※地域保健・健康増進事業報告(注3)に必要な情報を指します。	○	○	○	○	○	○
(3) 精密検査方法及び、精密検査(治療)結果 [※] (内視鏡診断や生検結果、内視鏡的治療または外科手術所見と病理組織検査結果など)について、市区町村や医師会等から求められた項目 ^{※※} の積極的な把握に努めましたか ※地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を指します。	○	○	○	○	○	○
(4) 撮影や読影向上のための検討会や委員会(自施設以外の乳がん専門家 [※] を交えた会)を設置しているか。もしくは、市区町村や医師会等が設置した検討会や委員会に参加しましたか ※当該検診機関に雇用されていない乳がん検診専門家を指します。	○	○	○	○	○	○
(5) 自施設の検診結果について、要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度等のプロセス指標値を把握しましたか [※] ※貴施設単独で算出できない指標値は、自治体等と連携して把握してください。また自治体等が集計した指標値を後から把握することも可です。	○	-	○	-	○	-
(6) プロセス指標値やチェックリストの遵守状況に基づいて、自施設の精度管理状況を評価し、改善に向けた検討を行っていますか。あるいは、都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会、市区町村、医師会等から指導・助言等があった場合は、それを参考にして改善に努めましたか	○	-	○	-	○	-

注1 乳がん検診に用いるエックス線装置の仕様基準: マンモグラフィによる乳がん検診の手引き第5版、マンモグラフィガイドライン第3版参照

注2 乳房エックス線撮影、読影及び精度管理に関する基本講習プログラムに準じた講習会
基本講習プログラムに準じた講習会とは、日本乳がん検診精度管理中央機構(旧マンモグラフィ検診精度管理中央委員会)の教育・研修委員会の行う講習会等を指す。
なお、これまで実施された「マンモグラフィ検診の実施と精度向上に関する調査研究」班、「マンモグラフィによる乳がん検診の推進と精度向上に関する調査研究」班、及び日本放射線技術学会乳房撮影ガイドライン・精度管理普及班による講習会等を含む

R4検診機関別がん検診チェックリスト調査票〈子宮頸がん検診〉

1. 受診者への説明(検診の際、あるいはそれに先立って受診者全員に対して行う説明)	R2年度		R3年度		R4年度	
	A	D	A	D	A	D
(1) 検査結果は「精密検査不要」「要精密検査」のいずれかの区分 [※] で報告されることを説明し、要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があることを明確に説明しましたか <small>※検体不適正以外の細胞診判定(ASC-USなど)を「要再検査」などに区分するのは×です。</small>	○	-	○	-	○	-
(2) 精密検査の方法について説明しましたか (精密検査としては、検診結果に基づいてコルポスコープ下の組織診や細胞診、HPV検査などを組み合わせたものを実施すること、及びこれらの検査の概要など)	○	-	○	-	○	-
(3) 精密検査結果は市区町村等へ報告すること、また他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、検診機関がその結果を共有することを説明しましたか [※] <small>※精密検査結果は、個人の同意がなくても、市区町村や検診機関に対して提供可能(個人情報保護法の例外事項として認められています)。</small>	○	-	○	-	○	-
(4) 検診の有効性(細胞診による子宮頸がん検診は、子宮頸がんの死亡率・罹患率を減少させること)に加えて、がん検診で必ずがんを見つけられるわけではないこと(偽陰性)、がんがなくてもがん検診の結果が「陽性」となる場合もあること(偽陽性)など、がん検診の欠点について説明しましたか	○	-	○	-	○	-
(5) 検診受診の継続(隔年)が重要であること、また、症状がある場合は医療機関の受診が重要であることを説明しましたか	○	-	○	-	○	-
(6) 子宮頸がんの罹患は、わが国の女性のがんな中で比較的多く、また近年増加傾向にあることなどを説明しましたか	○	-	○	-	○	-

2. 検診機関での精度管理	R2年度		R3年度		R4年度	
	A	D	A	D	A	D
(1) 検診項目は、医師による子宮頸部の検体採取による細胞診のほか、問診、視診を行いましたか	○	○	○	○	○	○
(2) 細胞診の方法(従来法/液状検体法、採取器具)を仕様書 [※] に明記しましたか <small>※仕様書とは委託元市区町村との契約時に提出する書類のこと(仕様書以外でも何らかの形で委託元市区町村に報告していればよい)医師会が仕様書を作成している場合は、医師会の仕様書を確認して回答してください。</small>	○	○	○	○	○	○
(3) 細胞診は、直視下に子宮頸部及び陰部表面の全面擦過により細胞を採取し、迅速に処理 [※] しましたか <small>※採取した細胞は直ちにスライドガラスに塗抹して速やかに固定すること。または、直ちに液状検体細胞診用の保存液ボトル内に撹拌懸濁し固定すること。</small>	○	○	○	○	○	○
(4) 細胞診の業務(細胞診の判定も含む)を外部に委託する場合 [※] は、その委託機関(施設名)を仕様書に明記しましたか <small>※業務を委託していない場合は回答不要です。医師会が仕様書を作成している場合は、医師会の仕様書を確認して回答してください。回答欄にハイフン(-)を入力してください(空欄にしないでください)。</small>	○	×	○	×	○	×
(5) 検体が不適正との判定を受けた場合は、当該検診機関で再度検体採取を行いましたか [※] <small>※不適正例があった場合は必ず再度検体採取を行うこと。また不適正例が無い場合でも、再度検体採取を行う体制を有していれば○です。</small>	○	○	○	○	○	○
(6) 検体が不適正との判定を受けた場合は、当該検診機関でその原因等を検討し、対策を講じましたか [※] <small>※不適正例があった場合は必ず原因を検討し対策を講じること。また不適正例が無い場合でも、対策を講じる体制を有していれば○です。</small>	○	×	○	×	○	×
(7) 問診記録は少なくとも5年間は保存していますか	○	○	○	○	○	○
(8) 問診は、妊娠及び分娩歴、月経の状況、不正性器出血等の症状の有無、過去の検診受診状況等を聴取しましたか	○	○	○	○	○	○
(9) 問診の上、症状(体がんの症状を含む)のある者には、適切な医療機関への受診勧奨を行いましたか <small>※有症状者がいなかった場合は、診療へ誘導するルールが予めあれば○と回答してください。</small>	○	○	○	○	○	○
(10) 問診記録は少なくとも5年間は保存していますか	○	○	○	○	○	○
(11) 視診は陰鏡を挿入し、子宮頸部の状況を観察しましたか	○	○	○	○	○	○

3. 細胞診判定施設での精度管理	R2年度		R3年度		R4年度	
	A	D	A	D	A	D
(1) 細胞診判定施設は、公益社団法人日本臨床細胞学会の施設認定を受けていますか。 もしくは、公益社団法人日本臨床細胞学会の認定を受けた細胞診専門医と細胞検査士が連携して検査を行いましたか ^{注1}	○	○	○	○	○	○
(2) 細胞診陰性と判断された検体は、その10%以上について、再スクリーニングを行いましたか ^{注1} 。 または再スクリーニング施行率を報告しましたか [※] <small>※自治体、医師会等から再スクリーニング施行率の報告を求められた場合に報告できる体制があれば○です。 また公益社団法人日本臨床細胞学会の認定施設においては、再スクリーニング施行率を学会に報告していれば○です。</small>	○	○	○	○	○	○
(3) 細胞診結果の報告には、ベセスダシステム ^{注2} を用いましたか	○	○	○	○	○	○
(4) 全ての子宮頸がん検診標本の状態について、ベセスダシステムの基準に基づいて適正・不適正のいずれかに分類し、細胞診結果に明記しましたか [※] <small>※必ず全ての標本について実施すること。一部でも実施しない場合は不適切です(本調査には×と回答してください)。</small>	○	○	○	○	○	○
(5) がん発見例は、過去の細胞所見の見直しを行いましたか [※] <small>※がん発見例については必ず見直すこと。またがん発見例が無い場合でも、見直す体制があれば○と回答してください。</small>	○	×	○	×	○	×
(6) 標本は少なくとも5年間は保存していますか	○	○	○	○	○	○

4. システムとしての精度管理	R2年度		R3年度		R4年度	
	A	D	A	D	A	D
(1) 受診者への結果の通知・説明、またはそのための市区町村への結果報告は、遅くとも検診受診後4週間以内 [※] になされましたか <small>※・貴施設から市区町村を介して受診者に結果を通知する場合は、市区町村に遅くとも4週間以内に通知していれば○です。 ・また、細胞診判定施設から市区町村を介して結果を通知する場合は、市区町村に報告期間を確認して回答してください。</small>	○	○	○	○	○	○
(2) がん検診の結果及びそれに関わる情報 [※] について、市区町村や医師会等から求められた項目を全て報告しましたか <small>※地域保健・健康増進事業報告(注3)に必要な情報を指します。</small>	○	○	○	○	○	○
(3) 精密検査方法及び、精密検査(治療)結果 [※] (精密検査の際に行った組織診やコルポ診、細胞診、HPV検査の結果などや、手術によって判明した組織診断や臨床進行情のこ)について、市区町村や医師会から求められた項目の積極的な把握に努めましたか <small>※地域保健・健康増進事業報告に必要な情報を指します</small>	○	○	○	○	○	○
(4) 診断・判定の精度向上のための症例検討会や委員会(自施設以外の子宮頸がん専門家あるいは細胞診専門医 [※] を交えた会)等を設置していますか。もしくは、市区町村や医師会等が設置した症例検討会や委員会等に参加しましたか <small>※当該検診機関に雇用されていない子宮頸がん検診専門家あるいは細胞診専門医を指します。</small>	○	○	○	○	○	○
(5) 自施設の検診結果について、要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度等のプロセス指標値を把握しましたか [※] <small>※貴施設単独で算出できない指標値は、自治体等と連携して把握してください。また自治体等が集計した指標値を後から把握することも可です。</small>	○	×	○	×	○	×
(6) プロセス指標値やチェックリストの遵守状況に基づいて、自施設の精度管理状況を評価し、改善に向けた検討を行っていますか。あるいは、都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会、市区町村、医師会等から指導・助言等があった場合は、それを参考にして改善に努めましたか	○	×	○	×	○	×

注1 公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞診精度管理ガイドライン参照

注2 ベセスダシステムによる分類:The Bethesda System for Reporting Cervical Cytology second edition及びベセスダシステム2001アトラス 参照

令和3年度都道府県及び生活習慣病検診等管理指導協議会（各がん部会）の活動状況調査

本調査票は、厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）「がん検診の精度管理における指標の確立に関する研究」協力の協力を得て作成しました。

【本調査の対象年度について】

本調査の対象年度は以下のとおりです（令和3年度の担当者が把握可能な最新年度）。

- 令和3年度の検診体制（市区町村や検診機関のチェックリスト遵守状況）
- 令和元年度の検診のプロセス指標※
- ※ プロセス指標に関する対象年度は、平成30年度または令和2年度も本調査では可とします。（都道府県によっては直近の地域保健・健康増進事業報告公表値や1年前の検診データを集計・分析しているため）

【回答時の注意事項】

- 令和3年度の業務として行った内容（実績）に基づき、全ての項目にご回答ください。
- 回答期限（令和4年8月）までに完了した場合は○、回答期限以降に確実に完了予定の場合は△、未実施（今後も実施予定無し）の場合は×とご回答ください。
- すべての市区町村あるいは検診機関で実施している場合のみ○とご回答ください。本調査における検診機関とは、実際に検診を行う個々の検診機関（医療機関）を指します。
- 回答欄が検診方式（集団/個別）別に分かれている項目については、集団/個別検診各々の状況についてご回答ください。
 - 「集団検診と個別検診を実施しているが、プロセス指標値を検診方式別に集計していない」場合は本調査では両回答欄に×と回答してください。
 - 「集団検診と個別検診を実施しているが、精度管理評価に関する検診を検診方式別に行っていない」、本調査では両回答欄に×とご回答ください。
- さらに、胃がん検診の回答欄が検査方法（エックス線/内視鏡）別に分かれている項目については、エックス線/内視鏡各々の状況についてご回答ください。
 - 「胃部エックス線と胃部内視鏡検診を実施しているが、プロセス指標値を検査方法別に集計していない」場合には、本調査では両回答欄に×とご回答ください。
 - 「胃部エックス線と胃部内視鏡検診を実施しているが、精度管理評価に関する検診を検査方法別に行っていない」場合には、本調査では両回答欄に×とご回答ください。
- 対象年度の検診を実施していない場合は、ご回答不要です。
- 令和元年度（平成30年度または令和2年度）に胃部内視鏡検診をまだ開始していない（令和3年度には集計できるデータがまだない）場合はプロセス指標に関連する設問には回答不要ですが、令和3年度の体制に関する設問※にご回答ください。
- ※2(1)、6(1)~6(4)、8(1)~8(1-2)、8(2)~(4)、9(1)~9(1-1)、9(1-3)~9(2-1)、9(2-3)~9(4)、10(1)~10(1-1)、10(1-3)、10(1-5)~10(1-7)、10(2)

0. 検診実施の有無	補足	胃がん (エックス線)		胃がん (内視鏡)		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん	
		集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
令和3年度の検診実施の有無について「実施」「未実施」を選択してください。	胃部内視鏡検診を令和3年度に実施している場合でも、令和元年度（平成30年度または令和2年度）に胃部内視鏡検診を開始していない場合は「実施（令和元年度は未実施）」を選択してください	実施	実施	未実施	実施	実施	実施	実施	未実施	実施	実施	実施	実施

回答欄(水色のセル)に○、△、×のいずれかを入力してください

1. 生活習慣病検診等管理指導協議会の組織・運営	解説/回答基準 (令和3年度の実施体制についてご回答ください)	胃がん		大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
		エックス線	内視鏡				
(1) がん部会は、保健所、医師会及びがん検診関連学会に所属する守備医、臨床検査技師、診療放射線技師（※）等の、がん検診に係る専門家によって構成されていますか ※胃がん、肺がん、乳がん部会のみ	①すべての関係者が揃っているのが望ましいですが、少なくとも医師会が参加している場合は○とご回答ください ②専門家による精度管理の協議が行われている場合には、異なる名称であっても生活習慣病検診等管理指導協議会（各がん部会）の活動とみなしてご回答ください	○	○	○	○	○	○
(2) がん部会は、市区町村が策定した検診実施計画/検診体制等について、検診が円滑に実施されるよう、広域の見地から医師会、検診機関、細胞診判定施設（※）、精密検査機関等と調整を行いましたか ※子宮がん部会のみ	専門家による精度管理の協議が行われている場合には、異なる名称であっても生活習慣病検診等管理指導協議会（各がん部会）の活動とみなしてご回答ください	○	○	○	○	○	○
(3) 令和3年度のがん部会を開催しましたか	①適切な検診を行うには委員同士の意見交換が必要のため、本調査では「協議」が行われている場合のみ○とご回答ください ②オンライン開催の場合は委員の協議が行われていれば○とご回答ください ③書面やメールによる持ち回り決議では協議が行われないため×とご回答ください	△	△	△	△	△	△
(4) 年に1回以上、定期的に生活習慣病検診等従事者講習会（注1）を開催しましたか	①生活習慣病検診等管理指導協議会から委託を受けた外部機関（例：対がん協会支部など）が開催している場合も○とご回答ください ②オンライン開催や、動画配信（一定期間を設けて自由に視聴する形式）による講習会でも○とご回答ください ③資料配布のみの場合は×とご回答ください	×	○	×	×	×	×

回答欄(水色のセル)に○、△、×のいずれかを入力してください

2. 受診者数・受診率の集計	解説/回答基準 (令和3年度の実施体制についてご回答ください)	胃がん (エックス線)		胃がん (内視鏡)		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん	
		集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
(1) 令和3年度の対象者数（推計でも可）を把握しましたか	がん検診全体で集計していれば○とご回答ください	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(2) 令和元年度の受診者数・受診率を集計しましたか		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(2) が×の場合は×	(2-1) 令和元年度の受診者数・受診率を性別（注2）・年齢5歳階級別に集計しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	(2-2) 令和元年度の受診者数・受診率を市区町村別に集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(2-3) 令和元年度の受診者数を検診機関別に集計しましたか	○	×	×	○	×	○	○	×	○	×	○	×
	(2-4) 令和元年度の受診者数を過去の検診受診歴別（注3）に集計しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

回答欄(水色のセル)に○、△、×のいずれかを入力してください

3. 要精検率の集計	解説/回答基準 (令和3年度の実施体制についてご回答ください)	胃がん (エックス線)		胃がん (内視鏡)		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん	
		集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
(1) 令和元年度の要精検率を集計しましたか		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(1) が×の場合は×	(1-1) 令和元年度の要精検率を性別（注2）・年齢5歳階級別に集計しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	(1-2) 令和元年度の要精検率を市区町村別に集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(1-3) 令和元年度の要精検率を検診機関別に集計しましたか	○	×	×	○	×	○	○	×	○	×	○	×
	(1-4) 令和元年度の要精検率を過去の検診受診歴別（注3）に集計しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

回答欄(水色のセル)に○、△、×のいずれかを入力してください

4. 精検受診率の集計		解説/回答基準 (令和3年度の実施体制についてご回答ください)	胃がん (エックス線)		胃がん (内視鏡)		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん	
			集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
			(1)	令和元年度の精検受診率を集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(1)が×の場合は×	(1-1) 令和元年度の精検受診率を性別(注2)・年齢5歳階級別に集計しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	(1-2) 令和元年度の精検受診率を市区町村別に集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(1-3) 令和元年度の精検受診率を検診機関別に集計しましたか	○	×	×	○	×	○	○	○	○	×	○	×	×
	(1-4) 令和元年度の精検受診率を過去の検診受診歴別(注3)に集計しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(2)	令和元年度の精検未受診率と未把握率を定義(注4)に従い区別し集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

5. 精密検査結果の集計		解説/回答基準 (令和3年度の実施体制についてご回答ください)	胃がん (エックス線)		胃がん (内視鏡)		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん	
			集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
			(1)	令和元年度のがん発見率を集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(1)が×の場合は×	(1-1) 令和元年度のがん発見率を性別(注2)・年齢5歳階級別に集計しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	(1-2) 令和元年度のがん発見率を市区町村別に集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(1-3) 令和元年度のがん発見率を検診機関別に集計しましたか	○	×	×	○	×	○	○	○	○	×	○	×	×
	(1-4) 令和元年度のがん発見率を過去の検診受診歴別(注3)に集計しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(2)	令和元年度の早期がん割合(※)(発見がん数に対する早期がん数)を集計しましたか ※ 肺がんでは臨床病期0~1期のがん割合	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(2)が×の場合は×	(2-1) 令和元年度の早期がん割合を性別(注2)・年齢5歳階級別に集計しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	(2-2) 令和元年度の早期がん割合を市区町村別に集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(2-3) 令和元年度の早期がん割合を検診機関別に集計しましたか	○	×	×	○	×	○	○	○	○	×	○	×	×
	(2-4) 令和元年度の早期がん割合を過去の検診受診歴別(注3)に集計しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(2-5) 令和元年度の早期がんのうち、粘膜炎がん数(胃がん、大腸がん)、非浸潤がん数(乳がん)を区別して集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(3)	(子宮頸がん検診) 令和元年度の上皮内病変(CIN・AIS)の数を集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(3)が×の場合は×	(3-1) (子宮頸がん検診) 令和元年度の上皮内病変(CIN・AIS)の数を年齢5歳階級別に集計しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	(3-2) (子宮頸がん検診) 令和元年度の上皮内病変(CIN・AIS)の数を市区町村別に集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(3-3) (子宮頸がん検診) 令和元年度の上皮内病変(CIN・AIS)の数を検診機関別に集計しましたか	○	×	×	○	×	○	○	○	○	×	○	×	×
	(3-4) (子宮頸がん検診) 令和元年度の上皮内病変(CIN・AIS)の数を過去の検診受診歴別(注3)に集計しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(4)	(子宮頸がん検診) 令和元年度の進行度がIA期のがん割合(がん発見数に対する進行度がIA期のがん数)を集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(4)が×の場合は×	(4-1) (子宮頸がん検診) 令和元年度の進行度がIA期のがん割合を年齢5歳階級別に集計しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	(4-2) (子宮頸がん検診) 令和元年度の進行度がIA期のがん割合を市区町村別に集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(4-3) (子宮頸がん検診) 令和元年度の進行度がIA期のがん割合を検診機関別に集計しましたか	○	×	×	○	×	○	○	○	○	×	○	×	×
	(4-4) (子宮頸がん検診) 令和元年度の進行度がIA期のがん割合を過去の検診受診歴別(注3)に集計しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(5)	令和元年度の陽性反応適中度を集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(5)が×の場合は×	(5-1) 令和元年度の陽性反応適中度を性別(注2)・年齢5歳階級別に集計しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	(5-2) 令和元年度の陽性反応適中度を市区町村別に集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(5-3) 令和元年度の陽性反応適中度を検診機関別に集計しましたか	○	×	×	○	×	○	○	○	○	×	○	×	×
	(5-4) 令和元年度の陽性反応適中度を過去の検診受診歴別(注3)に集計しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

回答欄(水色のセル)に○、△、×のいずれかを入力してください

6. 偶発症の把握	解説/回答基準 (令和3年度の実施体制についてご回答ください)	胃がん (エックス線)		胃がん (内視鏡)		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん	
		集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
		(1)	検診中/検診後の重篤な偶発症を把握しましたか ※ 大腸がん検診除く ※ 入院治療を要するもの	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○
(2)	検診中/検診後の偶発症による死亡を把握しましたか ※ 大腸がん検診除く ※ がんの見逃しによるものを除く	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○
(3)	精密検査中/精密検査後の重篤な偶発症を把握しましたか ※ 入院治療を要するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(4)	精密検査中/精密検査後の偶発症による死亡を把握しましたか ※ がんの見逃しによるものを除く	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

回答欄(水色のセル)に○、△、×のいずれかを入力してください

7. 追加調査	解説/回答基準 (令和3年度の実施体制についてご回答ください)	胃がん (エックス線)		胃がん (内視鏡)		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん	
		集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
		(1)	発見がんの病期/進行度・組織型・治療法について把握しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(2)	がん登録を活用して、感度・特異度の算出や、予後調査ができるような体制を作っていますか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

回答欄(水色のセル)に○、△、×のいずれかを入力してください

8. 精度管理評価に関する検討	解説/回答基準 (令和3年度の実施体制についてご回答ください)	胃がん (エックス線)		胃がん (内視鏡)		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん	
		集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
		(1)	精度管理評価を行いましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(1-1)	市区町村チェックリスト(令和3年度検診分)の遵守状況を把握し、評価を行いましたか ※ すべての市区町村が対象	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
(1-2)	検診機関用チェックリスト(令和3年度検診分)の遵守状況を把握し、評価を行いましたか ※ すべての検診機関/医療機関(診療所やクリニック等も含む)が対象	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
(1-3)	市区町村毎のプロセス指標値(令和元年度検診分)を把握し、評価を行いましたか ※ すべての検診機関/医療機関(診療所やクリニック等も含む)が対象	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
(1-4)	検診機関毎のプロセス指標値(令和元年度検診分)を把握し、評価を行いましたか ※ すべての検診機関/医療機関(診療所やクリニック等も含む)が対象	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
(1)が×の場合は×	評価の低い、もしくは指標に疑義(※)のある市区町村や検診機関に、聞き取り調査や現場訪問を行って、原因を検討しましたか ※ チェックリストの回答(令和3年度検診分)やプロセス指標値(令和元年度検診分)に疑問がある場合など	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	上記(2)の評価結果を踏まえて、精度管理上の課題と改善策を策定しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	評価手法や評価結果の解釈、聞き取り調査の方針、改善策の内容等についてが本部会に語り、具体的な助言を受けましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

回答欄(水色のセル)に○、△、×のいずれかを入力してください

9. 評価と改善策のフィードバック (指導・助言)	解説/回答基準 (令和3年度の実施体制についてご回答ください)	胃がん (エックス線)		胃がん (内視鏡)		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん	
		集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
		(1) 市区町村に精度管理評価を個別にフィードバックしましたか	本項目ではフィードバック内容は特に指定しません。また下記(1-1)～(1-3)が一つでも○の場合、本項目は○とご回答ください	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(1-1) 市区町村用チェックリスト(令和3年度検診分)の評価を個別にフィードバックしましたか ※すべての市区町村が対象	地域全体の評価と、当該市区町村の個別の評価が共にフィードバックされていれば○とご回答ください	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(1-2) 市区町村毎のプロセス指標値(令和元年度検診分)の評価を個別にフィードバックしましたか ※すべての市区町村が対象	①地域全体の評価と、当該市区町村の個別の評価が共にフィードバックされていれば○とご回答ください ②受診率、要精検率、精検受診率、精検未受診率、精検未把握率、がん発見率、陽性反応適中度の評価を全てフィードバックしている場合に○とご回答ください	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(1-3) 精度管理に課題のある市区町村に改善策をフィードバックしましたか	該当する市区町村が無い場合は、仮に課題があった場合に改善策をフィードバックする方針があれば○とご回答ください	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(2) 検診機関に精度管理評価を個別にフィードバックしましたか	本項目ではフィードバック内容は特に指定しません。また下記(2-1)～(2-3)が一つでも○の場合、本項目は○とご回答ください	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(2-1) 検診機関用チェックリスト(令和3年度検診分)の評価を個別にフィードバックしましたか ※すべての検診機関/医療機関(診療所やクリニック等も含む)が対象	フィードバック資料に、地域全体の評価と、当該検診機関の個別の評価が共に示されていれば○とご回答ください	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(2-2) 検診機関毎のプロセス指標値(令和元年度検診分)の評価を個別にフィードバックしましたか ※すべての検診機関/医療機関(診療所やクリニック等も含む)が対象	①地域全体の評価と、当該検診機関の個別の評価が共にフィードバックされていれば○とご回答ください ②基本的に個別検診における検診機関の定義は「実際に検診を行う個々の医療機関(診療所やクリニックも含む)」です。ただし受診者数が極端に少ない施設ではプロセス指標が正確に評価できないことがあります。そこで本項目は、都道府県から委託を受けた専門組織や地区医師会単位(※)でのフィードバックも○とご回答ください ※個別検診では将来的に、これらの団体が地域の精度管理向上を主導することが望ましいです ③要精検率、精検受診率、精検未受診率、精検未把握率、がん発見率、陽性反応適中度の評価を全てフィードバックしている場合に○とご回答ください	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(2-3) 精度管理に課題のある検診機関に改善策をフィードバックしましたか	該当する検診機関が無い場合は、仮に課題があった場合に改善策をフィードバックする方針があれば○とご回答ください	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(3) フィードバックの手法や内容についてがん部会に語り、具体的な助言を受けましたか		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(4) 前年度までにフィードバックした改善策の実行状況について、市区町村/検診機関への聞き取り調査等により確認しましたか	前年度までに改善策のフィードバックを実施していない場合は、仮に実施した場合に、聞き取り調査等を行う方針があれば○とご回答ください	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

回答欄(水色のセル)に○、△、×のいずれかを入力してください

10. 評価と改善策の公表	解説/回答基準 (令和3年度の実施体制についてご回答ください)	胃がん (エックス線)		胃がん (内視鏡)		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん	
		集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
		(1) 精度管理評価をホームページ等で公表しましたか	本項目では公表内容は特に指定しません。また下記(1-1)～(1-8)が一つでも○の場合、本項目は○とご回答ください	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
(1-1) 市区町村用チェックリスト(令和3年度検診分)の遵守状況と、その評価を公表しましたか ※すべての市区町村が対象		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
(1-2) 市区町村毎のプロセス指標値(令和元年度検診分)とその評価を公表しましたか ※すべての市区町村が対象	公表内容については、少なくとも精検受診率(がん対策推進基本計画目標値の90%を達成したか)の情報を必須とします	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
(1-3) 検診機関用チェックリスト(令和3年度検診分)の遵守状況と、その評価を公表しましたか ※すべての検診機関/医療機関(診療所やクリニック等も含む)が対象		△	×	×	△	×	△	△	△	△	×	△	×
(1-4) 検診機関毎のプロセス指標値(令和元年度検診分)とその評価を公表しましたか ※すべての検診機関/医療機関(診療所やクリニック等も含む)が対象	①公表内容については、少なくとも精検受診率(がん対策推進基本計画目標値の90%を達成したか)の情報を必須とします ②基本的に個別検診における検診機関の定義は「実際に検診を行う個々の医療機関(診療所やクリニックも含む)」です。ただし受診者数が極端に少ない施設ではプロセス指標が正確に評価できないことがあります。そこで本項目は、都道府県から委託を受けた専門組織や地区医師会単位(※)での公表も○とご回答ください ※個別検診では将来的に、これらの団体が地域の精度管理向上を主導することが望ましいです	△	×	×	×	△	△	△	△	△	×	△	×
(1-5) 精度管理が要改善の市区町村について、フィードバックした改善策の内容を公表しましたか	該当する市区町村が無い場合は、仮に要改善の市区町村があった場合に公表する方針があれば○とご回答ください	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(1-6) 精度管理が要改善の検診機関について、フィードバックした改善策の内容を公表しましたか	該当する検診機関が無い場合は、仮に要改善の検診機関があった場合に公表する方針があれば○とご回答ください	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(1-7) 都道府県用チェックリストの遵守状況(自己点検結果)を公表しましたか		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
(1-8) 都道府県としてのプロセス指標値(自己点検結果)を公表しましたか	受診率、要精検率、精検受診率、精検未受診率、精検未把握率、がん発見率、陽性反応適中度をすべて公表している場合に○とご回答ください	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
(2) 公表の手法や内容についてがん部会に語り、具体的な助言を受けましたか		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△

「10. 評価と改善策の公表」で公表済み（○）と回答された場合

11. 主要な情報を公開しているホームページのアドレス（URL）をご記入ください

胃がん	
大腸がん	
肺がん	
乳がん	
子宮頸がん	

ご記入いただいたURLは、国立がん研究センター等のHPIに掲載する場合がありますが（リンク紹介ページ等）、掲載にご了承いただけない場合は、連絡事項欄（次ワークシート）にその旨ご記載ください。

- (注1) 生活習慣病検診等従事者講習会とは、「健康診査管理指導等事業実施のための指針（平成20年、健総発第0331012号、厚生労働省健康局総務課長通知）」において概ね下記の内容が示されている（抜粋・改変）
- ・胃がん検診読影従事者講習：胃がんの臨床、早期胃がんの診断、エックス線写真の読影方法、ダブルチェックの実習等
 - ・胃がん検診エックス線撮影従事者講習：エックス線写真の撮影方法、現像技術、放射線被曝、エックス線撮影装置の維持管理、実技指導等
 - ・大腸がん検診従事者講習：検体の処理、精度管理の実際等
 - ・肺がん検診読影講習：肺がんの臨床、早期肺がんの診断、エックス線写真の読影方法、二重読影・比較読影の実習等
 - ・肺がん検診細胞診従事者講習：検体の処理、染色技術、細胞診の実際、精度管理の実際、標本の整理等
 - ・乳がん検診従事者講習：乳房エックス線検査の方法等
 - ・子宮（頸）がん検診細胞診従事者講習：検体の処理、染色技術、細胞診の実際、精度管理の実際、標本の整理等
- (注2) 乳がん検診、子宮頸がん検診は除く
- (注3) 初回受診者及び毎年検診受診者等の受診歴別
- ＜初回受診者の定義＞
- ・過去3年に受診歴がない者（胃がん※/大腸がん/乳がん/子宮頸がん）
 - ・前年に受診歴がない者（肺がん）
- ※過去3年間に胃部エックス線検査と胃内視鏡検査のいずれかの受診歴がない者（平成27年度以前の胃内視鏡検査は検診受診歴に含めない）
- (注4) 精検受診、精検未受診、精検未把握の定義
- 【精検受診】 精密検査機関より精密検査結果の報告があったもの。もしくは受診者が詳細（精検日・受診機関・精検法・精検結果の4つ全て）を申告したもの
- 【精検未受診】 要精検者が精密検査機関に行かなかったことが判明しているもの（受診者本人の申告及び精密検査機関で受診の事実が確認されないもの）及び精密検査として不適切な検査（※）が行われたもの
※たとえばペプシノゲン検査のみ、ヘリコバクター・ピロリ検査のみ、便潜血検査の再検のみ、喀痰細胞診要精検者に対する喀痰細胞診再検のみ、ASO-USを除く要精検者に対する細胞診のみの再検など
- 【精検未把握】 精密検査受診の有無が分からないもの、及び（精検受診したとしても）精密検査結果が正確に報告されないもの結果が正確に報告されないもの。
- なお、**胃内視鏡検査**では下記の整理とする
- 【精検受診】 検診時生検を行った者については、生検の結果報告があったもの。検診時生検未実施でその後ダブルチェックで要再検査となった者については、精検機関より再検査結果の報告があったもの、もしくは再検査受診者が詳細（再検査の受診日・受診機関・検査方法・検査結果の4つ全て）を申告したもの※。
- 【精検未受診】 検診時生検未実施で、その後ダブルチェックで要再検査となった者のうち、再検査を受けなかったことが判明しているもの、及び再検査として不適切な検査（ペプシノゲン検査のみ、ヘリコバクター・ピロリ検査のみ等）が行われたもの。
- 【精検未把握】 検診時生検未実施で、その後ダブルチェックで要再検査となった者のうち、再検査受診の有無が分からないもの、及び（再検査を受診したとしても）再検査の結果が正確に報告されないもの。
※以下の場合、「地域保健・健康増進事業報告」の「精密検査受診の有無別人数」では「精密検査受診者」とし、精密検査結果の区分としては「胃がんの疑いのある者又は未確定」に計上する。
- ・同時生検受診者のうち、病理組織診断の結果が不明なもの（未報告を含む）。
 - ・同時生検後ダブルチェックで要再検査となった者のうち、再検査未受診、再検査受診の有無が不明、及び再検査の結果が正確に報告されないもの。
- (注5) 依拠文書の題名は「科学的根拠に基づくがん検診推進のページ 令和3年度精度管理ツール(題名集)」参照
<http://canscreen.ncc.go.jp/management/taisaku/hinagata.html>

令和3年度 都道府県及び生活習慣病検診等管理指導協議会の活動状況調査結果

都道府県用がん検診チェックリスト実施率（全国の全項目・項目別実施率）

【本調査の対象年度について】

令和3年度のがん検診ご担当者が把握可能な最新年度を想定し、下記を対象としました。

- ・令和3年度の検診体制（市区町村や検診機関のチェックリスト遵守状況）
- ・令和元年度の検診のプロセス指標

（ただし、各都道府県の方針により、平成30年度のデータ（最新の地域保健・健康増進事業報告の公表値）や令和2年度のデータを集計・評価している場合もあり、本調査ではこの場合も可としています。）

【補足】

- ・令和3年度に実施された内容（実績）に基づき、回答期間内に実施した場合は○、令和4年8月末日以降に確実な実施予定があるものは△、未実施かつ今後も実施予定が無い場合は×と回答していただくようお願いしましたが、本調査結果では○の実施率のみ集計しています。
- ・市区町村別、検診機関別等の設問では、全ての市区町村あるいは検診機関で実施している場合にのみ○とご回答いただきました。なお、本調査における検診機関とは、実際に検診を行う個々の検診機関（医療機関）を指します。

【集計対象都道府県数】

- ・胃がんエックス線：（集団）47都道府県（個別）44都道府県
- ・胃がん内視鏡検診：（集団）26都道府県（個別）45都道府県（プロセス指標関連の設問では44都道府県※）
※ 令和元年度に胃がん内視鏡検診を実施していない都道府県はプロセス指標関連の下記設問は非該当としました。
2(2)～2(2-2-4)、3(3-1)～3(3-1-4)、4(1)～4(2)、5(1)～5(1-4)、5(2)～5(2-5)、8(1-3)、8(1-4)、9(1-2)、9(2-2)、10(1-2)、10(1-4)、10(1-8)
- ・大腸がん、乳がん、子宮頸がん検診：（集団）47都道府県（個別）45都道府県
- ・肺がん検診：（集団）47都道府県（個別）42都道府県

■チェックリスト実施率（全項目）

（単位％）

集計対象都道府県数	胃がん /エックス線		胃がん /内視鏡		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん	
	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
		47	44	26	45	47	45	47	42	47	45	47
チェックリスト全項目（※）の実施率	65.9	62.3	64.6	61.2	65.9	60.9	64.4	60.5	66.0	61.5	65.4	61.0

※ 全項目数：胃がん（エックス線、内視鏡）71項目、大腸がん 69項目、肺がん 70項目、乳がん 71項目、子宮頸がん 75項目

■チェックリスト実施率（項目別）

（単位％）

集計対象都道府県数	胃がん /エックス線		胃がん /内視鏡		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん	
	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
		47	44	26	45	47	45	47	42	47	45	47
1. 生活習慣病検診等管理指導協議会の組織・運営												
(1)	がん部会は、保健所、医師会、がん検診関連学会に所属する学識経験者、臨床検査技師、診療放射線技師(※)等の、がん検診に係わる専門家によって構成されていますか ※ 胃がん、肺がん、乳がん部会のみ											
	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	97.9	97.8
(2)	がん部会は、市区町村が策定した検診実施計画/検診体制等について、検診が円滑に実施されるよう、広域的見地から医師会、検診機関、細胞診判定施設(※)、精密検査機関等と調整を行っていましたか ※ 子宮がん部会のみ											
	85.1	86.4	80.8	86.7	83.0	84.4	83.0	85.7	83.0	84.4	83.0	84.4
(3)	令和3年度のがん部会を開催しましたか											
	68.1	70.5	69.2	68.9	66.0	66.7	63.8	69.0	66.0	66.7	63.8	64.4
(4)	年に1回以上、定期的に生活習慣病検診等従事者講習会を開催しましたか											
	55.3	56.8	69.2	64.4	57.4	57.8	57.4	59.5	59.6	60.0	57.4	57.8
2. 受診者数・受診率の集計												
(1)	令和3年度の対象者数(推計でも可)を把握しましたか											
	87.2	84.1	84.6	86.7	87.2	86.7	87.2	88.1	87.2	86.7	87.2	86.7
(2)	令和元年度の受診者数・受診率を集計しましたか											
	97.9	97.7	100	97.7	97.9	97.8	97.9	97.6	97.9	97.8	97.9	97.8
(2-1)	令和元年度の受診者数・受診率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか											
	89.4	90.9	92.3	88.6	89.4	88.9	89.4	90.5	91.5	91.1	91.5	91.1
(2-2)	令和元年度の受診者数・受診率を市区町村別に集計しましたか											
	100	97.7	100	97.7	100	97.8	100	97.6	100	97.8	100	97.8
(2-3)	令和元年度の受診者数を検診機関別に集計しましたか											
	46.8	29.5	42.3	27.3	46.8	26.7	44.7	31.0	46.8	31.1	46.8	26.7
(2-4)	令和元年度の受診者数を過去の検診受診歴別(注1)に集計しましたか											
	72.3	75.0	76.9	72.7	72.3	73.3	74.5	76.2	72.3	73.3	72.3	73.3
3. 要精検率の集計												
(1)	令和元年度の要精検率を集計しましたか											
	97.9	97.7	100	97.7	97.9	97.8	93.6	92.9	97.9	97.8	97.9	97.8
(1-1)	令和元年度の要精検率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか											
	85.1	86.4	84.6	84.1	85.1	84.4	85.1	85.7	87.2	86.7	87.2	86.7
(1-2)	令和元年度の要精検率を市区町村別に集計しましたか											
	97.9	97.7	100	97.7	97.9	97.8	93.6	92.9	97.9	97.8	97.9	97.8
(1-3)	令和元年度の要精検率を検診機関別に集計しましたか											
	51.1	31.8	53.8	31.8	51.1	28.9	46.8	31.0	51.1	33.3	51.1	31.1
(1-4)	令和元年度の要精検率を過去の検診受診歴別(注1)に集計しましたか											
	63.8	65.9	65.4	63.6	63.8	64.4	66.0	66.7	63.8	64.4	63.8	64.4

	胃がん /エックス線		胃がん /内視鏡		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん	
	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
4. 精検受診率の集計												
(1) 令和元年度の精検受診率を集計しましたか	97.9	97.7	96.2	100	97.9	97.8	93.6	92.9	97.9	97.8	97.9	97.8
(1-1) 令和元年度の精検受診率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか	85.1	86.4	80.8	86.4	85.1	84.4	85.1	85.7	87.2	86.7	87.2	86.7
(1-2) 令和元年度の精検受診率を市区町村別に集計しましたか	97.9	97.7	96.2	100	97.9	97.8	93.6	92.9	97.9	97.8	97.9	97.8
(1-3) 令和元年度の精検受診率を検診機関別に集計しましたか	59.6	40.9	61.5	38.6	59.6	37.8	55.3	40.5	59.6	42.2	57.4	37.8
(1-4) 令和元年度の精検受診率を過去の検診受診歴別(注1)に集計しましたか	55.3	56.8	53.8	54.5	55.3	55.6	57.4	57.1	55.3	55.6	55.3	55.6
(2) 令和元年度の精検未受診率と未把握率を定義(注2)に従って区別し集計しましたか	85.1	86.4	84.6	86.4	85.1	86.7	80.9	81.0	85.1	86.7	85.1	86.7
5. 精密検査結果の集計												
(1) 令和元年度のがん発見率を集計しましたか	97.9	97.7	100	97.7	97.9	97.8	93.6	92.9	97.9	97.8	97.9	97.8
(1-1) 令和元年度のがん発見率を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか	83.0	84.1	84.6	81.8	83.0	82.2	83.0	83.3	85.1	84.4	85.1	84.4
(1-2) 令和元年度のがん発見率を市区町村別に集計しましたか	97.9	97.7	100	97.7	97.9	97.8	93.6	92.9	97.9	97.8	97.9	97.8
(1-3) 令和元年度のがん発見率を検診機関別に集計しましたか	48.9	29.5	46.2	27.3	46.8	26.7	42.6	28.6	46.8	31.1	46.8	26.7
(1-4) 令和元年度のがん発見率を過去の検診受診歴別(注1)に集計しましたか	61.7	61.4	65.4	59.1	61.7	60.0	61.7	59.5	61.7	60.0	61.7	60.0
(2) 令和元年度の早期がん割合(発見がん数に対する早期がん数)を集計しましたか	93.6	93.2	92.3	93.2	93.6	93.3	89.4	88.1	93.6	93.3		
(2-1) 令和元年度の早期がん割合を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか	76.6	79.5	73.1	77.3	76.6	77.8	74.5	76.2	76.6	77.8		
(2-2) 令和元年度の早期がん割合を市区町村別に集計しましたか	91.5	90.9	88.5	90.9	91.5	91.1	87.2	85.7	91.5	91.1		
(2-3) 令和元年度の早期がん割合を検診機関別に集計しましたか	38.3	25.0	38.5	25.0	38.3	24.4	34.0	23.8	36.2	26.7		
(2-4) 令和元年度の早期がん割合を過去の検診受診歴別(注1)に集計しましたか	59.6	61.4	61.5	59.1	59.6	60.0	61.7	61.9	61.7	62.2		
(2-5) 令和元年度の早期がんのうち、粘膜内がん数(胃がん、大腸がん)・非浸潤がん数(乳がん)を区別して集計しましたか	80.9	81.8	73.1	79.5	85.1	84.4			85.1	84.4		
(3) 令和元年度の上皮内病変(CIN・AIS)の数を集計しましたか(子宮頸がん)											85.1	86.7
(3-1) 令和元年度の上皮内病変(CIN・AIS)の数を年齢5歳階級別に集計しましたか(子宮頸がん)											74.5	75.6
(3-2) 令和元年度の上皮内病変(CIN・AIS)の数を市区町村別に集計しましたか(子宮頸がん)											83.0	84.4
(3-3) 令和元年度の上皮内病変(CIN・AIS)の数を検診機関別に集計しましたか(子宮頸がん)											34.0	22.2
(3-4) 令和元年度の上皮内病変(CIN・AIS)の数を過去の検診受診歴別(注1)に集計しましたか(子宮頸がん)											57.4	57.8
(4) 令和元年度の進行度がⅠA期のがん割合(がん発見数に対する進行度がⅠA期のがん数)を集計しましたか(子宮頸がん)											87.2	88.9
(4-1) 令和元年度の進行度がⅠA期のがん割合を年齢5歳階級別に集計しましたか(子宮頸がん)											76.6	77.8
(4-2) 令和元年度の進行度がⅠA期のがん割合を市区町村別に集計しましたか(子宮頸がん)											85.1	86.7
(4-3) 令和元年度の進行度がⅠA期のがん割合を検診機関別に集計しましたか(子宮頸がん)											34.0	24.4
(4-4) 令和元年度の進行度がⅠA期のがん割合を過去の検診受診歴別(注1)に集計しましたか(子宮頸がん)											57.4	60.0
(5) 令和元年度の陽性反応適中度を集計しましたか	95.7	95.5	96.2	95.5	95.7	95.6	91.5	90.5	95.7	95.6	95.7	95.6
(5-1) 令和元年度の陽性反応適中度を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか	80.9	81.8	80.8	79.5	80.9	80.0	76.6	78.6	83.0	82.2	83.0	82.2
(5-2) 令和元年度の陽性反応適中度を市区町村別に集計しましたか	95.7	95.5	96.2	95.5	95.7	95.6	89.4	90.5	95.7	95.6	95.7	95.6
(5-3) 令和元年度の陽性反応適中度を検診機関別に集計しましたか	53.2	34.1	53.8	31.8	53.2	31.1	46.8	33.3	53.2	35.6	51.1	31.1
(5-4) 令和元年度の陽性反応適中度を過去の検診受診歴別(注1)に集計しましたか	57.4	59.1	61.5	56.8	57.4	57.8	57.4	57.1	57.4	57.8	57.4	57.8
6. 偶発症の把握												
(1) 検診中/検診後の重篤な偶発症を把握しましたか	66.0	65.9	61.5	64.4			63.8	61.9	63.8	64.4	63.8	64.4
(2) 検診中/検診後の偶発症による死亡を把握しましたか	66.0	65.9	61.5	64.4			63.8	61.9	63.8	64.4	63.8	64.4
(3) 精密検査中/精密検査後の重篤な偶発症を把握しましたか	66.0	68.2	57.7	64.4	66.0	66.7	66.0	64.3	66.0	66.7	66.0	66.7
(4) 精密検査中/精密検査後の偶発症による死亡を把握しましたか	63.8	65.9	53.8	62.2	63.8	64.4	63.8	61.9	63.8	64.4	63.8	64.4

(単位%)

	胃がん /エックス線		胃がん /内視鏡		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん	
	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
7. 追加調査												
(1) 発見がんの病期/進行度・組織型・治療法について把握しましたか	27.7	22.7	30.8	22.7	27.7	22.2	29.8	23.8	25.5	20.0	21.3	17.8
(2) がん登録を活用して、感度・特異度の算出や、予後調査ができるような体制を作っていますか	17.0	15.9	23.1	15.9	17.0	15.6	17.0	16.7	17.0	15.6	17.0	15.6
8. 精度管理評価に関する検討												
(1) 精度管理評価を行いましたか	97.9	95.5	96.2	93.3	97.9	95.6	97.9	95.2	97.9	95.6	97.9	95.6
(1-1) 市区町村用チェックリスト(令和3年度検診分)の遵守状況を把握し、評価を行いましたか	78.7	79.5	80.8	75.6	76.6	75.6	76.6	76.2	76.6	75.6	78.7	77.8
(1-2) 検診機関用チェックリスト(令和3年度検診分)の遵守状況を把握し、評価を行いましたか	61.7	36.4	53.8	33.3	61.7	33.3	61.7	35.7	61.7	33.3	61.7	33.3
(1-3) 市区町村毎のプロセス指標値(令和元年度検診分)を把握し、評価を行いましたか	87.2	86.4	92.3	86.4	89.4	88.9	89.4	90.5	89.4	88.9	89.4	88.9
(1-4) 検診機関毎のプロセス指標値(令和元年度検診分)を把握し、評価を行いましたか	38.3	29.5	38.5	27.3	38.3	26.7	38.3	28.6	38.3	26.7	38.3	26.7
(2) 評価の低い、もしくは指標に疑義のある市区町村や検診機関に、聞き取り調査や現場訪問を行って、原因を検討しましたか	51.1	45.5	50.0	44.4	51.1	44.4	51.1	45.2	51.1	44.4	51.1	44.4
(3) 上記(2)の評価結果を踏まえて、精度管理上の課題と改善策を策定しましたか	38.3	31.8	34.6	31.1	38.3	31.1	38.3	31.0	38.3	31.1	38.3	31.1
(4) 評価手法や評価結果の解釈、聞き取り調査の方針、改善策の内容等についてがん部会に諮り、具体的な助言を受けましたか	57.4	59.1	50.0	55.6	57.4	57.8	55.3	57.1	57.4	57.8	57.4	57.8
9. 事業評価の結果に基づく指導・助言												
(1) 市区町村に精度管理評価を個別にフィードバックしましたか	78.7	77.3	84.6	73.3	78.7	75.6	78.7	76.2	78.7	75.6	78.7	75.6
(1-1) 市区町村用チェックリスト(令和3年度検診分)の評価を個別にフィードバックしましたか	63.8	63.6	61.5	60.0	63.8	62.2	63.8	61.9	63.8	62.2	63.8	62.2
(1-2) 市区町村毎のプロセス指標値(令和元年度検診分)の評価を個別にフィードバックしましたか	68.1	68.2	69.2	65.9	68.1	66.7	68.1	69.0	68.1	66.7	68.1	66.7
(1-3) 精度管理に課題のある市区町村に改善策をフィードバックしましたか	61.7	56.8	57.7	53.3	61.7	55.6	61.7	54.8	61.7	55.6	61.7	55.6
(2) 検診機関に精度管理評価を個別にフィードバックしましたか	53.2	27.3	46.2	24.4	53.2	22.2	53.2	26.2	53.2	22.2	53.2	22.2
(2-1) 検診機関用チェックリスト(令和3年度検診分)の評価を個別にフィードバックしましたか	38.3	18.2	26.9	15.6	38.3	15.6	38.3	16.7	38.3	15.6	38.3	15.6
(2-2) 検診機関毎のプロセス指標値(令和元年度検診分)の評価を個別にフィードバックしましたか	19.1	15.9	19.2	13.6	19.1	11.1	19.1	16.7	19.1	11.1	19.1	11.1
(2-3) 精度管理に課題のある検診機関に改善策をフィードバックしましたか	34.0	15.9	19.2	13.3	34.0	13.3	34.0	14.3	34.0	13.3	34.0	13.3
(3) フィードバックの手法や内容についてがん部会に諮り、具体的な助言を受けましたか	59.6	56.8	53.8	53.3	59.6	55.6	57.4	54.8	59.6	55.6	59.6	55.6
(4) 前年度までにフィードバックした改善策の実行状況について、市区町村/検診機関への聞き取り調査等により確認しましたか	46.8	40.9	46.2	37.8	46.8	37.8	46.8	40.5	46.8	37.8	46.8	37.8
10. 事業評価の結果の公表												
(1) 精度管理評価をホームページ等で公表しましたか	76.6	77.3	80.8	75.6	74.5	73.3	74.5	73.8	74.5	73.3	76.6	75.6
(1-1) 市区町村用チェックリスト(令和3年度検診分)の遵守状況と、その評価を公表しましたか	53.2	52.3	46.2	48.9	51.1	48.9	51.1	50.0	51.1	48.9	53.2	51.1
(1-2) 市区町村毎のプロセス指標値(令和元年度検診分)とその評価を公表しましたか	70.2	68.2	69.2	65.9	70.2	66.7	70.2	66.7	70.2	66.7	72.3	68.9
(1-3) 検診機関用チェックリスト(令和3年度検診分)の遵守状況と、その評価を公表しましたか	27.7	13.6	23.1	13.3	27.7	13.3	27.7	11.9	27.7	13.3	27.7	13.3
(1-4) 検診機関毎のプロセス指標値(令和元年度検診分)とその評価を公表しましたか	17.0	4.5	15.4	4.5	17.0	4.4	17.0	4.8	17.0	4.4	17.0	4.4
(1-5) 精度管理が要改善の市区町村について、フィードバックした改善策の内容を公表しましたか	34.0	29.5	30.8	26.7	34.0	28.9	34.0	31.0	34.0	28.9	34.0	28.9
(1-6) 精度管理が要改善の検診機関について、フィードバックした改善策の内容を公表しましたか	8.5	4.5	3.8	4.4	8.5	4.4	8.5	4.8	8.5	4.4	8.5	4.4
(1-7) 都道府県用チェックリストの遵守状況(自己点検結果)を公表しましたか	57.4	56.8	53.8	55.6	57.4	55.6	57.4	54.8	57.4	55.6	57.4	55.6
(1-8) 都道府県としてのプロセス指標値(自己点検結果)を公表しましたか	53.2	52.3	46.2	50.0	53.2	51.1	53.2	52.4	53.2	51.1	53.2	51.1
(2) 公表の手法や内容についてがん部会に諮り、具体的な助言を受けましたか	51.1	50.0	42.3	46.7	51.1	48.9	48.9	47.6	51.1	48.9	51.1	48.9

(注1) 初回受診者及び逐年検診受診者等の受診歴別

初回受診者の定義：・ 過去3年に受診歴がない者(胃がん※/大腸がん/乳がん/子宮頸がん)

・ 前年に受診歴がない者(肺がん)

※過去3年間に胃部エックス線検査と胃内視鏡検査のいずれかの受診歴がない者

(注2) 精検受診、精検未受診、精検未把握の定義

- 精検受診 : 精検機関より精検結果の報告があったもの。もしくは受診者が詳細(精検日・受診機関・精検法・精検結果の4つ全て)を申告したもの
精検未受診 : 要精検者が精検機関に行かなかったことが判明しているもの(受診者本人の申告及び精検機関で受診の事実が確認されないもの)及び
精検として不適切な検査が行われたもの(たとえば便潜血検査の再検、喀痰細胞診要精検者に対する喀痰細胞診再検、
ASC-USを除く要精検者に対する細胞診のみの再検など)
精検未把握 : 精検受診の有無が分からないもの及び(精検受診したとしても)精検結果が正確に報告されないもの

なお、胃内視鏡検診では下記の整理とする

- 精検受診 : 内視鏡検診時に同時生検したもの、および、ダブルチェックで要再検査となり再検査を受診したもの
精検未受診 : 再検査を受けなかったことが判明しているもの
精検未把握 : 再検査受診の有無が分からないもの及び再検査の結果が正確に報告されないもの。ただし、同時生検で病理組織診断が不明(未報告を含む)な場合は、精検未完了と考え、地域保健・健康増進事業報告では「精検受診、かつ、がん疑い又は未確定」として計上する

令和3年度 都道府県及び生活習慣病検診等管理指導協議会の活動状況調査結果

都道府県用がん検診チェックリスト実施率（都道府県別の全項目実施率）

【本調査の対象年度について】

令和3年度のがん検診ご担当者が把握可能な最新年度を想定し、下記を対象としました。

- ・令和3年度の検診体制（市区町村や検診機関のチェックリスト遵守状況）
- ・令和元年度の検診のプロセス指標

（ただし、各都道府県の方針により、平成30年度のデータ（最新の地域保健・健康増進事業報告の公表値）や令和2年度のデータを集計・評価している場合もあり、本調査ではこの場合も可としています。）

■チェックリスト実施率（全項目）（注1）

（単位：％、ハイフンは当該部位の検診を未実施と回答した都道府県）

	胃がん/エックス線		胃がん/内視鏡		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん	
	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
0 全国	65.9	62.3	64.6	61.2	65.9	60.9	64.4	60.5	66.0	61.5	65.4	61.0
1 北海道	43.7	43.7	42.3	42.3	40.6	40.6	28.6	28.6	42.3	42.3	40.0	40.0
2 青森県	77.5	71.8	-	71.8	76.8	71.0	78.6	72.9	77.5	71.8	78.7	73.3
3 岩手県	70.4	70.4	70.4	70.4	72.5	72.5	70.0	70.0	70.4	70.4	70.7	70.7
4 宮城県	45.1	45.1	-	43.7	43.5	43.5	42.9	42.9	45.1	45.1	44.0	45.3
5 秋田県	71.8	88.7	-	-	71.0	71.0	71.4	88.6	71.8	71.8	72.0	72.0
6 山形県	74.6	7.0	57.7	11.3	73.9	7.2	71.4	7.1	71.8	7.0	60.0	5.3
7 福島県	53.5	53.5	54.9	54.9	58.0	58.0	48.6	48.6	54.9	54.9	57.3	57.3
8 茨城県	78.9	52.1	-	52.1	81.2	53.6	78.6	51.4	78.9	59.2	73.3	48.0
9 栃木県	88.7	60.6	-	62.0	88.4	59.4	95.7	67.1	88.7	60.6	88.0	60.0
10 群馬県	94.4	77.5	-	77.5	92.8	76.8	92.9	77.1	93.0	77.5	92.0	77.3
11 埼玉県	80.3	78.9	-	78.9	79.7	78.3	80.0	78.6	80.3	78.9	74.7	73.3
12 千葉県	52.1	49.3	-	50.7	50.7	47.8	51.4	48.6	52.1	49.3	53.3	50.7
13 東京都	84.5	84.5	84.5	84.5	84.1	84.1	84.3	84.3	84.5	84.5	85.3	85.3
14 神奈川県	56.3	56.3	56.3	56.3	55.1	55.1	55.7	55.7	56.3	56.3	60.0	60.0
15 新潟県	91.5	83.1	-	83.1	91.3	82.6	85.7	-	91.5	93.0	89.3	84.0
16 富山県	64.8	60.6	64.8	60.6	66.7	62.3	57.1	52.9	64.8	60.6	66.7	62.7
17 石川県	95.8	81.7	-	81.7	95.7	78.3	95.7	81.4	95.8	78.9	96.0	78.7
18 福井県	98.6	98.6	98.6	98.6	98.6	98.6	98.6	98.6	98.6	98.6	98.7	98.7
19 山梨県	87.3	87.3	87.3	87.3	87.0	87.0	87.1	87.1	87.3	87.3	88.0	88.0
20 長野県	47.9	47.9	47.9	47.9	46.4	46.4	47.1	47.1	47.9	47.9	49.3	49.3
21 岐阜県	63.4	63.4	63.4	63.4	65.2	65.2	62.9	62.9	63.4	63.4	64.0	64.0
22 静岡県	39.4	39.4	39.4	39.4	39.1	39.1	38.6	38.6	39.4	39.4	38.7	38.7
23 愛知県	62.0	47.9	62.0	47.9	63.8	49.3	52.9	47.1	62.0	47.9	61.3	46.7
24 三重県	62.0	46.5	62.0	46.5	63.8	47.8	62.9	47.1	62.0	46.5	61.3	46.7
25 滋賀県	81.7	81.7	-	81.7	81.2	81.2	81.4	81.4	81.7	81.7	81.3	81.3
26 京都府	39.4	31.0	-	32.4	37.7	29.0	38.6	-	39.4	31.0	40.0	30.7
27 大阪府	59.2	59.2	59.2	59.2	58.0	58.0	60.0	60.0	59.2	59.2	60.0	60.0
28 兵庫県	35.2	35.2	35.2	35.2	24.6	24.6	24.3	24.3	31.0	31.0	44.0	44.0
29 奈良県	54.9	43.7	-	46.5	56.5	44.9	54.3	42.9	54.9	43.7	53.3	42.7
30 和歌山県	73.2	69.0	-	69.0	72.5	68.1	75.7	71.4	74.6	70.4	74.7	70.7
31 鳥取県	69.0	67.6	69.0	67.6	68.1	66.7	70.0	68.6	70.4	69.0	66.7	65.3
32 島根県	25.4	-	-	25.4	26.1	26.1	10.0	10.0	25.4	25.4	21.3	21.3
33 岡山県	62.0	54.9	-	54.9	63.8	56.5	61.4	54.3	62.0	54.9	61.3	54.7
34 広島県	43.7	43.7	45.1	45.1	46.4	46.4	44.3	44.3	45.1	45.1	38.7	38.7
35 山口県	71.8	71.8	-	71.8	71.0	71.0	71.4	71.4	70.4	70.4	72.0	72.0
36 徳島県	74.6	73.2	-	76.1	73.9	73.9	74.3	74.3	76.1	76.1	74.7	74.7
37 香川県	81.7	81.7	81.7	81.7	81.2	81.2	81.4	81.4	81.7	81.7	80.0	80.0
38 愛媛県	78.9	-	-	-	78.3	-	78.6	-	78.9	-	78.7	-
39 高知県	50.7	50.7	52.1	52.1	52.2	52.2	51.4	51.4	50.7	50.7	46.7	46.7
40 福岡県	63.4	57.7	63.4	57.7	63.8	58.0	62.9	57.1	63.4	57.7	64.0	58.7
41 佐賀県	84.5	84.5	84.5	84.5	84.1	84.1	82.9	82.9	83.1	83.1	85.3	85.3
42 長崎県	71.8	71.8	73.2	73.2	72.5	72.5	72.9	72.9	73.2	73.2	73.3	73.3
43 熊本県	74.6	74.6	74.6	74.6	73.9	73.9	74.3	74.3	74.6	74.6	77.3	77.3
44 大分県	5.6	-	-	-	5.8	-	5.7	-	5.6	-	5.3	-
45 宮崎県	70.4	56.3	70.4	56.3	76.8	62.3	71.4	-	77.5	63.4	72.0	58.7
46 鹿児島県	63.4	56.3	-	54.9	63.8	56.5	61.4	54.3	62.0	54.9	62.7	56.0
47 沖縄県	78.9	78.9	78.9	78.9	78.3	78.3	80.0	80.0	78.9	78.9	78.7	78.7

注1：全項目数：胃がん（エックス線、内視鏡）71項目、大腸がん 69項目、肺がん 70項目、乳がん 71項目、子宮頸がん 75項目

注2：令和3年度は実施しているが、令和元年度は未実施（プロセス指標に関する項目は回答非該当）のため全項目実施率は“-”とした

令和5年度市区町村におけるがん検診実施状況調査（令和4年度検診実施分）

種別	質問	内容	京都市	京都府	福知山市	舞鶴市	綾部市	宇治市	宮津市	亀岡市	城陽市	向日市	長岡京市	八幡市	京田辺市	京丹後市	南丹市	木津川市	大山崎町	久御山町	井手町	宇治田原町	笠置町	和束町	精華町	南山城村	京丹波町	伊根町	与謝野町							
胃がん	検診実施有無	(集団) 胃部エックス線検査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
		(集団) 胃内視鏡検査	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×					
		(個別) 胃部エックス線検査	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×				
		(個別) 胃内視鏡検査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	対象年齢	指針に基づき設定（50歳以上・上限なし）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
		その他（下限～上限）																																		
	費用負担	受診間隔	指針に基づき設定（原則2年に1回）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			受診機会は毎年、1年に1回																																	
		費用負担	受診機会が隔年、2年に1回																																	
			(集団) 胃部エックス線検査	イ	ア	イ	イ	イ	イ	ア	ア	イ	イ	イ	イ	無料	ア	無料	ア	イ	イ	-	無料	ア	無料	イ	イ	無料	無料	無料	無料	無料	無料	無料		
			(集団) 胃内視鏡検査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			(個別) 胃部エックス線検査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ウ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	肺がん	検診実施有無	(個別) 胃内視鏡検査	カ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ		
(集団) 胸部エックス線検査			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(集団) 喀痰細胞診			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(個別) 胸部エックス線検査			×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
対象者（X線）		指針に基づき設定（40歳以上・上限制限なし）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		指針に基づき設定（50歳以上・Bt指数で限定）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
費用負担		喫煙状況で限定しない																																		
		その他（職業、希望者等）																																		
		指針に基づき設定（毎年）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		(集団) 胸部エックス線検査	無料	無料	無料	無料	無料	無料	無料	無料	無料	無料	無料	無料	無料	無料	無料	無料	無料	無料	無料	無料	無料	無料	無料	無料	無料	無料	無料	無料	無料	無料	無料	無料	無料	無料

令和5年度市区町村におけるがん検診実施状況調査（令和4年度検診実施分）

種別	質問	内容	京都市	福知山市	舞鶴市	綾部市	宇治市	宮津市	亀岡市	城陽市	向日市	長岡京市	八幡市	京田辺市	京丹後市	南丹市	木津川市	大山崎町	久御山町	井手町	宇治田原町	笠置町	和束町	精華町	南山城村	京丹波町	伊根町	与謝野町
大腸がん	検診実施有無	(集団)便潜血検査 (個別)便潜血検査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	対象年齢	指針に基づき設定(40歳以上・上限制限なし)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	受診間隔	指針に基づき設定(毎年)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	費用負担	(集団)便潜血検査 (個別)便潜血検査	ア	ア	イ	ア	イ	イ	-	イ	イ	ア	ア	無料	ア	-	ア	ア	ア	イ	無料	ア	無料	ア	ア	-	-	-
乳がん	検診実施有無	(集団)マンモグラフィ(単独) (集団)マンモグラフィ(視触診併用) (個別)マンモグラフィ(単独) (個別)マンモグラフィ(視触診併用)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	対象年齢	指針に基づき設定(40歳以上・上限制限なし)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	受診間隔	指針に基づき設定(2年に1度の受診) 同一人につき受診機会、受診頻度も毎年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	費用負担	(集団)マンモグラフィ単独・視触診併用 (個別)マンモグラフィ単独・視触診併用	ウ	イ	ウ	ウ	エ	ア	ア	エ	ウ	イ	イ	無料	ア	-	イ	イ	イ	-	無料	ア	-	無料	イ	無料	無料	無料
子宮頸がん	検診実施有無	(集団)細胞診(従来法) (集団)細胞診(液状検体法) (個別)細胞診(従来法) (個別)細胞診(液状検体法)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	対象年齢	指針に基づき設定(20歳以上・上限制限なし)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	受診間隔	指針に基づき設定(2年に1度の受診) 同一人につき受診機会、受診頻度も毎年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	費用負担	(集団)細胞診 (個別)細胞診	イ	イ	エ	イ	-	ア	ア	ウ	ウ	-	-	無料	イ	-	ア	イ	-	-	無料	ア	無料	-	イ	無料	無料	無料

令和5年度市区町村におけるがん検診実施状況調査（令和4年度検診実施分）

種別	質問	内容	京都市	福知山市	舞鶴市	綾部市	宇治市	宮津市	亀岡市	城陽市	向日市	長岡京市	八幡市	京田辺市	京丹後市	南丹市	木津川市	大山崎町	久御山町	井手町	宇治田原町	笠置町	和束町	精華町	南山城村	京丹波町	伊根町	与謝野町			
その他	実施有無	ヘリコプター・ピロリ検査単独	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x			
		ABC, リスク層別化検査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		前立腺がんの検診	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x		
		肝臓がんの検診	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x		
		子宮体がんの検診	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x		
		卵巣がんの検診	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
		甲状腺がんの検診	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
		口腔がんの検診	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		喉頭がん、咽頭がんの検診	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		全がんに対する検診（CT）	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		全がんに対する検診（MRI）	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		全がんに対する検診（PET）	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		全がんに対する検診（腫瘍マーカー）	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x

第40回がん検診のあり方に関する検討会	参考資料 5
令和5年12月18日（月）	

令和5年度 市区町村におけるがん検診の実施状況調査 全国集計

調査方法等

方 法：令和5年7月に、都道府県を通じて市区町村に調査回答を依頼。調査・集計は国立研究開発法人国立がん研究センターに委託して実施
対象時期：特段の時期の指定のないものは、令和4年度のがん検診事業が対象

0. 回答状況

1. 実施体制及び受診勧奨等について

2～6. 胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん検診の実施状況について

7. その他のがんの検診の実施状況

0. 回答状況

	市区町村数	回答率
回答のあった市区町村	1735	99.9%
調査対象とした市区町村	1737	

1. 実施体制及び受診勧奨等について

① 事業所や被用者保険の保険者で実施されるがん検診の受診の有無の把握

	市区町村数	(%)
全ての対象者について個人毎に把握した	123	7.1%
一部の対象者について個人毎に把握した	265	15.3%
無記名のアンケート調査等で割合として把握した	15	0.9%
把握していない	1291	74.4%
その他	41	2.4%
合計	1735	

② 検診の不利益(偽陽性、偽陰性、偶発性、偶発症等)に関する、個人が閲覧する書面(説明書や同意書等)や口頭による説明状況

	市区町村数	(%)
受診者全員に同様に説明した	1397	80.5%
高齢者や他の疾患を持つ等、ハイリスクと考えられる者のみに説明した	52	3.0%
説明していない(ポスター掲示を含む)	286	16.5%
合計	1735	

①-1 検診実施の有無

	胃がん		肺がん		大腸がん		乳がん		子宮頸がん	
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)
実施した	1732	99.8%	1731	99.8%	1735	100.0%	1731	99.8%	1733	99.9%
実施していない	3	0.2%	4	0.2%	0	0.0%	4	0.2%	2	0.1%
合計	1735		1735		1735		1735		1735	

①-2 検診を実施していない理由の自由記載 (①-1で「その他」を選択した自治体)

胃がん	<ul style="list-style-type: none"> 悪天候により医療機関が来島できなかったため 例年実施していないため 離島であり検診車を会場に運ぶことが出来ないため。また、本島での受診体制を整えることができていないため
肺がん	<ul style="list-style-type: none"> 肺がん発見率が低いため、財源をより有効性のある他のがん検診に充当することにした 肺がん検診の導入について取り上げたが、がん検診導入ではなく禁煙について啓発活動することを優先としたため 過去に集団検診を行っていたが、受診してみつからなかったにも関わらず発症し死亡した例が2年連続であり、集団検診をやめて以来行っていない へリカルCT検診を、肺がん検診としているため、指針に基づいた肺がん検診は実施していない
乳がん	<ul style="list-style-type: none"> 悪天候のため医療機関が来島できなかった 隔年実施の為
子宮頸がん	<ul style="list-style-type: none"> (同一人の受診機会を2年に1回としており)人口規模的に集団検診実施体制を隔年(奇数年度)としているため 人口規模が少ないため2年に1回の実施としている 悪天候のため医療機関が来島できなかった 隔年実施の為

② 集団検診・個別検診の実施状況

	胃がん		肺がん		大腸がん		乳がん		子宮頸がん	
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)
集団のみ実施	651	37.5%	998	57.5%	754	43.5%	290	16.7%	164	9.5%
個別のみ実施	72	4.1%	76	4.4%	130	7.5%	110	6.3%	254	14.6%
集団・個別共に実施	1009	58.2%	657	37.9%	851	49.0%	1331	76.7%	1315	75.8%
検診を実施していない	3	0.2%	4	0.2%	0	0.0%	4	0.2%	2	0.1%
合計	1735		1735		1735		1735		1735	

乳がん検診	集団検診				個別検診			
	対象者全てに実施している市区町村		対象者の一部に実施している市区町村		対象者全てに実施している市区町村		対象者の一部に実施している市区町村	
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)
問診	1729	99.9%	1326	292	99.8%	1172	263	99.6%
乳房エックス線検査(マンモグラフィ)	1726	99.7%	1081	529	99.3%	999	432	99.3%
視触診	367	21.2%	74	60	8.3%	113	228	23.7%
超音波検査(エコー)	714	41.2%	130	495	38.6%	67	267	23.2%
その他の検査	4	0.2%	1	1	0.1%	2	1	0.2%
乳がん検診実施の市区町村数	1731		1621			1441		

子宮頸がん検診	集団検診				個別検診			
	対象者全てに実施している市区町村		対象者の一部に実施している市区町村		対象者全てに実施している市区町村		対象者の一部に実施している市区町村	
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)
問診	1731	99.9%	1221	256	99.9%	1295	265	99.4%
視診、内診	1603	92.5%	1079	238	89.0%	1186	270	92.8%
細胞診(従来法)	1047	60.4%	448	176	42.2%	554	392	60.3%
細胞診(液状検体法)	1130	65.2%	756	168	62.5%	595	379	62.1%
HPV検査(細胞診陽性者への再検査ではなく、検診として実施)	242	14.0%	19	184	13.7%	11	161	11.0%
その他の検査	120	6.9%	25	51	5.1%	14	60	4.7%
子宮頸がん検診実施の市区町村数	1733		1479			1569		

③-2 喀痰細胞診・便潜血検査の郵送回収(③-1で喀痰細胞診・便潜血検査を「実施した」を選択した自治体)

郵送回収	肺がん(喀痰細胞診)				大腸がん(便潜血検査)			
	集団検診		個別検診		集団検診		個別検診	
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)
郵送回収なし	1251	86.0%	369	65.7%	1518	94.7%	749	76.5%
郵送回収の受診者あり	171	11.8%	21	3.7%	71	4.4%	43	4.4%
郵送回収の有無不明	32	2.2%	172	30.6%	14	0.9%	187	19.1%
喀痰細胞診・便潜血検査実施の市区町村数	1454		562		1603		979	

④ 胃内視鏡検査を実施していない理由(③で内視鏡検査を「実施していない」を選択した自治体)(複数選択可)

胃がん検診	集団検診		個別検診	
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)
検査を実施するための予算を確保できないため	271	17.3%	59	26.9%
検査を実施できる施設・設備がないため	1166	74.3%	96	43.8%
検査を実施するための精度管理体制が整わないため	474	30.2%	110	50.2%
他に優先すべき事業があるため	26	1.7%	6	2.7%
検診の有効性について疑問があるため	6	0.4%	5	2.3%
委託できる事業者がないため	707	45.0%	50	22.8%
その他	100	6.4%	40	18.3%
胃がん内視鏡検診未実施の市区町村数	1570		219	

⑤-1 視触診の運用方法(③で視触診を「実施した」を選択した自治体)

乳がん検診	集団検診		個別検診	
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)
原則視触診は実施しないが、仮に実施する場合は乳房エックス線検査と併せて実施する	17	12.7%	101	29.6%
原則、視触診と乳房エックス線検査を併せて実施する	98	73.1%	148	43.4%
視触診のみを実施する	0	0.0%	8	2.3%
視触診と乳房エックス線検査以外の検査とを併せて実施する	3	2.2%	22	6.5%
その他	16	11.9%	62	18.2%
乳がん視触診検診実施の市区町村数	134		341	

⑤-2 視触診の今後の実施予定(③で視触診を「実施した」を選択した自治体)

乳がん検診	集団検診		個別検診	
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)
令和5年度に実施をやめた、またはやめる予定である	27	20.1%	27	7.9%
令和6年度以降実施をやめる予定である	18	13.4%	33	9.7%
視触診をやめる予定なし	89	66.4%	281	82.4%
乳がん視触診検診実施の市区町村数	134		341	

⑤-3 視触診をやめる予定のない理由(③で視触診を「実施した」、⑤-2で「視触診をやめる予定なし」を選択した自治体)(複数選択可)

乳がん検診	集団検診		個別検診	
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)
指針における乳がん検診の推奨に「仮に視触診を実施する場合は乳房エックス線検査と併用する」とあり、乳房エックス線検査との併用であれば視触診の実施は問題ないと考えているため	49	55.1%	133	47.3%
乳房エックス線検査のみの検診の有効性について疑問があるため	8	9.0%	9	3.2%
検診を実施する医師の了解が得られないため	23	25.8%	101	35.9%
その他	21	23.6%	76	27.0%
乳がん視触診検診実施かつ、やめる予定のない市区町村数	89		281	

⑥ 対象年齢

	胃がん			肺がん			大腸がん			乳がん			子宮頸がん					
	胃部エックス線検査			胸部的エックス線検査			喀痰細胞診			便潜血検査			乳房エックス線検査 (マンモグラフィ)			細胞診		
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)		
指針に基づき設定※	121	7.1%	529	57.1%	1366	80.4%	1130	73.7%	1347	77.7%	1472	85.3%	1691	98.1%				
その他	1587	92.9%	397	42.9%	334	19.6%	404	26.3%	387	22.3%	254	14.7%	33	1.9%				
各がん検診実施の市区町村数	1708		926		1700		1534		1734		1726		1724					

※指針に基づいた対象年齢は次の通り(大腸がん、肺がん、乳がん検診:50歳以上、上限なし。胃がん検診:50歳以上、上限なし。子宮頸がん検診:20歳以上、上限なし。)

⑦ 胃部エックス線検査の今後の対象年齢(⑥で胃部エックス線検査の対象年齢で「その他」を選択し下限年齢を「40歳以上」と回答した自治体)

胃がん検診	市区町村数	(%)
令和5年度中に対象年齢を50歳以上にしている、またははする予定である	4	0.3%
令和6年度以降に対象年齢を50歳以上にする予定である	21	1.8%
指針における胃部エックス線検査の年齢の推奨から「当分の間40歳代に対して実施可能」の記載がなくなった時に検討する	944	80.9%
対象年齢を変更する予定なし	198	17.0%
胃部エックス線検診実施かつ、対象年齢下限が40歳の市区町村数	1167	

⑧-1 受診間隔(肺・大腸)

	肺がん			大腸がん		
	胸部エックス線検査			便潜血検査		
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)
指針に基づき設定(毎年)	1697	99.8%	1494	97.4%	1732	99.9%
その他	3	0.2%	40	2.6%	2	0.1%
各がん検診実施の市区町村数	1700		1534		1734	

⑧-2 受診間隔(胃・乳・子宮頸)

	胃がん			乳がん			子宮頸がん					
	胃部エックス線検査			胃内視鏡検査			乳房エックス線検査 (マンモグラフィ)			細胞診		
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)
指針に基づき設定(同一人にとって受診機会は毎年あるが、原則2年に1度の受診を勧奨)	104	6.1%	287	31.0%	759	44.0%	653	37.9%				
同一人にとって受診機会、受診勧奨ともに毎年	1530	89.6%	272	29.4%	436	25.3%	720	41.8%				
同一人にとって受診機会、受診勧奨ともに隔年	34	2.0%	319	34.4%	466	27.0%	282	16.4%				
その他	40	2.3%	48	5.2%	65	3.8%	69	4.0%				
各がん検診実施の市区町村数	1708		926		1726		1724					

⑨ 胃部エックス線検査の今後の受診間隔(令和4年度は年1回の実施としていた自治体)

胃がん検診	市区町村数	(%)
令和5年度中に2年に1度の受診間隔にしている、またはする予定である	9	0.6%
令和6年度以降に2年に1度の受診間隔にする予定をしている	28	1.8%
指針における胃部エックス線検査の検診間隔の推奨から「当分の間年1回実施可能」の記載がなくなった時に検討する	1165	76.1%
受診間隔を変更する予定なし	328	21.4%
胃がんエックス線検診実施かつ、受診間隔が毎年の市区町村数	1530	

⑩ 胃内視鏡検査受診者の翌年度の受診可能な検査方法(③で胃部エックス線検査および胃内視鏡検査を実施としていた自治体)

胃がん検診	市区町村数	(%)
指針に基づき設定(胃内視鏡検査も胃部エックス線検査も受診できない)	351	38.4%
胃内視鏡検査も胃部エックス線検査も受診可能	277	30.3%
胃部エックス線検査のみ受診可能	283	31.0%
胃内視鏡検査のみ受診可能	3	0.3%
胃内視鏡検査および胃部エックス線検査実施の市区町村数	914	

⑪ 肺がん喀痰細胞診対象者の喫煙状況の条件(③で喀痰細胞診を実施としていた自治体)

肺がん検診	市区町村数	(%)
指針に基づき設定(喫煙指数600以上):それ以外は受診できない	1122	73.1%
喫煙指数で限定している	23	1.5%
喫煙指数以外の喫煙状況(喫煙本数、喫煙年数等)で限定している	14	0.9%
喫煙指数で限定していない	200	13.0%
その他	175	11.4%
肺がん喀痰細胞診実施の市区町村数	1534	

⑫-1 定員

集団検診	胃がん		肺がん		大腸がん		乳がん		子宮頸がん	
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)
定員は設けていない	714	43.0%	927	56.0%	1144	71.3%	550	33.9%	616	41.6%
定員を設けている	910	54.8%	692	41.8%	442	27.5%	1041	64.2%	842	56.9%
その他	36	2.2%	36	2.2%	19	1.2%	30	1.9%	21	1.4%
各がん検診実施の市区町村数(集団検診)	1660		1655		1605		1621		1479	

個別検診	胃がん		肺がん		大腸がん		乳がん		子宮頸がん	
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)
定員は設けていない	806	74.6%	573	78.2%	853	87.0%	1105	76.7%	1274	81.2%
定員を設けている	190	17.6%	108	14.7%	79	8.1%	236	16.4%	200	12.7%
その他	85	7.9%	52	7.1%	49	5.0%	100	6.9%	95	6.1%
各がん検診実施の市区町村数(個別検診)	1081		733		981		1441		1569	

⑫-2 受診者の受入れ状況について(検診のキャパシティ)

集団検診	胃がん		肺がん		大腸がん		乳がん		子宮頸がん	
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)
検診のキャパシティは足りている (受診希望した人は基本的にすべて受診してもらえている)	1569	94.5%	1608	97.2%	1577	98.3%	1479	91.2%	1410	95.3%
検診のキャパシティが足りていない (受診希望しても受診してもらえない人がいる)	63	3.8%	35	2.1%	20	1.2%	110	6.8%	55	3.7%
その他	28	1.7%	12	0.7%	8	0.5%	32	2.0%	14	0.9%
各がん検診実施の市区町村数(集団検診)	1660		1655		1605		1621		1479	

個別検診	胃がん		肺がん		大腸がん		乳がん		子宮頸がん	
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)
検診のキャパシティは足りている (受診希望した人は基本的にすべて受診してもらえている)	987	91.3%	707	96.5%	957	97.6%	1372	95.2%	1523	97.1%
検診のキャパシティが足りていない (受診希望しても受診してもらえない人がいる)	54	5.0%	9	1.2%	7	0.7%	36	2.5%	18	1.1%
その他	40	3.7%	17	2.3%	17	1.7%	33	2.3%	28	1.8%
各がん検診実施の市区町村数(個別検診)	1081		733		981		1441		1569	

⑬ 受診時の費用負担(個人負担)

集団検診	胃がん		肺がん		大腸がん		乳がん		子宮頸がん					
	胃内視鏡検査		喀痰細胞診		便潜血検査		乳房エックス線検査 (マンモグラフィ)		細胞診					
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)				
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)				
対象者全員自己負担なし	227	13.8%	11	12.2%	626	38.5%	362	24.9%	276	17.2%	216	13.4%	193	13.1%
一部の対象者は自己負担なし(年齢や所得に応じて費用を免除)	1166	71.1%	29	32.2%	870	53.6%	770	53.0%	1108	69.1%	1212	75.3%	1112	75.6%
対象者全員が自己負担あり	247	15.1%	50	55.6%	128	7.9%	322	22.1%	219	13.7%	182	11.3%	165	11.2%
各がん検診実施の市区町村数(集団検診)	1640		90		1624		1454		1603		1610		1470	

個別検診	胃がん		肺がん		大腸がん		乳がん		子宮頸がん					
	胃内視鏡検査		喀痰細胞診		便潜血検査		乳房エックス線検査 (マンモグラフィ)		細胞診					
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)				
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)				
対象者全員自己負担なし	70	10.3%	56	6.5%	159	22.1%	138	24.6%	157	16.0%	295	20.6%	276	17.7%
一部の対象者は自己負担なし(年齢や所得に応じて費用を免除)	485	71.6%	578	67.1%	461	64.2%	326	58.0%	682	69.7%	995	69.5%	1121	71.9%
対象者全員が自己負担あり	122	18.0%	228	26.5%	98	13.6%	98	17.4%	140	14.3%	141	9.9%	162	10.4%
各がん検診実施の市区町村数(個別検診)	677		862		718		562		979		1431		1559	

⑭-1 費用免除の基準 ⑬で「一部の対象者は自己負担なし」を選択した自治体（複数選択可）

集団検診	胃がん				肺がん		大腸がん		乳がん		子宮頸がん	
	胃部エックス線検査		胃内視鏡検査		胸部エックス線検査		便潜血検査		乳房エックス線検査 (マンモグラフィ)		細胞診	
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)
自己負担なしの対象を年齢で決めている	685	58.7%	13	44.8%	545	62.6%	698	63.0%	843	69.6%	789	71.0%
自己負担なしの対象を所得等で決めている	540	46.3%	14	48.3%	391	44.9%	495	44.7%	526	43.4%	475	42.7%
その他	541	46.4%	12	41.4%	399	45.9%	510	46.0%	533	44.0%	482	43.3%
「一部の対象者は自己負担なし」の市区町村数(集団検診)	1166		29		870		1108		1212		1112	

個別検診	胃がん				肺がん		大腸がん		乳がん		子宮頸がん	
	胃部エックス線検査		胃内視鏡検査		胸部エックス線検査		便潜血検査		乳房エックス線検査 (マンモグラフィ)		細胞診	
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)
自己負担なしの対象を年齢で決めている	278	57.3%	233	40.3%	263	57.0%	405	59.4%	683	68.6%	785	70.0%
自己負担なしの対象を所得等で決めている	248	51.1%	312	54.0%	228	49.5%	350	51.3%	455	45.7%	499	44.5%
その他	237	48.9%	275	47.6%	223	48.4%	329	48.2%	461	46.3%	501	44.7%
「一部の対象者は自己負担なし」の市区町村数(個別検診)	485		578		461		682		995		1121	

⑭-2 平均的な受診時の費用負担(個人負担)額 ⑬で「対象者全員が自己負担あり」または、「一部の対象者は自己負担なし」を選択した自治体

1 集団 検診	胃がん				肺がん		大腸がん		乳がん		子宮頸がん	
	胃部エックス線検査		胃内視鏡検査		胸部エックス線検査		喀痰細胞診		便潜血検査		乳房エックス線検査 (マンモグラフィ)	
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)
0～500円	265	18.8%	0	0.0%	826	82.8%	540	49.5%	1070	80.6%	198	14.2%
501～1000円	616	43.6%	6	7.6%	162	16.2%	481	44.0%	248	18.7%	464	33.3%
1001～1500円	354	25.1%	7	8.9%	4	0.4%	47	4.3%	8	0.6%	387	27.8%
1501～2000円	137	9.7%	8	10.1%	4	0.4%	12	1.1%	0	0.0%	247	17.7%
2001～2500円	27	1.9%	4	5.1%	0	0.0%	4	0.4%	0	0.0%	70	5.0%
2501円～	14	1.0%	54	68.4%	2	0.2%	8	0.7%	1	0.1%	28	2.0%
自己負担(対象者全員/一部の対象者)ありの市区町村数(集団検診)	1413		79		998		1092		1327		1394	

個別検診	胃がん				肺がん		大腸がん		乳がん		子宮頸がん	
	胃部エックス線検査		胃内視鏡検査		胸部エックス線検査		喀痰細胞診		便潜血検査		乳房エックス線検査 (マンモグラフィ)	
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)
0～500円	45	7.4%	9	1.1%	301	53.8%	198	46.7%	521	63.4%	110	9.7%
501～1000円	120	19.8%	29	3.6%	177	31.7%	180	42.5%	247	30.0%	301	26.5%
1001～1500円	107	17.6%	62	7.7%	50	8.9%	32	7.5%	37	4.5%	279	24.6%
1501～2000円	117	19.3%	138	17.1%	15	2.7%	8	1.9%	5	0.6%	276	24.3%
2001～2500円	58	9.6%	82	10.2%	1	0.2%	3	0.7%	2	0.2%	100	8.8%
2501円～	160	26.4%	486	60.3%	15	2.7%	3	0.7%	10	1.2%	70	6.2%
自己負担(対象者全員/一部の対象者)ありの市区町村数(個別検診)	607		806		559		424		822		1136	

⑮ 特定健診との同時受診

	胃がん		肺がん		大腸がん		乳がん		子宮頸がん	
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)
全受診者が同時受診可能	601	34.7%	767	44.3%	783	45.1%	220	12.7%	182	10.5%
一部の受診者が同時受診可能	856	49.4%	736	42.5%	809	46.6%	884	51.1%	890	51.4%
全受診者が同時受診不可	275	15.9%	228	13.2%	143	8.2%	627	36.2%	661	38.1%
各がん検診実施の市区町村数	1732		1731		1735		1731		1733	

⑯-1 個別受診勧奨の実施(胃・肺・大腸)

	胃がん		肺がん		大腸がん	
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)
個別受診勧奨を実施した	1456	84.1%	1424	82.3%	1484	85.5%
個別受診勧奨を実施していない	276	15.9%	307	17.7%	251	14.5%
各がん検診実施の市区町村数	1732		1731		1735	

⑯-2 個別受診勧奨の実施(乳・子宮頸)

	乳がん		子宮頸がん	
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)
個別受診勧奨を実施した	1471	85.0%	1476	85.2%
個別受診勧奨を実施していない	115	6.6%	110	6.3%
国の補助事業(クーポン配布)でのみ実施	145	8.4%	147	8.5%
各がん検診実施の市区町村数	1731		1733	

⑰-1 個別受診勧奨の対象者(⑯で「個別受診勧奨を実施した」を選択した自治体)(複数選択可)

	胃がん		肺がん		大腸がん		乳がん		子宮頸がん	
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)
1 検診対象年齢の全員に個別受診勧奨を実施	703	48.3%	717	50.4%	720	48.5%	689	46.8%	697	47.2%
特定の年齢層の者に個別受診勧奨を実施	221	15.2%	222	15.6%	224	15.1%	263	17.9%	277	18.8%
5歳刻み等、節目年齢の者に個別勧奨を実施	287	19.7%	252	17.7%	329	22.2%	318	21.6%	312	21.1%
市町村国保の加入者に個別受診勧奨を実施	291	20.0%	297	20.9%	304	20.5%	227	15.4%	214	14.5%
過去に住民検診の受診歴のある者に個別受診勧奨を実施	240	16.5%	218	15.3%	225	15.2%	273	18.6%	275	18.6%
その他	263	18.1%	239	16.8%	266	17.9%	299	20.3%	306	20.7%
個別受診勧奨実施の市区町村数	1456		1424		1484		1471		1476	

⑰-2 個別受診勧奨の方法(⑯で「個別受診勧奨を実施した」を選択した自治体)(複数選択可)

	胃がん		肺がん		大腸がん		乳がん		子宮頸がん	
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)
対象者に個別に郵送で通知	1136	78.0%	1099	77.2%	1170	78.8%	1206	82.0%	1214	82.2%
対象者に個別に電話で通知	74	5.1%	74	5.2%	76	5.1%	85	5.8%	77	5.2%
個別訪問により通知(自治体職員による)	41	2.8%	38	2.7%	39	2.6%	28	1.9%	26	1.8%
個別訪問により通知(ボランティア等、自治体職員以外の方の協力による)	103	7.1%	111	7.8%	105	7.1%	98	6.7%	96	6.5%
世帯主宛に対象者全員を明記した書類を郵送等で通知	299	20.5%	303	21.3%	302	20.4%	264	17.9%	275	18.6%
その他	37	2.5%	34	2.4%	48	3.2%	44	3.0%	37	2.5%
個別受診勧奨実施の市区町村数	1456		1424		1484		1471		1476	

⑰-3 検診未受診者に対する個別再勧奨(⑯で「個別受診勧奨を実施した」を選択した自治体)

	胃がん		肺がん		大腸がん		乳がん		子宮頸がん	
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)
未受診者の全員に実施	108	7.4%	113	7.9%	117	7.9%	150	10.2%	142	9.6%
一部の未受診者に対して実施	559	38.4%	496	34.8%	623	42.0%	747	50.8%	734	49.7%
実施していない	789	54.2%	815	57.2%	744	50.1%	574	39.0%	600	40.7%
個別受診勧奨実施の市区町村数	1456		1424		1484		1471		1476	

⑱ 予約方法(複数選択可)

集団検診	胃がん		肺がん		大腸がん		乳がん		子宮頸がん	
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)
予約は必要ない	194	11.7%	370	22.4%	310	19.3%	119	7.3%	164	11.1%
都道府県や市区町村の窓口やコールセンターに予約(申込)をする	1137	68.5%	1015	61.3%	998	62.2%	1180	72.8%	1047	70.8%
検診実施機関に予約(申込)をする	149	9.0%	140	8.5%	140	8.7%	169	10.4%	140	9.5%
Web(パソコンやスマートフォン)で予約(申込)する	608	36.6%	541	32.7%	509	31.7%	603	37.2%	545	36.8%
ハガキ等郵便で予約(申込)する	563	33.9%	527	31.8%	514	32.0%	497	30.7%	432	29.2%
その他	380	22.9%	374	22.6%	362	22.6%	339	20.9%	323	21.8%
がん検診実施の市区町村数(集団検診)	1660		1655		1605		1621		1479	

個別検診	胃がん		肺がん		大腸がん		乳がん		子宮頸がん	
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)
予約は必要ない	14	1.3%	29	4.0%	115	11.7%	40	2.8%	108	6.9%
都道府県や市区町村の窓口やコールセンターに予約(申込)をする	255	23.6%	155	21.1%	209	21.3%	360	25.0%	381	24.3%
検診実施機関に予約(申込)をする	850	78.6%	597	81.4%	746	76.0%	1139	79.0%	1217	77.6%
Web(パソコンやスマートフォン)で予約(申込)する	82	7.6%	43	5.9%	68	6.9%	157	10.9%	161	10.3%
ハガキ等郵便で予約(申込)する	112	10.4%	62	8.5%	91	9.3%	165	11.5%	186	11.9%
その他	125	11.6%	60	8.2%	85	8.7%	150	10.4%	174	11.1%
がん検診実施の市区町村数(個別検診)	1081		733		981		1441		1569	

⑭ 検診を受診できる会場・検診実施機関・医療機関等(複数選択可)

集団検診	胃がん		肺がん		大腸がん		乳がん		子宮頸がん	
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)
市区町村内の会場・検診機関・医療機関	1618	97.5%	1618	97.8%	1567	97.6%	1550	95.6%	1405	95.0%
近隣の市区町村の会場・検診機関・医療機関	100	6.0%	99	6.0%	101	6.3%	131	8.1%	119	8.0%
県内の会場・検診機関・医療機関	58	3.5%	55	3.3%	57	3.6%	77	4.8%	71	4.8%
その他	36	2.2%	33	2.0%	40	2.5%	28	1.7%	30	2.0%
各がん検診実施の市区町村数(集団検診)	1660		1655		1605		1621		1479	

個別検診	胃がん		肺がん		大腸がん		乳がん		子宮頸がん	
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)
市区町村内の会場・検診機関・医療機関	786	72.7%	559	76.3%	804	82.0%	800	55.5%	880	56.1%
近隣の市区町村の会場・検診機関・医療機関	531	49.1%	333	45.4%	415	42.3%	863	59.9%	944	60.2%
県内の会場・検診機関・医療機関	168	15.5%	97	13.2%	99	10.1%	321	22.3%	397	25.3%
その他	41	3.8%	31	4.2%	51	5.2%	59	4.1%	64	4.1%
各がん検診実施の市区町村数(個別検診)	1081		733		981		1441		1569	

⑯-1 市区町村以外の会場での受診(乳、子宮頸)(⑰で近隣の「市区町村の会場・検診機関・医療機関」「県内の会場・検診機関・医療機関」「その他」のいずれかを選択した自治体)

	乳がん		子宮頸がん	
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)
全対象者が市区町村外の会場を受診できる	927	79.0%	1070	82.9%
一部の対象者のみ市区町村外の会場を受診できる	246	21.0%	221	17.1%
市区町村以外の会場を受診可能な市区町村数	1173		1291	

⑯-2 市区町村以外の会場を受診可能な対象者(乳、子宮頸)(⑳-1で「一部の対象者のみ市区町村外の会場を受診できる」を選択した自治体(複数選択可))

	乳がん		子宮頸がん	
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)
国の補助事業(クーポン券配付)の対象者	163	66.3%	145	65.6%
その他のクーポン券対象者	42	17.1%	43	19.5%
その他	83	33.7%	74	33.5%
「一部の対象者のみ市区町村外の会場を受診できる」市区町村数	246		221	

⑭ 休日(土日・祝日)、早朝又は夜間のがん検診の実施の有無

集団検診	胃がん		肺がん		大腸がん		乳がん		子宮頸がん	
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)
実施した	1430	86.1%	1379	83.3%	1371	85.4%	1221	75.3%	1049	70.9%
実施していない	230	13.9%	276	16.7%	234	14.6%	400	24.7%	430	29.1%
各がん検診実施の市区町村数(集団検診)	1660		1655		1605		1621		1479	

個別検診	胃がん		肺がん		大腸がん		乳がん		子宮頸がん	
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)
実施した	750	69.4%	502	68.5%	719	73.3%	1019	70.7%	1156	73.7%
実施していない	331	30.6%	231	31.5%	262	26.7%	422	29.3%	413	26.3%
各がん検診実施の市区町村数(個別検診)	1081		733		981		1441		1569	

7. その他のがんの検診の実施状況

	市区町村数 (%)	
	市区町村数	(%)
実施した	1410	81.3%
前立腺がんの検診(PSA検査)	1373	79.1%
前立腺がんの検診(PSA検査以外)	4	0.2%
肝臓がんの検診(エコー)	161	9.3%
肝臓がんの検診(エコー以外※)	6	0.3%
※肝炎ウイルス検査は含まない		
子宮体がんの検診(子宮体部の細胞診※)		
※子宮頸がん検診の問診等で、体がんの有症状が確認できた場合に実施する子宮体部の検査は含まない(検診ではない)	158	9.1%
子宮体がんの検診(子宮体部の細胞診以外)	10	0.6%
卵巣がんの検診(エコー)	77	4.4%
卵巣がんの検診(エコー以外)	7	0.4%
甲状腺がんの検診(エコー)	17	1.0%
甲状腺がんの検診(エコー以外)	17	1.0%
口腔がんの検診	79	4.6%
喉頭がん、咽頭がんの検診	5	0.3%
全がんに対する検診(CT)	6	0.3%
全がんに対する検診(MRI)	5	0.3%
全がんに対する検診(PET)	26	1.5%
全がんに対する検診(各種腫瘍マーカー)	18	1.0%
上記以外のがん種(部位)の検診	20	1.2%
実施していない	325	18.7%
合計	1735	

①-2 その他の検診の今後の実施状況

その他のがん検診	前立腺がんの検診		肝臓がんの検診		子宮体がんの検診		卵巣がんの検診		甲状腺がんの検診		口腔がんの検診	
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)
令和5年度に実施をやめた、またはやめる予定である	12	0.9%	0	0.0%	5	3.1%	2	2.5%	0	0.0%	0	0.0%
令和6年度以降実施をやめる予定である	14	1.0%	1	0.6%	6	3.7%	1	1.3%	3	9.1%	1	1.3%
やめる予定なし	1347	98.1%	161	99.4%	151	93.2%	77	96.3%	30	90.9%	78	98.7%
その他の各検診実施の市区町村数	1373		162		162		80		33		79	

その他のがん検診

その他のがん検診	喉頭がん、咽頭がんの検診		全がんに対する検診(CT)		全がんに対する検診(MRI)		全がんに対する検診(PET)		全がんに対する検診(各種腫瘍マーカー)		上記以外のがん種(部位)の検診	
	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)	市区町村数	(%)
令和5年度に実施をやめた、またはやめる予定である	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
令和6年度以降実施をやめる予定である	2	40.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
やめる予定なし	3	60.0%	6	100.0%	5	100.0%	26	100.0%	18	100.0%	20	100.0%
その他の各検診実施の市区町村数	5		6		5		26		18		20	

市町村がん検診(集団)における委託先検診機関一覧表(R4年度)

	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
京都市	A	A	Aほか4施設	A	A
向日市	A	A	A	A	-
長岡京市	A	-	A	A	-
大山崎町	A	A	A	A	-
宇治市	A	-	A	-	-
城陽市	A	-	A	-	-
久御山町	-	-	A	-	-
八幡市	A	A	A	-	-
京田辺市	B	B	B	-	-
井手町	A	-	A	A	-
宇治田原町	A	A	A	A	-
木津川市	A	A	A	-	-
笠置町	A	A	A	-	A
和束町	A	A	A	A	A
精華町	B	B	B	-	-
南山城村	A	A	A	A	A
亀岡市	A	A	A	A	A
南丹市	A	A	A	A	A
京丹波町	A	A	A	A	A
福知山市	A	A	A	A	A
舞鶴市	B	B	B	-	-
綾部市	A	A	A	A	A
宮津市	A	A	A	A	A
京丹後市	A	A	A	A	A
伊根町	A	A	A	A	A
与謝野町	A	A	A	A	A

-は未実施又は中止

出典:京都市調べ